



ApeosPort Print C5570

ApeosPort Print C4570

リファレンスガイド

本書の中で、商品提供者として「富士ゼロックス株式会社」が使われている場合は、「富士フイルムビジネスソリューション株式会社」と読み替えてください。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、PostScript、および PostScript 3 は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple, iPhone, AirPrint, iPad, Bonjour, macOS, OS X, and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）の商標です。

この製品は、eT-Kernel を利用しています。eT-Kernel は、イーソル株式会社の日本およびその他の国における商標です。

Mopria および Mopria ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで▲と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

データ上書き消去キットを輸出（または非居住者との間で役務取引）する場合は、我が国の外国為替、および外国貿易法、およびこれに付随する法令など、ならびに米国輸出管理規則を遵守してください。

万一、本体の記憶媒体に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1. このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
2. このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
3. このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

ApeosPort、ApeosWare、DocuWorks、ContentsBridge、および PDF Bridge は、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標または商標です。

目次

1 お使いいただく前に	8
1.1 マニュアル体系	8
セットアップガイド (冊子)	8
リファレンスガイド (本書) (公式サイト)	8
1.2 本書の使い方	9
本書の構成	9
本書の表記	9
本機について	10
1.3 本機のセキュリティ設定	11
1.4 ライセンス	12
1.5 各部の名称と働き	13
本体	13
操作パネル	18
1.6 本機で使用している記号	19
2 本機のセットアップ	21
2.1 電源について	21
電源を入れる	21
電源を切る	22
2.2 本機をコンピューターに接続する	23
有線 LAN で接続する	23
USB で接続する	24
無線 LAN で接続する	24
Windows 用のソフトウェアをインストールする	32
プリンタードライバーでオプションの設定をする	35
Mac 用のソフトウェアをインストールする	35
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする	36
メール機能の設定	36
IP アドレスを変更する	38
3 本機の基本操作	39
3.1 タッチパネルディスプレイについて	39
ホーム画面について	39
基本の操作方法	39
文字の入力方法	41
オンライン / オフラインの切り替え	41
ログインの方法	42
3.2 ホーム画面のカスタマイズ機能について	43
3.3 節電機能について	45
節電状態に移行する	45
節電状態から復帰する	45
3.4 用紙について	46
弊社が推奨する用紙	46
各用紙トレイで使用できる用紙	46
使用できない用紙	51
用紙の保管と取り扱い	52
3.5 用紙をセットする	53
用紙をさばく	53
トレイ 1 ~ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする	54
トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする	59
長尺サイズ of 用紙をセットする	61
トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段) (オプション)) に用紙をセットする	62

用紙の設定を変更する.....	64
-----------------	----

4 プリント 66

4.1 コンピューターからプリントする.....	66
プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能	66
4.2 プリントを中止する / 確認する	68
プリントを中止する	68
実行待ちのプリントジョブをプリントする	69
4.3 はがき / 封筒にプリントする	70
4.4 定形外サイズ of 用紙にプリントする	72
定形外サイズ of 用紙をセットする	72
定形外サイズを登録する	72
定形外サイズ of 用紙にプリントする	74
4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする	77
用紙種類によってトレイを自動で選択してプリントする	77
用紙トレイと用紙種類を設定してプリントする	79
4.6 ホチキス / パンチ / 紙折り / 中とじ / Z 折りを指定してプリントする	81
4.7 USB メモリーに保存されたデータをプリントする	82
文書プリント	83
デジカメプリント	84
USB メモリーの取り外し	86
機能リスト	86
4.8 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	90
サンプルプリントについて	90
サンプルプリントをする	90
4.9 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -	92
時刻指定プリントについて	92
時刻指定プリントをする	92
時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻を無視してプリントする	93
4.10 機密文書をプリントする - セキュリティプリント -	95
セキュリティプリントについて	95
セキュリティプリントをする	95
4.11 機密文書をプリントする - プライベートプリント -	97
プライベートプリントについて	97
プライベートプリントをするための設定	97
プライベートプリントをする	97
プライベートプリント（一括出力）をする	98
4.12 機密文書をプリントする - 認証プリント -	99
認証プリントについて	99
認証プリントをするための設定	99
認証プリントをする	99
4.13 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -	101
メール受信プリントについて	101
メールを受信してプリントする	101
4.14 BMLinkS	103

5 スマートフォン / タブレットからのプリント 104

5.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する.....	104
Wi-Fi で接続する	104
Wi-Fi Direct で接続する	104
5.2 Print Utility を使ってプリントする	109
5.3 その他のサービスを利用する	110
AirPrint	110
Mopria プリントサービス	111

6 本体の設定 113

[言語切り替え]	114
[機械確認 / レポート]	114
[通知]	116
[用紙トレイ]	117
[消耗品確認]	120
[メーター確認]	120
[システム設定]	122
[アプリ設定]	132
[ネットワーク設定]	139
[認証 / 集計管理]	154
[監査ログ設定]	160
[保守]	161
[リセット]	165

7 便利な使い方 166

7.1 CentreWare Internet Services を使う	166
CentreWare Internet Services を起動する	166
ログインの方法	167
ヘルプの使い方	167
7.2 本機に付属のソフトウェアを使う	169
Print & Scan Hub (Windows)	169
ContentsBridge Utility (Windows)	169
Supply Monitor (Windows)	169
7.3 暗号化機能を設定する	171
証明書の種類	171
暗号化機能について	171
HTTP の通信を暗号化するための設定	172
IPsec を使用して暗号化するための設定	174
無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定	176
7.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	178
認証機能と集計管理機能の概要	178
認証機能を使ったサービスの利用制限	181
ユーザー認証機能を有効にする	182
IC カード読み取り装置（オプション）で認証するための設定	189
集計管理するための設定	191

8 日常管理 192

8.1 消耗品を交換する	192
消耗品の取り扱いについて	192
トナーカートリッジを交換する	192
ドラムカートリッジを交換する	194
トナー回収ボトルを交換する	197
ホチキス針を交換する（フィニッシャー B3 装着時）	199
平とじ用ホチキス針を交換する（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）	200
中とじ用ホチキスカートリッジを交換する（フィニッシャー B3 中とじユニット装着時）	202
中とじ用ホチキス針を交換する（中とじフィニッシャー C3 装着時）	203
パンチダストボックスのパンチくずを捨てる（フィニッシャー B3 装着時）	206
パンチダストボックスのパンチくずを捨てる（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）	207
8.2 画質調整	209
階調を補正する	209
アライメント調整を行う	213
転写出力調整	217
出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）	219
8.3 製本折り位置の調整	222
8.4 紙折り位置の調整	224

二つ折りの位置調整	226
製本の位置調整	227
内三つ折りの位置調整	230
外三つ折りの位置調整	232
Z 折りの位置調整	233
8.5 清掃する	235
本体外部を清掃する	235
本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃	235

9 困ったときには..... 238

9.1 紙詰まりの処置	238
9.2 ホチキスカートリッジの針が詰まった場合	239
ホチキスカートリッジの針詰まり（フィニッシャー B3 の場合）	239
平とじホチキスカートリッジの針詰まり（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）	241
中とじホチキスカートリッジの針詰まり（中とじフィニッシャー C3 装着時）	243
9.3 機器本体のトラブル	245
9.4 プリントのトラブル	247
文書プリントのトラブル	248
デジカメプリントのトラブル	248
9.5 画質のトラブル	249
9.6 ネットワーク関連のトラブル	253
CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル	253
メール機能のトラブル	253
インターネット / イン트라ネット接続のトラブル	254
無線 LAN 接続時のトラブル	254
Wi-Fi Direct 接続時のトラブル	255
IPv6 接続時のトラブル	255
ヘルプ / リモートアシスタンス接続時のトラブル	256
AirPrint のトラブル	257
9.7 エラーコード	258

10 オプション製品の取り付け..... 259

10.1 無線キットの取り付け	259
10.2.2 トレイモジュール、専用スタンド、専用キヤスター台の取り付け	261
10.3 封筒 / はがきトレイの取り付け	268
封筒 / はがきトレイを取り付ける	268
封筒 / はがきトレイを取り外す	269
10.4 長尺用紙セットガイド（320mm）の取り付け	272
10.5 インナー排出トレイの取り付け	274
10.6 ストレージの取り付け	275
10.7 セカンダリーイーサネットキットの取り付け	278
10.8 ソフトウェアオプションの取り付け	281
10.9 地震対策キット（バンドタイプ）の取り付け	282

11 付録..... 283

11.1 主な仕様	283
11.2 プリント可能領域	296
標準印字領域	296
拡張印字領域	296
11.3 消耗品、定期交換部品の寿命について	297
消耗品の寿命について	297
使用済み消耗品の回収	297
定期交換部品の寿命について	298
補修用性能部品について	298
その他の消耗品について	298

11.4 本機のファームウェアを更新する	299
11.5 エミュレーションについて	300
エミュレーションモード	300
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項	303
設定項目	310
11.6 ダイレクトプリント	323
11.7 外部アクセスについて	325
接続先を登録する	325
サーバー証明書の検証を行う場合の設定	326
外部サービスに接続する	326
11.8 本機のヘルプを使う	328

1 お使いいただく前に

1.1 マニュアル体系

セットアップガイド（冊子）

本機の設置手順について説明しています。

リファレンスガイド（本書）（公式サイト）

本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

補足

- 本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

1.2 本書の使い方

本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

- 1 「お使いいただく前に」(P.8)
操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。
- 2 「本機のセットアップ」(P.21)
本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
- 3 「本機の基本操作」(P.39)
節電機能、使用できる用紙、および用紙のセット方法について説明しています。
- 4 「プリント」(P.66)
プリントの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
- 5 「スマートフォン / タブレットからのプリント」(P.104)
本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリント方法について説明しています。
- 6 「本体の設定」(P.113)
操作パネルで設定できる項目と、その設定方法について説明しています。
- 7 「便利な使い方」(P.166)
コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
- 8 「日常管理」(P.192)
消耗品の交換方法や本機の清掃など、日常の管理について説明しています。
- 9 「困ったときには」(P.238)
トラブルの対処方法について説明しています。
- 10 「オプション製品の取り付け」(P.259)
オプション製品の取り付け方法について説明しています。
- 11 「付録」(P.283)
主な仕様、消耗品の寿命、製品情報の入手方法、および各エミュレーションについて説明しています。

本書の表記

- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

 注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
 補足	補足事項を記述しています。
 参照	参照先を記述しています。
「 」	• 本書内にある参照先を表しています。 • 付属のメディアの名称や機能の名称、入力文字などを表しています。 • 参照するマニュアルを表しています。

[]	• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
< >	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
>	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 本書では、用紙の向きを、次のように表しています。
☐、よこ置き：本機正面から見て、用紙☐をよこ長にセットした状態を表しています。
☐、たて置き：本機正面から見て、用紙☐をたて長にセットした状態を表しています。
- 本書では、オプションの、内蔵増設ハードディスクとストレージ（SSD）を総称して「ストレージ」と表記します。
- 本書では、オプションの内蔵 IC カードリーダー D を「IC カード読み取り装置」と表記します。
- 本書では、ステープルを「ホチキス」、ステープル針を「ホチキス針」と表記します。
- 本書の内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。
- 本書では特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft Windows 10 および macOS 10.15 を例に説明しています。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- このマニュアルで記載されているプリントスピード、給紙容量などの記載は、P 紙（64g/m²）での値です。
- 「長尺」用紙とは、よこ：488.1 mm 以上の用紙を示します。

本機について

- 機能によっては、オプション製品またはカスタマーエンジニアの設定が必要になります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 認証状態や取り付けられているオプションによって、タッチパネルディスプレイに表示される項目は異なります。
- フィニッシャーを使用するにはストレージ（オプション）が必要です。
- フィニッシャーは ApeosPort Print C5570 のオプションです。ApeosPort Print C4570 には取り付けられません。
- 大容量給紙トレイは ApeosPort Print C5570 のオプションです。ApeosPort Print C4570 には取り付けられません。

1.3 本機のセキュリティ設定

本機の設定によっては、機械管理者でログインしたときにセキュリティ警告画面が表示されます。本機をより安全にご利用いただくために、本機を設置したあと、すぐに設定を変更することをお勧めします。

次の場合にセキュリティ警告画面が表示されます

次のどれかを満たす状態で機械管理者として本機にログインしたとき

- 機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値
- SNMP プロトコルの設定でコミュニティ名や認証用パスワードが初期値
- グローバル IP アドレスが設定され、かつ「認証方式の設定」が「認証しない」に設定されている

次のように設定を変更することをお勧めします

機械管理者のユーザー ID とパスワード /SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワード

設定を初期値から変更することをお勧めします。これらの初期値を変更することにより、悪意のある第三者による攻撃（設定変更や情報搾取など）を防ぐことができます。

補足

- 機械管理者のユーザー ID とパスワード、および SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードを初期値から変更すると、本機と連携するソフトウェアの動作に影響が出る場合があります。影響を確認のうえ、実施してください。

受付 IP アドレス制限

本機にグローバル IP アドレスを設定する場合は、受付 IP アドレス制限の設定を行うことにより、外部ネットワークからの不正アクセスを防ぐことができます。

認証方式の設定

グローバル IP アドレスを設定する場合は、さらに「認証方式の設定」を「本体認証」または「外部認証」に設定することをお勧めします。

「本体認証」の場合は、本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理を行います。認証が成功したユーザーだけが本機を使用できます。ただし、使用時には操作パネルからユーザー ID を入力するか、IC カードの利用が必要となります。

「外部認証」の場合は、外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を使用して認証管理を行います。

参照

- 機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更については、「[機械管理者情報の設定]」(P.156) を参照してください。
- SNMP 認証データの変更と受付 IP アドレス制限の設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- 認証方式の設定については、「[認証の設定]」(P.156) を参照してください。

1.4 ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、CentreWare Internet Services の [ホーム] タブ > [サポート] > [OSS ライセンス情報のダウンロード] から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

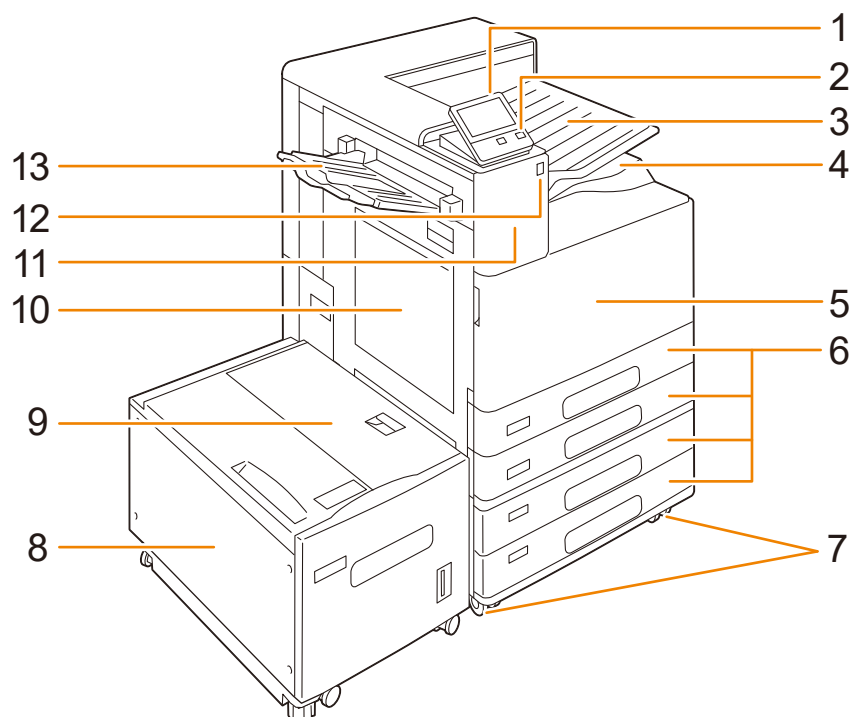
OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、次のサイトより入手が可能です。

https://www.fujixerox.co.jp/etc/oss/mfp/ap_c7070/v1_0

1.5 各部の名称と働き

本体

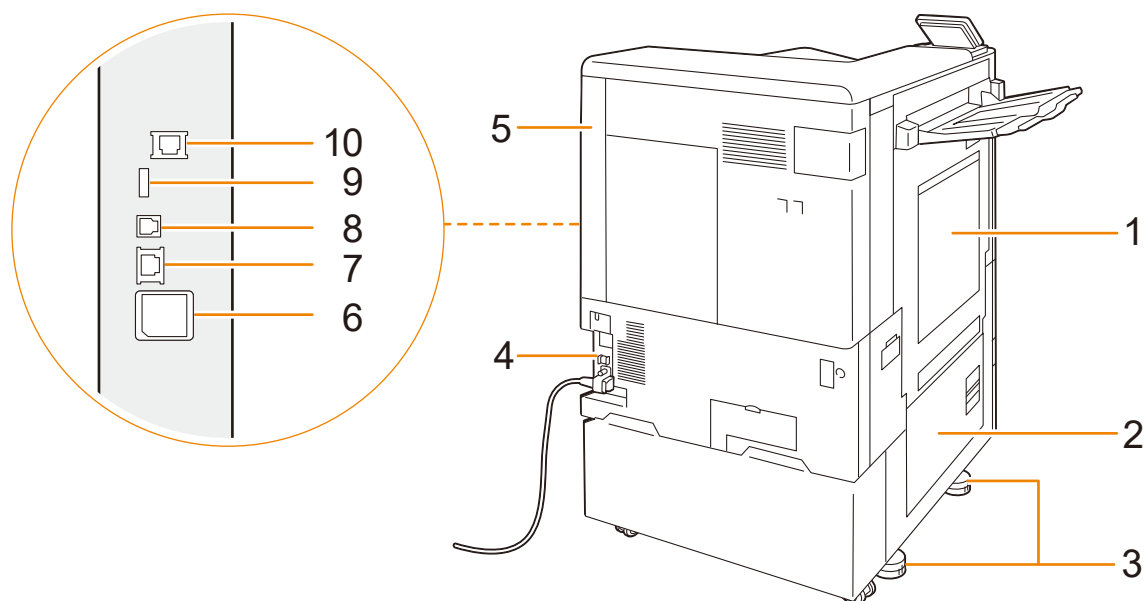
本体、大容量給紙トレイ（1 段）（オプション）、2トレイモジュール（オプション）



No.	名称	説明
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。
2	〈電源 / 節電〉ボタン	本機の電源を入 / 切します。このボタンを使って、本機を節電状態から解除したり、節電状態にしたりすることもできます。
3	インナー排出トレイ（オプション）	センタートレイを上段と下段に分けて排出できるようになります。
4	センタートレイ（排出トレイ）	プリントされた用紙が排出されます。
5	正面カバー	消耗品を交換するときに開けます。
6	トレイ 1、2、3、4（3、4 はオプション）	用紙をセットします。
7	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
8	トレイ 6（大容量給紙トレイ（オプション））	用紙をセットします。
9	トレイ 6（大容量給紙トレイ（オプション）） 上面カバー	紙詰まりを処置するときに、トレイ 6 を左に移動してから開けます。
10	トレイ 5（手差し）	トレイ 1、2、3、4（3、4 はオプション） にセットしていない用紙、またはできない用紙（OHP フィルムや、厚紙などの特殊用紙）をプリントするときに使用します。

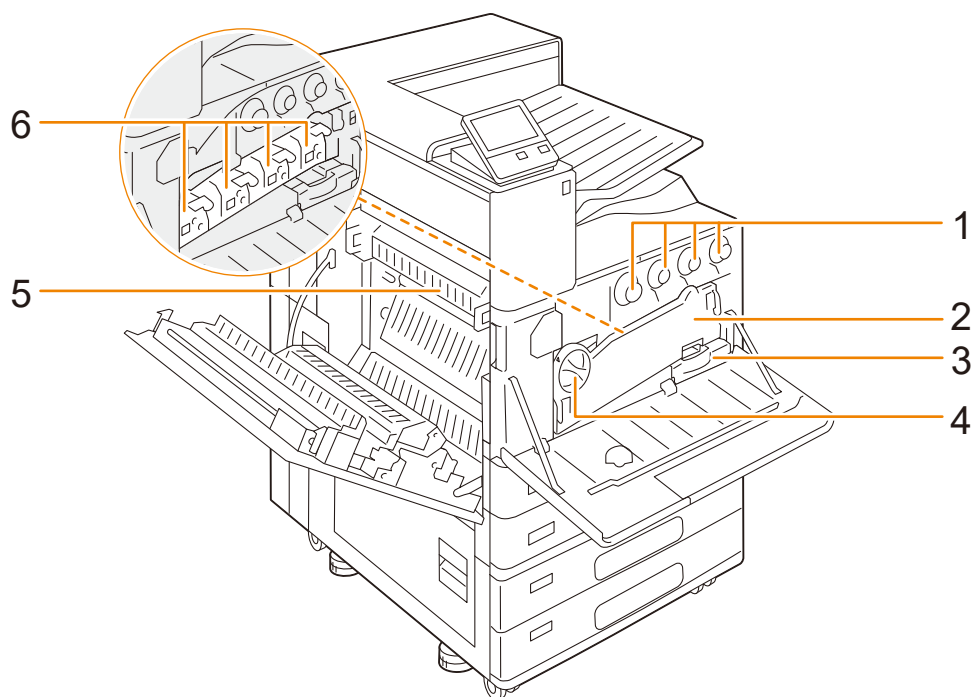
No.	名称	説明
11	本体内蔵型 IC カード読み取り装置（オプション）	IC カードをタッチすると、登録されたユーザー情報が本体に読み込まれ、機械がユーザー認証します。
12	USB メモリー差込口	USB2.0 用のメモリー差込口です。  補足 • メモリーカードリーダーや USB メモリーのケーブルは接続できません。
13	サイドトレイ（オプション）	プリントされた用紙が印字面を上にして、排出されます。

左側面部、および背面



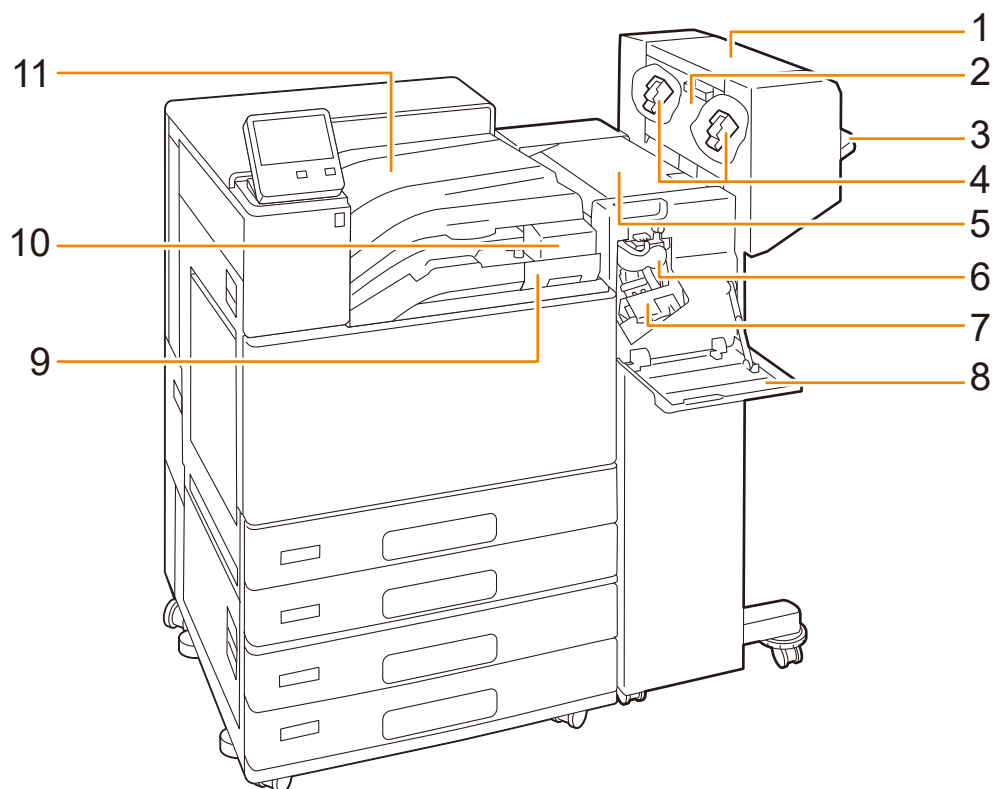
No.	名称	説明
1	左側面上部カバー	紙詰まりを処置するときに、リリースレバーを上げながら開けます。
2	左側面下部カバー	紙詰まりを処置するときに開けます。 トレイ 6（大容量給紙トレイ（1 段）（オプション））が取り付けられている場合は、トレイ 6 を左に移動してから開けます。
3	アジャスターフット	本機の転倒を防止します。本機の設置後に床に接するまで時計回りに回転させます。
4	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。
5	右奥カバー	インターフェースケーブルを接続するときに開けます。
6	無線キット（オプション）	本機に無線（Wi-Fi/Bluetooth）が接続できます。
7	イーサネットコネクター	ネットワークケーブルを接続します。
8	USB3.0 インターフェイスコネクター	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
9	USB2.0 インターフェイスコネクター	メモリーカードリーダーまたは USB 接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
10	セカンダリーイーサネットコネクター（オプション）	セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に、ネットワークケーブルを接続します。

内部



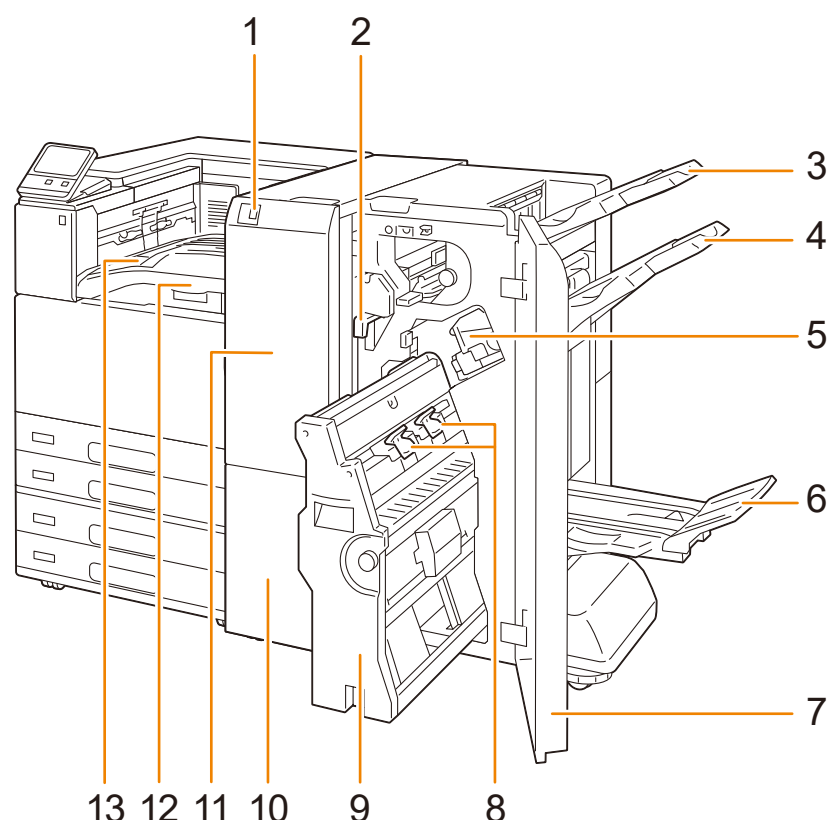
No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の 4 色のトナーが入っています。
2	搬送ボックス	ドラムカートリッジを交換したり、内部を清掃したりするときに取り外します。
3	トナー回収ボトル	使用済みのトナーが回収されます。
4	ハンドル	搬送ボックスのロックを解除します。
5	定着ユニット	トナーを用紙に定着させます。高温なので触れないように注意してください。
6	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。本機に向かって左側からブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) です。

フィニッシャー B3 (オプション)



No.	名称	説明
1	中とじユニット (オプション)	折り目を付けた用紙にホチキスを留めます。
2	中とじユニット側面カバー	中とじ用ホチキスカートリッジを交換するときに開けます。
3	フィニッシャートレイ	ホチキス留めされた用紙や折り目が付いた用紙などが排出されます。
4	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじ用ホチキス針が内蔵されています。中とじ用ホチキス針を交換するときに取り出します。
5	上面カバー	紙詰まりの処置のときに、このカバーを開けます。
6	折り目ユニット	用紙に二つ折りの折り目を付けます。
7	ホチキスカートリッジ	ホチキス針が内蔵されています。
8	正面カバー	紙詰まりの処置やホチキス針の交換などのときに開けます。
9	パンチダストボックス	パンチ穴の切りくずが入ります。
10	パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) パンチユニット 2/4 穴 (どちらもオプション)	パンチ穴を開けます。
11	センタートレイ (フィニッシャー接続部上面カバー)	用紙が排出されます。フィニッシャートレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。紙詰まりの処置のときは、上に開けます。

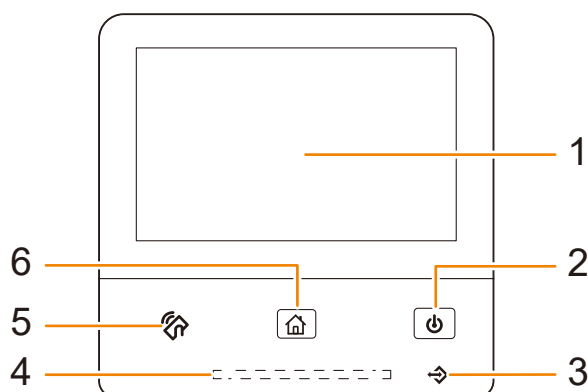
フィニッシャー C3 (オプション)、中とじフィニッシャー C3 (オプション)、紙折りユニット CD1 (オプション)



No.	名称	説明
1	三つ折り排出トレイボタン (紙折りユニット CD1 装着時)	三つ折り排出トレイが開きます。
2	パンチダストボックス	パンチくずが入ります。パンチくずを捨てる時に取り出します。
3	排出トレイ	用紙が排出されます。
4	フィニッシャートレイ	用紙が排出されます。
5	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置の時に取り出します。
6	製本トレイ	中とじ製本された冊子が排出されます。
7	正面カバー	紙詰まりの処置、ホチキス針の交換、針詰まりの処置、パンチくずを捨てる時に開けます。
8	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針詰まりの処置の時に取り出します。
9	中とじユニット	用紙を二つ折りにしたり、二つ折りしたものにホチキスを留める装置です。
10	三つ折り排出トレイ (紙折りユニット CD1 装着時)	三つ折りされた用紙が排出されます。三つ折り排出トレイを開いて取り出します。
11	紙折りユニットカバー (紙折りユニット CD1 装着時)	紙詰まりの処置の時に開けます。

No.	名称	説明
12	トランスポートユニット H3 (フィニッシャー接続部上面カバー)	用紙を搬送します。紙詰まりの処置のときは、上に開けます。
13	センタートレイ (排出トレイ)	用紙が排出されます。排出トレイやフィニッシャートレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。

操作パネル



No.	名称	説明
1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	〈電源 / 節電〉ボタン	このボタンを押して、本機の電源を入 / 切します。このボタンを使って、本機を節電状態から解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは、このボタンが点滅します。
3	データランプ	本機からデータを送信中や、コンピューターからのデータを受信中に、点滅します。
4	状態表示ランプ	操作を受け付けたときや、処理が完了したときに、青色で短く光ります。システムエラーや、紙詰まり、用紙切れ、トナー切れなどで機械に異常が発生している間は、オレンジ色で点滅します。
5	NFC タッチエリア	NFC 対応モバイル機器をかざすエリアです。 💡 補足 相互通信するには、本機の NFC 機能が有効になっている必要があります。NFC 機能は、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
6	〈ホーム〉ボタン	ホーム画面を表示するときに押します。

1.6 本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

記号	説明	記号	説明
	注意、危険、警告		裏紙（他機で印刷した紙）を使用しないこと
	高温注意		用紙
	指挟み注意		はがき
	接触禁止		封筒
	指示に従うこと		用紙のプリント面を上セット
	アース線を接続すること		用紙のプリント面を下にセット
	トナーカートリッジを火中に投じないこと		最大積載量
	トナー回収ボトルを火中に投じないこと		用紙残量
	電源オン / オフ		用紙補給
	ホーム		紙詰まり
	インクジェット紙を使用しないこと		針詰まり
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと		ホチキスカートリッジ交換
	封筒を使用しないこと		LAN

記号	説明
	USB
	Wi-Fi
	ロック
	ロック解除
	重量
	冷却
	経過時間

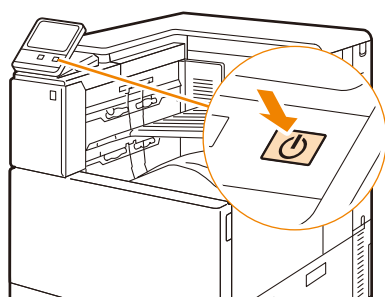
2 本機のセットアップ

本機の設置が終わってからプリントするまでの準備について説明します。

2.1 電源について

電源を入れる

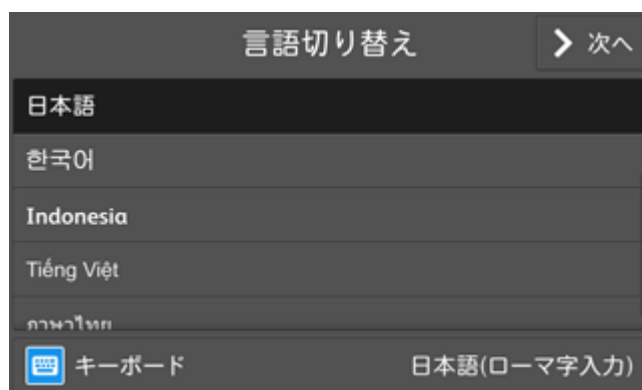
1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



本機の初期設定をする

初めて電源を入れたときは、本機の初期設定をする画面が表示されます。

1. 画面に従って情報を設定し、[次へ] をタップします。



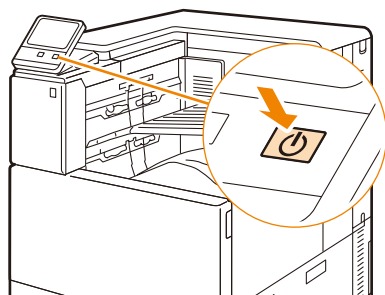
💡 補足

- [日付]、[時刻]、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード]、および [IP アドレス設定] の設定をします。
- [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [許可] を設定すると、ファームウェアがネットワーク経由でダウンロードできるようになります。
- [ソフトウェアオプションの設定] では、パスワードを入力する必要はありません。入力欄になにも入力せずに [次へ] をタップします。

2. [初期設定終了] が表示されたら、[完了] をタップします。

電源を切る

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



2. タッチパネルディスプレイで、[電源を切る] をタップします。

注記

- 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

補足

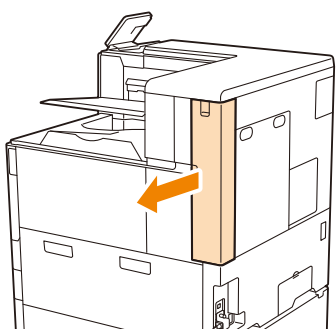
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、タッチパネルディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、少し時間をおいてから入れてください。
- CentreWare Internet Services から電源を切ることもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

2.2 本機をコンピューターに接続する

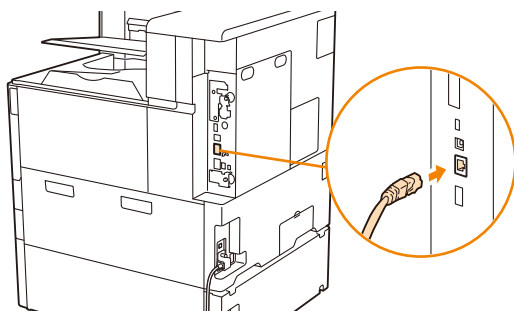
本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

有線 LAN で接続する

1. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。
2. 本機の右奥カバーを外します。



3. ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクタに差し込みます。



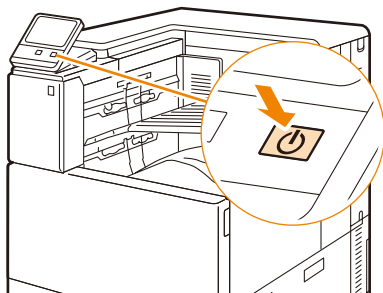
💡 補足

- セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続することもできます。

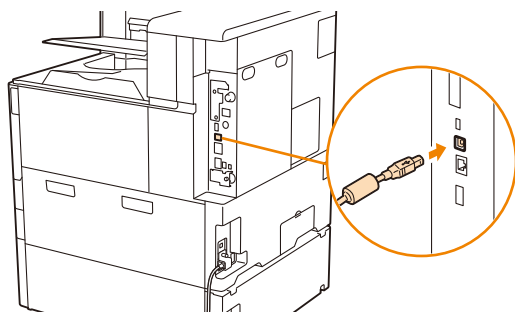
4. 本機の右奥カバーを取り付けます。
5. ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。
6. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を入れます。

USB で接続する

1. 電源 / 節電 ボタンを押す、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. 本機の右奥カバーを外します。
3. USB ケーブルを本体の USB コネクター（下側）に差し込みます。



4. 本機の右奥カバーを取り付けます。
5. USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。
6. 電源 / 節電 ボタンを押して電源を入れます。

無線 LAN で接続する

無線 LAN を設定する前に、無線キット（オプション）が本機に取り付けられていることを確認します。



- 詳しくは、「無線キットの取り付け」(P.259) を参照してください。

無線 LAN 接続の設定方法は次のとおりです。

- 「WPS（プッシュボタン方式）で接続する」(P.24)
- 「WPS（PIN コード方式）で接続する」(P.26)
- 「無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する」(P.28)
- 「SSID を入力して接続する」(P.30)

WPS（プッシュボタン方式）で接続する

設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。

無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している場合に使用できます。



- 無線LANアクセスポイント側のWPS操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] をタップします。



4. [無線LAN 設定] をタップします。



5. [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



8. [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (プッシュボタン)] をタップします。

9. [開始] をタップしてから 2 分以内に、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押します。



10. 本機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。

本機が再起動し、設定が有効になります。

WPS (PIN コード方式) で接続する

本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している場合に使用できます。



参照

- 無線LANアクセスポイント側のWPS操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] をタップします。



4. [無線LAN 設定] をタップします。



5. [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



8. [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (PIN コード)] をタップします。

9. [開始] をタップしてから 2 分以内に、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。



10. 本機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。

本機が再起動し、設定が有効になります。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。

3. [ネットワーク設定] をタップします。



4. [無線 LAN 設定] をタップします。



5. [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて[動作周波数帯]を選んで、[OK] をタップします。



7. [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



8. [Wi-Fi 接続設定] 画面に表示されている一覧から、接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID をタップします。



9. アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合は、認証情報画面が表示されます。必要な情報を入力して、[OK] をタップします。
10. 設定が更新されたことを確認できたら[確認] をタップします。
本機が再起動し、設定が有効になります。

SSID を入力して接続する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。

2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] をタップします。



4. [無線 LAN 設定] をタップします。



5. [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



8. [Wi-Fi 接続設定] 画面で、[手動設定] をタップします。

9. 使用環境にあわせて各項目を設定し、[OK] をタップします。



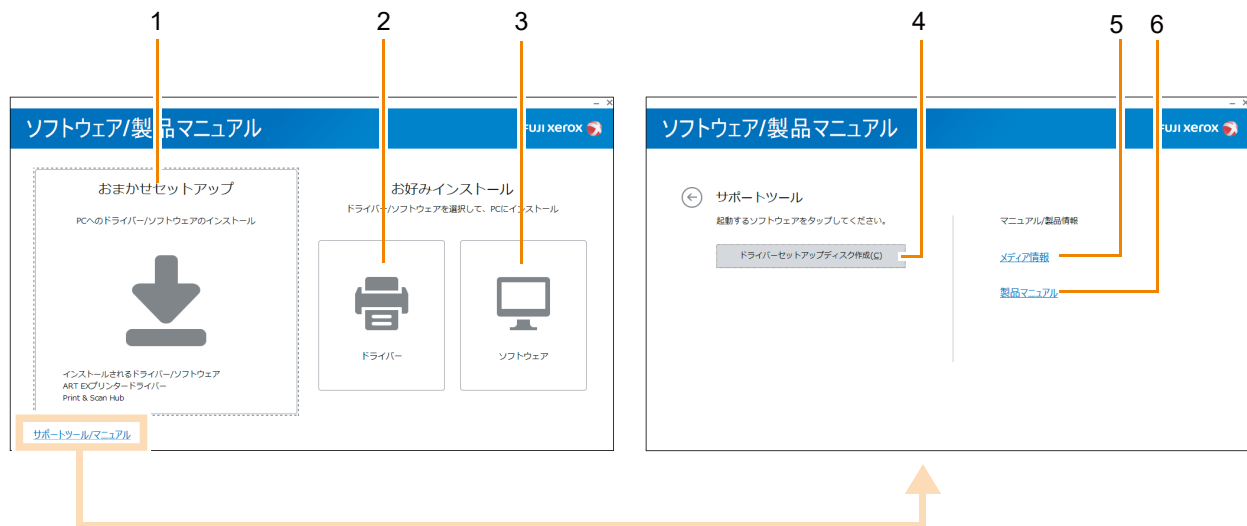
10. 設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。

本機が再起動し、設定が有効になります。

Windows 用のソフトウェアをインストールする

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



1 【おまかせセットアップ】

本機で使える基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub
- Supply Monitor



- インストール方法については、「[おまかせセットアップ] でインストールする」(P.34) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機に付属のソフトウェアを使う」(P.169) を参照してください。

2 【お好みインストール】 > 【ドライバー】

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2 (Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体) 用)
- PS ドライバー J2 (Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体) 用)



- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.34) を参照してください。

3 【お好みインストール】 > 【ソフトウェア】

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility
- Supply Monitor



- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.34) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機に付属のソフトウェアを使う」(P.169) を参照してください。

4 【サポートツール / マニュアル】 > 【ドライバーセットアップディスク作成】

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。

💡 補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [メディア情報]

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 [製品マニュアル]

マニュアルを表示できます。

[おまかせセットアップ] でインストールする

💡 補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P.23)
 - 「USB で接続する」(P.24)
 - 「無線 LAN で接続する」(P.24)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

💡 補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」はドライブ名）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

💡 補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P.23)
 - 「USB で接続する」(P.24)
 - 「無線 LAN で接続する」(P.24)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

💡 補足

- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」はドライブ名）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。

[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。

5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

プリンタードライバーでオプションの設定をする

ネットワーク接続されているプリンターのオプションや用紙トレイの情報を、プリンタードライバーの設定に反映します。

1. [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
3. [プリンター構成] タブをクリックし、[プリンターとの通信設定] > [プリンター本体から情報を取得] > [OK] をクリックします。
4. [適用] > [OK] をクリックします。

💡 補足

- [プリンター本体から情報を取得] をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合は、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] で設定してください。

Mac 用のソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
3. フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

メール機能の設定

メール通知サービスやメール受信プリントなど、メールを使う機能を利用するには、次の設定が必要です。

- メールポート
- TCP/IP アドレス
- サブネットマスク（必要に応じて設定）
- ゲートウェイアドレス（必要に応じて設定）
- DNS サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- 本体メールアドレス
- メール受信プロトコル
- SMTP サーバーアドレス
- SMTP AUTH ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）
- POP3 サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- POP3 ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）



参照

- TCP/IP アドレスの設定については、「IP アドレスを変更する」(P.38) を参照してください。

メール通知を設定する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. 本機のメールアドレスを設定します。

1) [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。

2) メールアドレスやホスト名を設定します。



参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.144) を参照してください。

3) [<] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

4. 送信の設定をします。



補足

- メールの送信には、SMTP サーバーの設定が必要です。[メール受信プロトコル] で [POP3] を選んだ場合は、[メール送受信設定] で SMTP サーバーを設定してください。詳しくは、「[SMTP サーバー設定]」(P.147) を参照してください。

5. [<] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6. 𠂇(ホーム) ボタンを押します。

メール受信を設定する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. メールポートを起動します。
 - 1) [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール受信] > [メール受信 - ポート] をタップします。
 - 2) [起動] をタップします。

補足

- メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、同様に [メール通知サービス] の [メール通知サービス - ポート] を [起動] に設定します。

- 3) [＜] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。
4. 受信プロトコルを設定します。
 - 1) [その他の設定] > [メール受信プロトコル] をタップします。
 - 2) [SMTP] または [POP3] をタップします。
 - 3) [＜] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

5. 本機のメールアドレスを設定します。

- 1) [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。
 - 2) メールアドレスやホスト名を設定します。

参照

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.144) を参照してください。

- 3) [＜] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

6. 受信の設定をします。

- 1) [メール送受信設定] をタップします。

- [メール受信プロトコル] で [SMTP] を選んだ場合 SMTP サーバーの設定をします。

参照

- SMTP サーバーの設定については、「[SMTP サーバー設定]」(P.147) を参照してください。
- SMTP 受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.144) を参照してください。

- [メール受信プロトコル] で [POP3] を選んだ場合 POP3 サーバーの設定をします。

補足

- POP3 サーバー設定で POP over SSL を ON にすると、メールの受信が暗号化されます。POP over SSL は CentreWare Internet Services を使用して設定できます。

参照

- POP3 サーバーの設定については、「[POP3 サーバー設定]」(P.147) を参照してください。
- POP3 受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.144) を参照してください。

7. [＜] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

8. 𠂇(ホーム) ボタンを押します。

IP アドレスを変更する

IP アドレスの変更方法について IPv4 を例に説明します。

補足

- IPv6 環境の IP アドレスを手動で割り当てるときは、付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクまたは CentreWare Internet Services を使用します。CentreWare Internet Services の起動方法については、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
 2. [設定] をタップします。
 3. [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] をタップします。
 4. [TCP/IP- 共通設定] をタップします。
 5. [IP 動作モード] をタップし、お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4 モード]、または [IPv6 モード] をタップします。
- ### 補足
- 使用するネットワークが IPv4 および IPv6 の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選んでください。
6. [<] をタップして、[プロトコル設定] 画面に戻ります。
 7. [TCP/IP- ネットワーク設定] をタップし、お使いの環境に合わせて IP アドレスの取得方法を設定します。
ここでは手順 5 で [IPv4 モード] を選んだ場合を例に説明します。
 8. [IPv4-IP アドレス取得方法] をタップします。
 9. IP アドレスの割り当て方法を設定します。
IP アドレスを自動で設定する場合
 - 1) [DHCP/AutoIP から取得]、[BOOTP から取得]、[DHCP から取得] のどれかを選び、[OK] をタップします。IP アドレスを手動で設定する場合
 - 1) [手動で設定] を選び、[OK] をタップします。
 - 2) [IPv4-IP アドレス] をタップします。
 - 3) IP アドレスを入力し、[OK] をタップします。
 - 4) [IPv4- サブネットマスク] をタップします。
 - 5) サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。
 - 6) [IPv4- ゲートウェイアドレス] をタップします。
 - 7) ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。
 10. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

3 本機の基本操作

3.1 タッチパネルディスプレイについて

ホーム画面について



1 認証情報の表示エリア

画面左上の認証情報の表示エリアをタップすると、ユーザー ID の入力画面が表示されます。
認証されると、認証ユーザー名が表示されます。

💡 補足

- 認証状態からログアウトするには、認証情報の表示エリアをタップします。詳しくは、「ログインの方法」(P.42) を参照してください。

2 アプリ

アプリのアイコンをタップして、各機能を使用します。

3 [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ]

ホーム画面に配置しているアプリの表示 / 非表示を変更したり、表示位置を変更したりします。

🔧 参照

- 詳しくは、「ホーム画面のカスタマイズ機能について」(P.43) を参照してください。

4 [リセット] ボタン

操作中の動作および設定を中止します。

基本の操作方法

ドラッグ

タッチパネルディスプレイに軽く触れたままで、目的の位置まで指を移動します。上下にドラッグすると画面のスクロールができます。

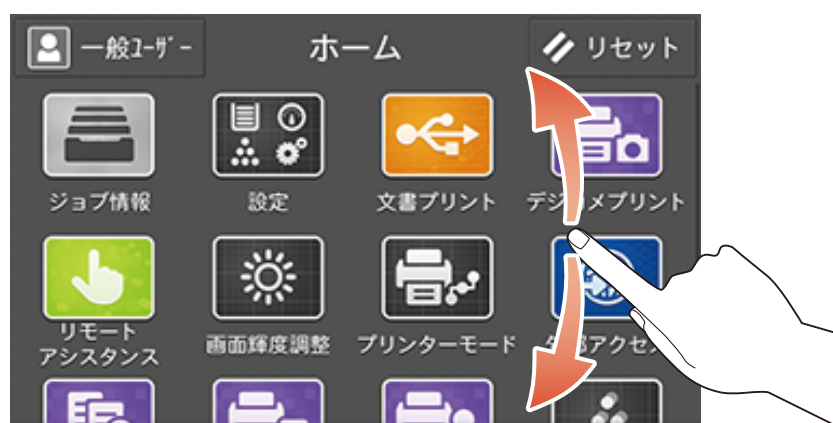


フリック

タッチパネルディスプレイをはらうように指を動かします。上下にフリックすると画面やリストのスクロールができます。

💡 補足

- フリックの場合は、指を離れたあとでも少しの間スクロールが継続します。



タップ / ダブルタップ

タッチパネルディスプレイに軽く触れ、すぐに指を離します。2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

プレビュー画像をダブルタップすると、画像サイズの拡大表示ができます。

ロングタッチ

タッチパネルディスプレイのアプリやアイコンに指を触れたまま長押しします。アプリや機能リストの配置を変更するときに使用します。



文字の入力方法

キーボードを使って文字を入力する

各種設定などで文字を入力するときは、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。



💡 補足

-  をタップすると、入力言語を変更できます。
- 入力できる漢字は、JIS の第一水準と第二水準です。

オンライン / オフラインの切り替え

1. ホーム画面で、[設定] > [機械確認 / レポート] > [プリンターモード] をタップします。

2. [オンライン] または [オフライン] をタップします。

- [オンライン]
コンピューターからのデータを受信します。
- [オフライン]
コンピューターからのデータ受信ができなくなります。その場合、受信中のデータは中断され、プリントされません。

ログインの方法

認証機能を有効にしている場合は、本機を使用するときに認証ユーザーでログインします。

本機の設定などを行う場合は、機械管理者でログインします。

ログインすると、認証情報の表示エリアにユーザー名が表示されます。

補足

- 認証機能を有効にしていない場合は、[一般ユーザー] と表示されます。
- 機械管理者としてログインすると [機械管理者] と表示されます。工場出荷時の機械管理者のユーザー ID およびパスワードについては、本機に付属の「セットアップガイド」を参照してください。

タッチパネルディスプレイでログインする

1. 認証情報の表示エリアをタップします。
2. ユーザー ID を入力して、[OK] をタップします。

補足

- Azure Active Directory 連携の場合、ユーザー ID は、ユーザー名の@より前を入力してください。
たとえば、fujitaro@sample.com の場合、「fujitaro」を入力します。
- パスワードの入力が必要な場合は、[次へ] をタップしてパスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 認証を解除する場合は、認証情報の表示エリア > [ログアウト] をタップします。

IC カードを使用してログインする

1. IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをタッチします。

3.2 ホーム画面のカスタマイズ機能について

ホーム画面のアプリや、各機能の機能リストの項目の表示 / 非表示を切り替えたり、並び順を変更したりしてカスタマイズできます。認証機能を有効にしている場合は、ユーザーごとにカスタマイズできます。

カスタマイズできる画面には、画面下部に「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」が表示されます。

- 「カスタマイズ」

認証機能を有効にしていない場合に表示されます。カスタマイズしていないすべてのユーザーの画面に設定内容が反映されます。

- 「個人用カスタマイズ」

認証機能を有効にしている場合に表示されます。そのユーザーでログインしたときに表示される画面をカスタマイズできます。

補足

- 機械管理者でログインしている場合は、認証機能の設定に関わらず「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」が表示されます。「カスタマイズ」 > 「個人モードに切り替え」で「個人用カスタマイズ」に、「個人用カスタマイズ」 > 「共用モードに切り替え」で「カスタマイズ」に切り替えられます。

参照

- 機能リストのカスタマイズについては、「機能リストのカスタマイズ」(P.87) を参照してください。

表示するアプリを変更する

1. ホーム画面の下部にある「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」をタップします。



2. 次の操作をします。

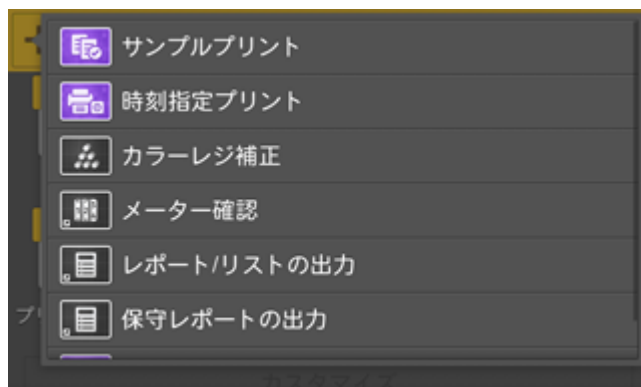
アプリを非表示にする場合

- 1) 非表示にするアプリの [×] をタップします。



アプリを表示する場合

- 1) [追加] をタップします。
- 2) 追加するアプリをタップします。



アプリの位置を変更する場合

- 1) アプリをロングタッチしたままドラッグして移動します。



3. [完了] をタップします。

初期表示画面を変更する

本機が起動して最初に表示される画面を設定できます。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [システム設定] > [画面の設定] > [初期表示画面] をタップします。
4. 画面を選び、[OK] をタップします。

3.3 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げ、電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

補足

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。節電状態になると操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンが点滅します。

- 操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンを押して、[節電モードに移行する] をタップする
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

補足

- 紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

参照

- 節電モードに移行するまでの時間を変更するには、「[節電モード移行時間]」(P.123) を参照してください。

節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- 操作パネルの  〈電源 / 節電〉 ボタンを押す
- プリントジョブを受信する
- CentreWare Internet Services の [保存] をクリックする
- 正面カバーを開ける

補足

- オプション製品や別売品を操作することで、自動復帰する場合があります。
- タッチパネルディスプレイが消灯してすぐに  〈電源 / 節電〉 ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかることがあります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度  〈電源 / 節電〉 ボタンを押してください。

使用する機能に必要な部分だけ節電を解除する

節電状態から復帰する場合、使用する機能に必要な部分だけ電力を供給して、消費電力を節約できます。

参照

- 使用する部分だけ節電を解除するかどうかの設定については、「[節電解除の制御]」(P.123) を参照してください。

補足

- 節電状態の用紙セットや消耗品交換では、本機は用紙や新しい消耗品の情報を取得できません。 〈電源 / 節電〉 ボタンを押し、ホーム画面で [設定] > [用紙トレイ] または [消耗品確認] をタップしてから、用紙のセットや消耗品の交換を行ってください。
- プリントジョブを受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、出力部のみ節電状態から復帰してプリントを開始します。
- 蓄積プリントジョブ（セキュリティープリント、時刻指定プリント、課金認証プリント、プライベートプリント）を受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、ストレージのみ節電状態から復帰します。

3.4 用紙について

弊社が推奨する用紙



警告

- 電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にプリントするためには規格に合った用紙を使用してください。使用できる用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店へお問い合わせください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	坪量 (g/m ²)	古紙パルプ配合率
G70	67	70 %
C ² r	70	70 %

各用紙トレイで利用できる用紙



注記

- 水、雨、蒸気などの水分により、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。また、水、雨、蒸気などの水分が原因で、プリンター内部の結露による画質不良、紙詰まりなどが発生することがあります。

用紙質量と最大収容枚数

用紙トレイ	用紙質量 (g/m ²)	最大収容枚数
トレイ 1、2	52 ～ 300	560 枚 ^{*1}
トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション))	52 ～ 300	560 枚 ^{*1}
トレイ 5 (手差し)	52 ～ 300	10 mm まで 100 枚 ^{*1}
トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段) (オプション))	55 ～ 216	2300 枚 ^{*1}
封筒 / はがきトレイ (オプション)	封筒 : 75 ～ 90 はがき : 106 ～ 220	50 枚 ^{*2} 43 mm まで ^{*3}

*1 :P 紙の場合

*2 :Ncolor 封筒 (角形 2 号) の場合

*3 :はがきの場合

用紙種類

プリンタードライバーで設定できる用紙種類

○：使用可 ×：使用不可

用紙種類	トレイ 1、 2	トレイ 3、 4 ((2トレイ モジュール) (オプ ション))	トレイ 5 (手差し)	トレイ 6 (大容量給 紙トレイ (1 段) (オ プション))	自動両面
[上質紙]	○	○	○	○	○
[上質紙 [A] (83 ~ 90g/m ²)]	○	○	○	○	○
[上質紙 [B] (91 ~ 105g/m ²)]	○	○	○	○	○
[普通紙]	○	○	○	○	○
[普通紙うら面]	○	○	○	○	×
[再生紙]	○	○	○	○	○
[厚紙 1(106 ~ 176g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 1(106 ~ 176g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 2(177 ~ 220g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 2(177 ~ 220g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 3(221 ~ 300g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 3(221 ~ 300g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 3 [A] (221 ~ 256g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 3 [A] (221 ~ 256g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 3 [B] (257 ~ 300g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 3 [B] (257 ~ 300g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 3 [S] (221 ~ 300g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 3 [S] (221 ~ 300g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[うす紙 (52 ~ 63g/m ²)]	○	○	○	○	○
[OHP フィルム]	○	○	○	○	×
[穴あき紙]	○	○	○	○	○
[ラベル紙]	○	○	○	○	×
[コート紙 1(106 ~ 176g/m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 1(106 ~ 176g/m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 1 [A] (106 ~ 135g/m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 1 [A] (106 ~ 135g/m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 1 [B] (136 ~ 157g/m ²)]	×	×	○	×	○

用紙種類	トレイ 1、 2	トレイ 3、 4 ((2トレイ モジュール) (オプ ション))	トレイ 5 (手差し)	トレイ 6 (大容量給 紙トレイ (1 段) (オ プション))	自動両面
[コート紙 1 [B] (136 ~ 157g/ m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 1 [C] (158 ~ 176g/ m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 1 [C] (158 ~ 176g/ m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 2(177 ~ 220g/m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 2(177 ~ 220g/m ²) う ら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 2 [A] (177 ~ 220g/ m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 2 [A] (177 ~ 220g/ m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 3(221 ~ 300g/m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 3(221 ~ 300g/m ²) う ら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 3 [A] (221 ~ 256g/ m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 3 [A] (221 ~ 256g/ m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[コート紙 3 [B] (257 ~ 300g/ m ²)]	×	×	○	×	○
[コート紙 3 [B] (257 ~ 300g/ m ²) うら面]	×	×	○	×	×
[封筒]	×	×	○	×	×
[はがき]	○	○	○	×	×
[ユーザー定義 1]	○	○	○	○	○
[ユーザー定義 2]	○	○	○	○	○
[ユーザー定義 3]	○	○	○	○	○
[ユーザー定義 4]	○	○	○	○	○
[ユーザー定義 5]	○	○	○	○	○
[厚紙 1 [A] (106 ~ 135g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 1 [B] (136 ~ 157g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 1 [C] (158 ~ 176g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 1 [S] (106 ~ 176g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 1 [A] (106 ~ 135g/m ²) う ら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 1 [B] (136 ~ 157g/m ²) う ら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 1 [C] (158 ~ 176g/m ²) う ら面]	○	○	○	○	×

用紙種類	トレイ 1、 2	トレイ 3、 4 ((2トレイモジュール) (オプション))	トレイ 5 (手差し)	トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段) (オプション))	自動両面
[厚紙 1 [S] (106 ~ 176g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 2 [A] (177 ~ 220g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 2 [S] (177 ~ 220g/m ²)]	○	○	○	○	○
[厚紙 2 [A] (177 ~ 220g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×
[厚紙 2 [S] (177 ~ 220g/m ²) うら面]	○	○	○	○	×

注記

- コート紙は、1 枚ずつセットしてください。多数をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。

補足

- 自動で両面プリントができないサイズや種類の場合は、一度プリントした用紙（本機で片面をプリントした場合に限る）をトレイ 5（手差し）にセットして、手動でうら面にプリントしてください。このとき、プリンタードライバーでは、用紙種類を [xxx うら面] に設定します。なお、上質紙、普通紙、再生紙は、うら面用に用紙種類を変更する必要はありません。
- 長尺サイズの用紙で設定できる用紙の種類は、[厚紙 1(106 ~ 176g/m²)] だけです。
- OHP フィルムをカラーでプリントしたものを反射型プロジェクターで投影すると、映像が黒っぽく映し出されることがあります。輝度の高いプロジェクターを使用すると、解消されることがあります。

用紙サイズ

プリンタードライバーで設定できるサイズ

○：使用可 ×：使用不可

用紙サイズ (幅 x 長さ)	向き	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション))	トレイ 5 (手差し)	トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段) (オプション))	封筒 / はがきトレイ (オプション)	自動両面
[A3 (297x420mm)]		○	○	○	○	×	×	○
[B4 (257x364mm)]		○	○	○	○	×	×	○
[A4 (210x297mm)]		○	○	○	○	×	×	○
		○	○	○	○	○	×	○
[B5 (182x257mm)]		○	○	○	○	×	×	○
		○	○	○	○	○	×	○
[A5 (148x210mm)]		○	○	○	○	×	×	○
		×	×	×	○	×	×	○
[B6 (128x182mm)]		×	×	×	○	×	×	○

用紙サイズ (幅 x 長さ)	向き	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4 (2トレイモ ジュール) (オ プション))	トレイ 5 (手 差し)	トレイ 6 (大 容量給 紙トレイ (1 段) (オ プション))	封筒 / はがき トレイ (オ プション)	自動両 面
[A6 (105x148mm)]		×	×	×	○	×	×	×
[はがき (100x148mm)]		○	○	○	○	×	○	×
[往復はがき (148x200mm)]		×	×	×	○	×	×	×
[封筒角形 20 号 (229x324mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒角形 2 号 (240x332mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒角形 6 号 (162x229mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒長形 3 号 (120x235mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒長形 3 号 [洋] (120x235mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒長形 4 号 (90x205mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒 C4 (229x324mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒 C5 (162x229mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[SRA3(320x450mm)]		×	○	○	○	×	×	○
[写真 2L サイズ (5x7")]		×	×	×	○	×	○	×
[8.5x11" (レター)]		○	○	○	○	×	×	○
		○	○	○	○	○	×	○
[8.5x14" (リーガル)]		○	○	○	○	×	×	○
[8.5x13"]		○	○	○	○	×	×	○
[11x15"]		×	×	×	○	×	×	○
[11x17"]		○	○	○	○	×	×	○
[12x18"]		×	○	○	○	×	×	○
[表紙 A4(223x297mm)]		×	×	×	○	×	×	○
[9x11"(表紙レター)]		×	×	×	○	×	×	○
[封筒洋形 2 号 (114x162mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒洋形 3 号 (98x148mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[封筒洋形 4 号 (105x235mm)]		×	×	×	○	×	○	×
[長尺紙 (210x900mm)]		×	×	×	○	×	×	×
[長尺紙 A (297x900mm)]		×	×	×	○	×	×	×

用紙サイズ (幅 x 長さ)	向き	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション))	トレイ 5 (手差し)	トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1段) (オプション))	封筒 / はがきトレイ (オプション)	自動両面
[長尺紙 B (297x1200mm)]		×	×	×	○	×	×	×

ユーザー定義サイズ

用紙トレイ	ユーザー定義サイズ
トレイ 1	幅：100 ～ 297 mm 長さ：148 ～ 431.8 mm
トレイ 2	幅：100 ～ 320 mm 長さ：148 ～ 457.2 mm
トレイ 3、4 ((2トレイモジュール) (オプション))	幅：100 ～ 320 mm 長さ：148 ～ 457.2 mm
トレイ 5 (手差し)	幅：88.9 ～ 320.0 mm 長さ：98.4 ～ 482.6 mm

補足

- 自動両面機能は、次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。
 - 用紙サイズ
幅：128.0 ～ 320.0 mm
長さ：139.7 ～ 482.6 mm
 - 用紙質量：52 g/m² ～ 300 g/m²

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりや故障、画質への影響、および装置破損の原因になります。

- インクジェット用紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

3.5 用紙をセットする

注記

- 電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙詰まりの原因になります。

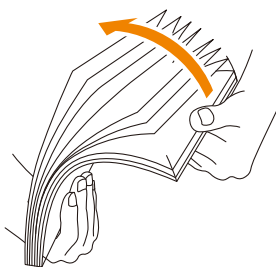
補足

- プリント中に用紙がなくなると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

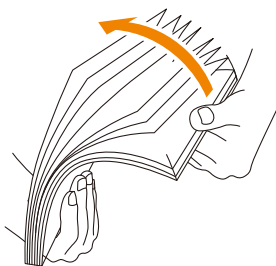
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

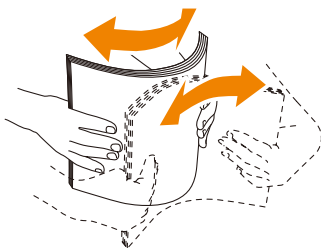
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。



3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。

トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする

用紙サイズの設定について

定形サイズ用の紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。

定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要があります。



参照

- 詳しくは、「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

用紙種類の設定について

定形サイズ・定形外サイズどちらも、用紙種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定が、セットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。



補足

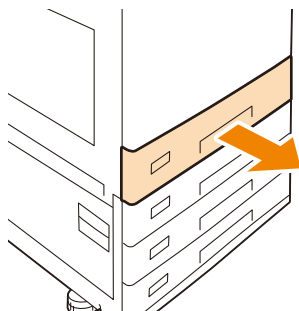
- 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙種類別画質処理」の設定が必要なことがあります。詳しくは、「[用紙種類別画質処理]」(P.117) を参照してください。



参照

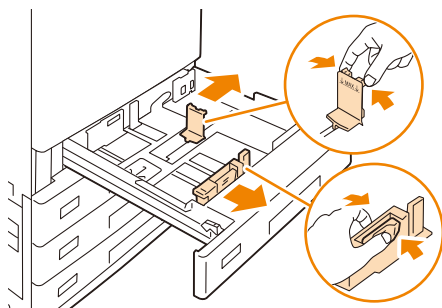
- 用紙種類の設定方法については、「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

1. 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



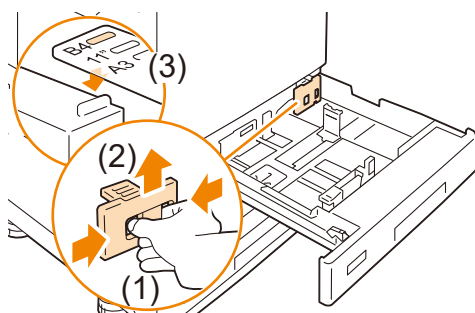
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. 2 か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

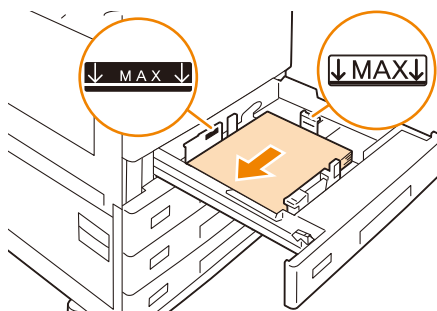


補足

- B4 以上の用紙をセットする場合は、用紙後端ガイドを用紙サイズに合わせます。用紙後端ガイドをつまんで (1) 用紙トレイから外し (2)、ガイドにある用紙サイズの穴を用紙トレイの突起に差し込みます (3)。



4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

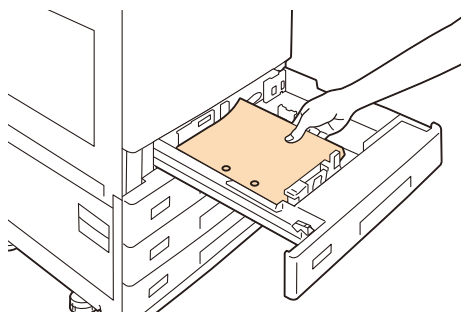


！ 注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- トレイ 1 ～ 4（3、4 はオプション）の右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

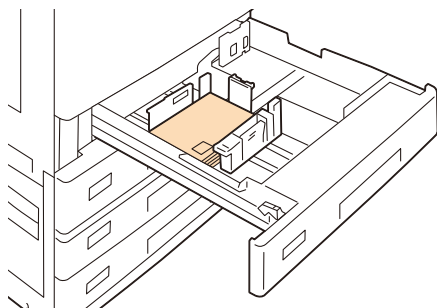
各種用紙は、次のようにセットします。

穴あき用紙の場合

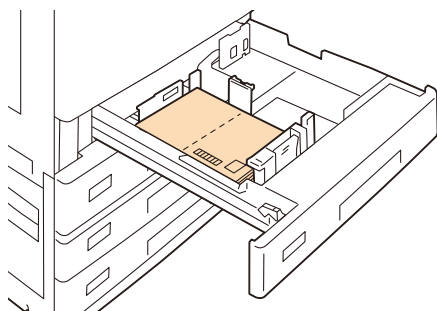


はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



💡 補足

- 往復はがきをトレイ 5（手差し）以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを [ユーザー定義用紙] に設定し、[トレイの用紙種類] に [はがき]、[用紙トレイ選択] に [自動] を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを [設定] > [用紙トレイ] で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に [はがき] を設定します。

🔧 参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.72)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

5. 用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

⚠ 注記

- 用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

6. 用紙の種類を変更した場合は、用紙トレイに、用紙種類を設定します。

🔧 参照

- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

封筒 / はがきトレイ装着時

封筒 / はがきトレイ（オプション）を標準のトレイ 1 の代わりに装着すると、トレイに封筒をセットできます。

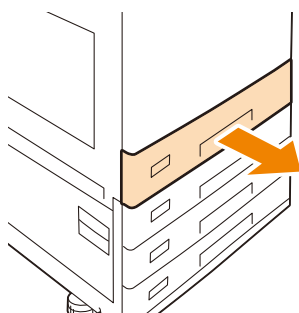
⚠ 注記

- 封筒 / はがきトレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。他のトレイの場所には取り付けられません。

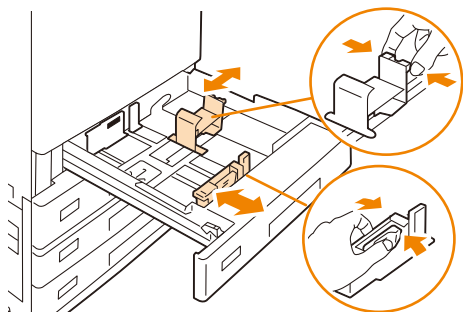
💡 補足

- 封筒 / はがきトレイと標準のトレイ 1 は同時に装着できません。
封筒 / はがきトレイを使うときは、機械管理者でログインして、[トレイ 1 の種別] の [封筒トレイ使用可能] を選び、[用紙トレイの設定] の [トレイ 1] 画面で [封筒トレイ] にチェックマークを付けてください。詳しくは、「[トレイ 1 の種別]」(P.131) と「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

1. 封筒 / はがきトレイを、手前に止まるところまで引き出します。



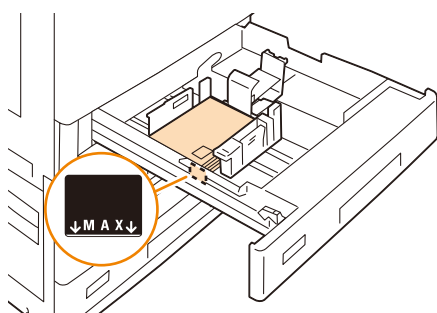
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 2 か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



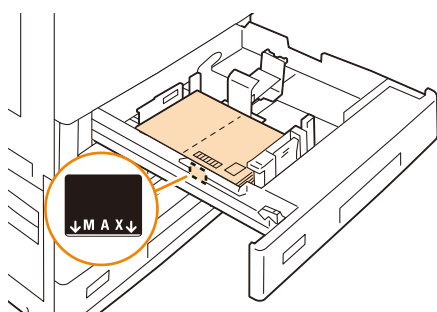
4. プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

はがきの場合

郵便はがき



郵便往復はがき



💡 補足

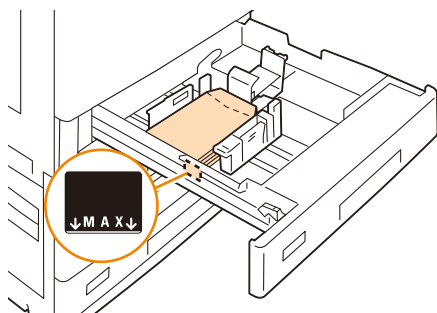
- 往復はがきをトレイ 5（手差し）以外の用紙トレイにセットする場合は、次の設定をします。
 - プリンタードライバーで、往復はがきの用紙サイズを [ユーザー定義用紙] に設定し、[トレイの用紙種類] に [はがき]、[用紙トレイ選択] に [自動] を設定します。
 - タッチパネルディスプレイで、使用する用紙トレイを [設定] > [用紙トレイ] で選び、用紙サイズに往復はがきのサイズ、用紙種類に [はがき] を設定します。

🔧 参照

- プリンタードライバーでの設定については「定形外サイズの用紙にプリントする」(P.72)、タッチパネルディスプレイでの設定については「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

封筒の場合

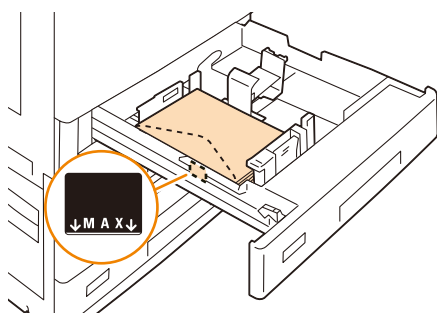
和封筒



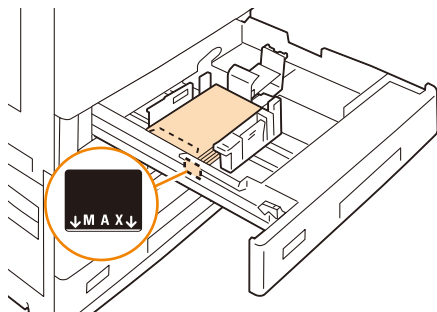
💡 補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの[基本]タブ>[製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転]>[原稿 180° 回転]を[たてよこ原稿 (封筒など)]に設定します。

洋封筒



のりやシールが付いた封筒



⚠ 注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障原因になります。
- 封筒 / はがきトレイの右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

5. 用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

⚠ 注記

- 用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

6. 用紙サイズと用紙種類を設定します。

⚠ 注記

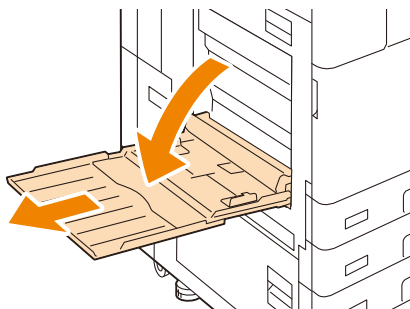
- 封筒トレイでは、封筒のサイズを自動検知できません。操作パネルで封筒のサイズを選択してください。

🔧 参照

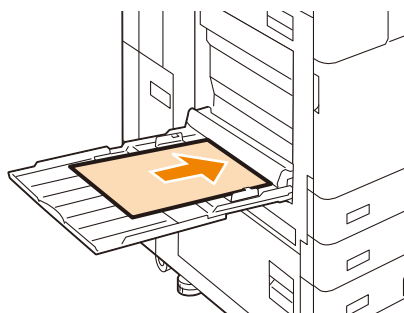
- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.64)を参照してください。

トレイ 5（手差し）に用紙をセットする

1. トレイ 5（手差し）を開きます。



2. プリントする面を下に向けて、用紙をそろえた状態で先端を軽く突き当たるまで差し込みます。



❗ 注記

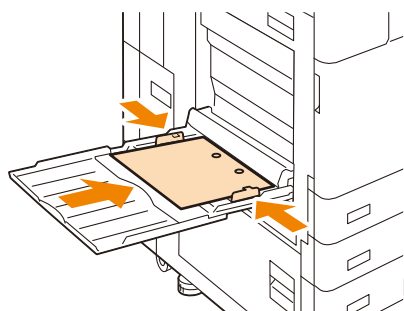
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

💡 補足

- 厚紙の種類によっては機械に送れなかったり、希望どおりの画質にならなかったりすることがあります。

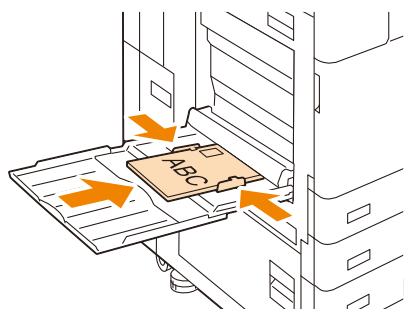
各種用紙は、次のようにセットします。

穴あき用紙の場合

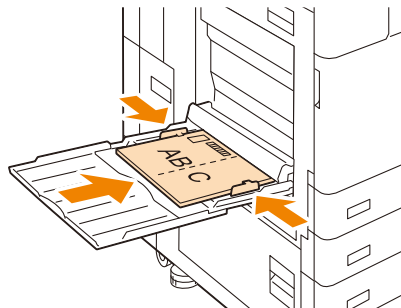


はがきの場合

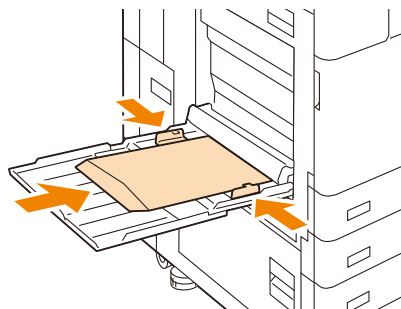
郵便はがき



郵便往復はがき



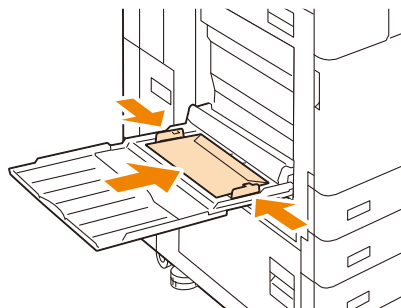
封筒の場合 和封筒



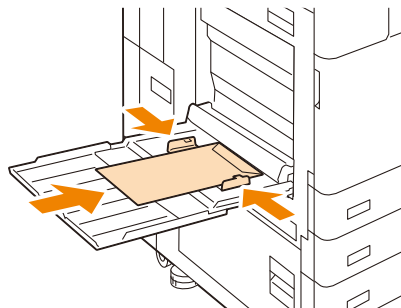
💡 補足

- フラップの反対側から給紙するため、プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。

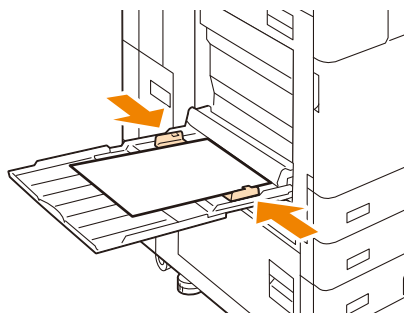
洋封筒



のりやシールが付いた封筒



- 3.** 用紙ガイドを、セットした用紙に軽く合わせます。



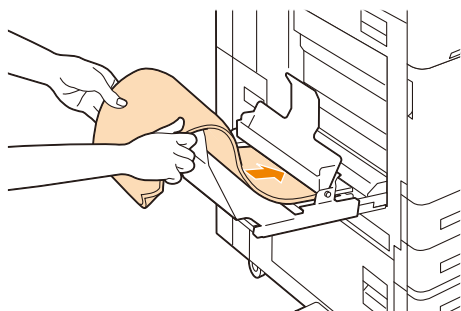
長尺サイズの内紙をセツトする

長尺用紙セツトガイド (320mm) (オプション) をトレイ 5 に取り付けると、トレイに長尺サイズの用紙をセツトできます。

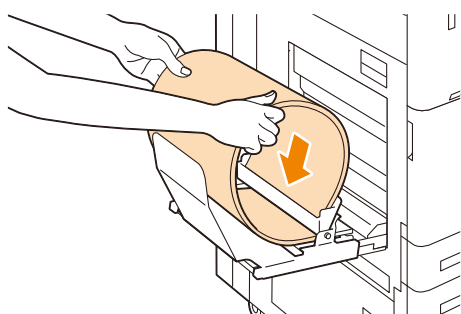


- 取り付け方法については、「長尺用紙セツトガイド (320mm) の取り付け」(P.272) を参照してください。

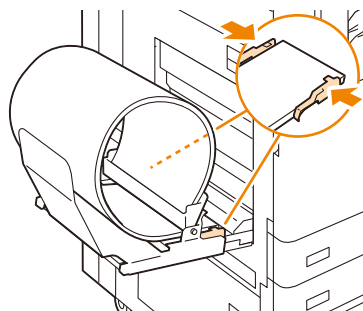
- 1.** 長尺用紙の印刷する面を下に向けて、用紙受けの下を通し用紙ガイドに沿って、軽く奥に突き当たるまで差し込みます。



- 2.** 用紙の後端を図のように丸めて、用紙受けに差し込みます。



- 3.** トレイ 5（手差し）の用紙ガイドを、セットした用紙のサイズに合わせます。

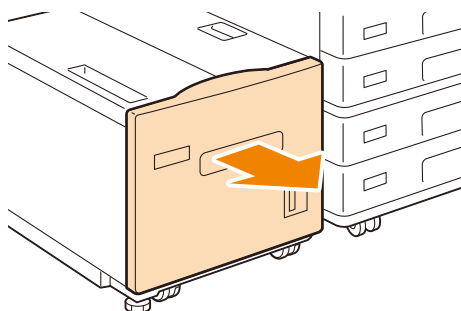


💡 補足

- 紙詰まりを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ずつ受け取ってください。

トレイ 6（大容量給紙トレイ（1 段）（オプション））に用紙をセットする

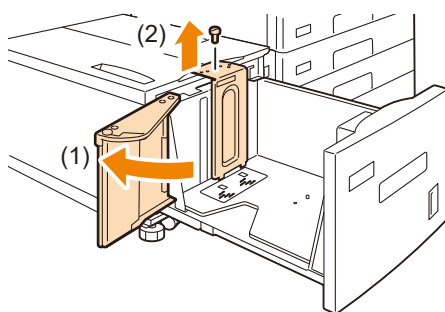
- 1.** 用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



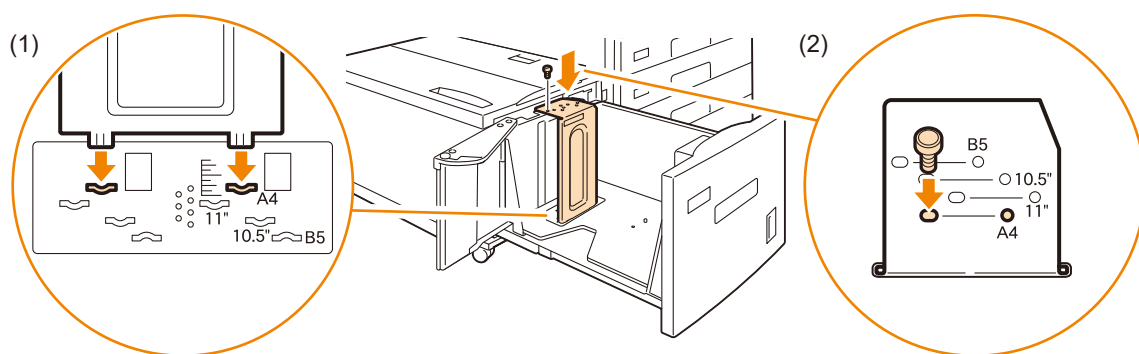
- 2.** 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

- 3.** 用紙サイズを変更する場合は、ガイドの位置を調整します。

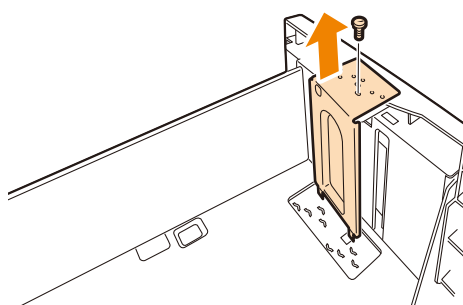
- 1)** エンドガイドを開いて (1)、奥のガイドのネジを外し (2)、ガイドを用紙トレイから外します。



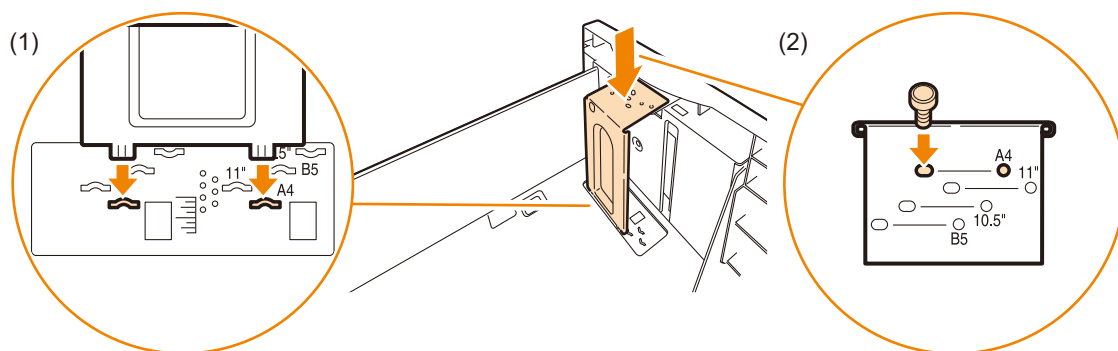
- 2) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。



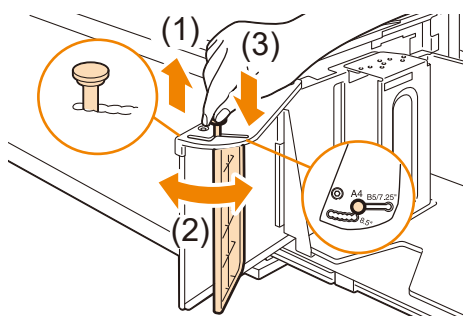
- 3) 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



- 4) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (2)。



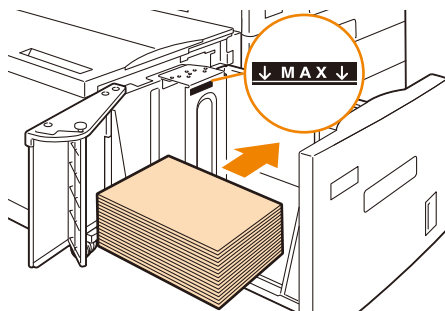
- 5) 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ (1)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (2)、レバーを下ろします (3)。



💡 補足

- エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。

4. エンドガイドを開いて、プリントする面を下にして、用紙の先端を右側にそろえてセットします。

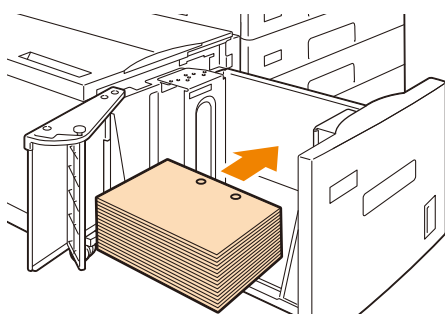


注記

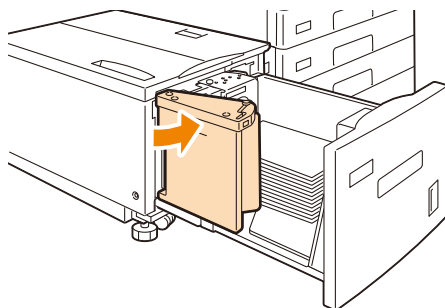
- 用紙上限線（MAX 位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 穴あき用紙を使うときは、次のようにセットしてください。



5. エンドガイドをしっかりと閉じます。



6. 用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- 用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

7. 用紙の種類を変更した場合は、用紙トレイに、用紙種類を設定します。

参照

- 用紙の種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.64) を参照してください。

用紙の設定を変更する

用紙トレイの用紙を変更したら、セットした用紙の種類、用紙の色などを設定します。また、非定形サイズ
の用紙をセットした場合は、用紙サイズも設定します。

1. ホーム画面で、[設定] > [用紙トレイ] をタップします。

2. 用紙設定を変更するトレイをタップします。



3. 用紙サイズをタップします。



💡 補足

- 非定形サイズ of 用紙をセットした場合は、[サイズ入力] をタップして、用紙サイズを設定します。

4. 用紙の種類を変更する場合は、用紙の種類をタップして設定します。

5. 用紙の色を変更する場合は、用紙の色をタップして設定します。

6. 選んでいるトレイの用紙がなくなったときに、自動的にトレイを切り替える場合は、[自動トレイ切り替え] をタップしてチェックマークを付けます。

💡 補足

- トレイ 5 (手差し) を選んでいる場合や、自動トレイ切り替え対象外のトレイを選んでいる場合、トレイは切り替わりません。

7. 自動トレイ選択時に同様の用紙設定で複数のトレイがセットされている場合、[トレイの優先順位] で優先順位を設定します。

8. [自動選択条件] をタップして条件を設定します。

💡 補足

- 設定した条件のときに、自動トレイ選択の対象になります。

9. [OK] をタップします。

10. 𓃐(ホーム) ボタンを押します。

4 プリント

4.1 コンピューターからプリントする

Windows のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは次のとおりです。



- プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. プリントするファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

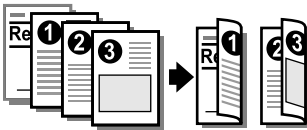
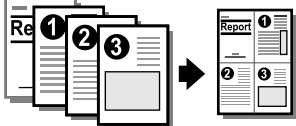


- アプリケーションによっては、メニュー名が異なることがあります。

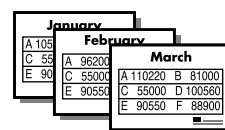
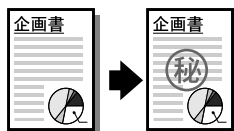
3. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
4. 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。
5. [印刷] をクリックします。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
[基本]	• [両面] 用紙の両面にプリント できます。 	• [まとめて1枚] 1枚の用紙に、複数の ページを割り付けてプ リントします。 	• [お気に入り] よく使う印刷設定が登 録されています。リス トから項目を選ぶだけ で、複数の設定が一度 にできます。設定内容 を編集したり、新たに 登録することもできま す。
	• [セキュリティ] あらかじめ、暗証番号 を設定したプリント データをプリンターに 送っておいて、操作パ ネルからプリントを指 示します。	• [サンプル] 複数部数をプリントす る場合、1部だけサン プルをプリントしま す。プリント結果を確 認したあと、残りの部 数を操作パネルからプ リントします。	• [時刻指定] プリント時刻を指定で きます。

タブ	機能
[トレイ / 排出]	• [トレイの高度な設定] 用紙トレイを「自動」に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。
	• [表紙 / 合紙付け] 表紙（先頭ページや最終ページ）だけを色紙や厚紙にプリントしたり、途中にページを区切る用紙（合紙）を挿入したりできます。
	• [ホチキス] プリントした用紙を一部ずつホチキス留めすることができます。この機能はフィニッシャー（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。 • [パンチ] プリントした用紙にパンチ穴を開けることができます。この機能は、フィニッシャー（オプション）およびパンチユニット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
	• [紙折り / 中とじ] プリントした用紙を、中央で二つ折りまたは三つ折りにできます。また、二つ折りにした折り目を、ホチキスで留めることもできます。この機能は、中とじフィニッシャー（オプション）および紙折りユニット CD1（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。 • [Z 折り] プリントした用紙を Z 折りにできます。この機能は、紙折りユニット CD1（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
[グラフィックス]	• [おすすめ画質タイプ] 写真やプレゼンテーションなど、プリントする文書の種類や用途に合わせて画質を調整できます。 • [カラー UD プリント] 赤い文字が読みやすくなるように、網や下線をつけてプリントします。
[スタンプ / フォーム]	• [スタンプ] プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。
	• [フォーム] 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。



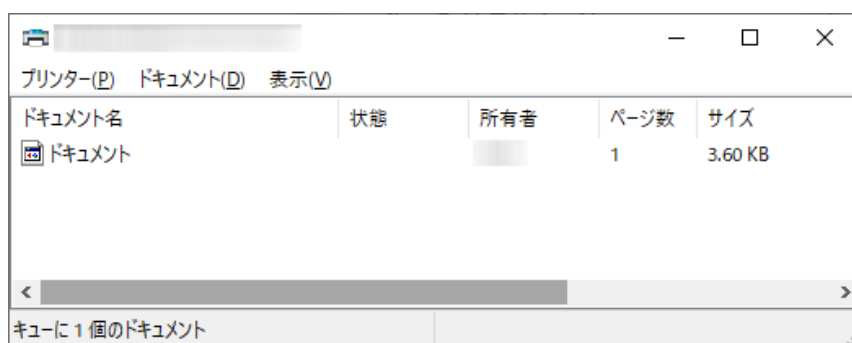
4.2 プリントを中止する / 確認する

プリントを中止する

プリントを中止するには、コンピューターでプリントの指示を取り消す方法と本機でプリントの指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. Windows のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。



💡 補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、本機でプリントを中止してください。
- CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
2. 中止するプリントジョブをタップします。



3. [ストップ] をタップします。
4. [中止] をタップします。

実行待ちのプリントジョブをプリントする

優先してプリントする

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
2. 優先してプリントするジョブをタップします。
3. [優先] をタップします。

すぐにプリントする

プリント待ちになっているジョブを、強制的にプリントできます。プリント中に中断されているジョブは、プリントを再開します。



- プリント待ちの時間は [プリント起動] で設定できます。詳しくは、「[プリント起動]」(P.122) を参照してください。

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
2. プリントするジョブをタップします。
3. [スタート] をタップします。

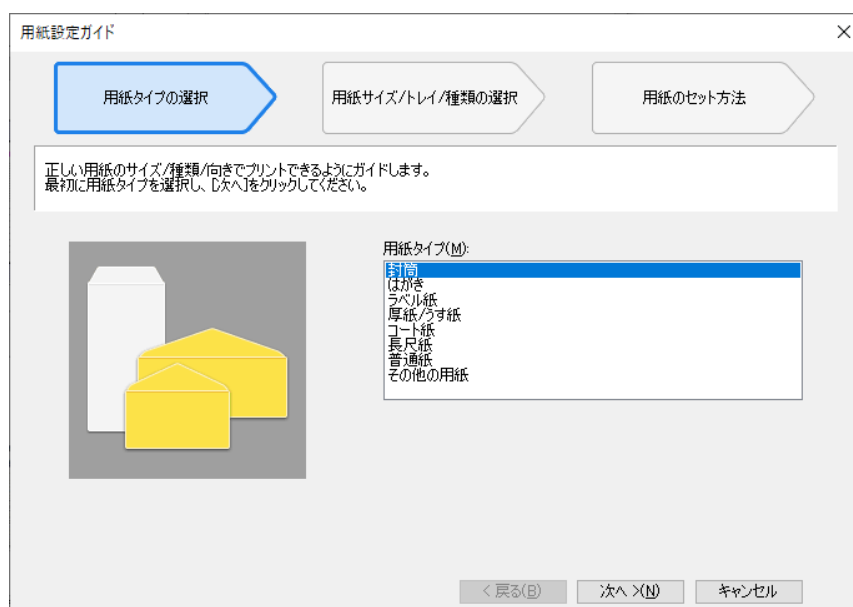
完了したプリントジョブの情報を確認する

[ジョブ情報] 画面で、完了したジョブをタップすると情報を確認できます。また、[ジョブ結果レポート] / [ジョブ別集計レポート] をプリントできます。

4.3 はがき / 封筒にプリントする

ここでは、封筒を例に説明します。

1. 封筒 / はがきトレイ（オプション）を使用する場合は、プリンタードライバーでオプションの設定をします。
 - 1) [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
 - 2) 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] の [プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。
 - [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
 - [オプションの設定] > [封筒 / はがきトレイ] に [あり] を設定します。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
3. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
4. [基本] タブの [用紙設定ガイド] をクリックします。
5. [封筒] が選ばれていることを確認し、[次へ] をクリックします。



6. 用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類、および印字向きを設定し、[次へ] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 **用紙サイズ/トレイ/種類の選択** 用紙のセット方法

用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類を選択してください。



用紙サイズ(S):
封筒長形3号 (120x235mm)

用紙トレイ選択(T):
自動 封筒 白

トレイの用紙種類(Y):
封筒

手差し用紙種類(Y):
封筒

印字向き(O):
たて

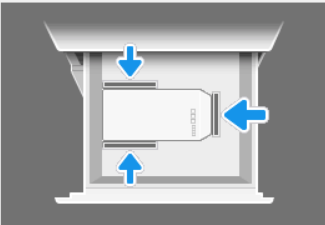
戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

7. 画面の指示に従って、用紙をセットし、[完了] をクリックします。

用紙設定ガイド

用紙タイプの選択 用紙サイズ/トレイ/種類の選択 **用紙のセット方法**

図のようにセットしてください。[完了]をクリックするとドライバーに設定内容が反映されます。



封筒のセット方法:
印刷する面を上にし、フラップ(ふた)を開いた状態で上辺が右側となるようにして、給紙トレイにセットしてください。
用紙ガイドを合わせてください。

※本体側でエラーが発生した場合や所望の印刷結果が得られなかった場合には、本体封筒作パネルの表示、および、製品のサポート情報ページで印刷方法をご確認ください。

☐ のり/シール付きの封筒を印刷する(P)

戻る(B) **完了** キャンセル

8. [OK] をクリックします。

9. [印刷] をクリックします。

4.4 定形外サイズ用の紙にプリントする

定形外サイズの用紙をセットする

定形外サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズ用の紙をセットする方法と同じです。



参照

- 詳しくは、「用紙をセットする」(P.53)を参照してください。

定形外サイズを登録する

定形外サイズの用紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルでトレイの用紙サイズを設定します。



補足

- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、[長尺紙 A (297x900mm)] または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選択することもできます。
- [原稿サイズ] の [長尺紙 A (297x900mm)] または [長尺紙 B (297x1200mm)] を選ぶと、一部のアプリケーションで原稿の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを [ユーザー定義用紙] に登録してください。
- フィニッシャーが装着されていて、長尺用紙にプリントする場合は、排出先としてサイドトレイ (オプション) が必要です。

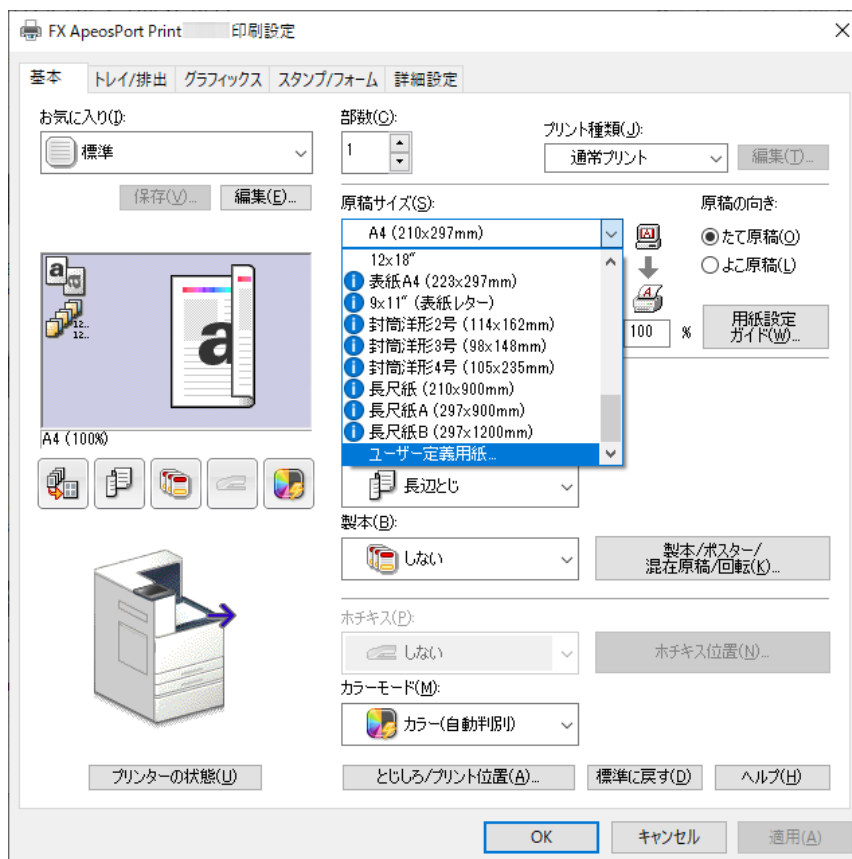


参照

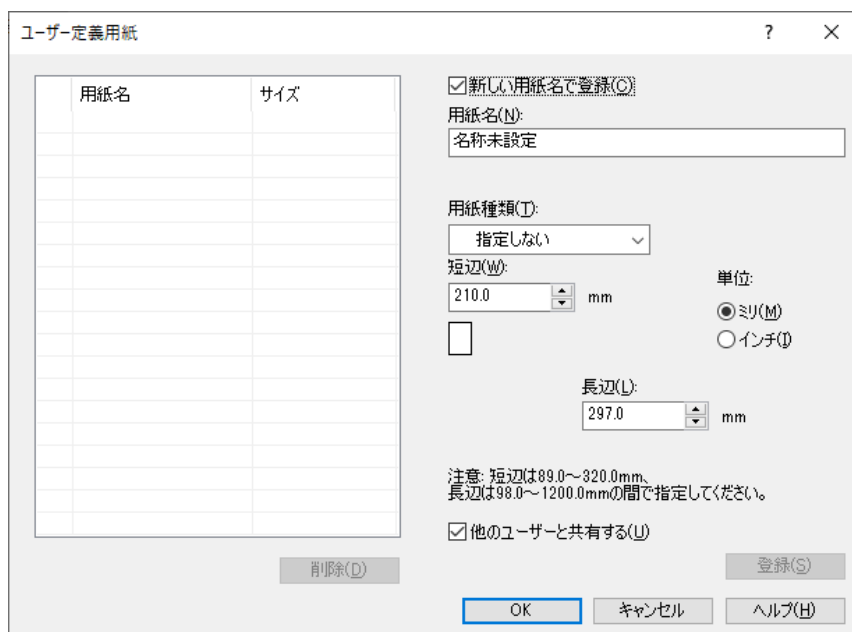
- 操作パネルでの設定については、「用紙の設定を変更する」(P.64)を参照してください。

1. [スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選びます。
3. [基本] タブをクリックします。

4. [原稿サイズ] から [ユーザー定義用紙] を選びます。



5. [新しい用紙名で登録] にチェックマークを付け、定形外を登録する用紙名を [用紙名] に入力します。



 補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選びます。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。

7. [登録] をクリックします。

8. [OK] をクリックします。

9. [OK] をクリックします。

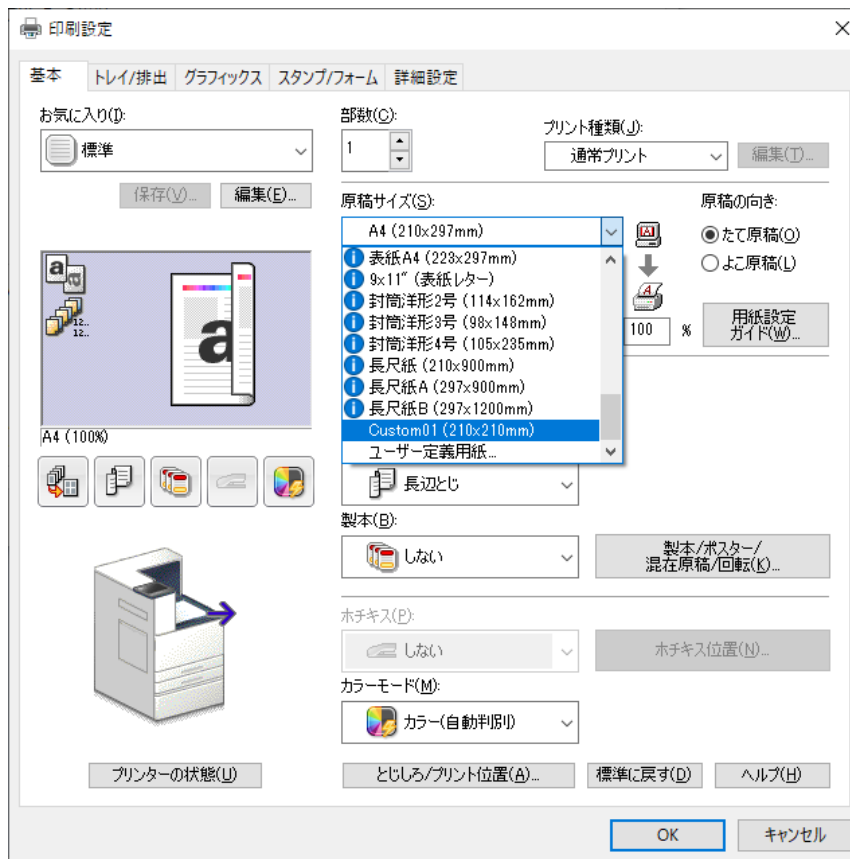
定形外サイズの内紙にプリントする

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブをクリックします。

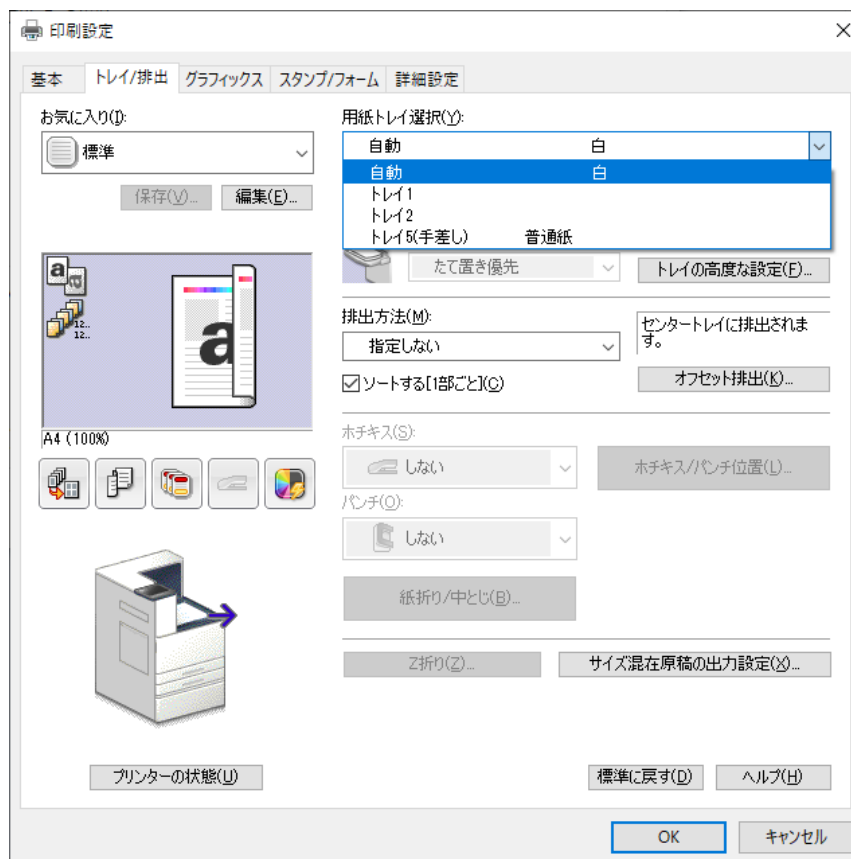
4. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



5. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズ of 用紙を選び、[OK] をクリックします。

6. [トレイ / 排出] タブをクリックします。

7. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズ用紙がセットされているトレイを選びます。



8. [用紙トレイ選択] で [トレイ 5 (手差し)] を選んだ場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。

9. [OK] をクリックします。

10. [印刷] をクリックします。

4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする

本機は、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙にプリントできます。

トレイにセットする用紙の種類を変更する場合は、操作パネルの「用紙トレイの設定」画面で、用紙種類も設定してください。設定変更後は、プリンタードライバーで本機の設定情報を取得してください。

補足

- プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、操作パネルの「用紙トレイの設定」で設定した用紙の種類が一致しない場合、機械管理者でログインし、「設定」>「アプリ設定」>「プリンター設定」>「その他の設定」>「用紙種類不一致時の処理」で設定した処理が行われます。
- プリンタードライバーで設定する用紙の種類が、トレイにセットされている用紙と合っていない場合、プリントデータが正しく処理されません。トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりして、印字品質が低下します。

参照

- トレイにセットする用紙の種類の変更については、「用紙の設定を変更する」(P.64)を参照してください。
- 本機の設定情報を取得する方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

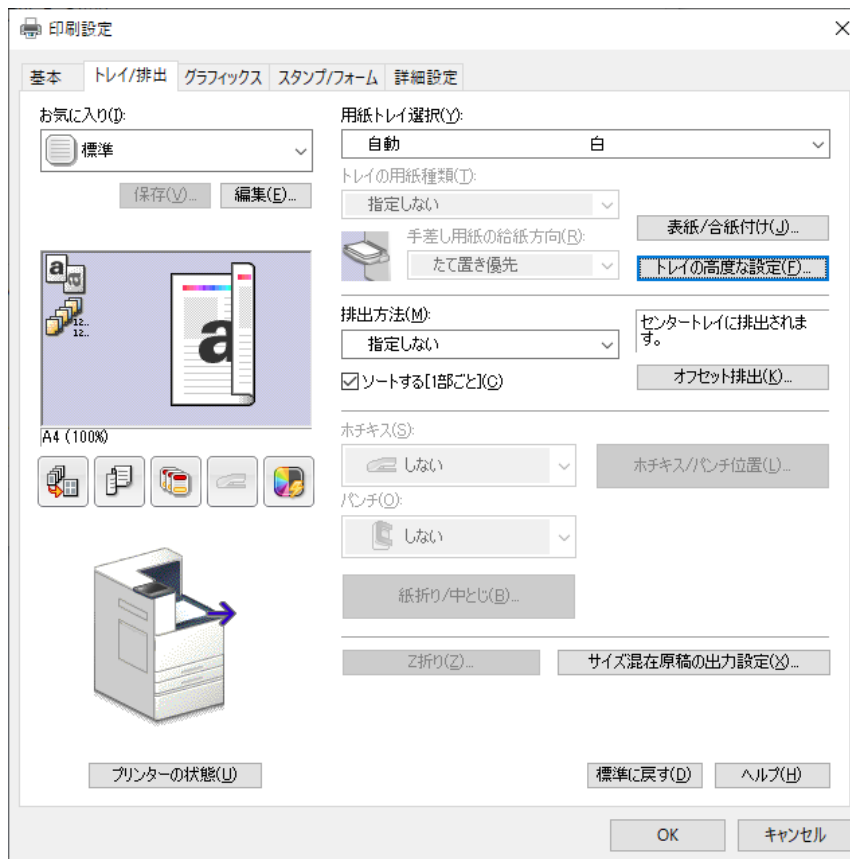
用紙種類によってトレイを自動で選択してプリントする

「用紙トレイの設定」の設定とトレイにセットされている用紙の種類が合っている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選んでプリントします。

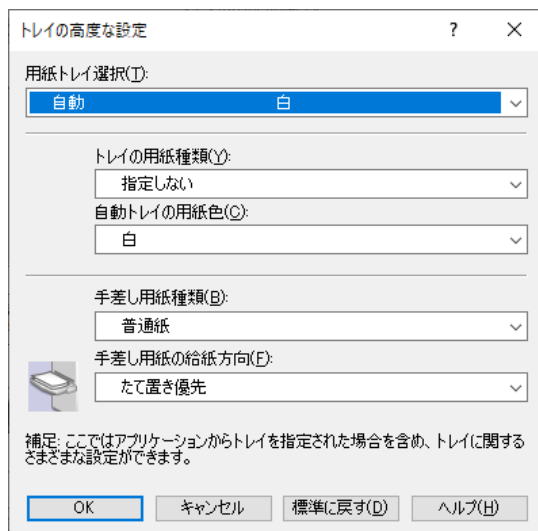
この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくてもプリントできます。

1. 「ファイル」メニューから、「印刷」を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「詳細設定」をクリックします。
3. 「トレイ / 排出」タブをクリックします。

4. [トレイの高度な設定] をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選びます。



6. [トレイの用紙種類] からプリントする用紙の種類を選び、[OK] をクリックします。

7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

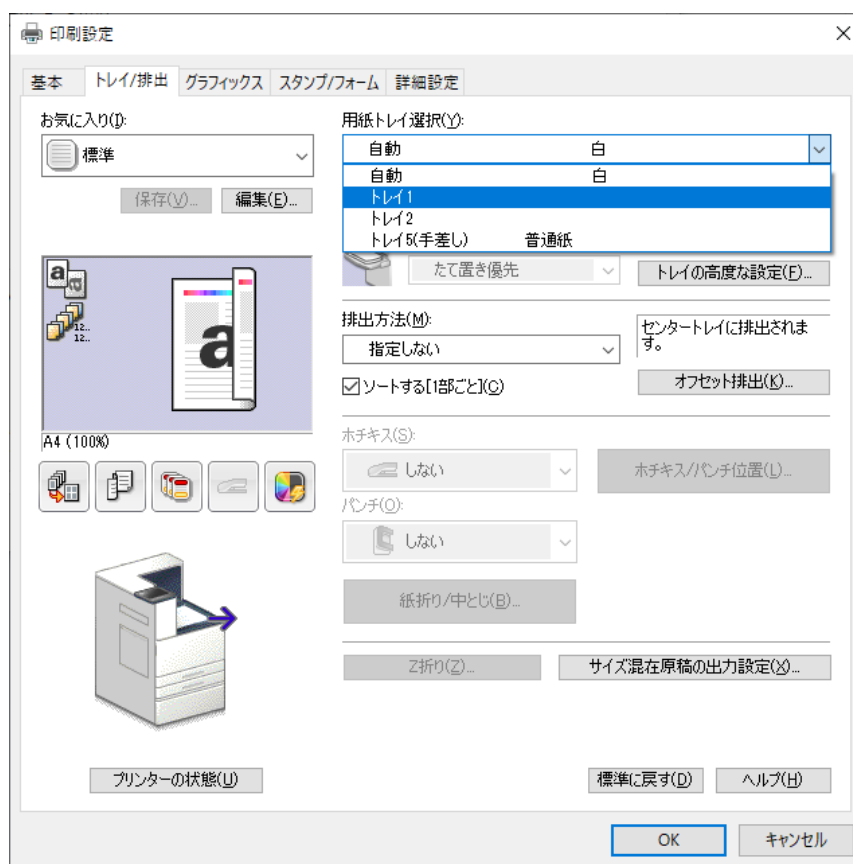
8. [印刷] をクリックします。

用紙トレイと用紙種類を設定してプリントする

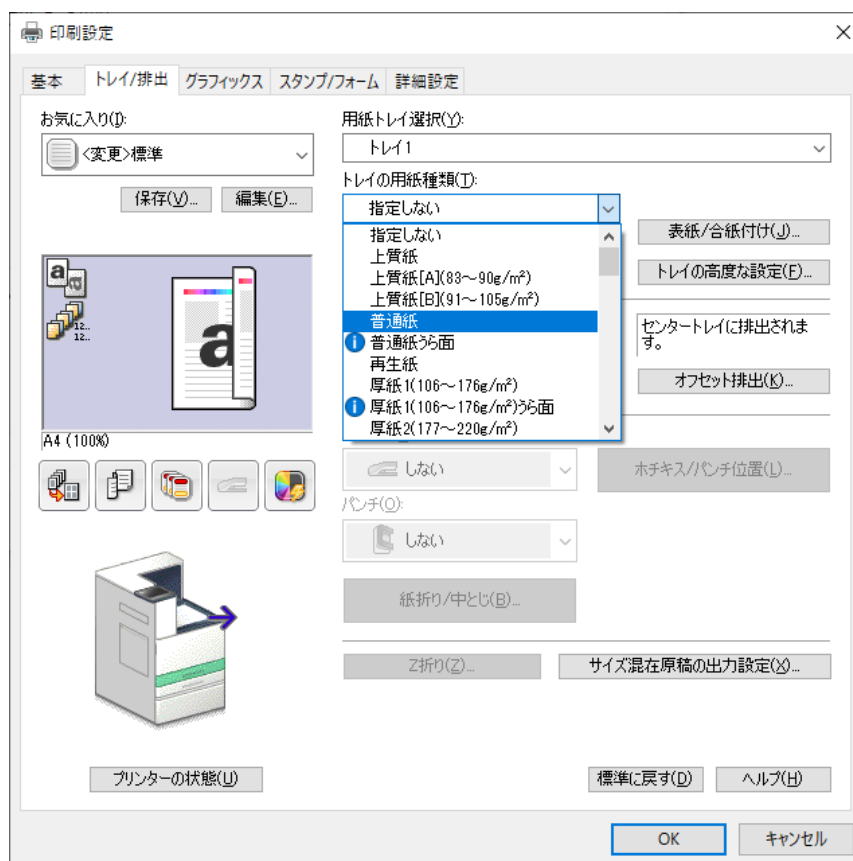
プリンタードライバーで用紙トレイと用紙種類を指定すると、操作パネルの【用紙トレイの設定】の設定に関係なく、プリンタードライバーで指定した内容でプリントできます。

ここでは、トレイ1の用紙の種類の設定は【上質紙】だが、実際にセットされている用紙は普通紙の場合を例に説明します。

1. 【ファイル】メニューから、【印刷】を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、【詳細設定】をクリックします。
3. 【トレイ / 排出】タブをクリックします。
4. 【用紙トレイ選択】から【トレイ1】を選びます。



5. [トレイの用紙種類] から [普通紙] を選びます。



💡 補足

- ここで選んだ用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. [印刷] をクリックします。

4.6 ホチキス / パンチ / 紙折り / 中とじ / Z 折りを指定してプリントする

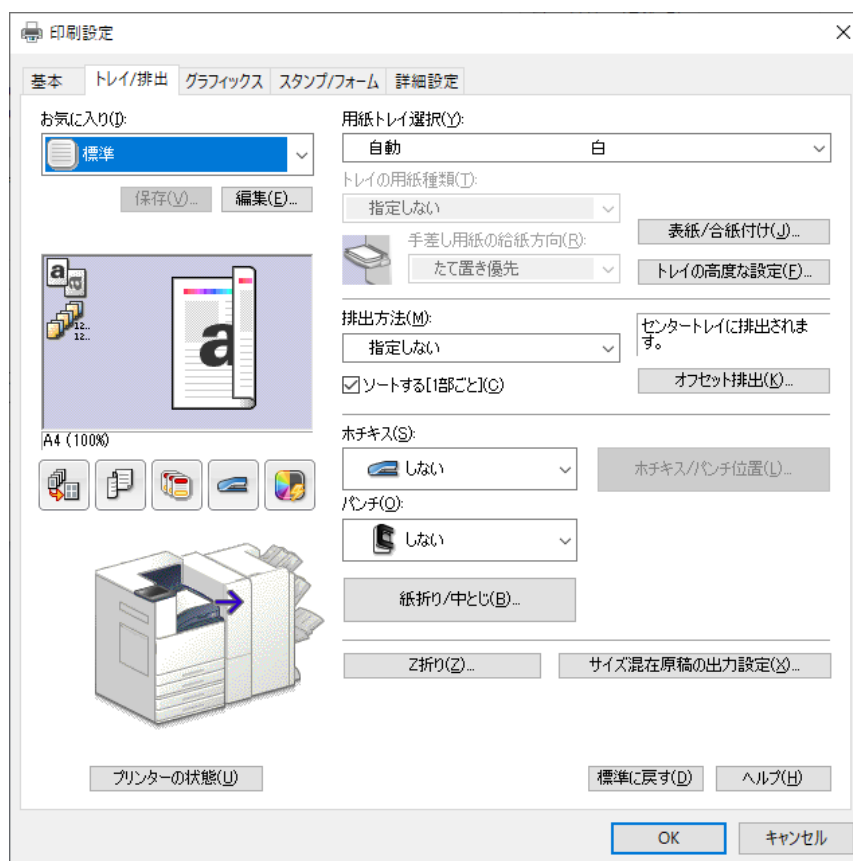
取り付けられているオプションによって、指定できる項目は異なります。

1. プリントするファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

💡 補足

- アプリケーションによっては、メニュー名が異なることがあります。

3. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。
4. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
5. 必要に応じて [ホチキス]、[パンチ]、[ホチキス / パンチ位置]、[紙折り / 中とじ]、[Z 折り] の各項目を設定します。



6. [OK] をクリックします。
7. [印刷] をクリックします。

4.7 USB メモリーに保存されたデータをプリントする

USB メモリーを本機に接続して、USB メモリーに保存したデータをプリントします。デジタルカメラの標準フォーマットで格納されたデータをプリントする〔デジカメプリント〕と、文書フォーマットで格納されたデータをプリントする〔文書プリント〕があります。

❗ 注記

- USB メモリー内のデータは、次のような理由により消失、破損するおそれがありますので、必ず内部のデータをバックアップしてからご使用ください。なお、お客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - マニュアルに記載された方法以外で USB メモリーの抜き差しをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 故障、修理などのとき
 - 天災による被害を受けたとき

対応ファイル

[デジカメプリント]	[文書プリント]
• JPEG ファイル • TIFF ファイル DCF1.0 (Exif2.0、Exif2.1、Exif2.2) の JPEG/TIFF	• PDF ファイル 拡張子：pdf、PDF1.3 以上 • TIFF ファイル 拡張子：tif、MH/MMR 圧縮、8 ビットグレースケール（非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮）、8 ビット RGB インデックスカラー（非圧縮、PackBits 圧縮）、24 ビット RGB カラー（非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮） • XPS (XML Paper Specification) ファイル 拡張子：xps、oxps • DocuWorks 文書 拡張子：xdw • DocuWorks バインダー 拡張子：xbd • JPEG (JFIF) ファイル 拡張子：jpg、グレースケール（8 ビット）、カラー（24 ビット、sRGB 色空間）

💡 補足

- デジタルカメラで使われる DCF (Design rule for Camera File system) 規格のフォルダーは表示されません。
- フォルダーの数が 900 個を超えるメディアは、正しく認識されないことがあります。
- ファイルのフルパス（すべての階層のフォルダー名、およびファイル名を含んだ文字列）が 257 文字を超える場合は、表示されません。
- ファイル名に、本機でサポートしていない文字が含まれる場合は、画面に表示されないことがあります。
- デジタルカメラのファイルを USB メモリーに保存しプリントする場合は、デジタルカメラの DCIM フォルダーごと保存してください。
- 処理できるファイル数は、900 ファイルです。
- USB メモリーは、コンピューターでフォーマットしたものを使用してください。（対応しているフォーマットは FAT12、FAT16、FAT32 のみです。NTFS、exFAT フォーマットには対応していません。）
- USB メモリーは、最大容量が 128 GB までのものを使用してください。
- ファイル名に機種依存コードを使用している場合は、ファイル認識や画面表示が正しく行われない場合があります。
- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。

使用時の注意

- Exif フォーマットでない画像ファイル（コンピューターで作成された JPEG/TIFF ファイル）はプリントできません。
- 本機の電源を切るときには、メディアを取り外してから行ってください。
- メディアは、プリントが終了したら必ず手順に従って取り外してください。
- メディア内のファイル数や容量によっては、プリントに数分から数十分かかることがあります。
- PDF ファイルをプリントする場合、[PDF エミュレーション設定] の「プリント処理モード」の設定にかかわらず、「PDF Bridge」が使用されます。



• プリント処理モードについては、「モードメニュー画面」(P.323) を参照してください。

- USB ホストアダプターを利用して、お客様がお持ちの USB メモリーおよび USB ケーブル（必要に応じて）からプリントできますが、動作保証はできません。
- 複数の USB メモリーを同時に装着して使用することはできません。
- 次の USB メモリーは動作保証の対象外です。
 - USB メモリーのコンテンツにアクセスするために別途ユーティリティが必要なメディアパーティションが複数ある USB メモリー
 - 外付けのハブを介して接続した USB メモリー
- 著作権保護機能付きの音楽データなどのバックアップできないデータが保存されたメディアは使用しないでください。データの破損・消失による直接・間接の損害につき、弊社は一切の責任を負いかねます。

文書プリント

1. USB メモリー差込口に、USB メモリーを差し込みます。



- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で、[文書プリント] をタップして、手順 4 に進みます。

2. [確認] をタップします。



3. [文書プリント] をタップします。



4. 対象フォルダーからプリントする文書ファイルにチェックマークを付けます。



補足

- [文書プリント] 画面が表示されたら、[文書を追加する] をタップしてください。

5. [OK] をタップします。

6. 必要に応じて、各機能を設定します。



参照

- 詳しくは、「機能リスト」(P.86) を参照してください。

7. [プリント] をタップします。

デジカメプリント

1. USB メモリー差込口に、USB メモリーを差し込みます。



補足

- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で、[デジカメプリント] をタップして、手順 4 に進みます。

2. [確認] をタップします。



3. [デジカメプリント] をタップします。



4. 該当するフォルダーからプリントする写真ファイルにチェックマークを付けます。

💡 補足

- [デジカメプリント] 画面が表示されたら、[写真を追加する] をタップしてください。

5. [OK] をタップします。

6. 必要に応じて、各機能を設定します。



🔍 参照

- 詳しくは、「機能リスト」(P.86) を参照してください。

7. [プリント] をタップします。

USB メモリーの取り外し

USB メモリー内のデータへのアクセス中やプリント中に USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータを破壊する場合があります。

USB メモリーは、次の手順で取り外してください。

1. 設定画面の  または  をタップします。



2. [はい (取り出す)] をタップします。

3. USB メモリーを取り外します。

機能リスト

機能リストとは、たとえば文書プリントの操作画面に表示されるカラーモードや部数などの設定項目の一覧のことです。

[部数]

部数を入力します。

[インデックスプリント]

インデックスプリントを有効にします。縮小画像の一覧とインデックス番号、ファイル名、メディアへの書き込み日時がプリントできます。



- [デジカメプリント] の場合に表示されます。

[カラーモード]

フルカラーまたは白黒を設定します。

[用紙選択]

用紙トレイを選びます。[自動] を選ぶと、適切な用紙トレイが選択されます。

[両面プリント]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[ホチキス]

ホチキスの位置を設定します。



補足

- ・ [文書プリント] の場合に表示されます。

[パンチ]

パンチの位置を設定します。



補足

- ・ [文書プリント] の場合に表示されます。

[出力写真サイズ]

出力写真サイズを設定します。



補足

- ・ [デジカメプリント] の場合に表示されます。

[まとめて1枚(Nアップ)]

2枚、4枚、8枚の原稿を1枚にまとめてプリントします。プリント時のレイアウトや原稿のセット向きを指定します。



補足

- ・ [文書プリント] の場合に表示されます。

[スムージング]

イメージにスムージング処理をして、滑らかに見せるかどうかを設定します。

機能リストのカスタマイズ

プリセットとして保存する



補足

- ・ プリセットを上書き保存する機能もあります。プリセットが選択された状態で機能リストの設定値を変更したときのみ、[カスタマイズ] のメニューに [プリセットを上書き保存] が追加されます。

1. 機能リストを設定します。
2. 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
3. [プリセットとして保存] をタップします。
4. プリセット名を入力します。
5. [次へ] をタップします。
6. 表示アイコンをタップします。
7. [確定] をタップします。

機能リストの先頭に [プリセット] とプリセット名が表示されます。

初期値として保存する



補足

- ・ [デジカメプリント] の場合に表示されます。

1. 機能リストで保存したい初期値を設定します。
2. 画面下部の「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」をタップします。
3. 「初期値として保存」をタップします。
4. 「はい (保存する)」をタップします。

機能リストを編集する

1. 画面下部の「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」をタップします。
2. 「機能リスト編集」をタップします。

表示 / 非表示を設定する

- 1) 機能リスト編集画面で  または  をタップします。

補足

- 表示されている機能は 、非表示の機能は  のアイコンが表示されます。

表示位置を変更する

- 1) 移動したい機能をロングタッチして、希望の位置まで移動します。



3. 「確定」をタップします。

保存したプリセットを削除する

1. 画面下部の「カスタマイズ」または「個人用カスタマイズ」をタップします。
2. 「プリセット削除」をタップします。
3. 削除するプリセットの  をタップします。
4. 「はい (削除する)」をタップします。
5. 「完了」をタップします。

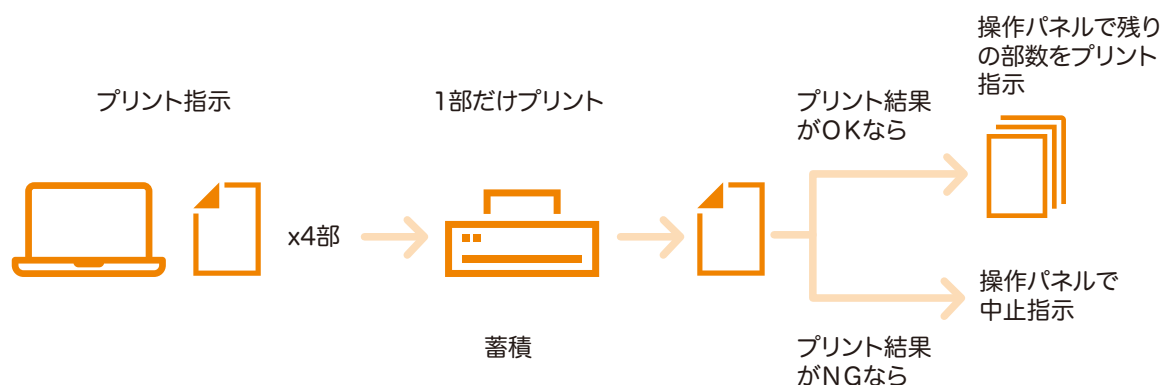
カスタマイズで保存 / 編集した設定を削除する

1. 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
2. [すべてのカスタマイズをクリア] をタップします。
3. [はい (削除する)] をタップします。

4.8 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

サンプルプリントについて

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを蓄積し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。



💡 補足

- 不要になったサンプルプリントデータは、プリントする場合と同様の手順で削除できます。詳しくは、「操作パネルでの操作」(P.90) を参照してください。

サンプルプリントをする

まず、サンプルプリントの設定をコンピューターで行い、プリント指示をします。そのあと、本機での操作でプリントします。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーの「基本」タブで、「部数」を 2 部以上に設定し、「プリント種類」から「サンプル」を選んでプリントします。文書が本機内に蓄積されます。

📖 参照

- プリンタードライバーでの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作パネルでの操作

1 部だけ出力されたプリント結果を確認したあと、本機内に蓄積されている残り部数のプリントデータをプリントするか、プリントデータを削除します。

1. ホーム画面で、「ジョブ情報」をタップします。
2. 画面下部の「サンプルプリント」をタップします。

💡 補足

- 「サンプル / 時刻指定プリント」と表示されている場合は、「サンプル / 時刻指定プリント」 > 「サンプルプリント」をタップします。
- 「その他の文書」の表示がある場合は、「その他の文書」 > 「サンプルプリント」をタップします。

3. 文書が保存されているフォルダーをタップします。

4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。



💡 補足

- 残りの部数をプリントせずに、本機内に蓄積されているプリントデータを削除する場合は、[削除] をタップします。

5. 部数を入力します。

6. [プリント] をタップします。

7. [はい (プリントする)] をタップします。



サンプルプリント文書をプリントします。残り部数をプリントしたあと、文書は削除されます。

💡 補足

- [プリント時の確認画面表示] が [しない] に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.134) を参照してください。

4.9 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを蓄積しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

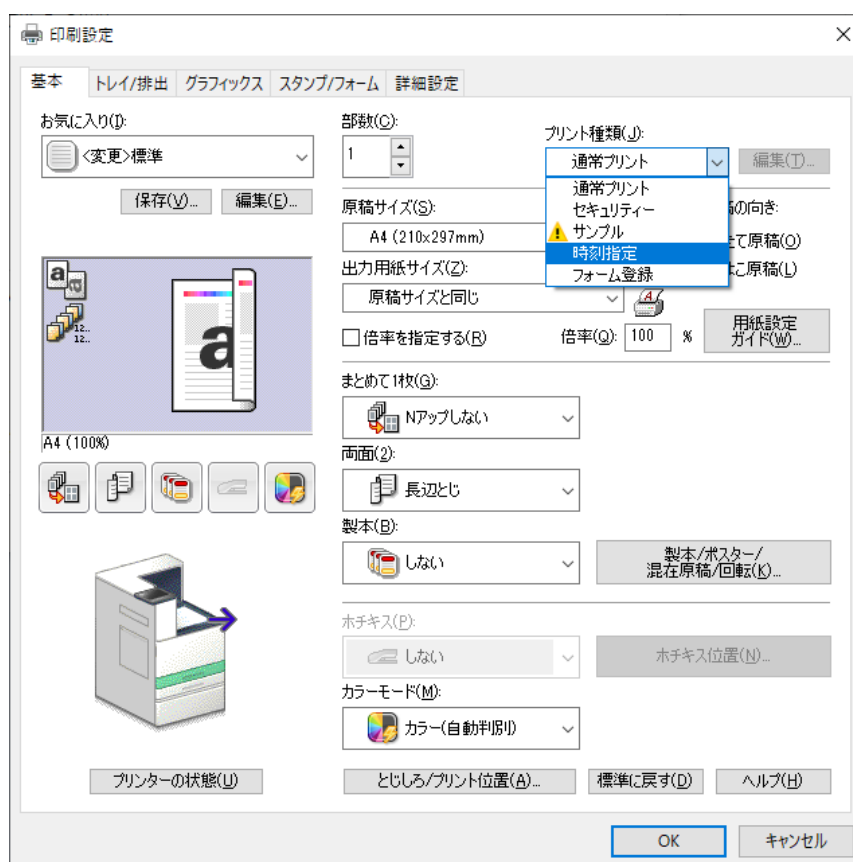
蓄積できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

💡 補足

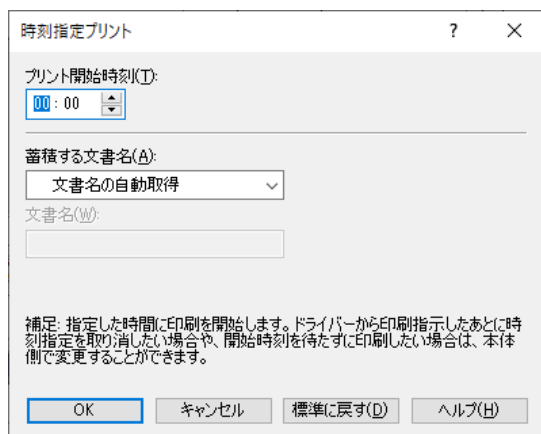
- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。
- 指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

時刻指定プリントをする

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選び、[編集] をクリックします。



4. プリントを開始する時刻を設定します。



時刻指定プリント

プリント開始時刻(T):
00:00

蓄積する文書名(A):
文書名の自動取得

文書名(W):

補足: 指定した時間に印刷を開始します。ドライバーから印刷指示したあとに時刻指定を取り消したい場合や、開始時刻を待たずに印刷したい場合は、本体側で変更することができます。

OK キャンセル 標準に戻す(D) ヘルプ(H)



補足

- 24 時間制で設定してください。

5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。

6. [OK] をクリックします。

7. [基本] タブで、[OK] をクリックします。

8. [印刷] をクリックします。

指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻を無視してプリントする

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視してプリントしたいときは、操作パネルで操作します。

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。

2. 画面下部の [時刻指定プリント] をタップします。



補足

- [サンプル / 時刻指定プリント] と表示されている場合は、[サンプル / 時刻指定プリント] > [時刻指定プリント] をタップします。
- [その他の文書] の表示がある場合は、[その他の文書] > [時刻指定プリント] をタップします。

3. 中止する文書またはプリントする文書をタップします。

4. [削除] または [プリント] をタップします。



💡 補足

- [プリント] をタップした場合は、プリントしたあとに文書が削除されるため、設定した時刻にはプリントされません。

4.10 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティプリントについて

プリンタードライバーでユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示したデータを本機に蓄積させ、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。プリンタードライバーで [セキュリティ] を選んだプリントジョブだけ本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで任意のユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機でユーザー ID を選び、暗証番号を入力してプリントする文書を選びます。

セキュリティプリントをする

まず、セキュリティプリントの設定をコンピュータで行い、プリント指示をします。そのあと、本機での操作でプリントします。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーの [基本] タブで、[プリント種類] から [セキュリティ] を選び、[編集] で [ユーザー ID] と [暗証番号] を設定して、プリントします。



- プリンタードライバーでの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作パネルでの操作

本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
2. 画面下部の [セキュリティプリント] をタップします。
3. 対象のユーザーをタップします。



 補足

- ユーザーに  が表示されている場合は、プリンタードライバーで指定した暗証番号の入力が必要です。暗証番号を入力して、[OK] をタップします。

4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。



5. 部数を入力します。

6. [プリント] をタップします。

7. プリント後の処理を選びます。



4.11 機密文書をプリントする - プライベートプリント -

プライベートプリントについて

プリンタードライバーで設定したユーザー ID と、本機や外部認証サーバーで登録した認証情報が一致した場合に、コンピューターでプリントを指示したデータは本機に蓄積され、IC カードや本機のタッチパネルディスプレイで認証したあとに、本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーでユーザー ID を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機で IC カードやタッチパネルディスプレイで認証し、ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。

補足

- プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

操作パネルでの設定

プライベートプリントは、機械管理者でログインし、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティー設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に使用できます。

- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信制御] を [プライベートプリントに保存] に設定。
- [認証方式の設定] が [外部認証] の場合で、[認証 / プライベート プrint の設定] > [受信制御] を [プリンターの認証に従う]、[認証 / プライベート プrint の設定] > [受信制御] > [認証成功のジョブ] を [プライベートプリントに保存] に設定。
- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信制御] > [プライベートプリントに保存]、[PJM 命令なしのジョブ] > [User ID の利用] を [User ID があるときは利用する]、[User ID があるときの動作] を [プライベートプリントに保存] に設定。

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

参照

- プリンタードライバーでの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プライベートプリントをする

蓄積されている文書を選んでプリントします。

1. 認証ユーザーで本機にログインします。
2. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
3. 画面下部の [プライベートプリント] をタップします。

4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。



5. 部数を入力します。

6. [プリント] をタップします。

 補足

- プリントしたあと、文書は削除されます。

プライベートプリント（一括出力）をする

認証ユーザーがプライベートプリントとして蓄積している文書を一度にプリントします。

1. 認証ユーザーで本機にログインします。
2. ホーム画面で、[プライベートプリント（一括出力）] をタップします。

保存された文書がすべてプリントされます。

 補足

- プリントしたあと、文書は削除されます。
- 一度の操作で、100 文書までプリントできます。
- 外部認証で [認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定した場合、プリントの利用を制限しても、本機能が利用可能な状態となります。

4.12 機密文書をプリントする - 認証プリント -

認証プリントについて

コンピュータでプリントを指示したデータを蓄積用ユーザー ID ごとに本機内に蓄積させ、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。セキュリティプリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID と暗証番号を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機に蓄積用ユーザー ID ごとに蓄積されます。ユーザー ID なしのジョブは〔(ユーザー ID なし)〕に保存されます。
出力方法	本機で蓄積用ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブ、ContentsBridge や CentreWare Internet Services を使用したプリント、メール受信プリントなど）も本機に蓄積してプリントできます。

認証プリントをするための設定

操作パネルでの設定

認証プリントは、機械管理者でログインし、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に使用できます。

- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信時の PJL 命令制御] を [する] に設定。
- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信時の PJL 命令制御] > [しない]、[受信制御] を [認証プリントに保存] に設定。
- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信時の PJL 命令制御] を [しない]、[認証方式の設定] を [認証しない]、[受信制御] を [プリンターの認証に従う] に設定し、[認証が不正のジョブ] を [認証プリントに保存]、または [User ID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信時の PJL 命令制御] を [しない]、[受信制御] を [プライベートプリントに保存]、[User ID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- [認証 / プライベート プrint の設定] > [受信制御] > [プライベートプリントに保存]、[PJL 命令なしのジョブ] > [User ID の利用] を [User ID があるときは利用する]、[User ID があるときの動作] を [認証プリントに保存] に設定。

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティで蓄積用ユーザーの ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザーの ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

参照

- プリンタードライバーでの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

1. ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。

2. 画面下部の「認証プリント」をタップします。

💡 補足

- 「その他の文書」の表示がある場合は、「その他の文書」 > 「認証プリント」をタップします。

3. 対象のユーザーをタップします。



💡 補足

- ユーザーに  が表示されている場合は、暗証番号の入力が必要です。暗証番号を入力して、[OK] をタップしてください。

4. プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。



5. 部数を入力します。

6. 「プリント」をタップします。

💡 補足

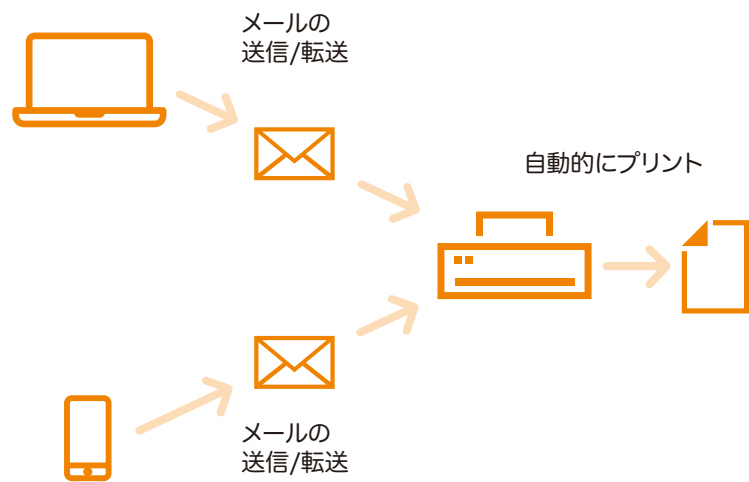
- プリントしたあと、文書は削除されます。

4.13 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

メール受信プリントについて

ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

この機能を「メール受信プリント」といいます。



メールを受信してプリントする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

💡 補足

- メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分だけプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。
3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up ^{*1*2} （まとめて一枚）	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター（8.5×11"）	letter
	リーガル	legal

*1 :添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、[PDF エミュレーション設定] の「プリント処理モード」を「PS」に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。

*2 :メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 :1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

2. 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。

ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ（,）で区切り、「@@ ジョブ属性（, ジョブ属性）（, ジョブ属性）@@」と入力します。

指定例

メールの件名に次のように入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ジョブ属性を指定するときに、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- ジョブ属性、カンマ（,）、およびアットマーク（@）は、半角を使用してください。

参照

- メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の「受信メールシートのプリント」でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

4. メールの件名を確認し、送信します。

4.14 BMLinkS

BMLinkS は、JBMIA が推進しているオフィス機器インターフェイスです。

本機は、仕様環境 BMLinkS 2013 に準拠し、JBMIA による BMLinkS 認証を受けています。

BMLinkS 機能名：プリント



- プリンタードライバーとマニュアルを次のアドレスからダウンロードしてください。
<http://bmlinks-committee.jbmia.or.jp/>

5 スマートフォン / タブレットからのプリント

5.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する

スマートフォン / タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、Web ページやメールなどをプリントできます。

次のどちらかの方法で、本機をスマートフォン / タブレットと接続します。

- Wi-Fi 接続
本機とスマートフォン / タブレットを無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン / タブレットを直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。



接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.24) を参照してください。

スマートフォン / タブレットの設定



操作方法はスマートフォン / タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン / タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン / タブレットの Wi-Fi 機能を有効にします。
2. SSID を選びます。
3. 画面の指示に従って、接続を完了します。



接続に必要な暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

本機に Wi-Fi Direct 接続の設定をする

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。

2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] をタップします。



4. [無線 LAN 設定] をタップします。



5. [基本設定] をタップします。



6. [有効] を選び、必要に応じて [動作周波数帯] を選んで、[OK] をタップします。



7. [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。



8. [有効] を選び、[OK] をタップします。



9. 𐀀(ホーム) ボタンを押します。

10. [はい (再起動する)] をタップします。



グループ設定について

[グループ設定] では、次の項目が設定できます。初期設定はグループオーナーです。

設定項目		設定内容
[自動]		本機をグループオーナーに固定しない場合に選びます。
	[デバイス名]	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名前を、32 文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先を選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。
[グループオーナー]		本機を Wi-Fi ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントと同様に、モバイル機器から本機を検出できるようになります。
	[SSID サフィックス]	Wi-Fi Direct で識別するネットワークの名前を表示します。「DIRECT-」に続く部分を 23 文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワークを選ぶときは、ここで指定した名前が表示されます。
	[パスフレーズ]	パスフレーズとして 8 ～ 63 文字の英数字を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

💡 補足

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。

本機とモバイル機器を接続する

📖 参照

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン / タブレットなどのモバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する

本機のメニューからモバイル機器との接続を解除する方法

1. [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] の [Wi-Fi Direct 設定] メニューで、[SSID サフィックス] または [パスフレーズ] を変更します。

新しい SSID、パスフレーズで Wi-Fi Direct のグループが再構築されるため、モバイル機器との接続が解除されます。

接続中のモバイル機器の Wi-Fi 設定画面から本機との接続を解除する方法

1. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi の接続を解除します。

モバイル機器の自動接続が有効の場合：

Wi-Fi の接続を解除しても、モバイル機器は自動で本機の Wi-Fi Direct と再接続します。そのため、新たなモバイル機器の接続の前に自動接続してしまい、再び接続上限になってしまう可能性があります。その場合は、モバイル機器の自動接続を無効に設定するか、手順 2 の設定削除を実行します。

モバイル機器の自動接続が無効の場合：

Wi-Fi 接続を解除すると、モバイル機器の Wi-Fi 設定画面から再接続を実行するまで接続が解除されます。

補足

- モバイル機器によっては、自動接続の切り替えができない場合があります。

2. モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、接続中の本機の SSID を選び、モバイル端末に保存された Wi-Fi 接続設定情報を削除します。

本機のメニューからすべてのモバイル機器との接続を解除する方法

1. [設定] > [機械確認 / レポート] > [無線 LAN の接続状態] で、[Wi-Fi Direct 切断] をタップします。

5.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン / タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントできます。App Store や Google Play から無料でダウンロードできます。

詳しくは、次の URL を参照してください。

- iOS の場合 : https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/
- Android の場合 : https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/

5.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や macOS/OS X のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。



- AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

AirPrint の設定を有効にする

1. CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者でログインします。
2. 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
3. [モバイルプリント設定] の [AirPrint™] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。



- USB で接続しているときは、[USB 接続] にもチェックマークを付けます。

4. 必要に応じて、各機能を設定します。
5. [保存] をクリックします。

コンピューター側の設定 (macOS/OS X のみ)

AirPrint を使用する場合は、あらかじめ本機をコンピューターに登録しておく必要があります。



- USB 接続の場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると自動的に登録されるため、この設定は不要です。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、[Apple] メニュー > [システム環境設定] をクリックします。
2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. [+] (追加) をクリックします。



- [+] (追加) をクリックしたときにドロップダウンメニューが表示された場合は、[プリンタまたはスキャナを追加] を選びます。

4. [名前] の一覧から本機を選びます。



- ネットワーク内のプリンターが自動的に検出されて [名前] の一覧に表示されます。表示されない場合は、本機とコンピューターのネットワーク設定を確認してください。

5. [ドライバ] > [Secure AirPrint] または [AirPrint] > [追加] をクリックします。

iBeacon for Printers を有効にする

AirPrint を使ってプリントするときに、iOS 端末の [アクション] > [プリント] > [プリンタ] で近くにある本機を選択できるようにします。

補足

- 本機能を有効にすると、異なるサブネットに接続されているために Bonjour で見つけることのできない本機を検索できます。

1. CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者でログインします。
2. [ネットワーク] > [Bluetooth] をクリックします。
3. [ポート (Bluetooth Low Energy)] にチェックマークを付けます。
4. [iBeacon for Printers] にチェックマークを付けます。
5. [保存] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、Web ページ、または文書を開きます。
2.  のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

Mopria プリントサービス

Mopria プリントは Android 搭載のスマートフォンやタブレット（Android 4.4 以降）から、Mopria 認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめに Google Play ストアから、Mopria プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使って本機に接続します。

補足

- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、CentreWare Internet Services の [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] に設定する必要があります。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

1. CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者でログインします。
2. 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
3. [モバイルプリント設定] の [Mopria®] をクリックして、[オン] にチェックマークを付けます。
4. [保存] をクリックします。

Mopria プリントサービスでプリントする



参照

- 詳しくは、「<http://mopria.org/>」を参照してください。

6 本体の設定

[ホーム] 画面の [設定] をタップすると表示される設定項目について説明します。

💡 補足

- 機械管理者としてログインした場合だけ表示される項目があります。

1. 機械管理者としてログインする場合は、ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップしてログインします。
2. [設定] をタップします。



3. 任意の項目をタップします。



[言語切り替え]



タッチパネルディスプレイに表示される言語を切り替えます。

💡 補足

- 本機の電源を切 / 入すると初期表示言語が設定されます。初期表示言語は、[システム設定] > [画面の設定] > [初期表示言語] で設定します。

[キーボード]

文字入力時に表示されるキーボードのレイアウトを設定します。

[機械確認 / レポート]



[機械構成]

本機の構成を確認できます。

[ソフトウェアバージョン]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

[無線 LAN の接続状態]

Wi-Fi 接続状況と Wi-Fi Direct 接続情報が表示されます。

[レポート / リストの出力]

 をタップすると、レポートまたはリストをプリントできます。

[ジョブ確認]

◆ [ジョブ履歴レポート]

コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。最新の 200 件までのジョブについてプリントされます。

◆ [エラー履歴レポート]



- 詳しくは、「[エラー履歴レポート]」(P.116)を参照してください。

[プリンター設定]

◆ [機能設定リスト (共通項目)]

本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。

◆ [ART EX フォーム登録リスト]

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書がプリントされます。

◆ [PCL 設定リスト]

PCL の各設定がプリントされます。

◆ [PCL マクロ登録リスト]

PCL 用に登録したフォームがプリントされます。

◆ [PDF 設定リスト]

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

◆ [TIFF/JPEG 設定リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

◆ [TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターがプリントされます。

◆ [PostScript 論理プリンター登録リスト]

PostScript で作成した論理プリンターがプリントされます。

◆ [ESC/P 設定リスト]

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

◆ [ESC/P メモリー登録リスト]

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

◆ [ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]

ART IV、ESC/P、PC-PR201H で使用できるフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

◆ [HP-GL/2 設定リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

◆ [HP-GL/2 メモリー登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

◆ [HP-GL/2 パレットリスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションのペン属性で設定できる 256 色の見本リストがプリントされます。

◆ [PC-PR201H 設定リスト]

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

◆ [PC-PR201H メモリー登録リスト]

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

◆ [フォントリスト]

本機で利用できるフォントがプリントされます。

◆ [PCL フォントリスト]

PCL で利用できるフォントがプリントされます。

◆ [PostScript フォントリスト]

PostScript で利用できるフォントがプリントされます。

◆ [DocuWorks プリント設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[機能別カウンターレポート]

機能別のカウンターレポートがプリントされます。各機能別に、実際に使用した内訳（プリント枚数や使用回数など）や、使用していない時間（待機時間、低電力モード時間、スリープモード時間、電源オフ時間など）の累計を分単位で確認できます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。

💡 補足

- [エラー履歴レポート] は、[レポート / リストの出力] 画面の [ジョブ確認] の [ジョブ履歴レポート] から指示できます。
- [レポート設定] の [レポート出力の許可] のチェックマークを外している場合は、[エラー履歴レポート] は表示されません。詳しくは、「[レポート設定]」(P.125) を参照してください。

[通知]



障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなど、本機からの通知を重要な順に表示します。通知を選ぶと、詳細を確認できます。

[用紙トレイ]

用紙トレイの設定			
1	100%		B5 □ 普通紙,白
2	100%		A4 □ 普通紙,白
3	100%		A4 □ 普通紙,白
4	100%		A4 □ 普通紙,白



- 各トレイの設定については、「用紙の設定を変更する」(P.64)を参照してください。

[共通設定]

[ユーザー用紙属性の名称設定]

[ユーザー用紙種類 1] ～ [ユーザー用紙種類 5]、および [ユーザー用紙色 1] ～ [ユーザー用紙色 5] に名称を付けられます。

[トレイセット時の用紙変更画面表示]

用紙トレイを出し入れしたときに、対象トレイの設定変更画面を表示するかどうかを設定します。



- トレイ 5 (手差し) は設定できません。

[用紙種類の優先順位]

プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントしたときで、原稿と同じサイズと向きの用紙が複数の用紙トレイにセットされている場合に、使用する用紙トレイの優先順位を用紙種類によって設定できます。

[トレイの優先順位] よりも、用紙種類の設定が優先されます。

ただし、異なる用紙種類に同じ優先順位を設定した場合は、[トレイの優先順位] によって、選択される用紙が決まります。また、[自動トレイ選択しない] に設定した用紙種類がセットされているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。



- 自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

[自動トレイ動作制御]

選択しているトレイの用紙がなくなったときに、切り替える対象を設定します。

◆ [自動トレイ切り替え]

自動切り替えの条件を設定します。[[自動] 選択時切り替える] に設定すると、各用紙トレイの [自動トレイ切り替え] の設定に応じて切り替えます。[同一用紙種類 / 色で切り替える] に設定すると、用紙種類と色が同じトレイを切り替え対象とします。

[用紙種類別画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法を設定します。

本機は、プリントをするとき、[用紙種類別画質処理] で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

設定できる項目は、次の表を参照してください。

項目名	設定値	該当する用紙の坪量
[普通紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	64 ~ 70 g/m ²  補足 • P 紙、C ² 紙に該当します。
	[普通紙 (B)]	71 ~ 82 g/m ²  補足 • J 紙に該当します。
	[普通紙 (S)]	64 ~ 82 g/m ²
[上質紙の画質処理]	[上質紙 (A)]	83 ~ 90 g/m ²
	[上質紙 (B)]	91 ~ 105 g/m ²  補足 • JD 紙に該当します。
[再生紙の画質処理]	[再生紙 (A)]	64 ~ 70 g/m ²
	[再生紙 (B)]	71 ~ 82 g/m ²
	[再生紙 (C)]	83 ~ 90 g/m ²
	[再生紙 (D)]	91 ~ 105 g/m ²
[うら紙の画質処理]	[うら紙 (A)]	64 ~ 70 g/m ²
	[うら紙 (B)]	71 ~ 82 g/m ²
	[うら紙 (S)]	64 ~ 82 g/m ²
[穴あき紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	64 ~ 70 g/m ²  補足 • P 紙、C ² 紙に該当します。
	[普通紙 (B)]	71 ~ 82 g/m ²  補足 • J 紙に該当します。
	[普通紙 (S)]	64 ~ 82 g/m ²
[厚紙 1 の画質処理]	[厚紙 1(A)]	106 ~ 135 g/m ²
	[厚紙 1(B)]	136 ~ 157 g/m ²
	[厚紙 1(C)]	158 ~ 176 g/m ²
	[厚紙 1(S)]	106 ~ 176 g/m ²
[厚紙 1 (ウラ面) の画質処理]	[厚紙 1(A)(ウラ面)]	106 ~ 135 g/m ²
	[厚紙 1(B)(ウラ面)]	136 ~ 157 g/m ²
	[厚紙 1(C)(ウラ面)]	158 ~ 176 g/m ²
	[厚紙 1(S)(ウラ面)]	106 ~ 176 g/m ²
[厚紙 2 の画質処理]	[厚紙 2(A)]	177 ~ 220 g/m ²
	[厚紙 2(S)]	177 ~ 220 g/m ²

項目名	設定値	該当する用紙の坪量
[厚紙 2 (ウラ面) の画質処理]	[厚紙 2(A)(ウラ面)]	177 ～ 220 g/m ²
	[厚紙 2(S)(ウラ面)]	177 ～ 220 g/m ²
[厚紙 3 の画質処理]	[厚紙 3(A)]	221 ～ 256 g/m ²
	[厚紙 3(B)]	257 ～ 300 g/m ²
	[厚紙 3(S)]	221 ～ 300 g/m ²
[厚紙 3 (ウラ面) の画質処理]	[厚紙 3(A)(ウラ面)]	221 ～ 256 g/m ²
	[厚紙 3(B)(ウラ面)]	257 ～ 300 g/m ²
	[厚紙 3(S)(ウラ面)]	221 ～ 300 g/m ²
[コート紙 1 の画質処理]	[コート紙 1(A)]	106 ～ 135 g/m ²
	[コート紙 1(B)]	136 ～ 157 g/m ²
	[コート紙 1(C)]	158 ～ 176 g/m ²
[コート紙 1 (ウラ面) の画質処理]	[コート紙 1(A) ウラ]	106 ～ 135 g/m ²
	[コート紙 1(B) ウラ]	136 ～ 157 g/m ²
	[コート紙 1(C) ウラ]	158 ～ 176 g/m ²
[コート紙 3 の画質処理]	[コート紙 3(A)]	221 ～ 256 g/m ²
	[コート紙 3(B)]	257 ～ 300 g/m ²
[コート紙 3 (ウラ面) の画質処理]	[コート紙 3(A) ウラ]	221 ～ 256 g/m ²
	[コート紙 3(B) ウラ]	257 ～ 300 g/m ²
[はがきの画質処理]	[厚紙 1(A)]	106 ～ 135 g/m ²
	[厚紙 1(B)]	136 ～ 157 g/m ²
	[厚紙 1(C)]	158 ～ 176 g/m ²
	[厚紙 2(A)]	177 ～ 220 g/m ²
[封筒の画質処理]		💡 補足 • 郵便はがきに適した画質設定です。
	[封筒]	-
	[厚紙 1(A)]	106 ～ 135 g/m ²
	[厚紙 1(B)]	136 ～ 157 g/m ²
	[厚紙 1(C)]	158 ～ 176 g/m ²
	[厚紙 2(A)]	177 ～ 220 g/m ²
	[厚紙 3(A)]	221 ～ 256 g/m ²
	[厚紙 3(B)]	257 ～ 300 g/m ²

項目名	設定値	該当する用紙の坪量
[ユーザー用紙 1 の画質処理] ~ [ユーザー用紙 5 の画質処理]	[普通紙 (A)]	64 ~ 70 g/m ²
	[普通紙 (B)]	71 ~ 82 g/m ²
	[普通紙 (S)]	64 ~ 82 g/m ²
	[上質紙 (A)]	83 ~ 90 g/m ²
	[上質紙 (B)]	91 ~ 105 g/m ²

[消耗品確認]

消耗品確認		
K	ブラクトナー (K)	100%
C	シアントナー (C)	100%
M	マゼンタトナー (M)	100%
Y	イエロートナー (Y)	100%
	ドラムカートリッジ (R1)	良好

消耗品の状態を確認できます。

[メーター確認]

メーター確認	
シリアル番号:	
現在のカウンタ	
メーター1	0
メーター2	0
メーター3	0
機能別カウンターのリセット	

メーター別にプリントページ数を確認できます。

[シリアル番号]

本機のシリアル番号が表示されます。

[メーター 1]

白黒プリントの合計ページ数が表示されます。

[メーター 2]

通常は使用されません。

[メーター 3]

カラープリントの合計ページ数が表示されます。

💡 補足

- [カラー (自動判別)] でプリントした場合、モニター上で白黒に見えても、データによってはカラーでカウントされることがあります。
- 両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、自動的にページ調整の白紙が挿入されることがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

[ユーザー別メーター確認]

ユーザー別のページ数を確認できます。

集計管理機能が有効に設定されている場合に、現在認証されている User ID のメーターを確認できます。

メーターを確認したい認証ユーザーで認証してから、この機能を使用してください。

ユーザー別メーター確認		
	カラー	白黒
今回のカウント	0	0
これまでの総合計	0	0
上限ページ数	9999999	9999999
残りページ数	9999999	9999999

💡 補足

- [ユーザー別メーター確認] は、[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] のときだけ表示されます。
- 集計管理機能で [集計する] に設定しているサービスのメーターを確認できます。
- 機械管理者でログインしたときは、[ユーザー別メーター確認] は表示されません。

🔍 参照

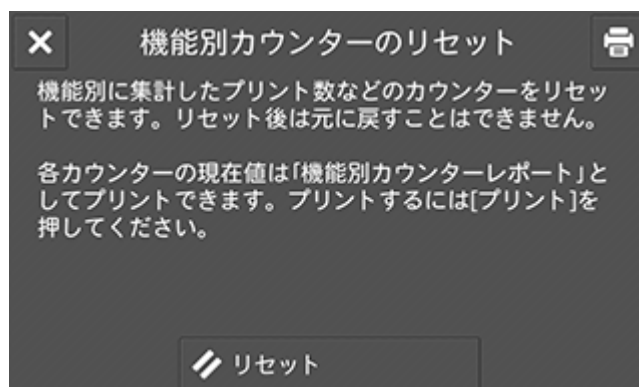
- 集計管理機能については、「[集計管理]」(P.154) を参照してください。

[機能別カウンターのリセット]

機能別に集計したプリント数や稼働状況の累積時間などのカウントをリセットできます。

💡 補足

- [機能別カウンターのリセット] は、集計管理の権限を持つユーザーまたは機械管理者で認証しているときに表示されます。



[システム設定]



[システム時計 / タイマー設定]

[日付]

本機のシステム時計の日付を指定します。

[時刻]

本機のシステム時計の時刻を指定します。

[時刻サーバー (NTP) と同期]

時刻サーバー (NTP) の時刻と同じになるように、サーバーから時刻を取得し、本機の時刻を合わせます。

[時刻サーバーの接続間隔]

時刻サーバーに何時間ごとに接続するかを指定します。

[時刻サーバーアドレス]

時刻サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

[自動リセット]

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、リセットされる時間を指定します。

💡 補足

- [しない] に設定しても、原稿を読み込んでジョブに対する操作待ちになっている画面の状態で、操作を 1 分間しないと、操作待ちを解除し、読み込み済みの原稿の処理を開始します。

[ジョブ自動解除]

エラー（用紙の補給、紙詰まりなど）が発生したとき、現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。

[プリント起動]

操作パネル（[スタート] は除きます）の操作後、プリントができるようになるまでの時間を設定します。

[タイムゾーン]

GMT を基準に、-12 時間から +12 時間の範囲で設定します。

[サマータイム]

夏時間（サマータイム）を設定します。夏時間（サマータイム）として設定した期間は、現在の時間に 1 時間加えた時刻になります。

[暖機モード動作]

本機内の結露を防止または軽減する暖機モードに移行するかどうかを設定します。

- [する] にチェックマークを付けて、[開始時刻] と [継続時間] を指定すると、[開始時刻] から [継続時間] まで暖機モードで動作します。
- [自動的に動作する] にチェックマークを付けると、[しない] / [する]にかかわらず、結露状況を予測して結露時期になると、自動的に暖機モード動作が有効になります。指定した [開始時刻] になると、暖機モードに移行します。
- [自動的に停止する] にチェックマークを付けると、結露しない状態が一定期間続いたときに、暖機モード動作が自動的に無効になります。
- [結露注意の表示] にチェックマークを付けると、本機が結露発生の可能性を感知したときに、メッセージを表示します。

補足

- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

[オンデマンド印刷の有効時間]

外部アクセスを使用してプリントする場合の有効時間を設定します。プリントを指示したあと、ここで設定した時間以内に外部接続先からプリントデータを受信しないと、プリント指示が無効になります。

補足

- 一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。

[節電モードの設定]

[節電モード移行時間]

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、本機を最後に操作したあと、設定時間が経過すると消費電力を下げます。

補足

- 低電力モードおよびスリープモードに移行しないように設定することはできません。
- スリープモードに移行するまでの時間は、低電力モードに移行するまでの時間と同じか、それより大きくなるように指定します。
- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

[自動プリント後の節電モード移行]

コンピューターからのプリントが完了したあとに、節電モードに移行するタイミングを設定します。

[スリープモード設定]

スリープモード中の動作を、省電力優先にするか復帰時間優先にするかを設定します。

[節電解除の制御]

節電状態を解除するときに、使用する部分のみを解除するかどうかを設定します。

[電源の自動制御]

設定した時刻になると電源が切れるように設定します。

補足

- [自動的に電源を切る] が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は切れません。

[音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音の設定をします。

[画面の設定]

[初期表示画面]

電源を入れたり、節電状態を解除したときに表示する画面を設定します。

[初期表示言語]

電源を入れたときに表示する言語などを設定します。

◆ [キーボード]

文字入力時に表示されるキーボードのレイアウトを設定します。

◆ [ホームに [言語切り替え] ボタンを表示]

ホーム画面に言語切り替えボタンを表示するかどうかを設定します。

[自動リセット後の画面]

自動リセット後の画面を設定します。

[認証画面の自動表示]

認証機能を有効にしている場合、電源を入れたり、節電状態を解除したときに、認証画面を自動的に表示するかどうかを設定します。

[ボタンの配色]

タッチパネルディスプレイの [スタート] などジョブの開始や再開に関するボタン、[ストップ] などジョブの一時停止や中止に関するボタン、[リセット] などアプリ設定状態のクリアに関するボタンや表示エリアの色を強調するかどうかを設定します。

[画面輝度調整]

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

[消耗品情報画面の表示]

交換が必要な消耗品がある場合に、消耗品の状態を自動的に表示するかどうかを設定します。

[USB メモリー検出時の画面表示]

USB メモリー差込口に USB メモリーを挿入したときに、画面表示を切り替えるかどうかと、切り替える場合の画面を設定します。

補足

- [機能選択画面] に設定すると、USB メモリー挿入時に [文書プリント]、[デジカメプリント] のどちらかを選ぶ画面を表示できます。
- USB メモリーを挿入した状態で、電源を入れたときは、機能選択画面は表示されずにホーム画面が表示されます。
- 節電中は、USB メモリー差込口に USB メモリーを差し込んでも、タッチパネルディスプレイは点灯しません。節電状態を解除してから、USB メモリーを差し込み直すか、ホーム画面で利用するアプリをタップしてください。
- 市販のメモリーカードリーダーを本機の USB メモリー差込口に常時差し込んである場合、そのメモリーカードリーダーにメディアを挿入しても、画面は切り替わりません。

[USB メモリー検出時の警告画面表示]

USB メモリー差込口に USB メモリーを挿入したときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

[キーボード入力制限]

本機で表示されるキーボードの入力可能文字を ASCII のみに制限するかどうかを設定します。

[ダブルタップの間隔]

本機の操作パネルでダブルタップ操作をしたときに、ダブルタップとして認識される間隔を設定します。

[リセットボタンの表示]

ホーム画面の上部に、[リセット] を表示するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 - 機械管理者設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値のまま、本機または CentreWare Internet Services に機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[セキュリティ警告 -SNMP 設定]

SNMP プロトコルの設定で、コミュニティ名や認証用パスワードが初期値のまま、本機または CentreWare Internet Services に機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

補足

- SNMP プロトコルの設定は、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

[セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス]

本機にグローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている状態で、本機または CentreWare Internet Services に機械管理者でログインしたときに、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

[アプリ起動時の設定継続確認画面表示]

ホーム画面の各機能をタップしたときに、前回の設定を引き継ぐかどうかの確認画面を表示するかどうかを設定します。

[通知バナーの抑制]

タッチパネルディスプレイにインフォメーションメッセージを表示するかどうかを設定します。

補足

- インフォメーションメッセージは、[設定] > [通知] からでも確認できます。

[通知バナーの表示時間]

メッセージの表示時間を設定します。

[ジョブ確認バナーの表示設定]

自動リセット後に実行中のジョブに関するメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ラン画面の表示形式]

ジョブを実行したときに、実行中画面とメッセージのどちらを表示するかを設定します。

[レポート設定]

[レポート出力の許可]

チェックマークを外すと、機械管理者でログインしたときだけ [機械確認 / レポート] > [レポート / リストの出力] の内容が表示されます。

[ジョブ履歴レポート]

処理を行ったジョブの合計が 50 件になったときに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[レポートの両面プリント]

レポート / リストをプリントするときに、片面でプリントするか両面でプリントするかを設定します。

[複製管理]

複製管理とは、書類の複製を抑制するために、用紙の背景全体に文字列や背景パターンを印字する機能です。

[印字する日付の形式]

ここで設定した値は、アノテーション、複製管理、強制アノテーションで共通になります。

[隠し印刷初期値]

複製管理の隠し印刷の初期値を設定します。

[文字列初期値]

複製管理で印字される文字列を設定します。

[文字列の大きさ]

複製管理で印字される文字の大きさを設定します。

[背景パターン]

隠し印刷で使用する文字列を埋め込むための、背景パターンを設定します。

[印刷の色]

複製管理の隠し印刷の文字の色を設定します。

[印刷の濃度]

複製管理で印字される文字の濃度を設定します。

[文字 / 背景コントラスト]

複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。

[強制複製管理 - クライアントプリント]

コンピューターからプリントをしたときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。

本機の設定を優先する場合は [本体の設定を優先] を、TrustMarkingBasic (別売) などのソフトウェアやプリントサーバーの設定を優先する場合は、[クライアントの設定を優先] を選びます。

[本体の設定を優先] を選んだ場合は、ユーザー情報またはユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時が印字されます。

[強制複製管理 - メディアプリント]

文書プリントや、デジカメプリントをしたときに、強制的に複製管理するかどうかを設定します。

印字される文字列は、ユーザー管理番号、本機の ID、印刷日時です。

[文字列登録 1] ~ [文字列登録 3]

複製管理で印字される文字列を登録します。

[サンプルリストの出力]

背景のコントラストが異なる複数のサンプルをプリントします。プリントサンプルをもとに、[文字 / 背景コントラスト] を設定してください。

[ペーパーセキュリティ]

プリントする文書に、デジタルコードや隠し印字などを設定します。

[デジタルコードの設定]

文書に埋め込むデジタルコードの解析パスワードと文字列を設定します。

[強制ペーパーセキュリティ]

ジョブの種類ごとに、強制的にペーパーセキュリティ機能を実行するかどうかを設定します。

[ペーパーセキュリティの初期値]

複製制限コードを紙文書に埋め込むかどうかを設定します。

[隠し印字の設定]

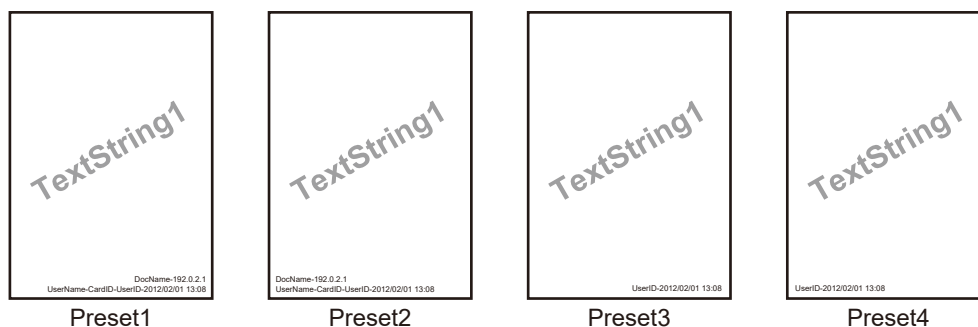
プリントされる文書に隠し文字を埋め込むかどうかを設定します。

[強制アノテーション]

ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、ユーザー名や日付などの文字列（アノテーション）が強制印字されます。

本機にはあらかじめ [プリセット 1] ~ [プリセット 4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートで印字される項目は次のとおりです。

- [プリセット 1]、[プリセット 2]
[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。
用紙の右下（[プリセット 1] の場合）、または左下（[プリセット 2] の場合）に、次の項目が印字されます。
 - 上段：文書名、印字を指示したコンピューターの IP アドレス
 - 下段：ユーザー名、カード ID、User ID、年月日時
- [プリセット 3]、[プリセット 4]
[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。
用紙の右下（[プリセット 3] の場合）、または左下（[プリセット 4] の場合）に、次の項目が印字されます。
 - User ID、年月日時



- 文字列の登録については、「[文字列の登録]」(P.128) を参照してください。

[レイアウトテンプレートの関連付け]

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。

[レイアウトテンプレートの削除]

レイアウトテンプレートを削除します。

[文字列の登録]

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

[UUID 印字]

印刷ジョブごとにジョブを特定できるように、識別 ID (UUID) を印字できます。

ApeosWare Management Suite 2 (別売) やイメージログ管理機能を利用すると、UUID をキーとしてログを検索し、ジョブごとに「いつ」、「誰が」、「プリントしたか」などの情報を確認できるため、情報漏えいの抑止に効果があります。



- イメージログについては、「[イメージログ管理]」(P.128) を参照してください。

[UUID 印字]

UUID 印字をするかどうかを設定します。

[印字位置]

印字する位置を設定します。

[印字位置の微調整]

印字する位置を調整します。

[うら面の印字位置]

両面にプリントするときに、うら面に印字する UUID の位置を設定します。

[イメージログ管理]

イメージログ管理は、本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータと共に、ログとして蓄積 / 管理する機能です。文書が漏えいしたときに、対象文書に対してジョブを実行したユーザーを特定するための情報を保存します。



補足

- イメージログ管理機能は、文書に対するセキュリティ機能を補う目的があるため、イメージログの作成に時間がかかったり、イメージログ管理機能以外のジョブの処理に時間がかかったりすることがあります。
- セキュリティ機能の観点から、本機はデータを蓄積保存することを優先するため、イメージログの作成を中止 (強制終了) できません。
- 停電などで強制的に電源が切れた場合や、ストレージに異常が発生した場合などは、イメージログの作成・転送が必ず実施されるとは限りません。
- 管理するイメージは、入力イメージを元に作成するため、出力イメージと同じになるとは限りません。次に記載する情報は、出力時に加えられたり、編集されたりする情報のため、イメージには反映されません。
 - 出力時のレイアウト変更
 - 複製管理
 - 合紙
 - バナー
 - アノテーション
 - フォームオーバーレイ (プリント)
- イメージは、最大 8191 ページまで作成できます。本機への入力イメージが 8191 ページ以上の場合、[イメージログ作成] の [作成範囲] に [全ページ] を設定しても、8191 ページまでのイメージが作成されます。
- ストレージ内のイメージ格納領域が不足した場合、[イメージログ作成] の [作成保証レベル] の設定によって、本機は次のように動作します。
 - [高] の場合：ジョブは中止されます。

- [低] の場合：ジョブは実行されます。ただし、ジョブ終了時に警告が表示され、イメージ作成が失敗したことを知らせます。
- イメージ作成中にエラーが発生した場合、[イメージログ作成] の [作成保証レベル] の設定によって、本機は次のように動作します。
 - [高] の場合：イメージをエラーイメージ (1x1 ピクセル) と置き換え、システムエラーが発生します。本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
 - [低] の場合：イメージをエラーイメージ (1x1 ピクセル) と置き換え、ジョブ終了時にエラー情報が記録されます。
- 本機に格納できるイメージログの最大数は、2000 件です。
- [イメージログ作成] の [解像度] の設定によって、読み取り可能な文字のサイズが異なります。解像度を設定する場合は、次の表を参考にしてください。

解像度	カラージョブの場合	白黒ジョブの場合	一般文書でのめやす
200 dpi	6 pt	6 pt	一般文書では問題ないレベルです。
100 dpi	10 pt	14 pt	大きめの文字がわかるレベルです。
72 dpi	12 pt	18 pt	タイトルの文字がわかるレベルです。
50 dpi	16 pt	24 pt	文字はわかりません。プレビュー用に適しています。
25 dpi	24pt	32 pt	文字はわかりません。サムネール用に適しています。

[イメージログ管理]

イメージログ管理を利用するかどうかを設定します。

[イメージログ作成対象]

イメージログを作成するかどうかを設定します。

[イメージログ作成]

ログとして管理する画像データについて設定します。画像データは、ジョブ 1 つに対して、1 ファイル (PDF 形式) 作成されます。

◆ [作成保証レベル]

ログとして管理する画像データを確実に作成するかどうかの保証レベルを、[低]、[高] から設定します。

◆ [解像度]

ログとして管理する画像データの解像度を設定します。

◆ [作成範囲]

ログとして管理する画像データを作成する範囲を設定します。

[イメージログ転送]

本機で作成したイメージログは、ログ管理サーバーに転送して、保存 / 管理できます。

◆ [転送機能]

転送機能を使用して、イメージログをログ管理サーバーに転送するかどうかを設定します。

◆ [転送保証レベル]

作成したイメージログが、ログ管理サーバーに確実に転送されるかどうかを保証するレベルを設定します。[高] に設定すると、イメージログが転送できなかった場合、本体に 2000 件まで未送信ログとして保存され、2000 件を超えると次のジョブは実行できなくなります。[低] に設定すると、次のジョブは実行され、2000 件を超えた古いジョブから削除されます。

◆ [転送動作]

本機からログ管理サーバーに、イメージログを自動転送するかどうかを設定します。

◆ [時刻指定転送]

[転送動作] で [まとめて転送] に設定すると表示されます。

毎日決まった時刻にイメージログを転送するかどうかを設定します。

◆ [転送タイミング]

[転送動作] で [まとめて転送] に設定すると表示されます。

本機からログ管理サーバーに、イメージログを転送するタイミングを指定します。

[プラグイン設定]

組み込みプラグイン機能 / カスタムサービスを利用する場合は、[組み込みプラグイン機能] を [有効] にします。[組み込みプラグイン一覧] には利用できるプラグインの名称、および状態が一覧表示されます。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能をご利用されている場合に表示されます。

[その他の設定]

[オフセット排出 (センタートレイ)]、[オフセット排出 (センタートレイ上段)]、[オフセット排出 (センタートレイ下段)]

センタートレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ（プリント指示）単位で、オフセット排出をします。

[オフセット排出 (フィニッシャートレイ)]

フィニッシャートレイに排出する場合に、区切りがわかるように用紙の排出位置を交互にずらして排出する設定をします。[セット単位] に設定すると部単位で、[ジョブ単位] に設定するとジョブ（プリント指示）単位で、オフセット排出をします。

[折り目あり分割製本のオフセット]

分割単位でのオフセットの有無を設定します。

[オフセット排出 (フィニッシャートレイ)] を [セット単位] に設定している場合だけ有効です。

[インナー排出トレイ]

インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられている場合に、[あり] に設定します。

[プリントジョブの追い越し]

本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するかどうかを設定します。

[プリント用紙サイズ初期値]

レポート / リストをプリントするときに使う用紙サイズを設定します。

[奇数ページ文書の両面処理]

文書のページ数が奇数のときに、最終ページを両面処理するかどうかを設定します。

[サイズ検知切り替え]

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

[ミリ / インチ切り替え]

画面に表示される単位を設定します。

[トレイ 1 の種別]

封筒 / はがきトレイ（オプション）が取り付けられている場合に、トレイ 1 として使用するトレイを設定します。

[データの暗号化]

本機に記録されるデータを暗号化するかどうかを設定します。

本機からの情報漏えいを抑止するため、本機に保存されている認証情報、蓄積文書などのデータを暗号化します。また、プリントしたデータを本機に書き込むときに、暗号化されます。

◆ データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定 / 解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ストレージ（オプション））は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは保証されません。

❗ 注記

- データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください。
- 現在接続されているストレージ（オプション）が、暗号化の設定と一致しない場合は、エラーとなります。エラーメッセージと処置については、「エラーコード」(P.258) を参照してください。

[秘密情報の暗号化キー]

機械管理者のパスワードなどの秘密情報を暗号化するための暗号化キーを設定します。秘密情報を暗号化することで、ネットワーク上の盗聴や秘密情報の所有者以外からの参照を抑止します。

❗ 注記

- 暗号化キーを変更すると、バックアップした秘密情報を復元できなくなることがあります。

[カスタマーエンジニアの操作制限]

カスタマーエンジニアのなりすましによって、本機のセキュリティの設定が変更されないように、カスタマーエンジニアの操作を制限するかどうかを設定します。

カスタマーエンジニアは、次の項目が変更できなくなります。

- 「[イメージログ管理]」(P.128)
- 「[その他の設定]」(P.130)
- 「[データの暗号化]」(P.131)
- 「[秘密情報の暗号化キー]」(P.131)
- 「[カスタマーエンジニアの操作制限]」(P.131)
- 「[SSL/TLS 設定]」(P.151)
- 「[IPsec 設定]」(P.151)
- 「[機械管理者情報の設定]」(P.156)
- 「[不正使用防止の設定]」(P.158)
- 機械管理の権限を与えられたユーザーの作成 / 変更
- SNMP v3 の設定変更

保守パスワードを設定すると、カスタマーエンジニアが本機の保守作業をするときには、保守パスワードの入力が必要になります。

❗ 注記

- [カスタマーエンジニアの操作制限] を設定した場合、次のことにご注意ください。
 - 機械管理者のユーザー ID とパスワードを忘れると、カスタマーエンジニアに制限されている項目の変更ができなくなります。
 - 保守パスワードを忘れると、本機でトラブルが発生したときにカスタマーエンジニアによる保守作業ができなくなります。

- 制限項目の変更や保守作業をするには、電子基板の交換が必要になります。電子基板の交換には、代金ならびに交換手数料が必要になりますので、機械管理者のユーザー ID とパスワード、および保守パスワードは忘れないようにご注意ください。



- 機械管理の権限については、「管理の権限と権限グループについて」(P.178) を参照してください。

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェアのダウンロードを許可するかどうかを設定します。

この項目を無効にすると、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [許可] を設定してもファームウェアをダウンロードできません。この項目を有効にして、[ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] に [禁止] を設定すると、USB 経由のダウンロードだけ許可されます。



補足

- [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] は、本機を初めて起動したときの初期設定、または CentreWare Internet Service で設定します。

[カラーモード自動時の印刷動作]

[カラーモード] に [自動] を設定したときの動作を設定します。

[データランプの点灯パターン]

データランプの点灯パターンを設定します。

[ジョブ一時停止後の処理]

起動したジョブの操作を途中で止め、[自動リセット] で指定した時間が経過するまで放置した場合に、そのジョブを自動的に継続するか、自動的に中止するか、ユーザーが操作を再開するまで一時停止したままにするかどうかを設定します。

[転写装置の待機状態]

カラープリントと白黒プリントのどちらの状態で待機しておくかを設定します。よく使うカラーモードに合わせておくと、プリント速度が向上します。

[ドラムカートリッジ寿命時の動作]

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。

[アプリ設定]



[プリンター設定]

[メモリー設定]

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。

補足

- ポートが [停止] に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。

◆ [PostScript 使用メモリー]

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

◆ [ART EX フォームメモリー]

ART EX でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

◆ [ART IV,ESC/P,201H フォームメモリー]

ART IV、ESC/P、201H でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

◆ [ART IV ユーザー定義用メモリー]

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

◆ [HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー]

HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

◆ [ジョブチケット用メモリー]

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

◆ [受信バッファ -LPD]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。

補足

- [スプールしない] に設定すると、LPD プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。
- [LPD のプリント順序] の設定により、[受信バッファ -LPD] が変更できないことがあります。詳しくは、「[LPD のプリント順序]」(P.136) を参照してください。

◆ [受信バッファ -SMB]

この項目は、本機では使用できません。

◆ [受信バッファ -IPP]

ストレージ（オプション）が取り付けられているときに、スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージ（オプション）が使用されます。

補足

- [スプールしない] に設定すると、IPP プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のコンピューターからのデータを受信できません。

[フォーム削除]

登録されたフォームを個別に削除します。プリンターモードごとのフォーム番号を指定して、表示されたフォーム名称を確認してから削除します。

[蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積されているプリント文書（サンプルプリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）を保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。

[プリント文書一覧の初期表示]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を「リスト表示」または「サムネール表示」に設定します。

[プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

[プレビューイメージの作成]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を表示するときに、プレビューイメージを作成するかどうかを設定します。

[プレビューイメージの作成時間]

蓄積プリント文書のプレビューイメージの作成時間を制限するかどうかを設定します。「制限する」に設定すると、制限時間内で作成されたプレビューイメージだけが表示され、制限時間を超えたプレビューイメージは表示されません。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティープリントや認証プリントの文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。



補足

- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、「0」に設定します。

[全文書選択時のプリント順]

保存文書の全文書を選んだ場合のプリントの順番を設定できます。

[その他の設定]

◆ [プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。



参照

- プリント可能領域については、「標準印字領域」(P.296)を参照してください。
- 拡張した場合の印字領域については、「拡張印字領域」(P.296)を参照してください。

◆ [用紙の置き換え]

自動トレイ選択で選択された用紙サイズの下紙がセットされたトレイがない場合に、ほかの下紙トレイにセットされている下紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。



補足

- エミュレーションを使用してプリントする場合は、ここでの設定にかかわらず、下紙補給のメッセージが表示されます。
- コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

◆ [用紙種類不一致時の処理]

プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

◆ [手差しトレイの優先選択]

プリンタードライバーで [用紙トレイ選択] を [自動] に指定しているときに、トレイ 5 (手差し) を最優先で選ぶかどうかを設定します。

補足

- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致するときに、トレイ 5 (手差し) から給紙されます。
- [トレイ 5 (手差し)] の [トレイの優先順位] が対象外に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致していなくてもトレイ 5 (手差し) から給紙されます。

◆ [手差しプリントの確認]

トレイ 5 (手差し) の用紙にプリントするときに、セットされている用紙を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

◆ [未登録フォーム指定時の処理]

フォームデータファイル (オーバーレイ印字) にプリント指示されたフォームが、プリンター側で未登録だった場合に、ジョブをプリントするかどうかを設定します。

[プリントする] に設定した場合、指定したフォームがないため、データだけがプリントされます。

◆ [異常終了後のプリント処理]

プリント中にエラーが発生した場合に、エラージョブをキャンセルして後続ジョブのプリントを自動的に継続するか、エラーを確認する画面を表示してユーザー操作で後続ジョブのプリントを再開するかを設定します。

◆ [紙づまり発生時のプリント処理]

プリント中に紙詰まりが発生した場合に、紙詰まりの処置を終了したあと、正常に排出された次のページから自動的にプリントを再開するか、プリントを中止して、そのプリントジョブを削除するかを設定します。

◆ [ID 印字]

プリンタードライバーを使ってプリントする場合、ユーザーを区別するために、プリントする用紙にプリンタードライバーに設定されたユーザー ID を印字するかどうかを設定します。プリンタードライバーに設定されたユーザー ID のうち、先頭の 64 文字まで印字されます。

補足

- ID 印字機能を使用するには、あらかじめプリンタードライバーで、User ID の設定が必要です。設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

◆ [バナーシート出力]

本機を複数のユーザーで使用している場合など、ユーザーごとのジョブを区分けして、印刷物が混在しないようにバナーシートを出力します。ジョブの前や後ろに出力することができます。

補足

- バナーシートをプリントした場合は、メーターに加算されます。

◆ [バナーシートのオフセット出力]

仕分け用の用紙 (バナーシート) を出力するときにオフセット排出するかどうかを設定します。

◆ [バナーシートトレイ]

仕分け用の用紙 (バナーシート) を給紙するトレイを設定します。

トレイ 5 (手差し) は設定できません。

◆ [PostScript のカラーモード初期値]

PostScript のカラーモードの初期値を設定します。

◆ [PostScript の用紙選択]

用紙選択時に、PostScript の遅延媒体選択 (Deferred Media Selection) 機能を有効にするかどうかを設定します。遅延媒体選択機能を有効にする場合は [自動] に、無効にする場合は [用紙トレイから選択] に設定します。

プリンタドライバ以外が生成する PostScript データを印刷するときに、PostScript データの記述方法によっては、意図どおりにトレイが選択されないことがあります。その場合は [用紙トレイから選択] に設定してください。



補足

- [自動] に設定していても、[用紙の置き換え] で [大きいサイズを選択] または [近いサイズを選択] を選んで、PostScript データを印字すると、自動的に [用紙トレイから選択] に切り換わります。

◆ [PS フォント未搭載時の処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。[フォントを置換えてプリントする] に設定したときに、指定されたフォントがなかった場合は、Courier に置き換えられます。

置き換えられたフォントが日本語の場合は正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [PostScript のフォント置き換え] を [ATCx を使用する] に設定してください。

◆ [PostScript のフォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

◆ [XPS PrintTicket 処理]

XPS (XML Paper Specification) 文書内に記述された印刷設定 (PrintTicket) を読み込むときの本機の動作を設定します。

◆ [LPD のプリント順序]

LPD のプリントの順番を設定します。



補足

- [LPD のプリント順序] の変更により、[受信バッファ -LPD] が自動的に変更されることがあります。詳しくは、「[受信バッファ -LPD]」(P.133) を参照してください。

◆ [OCR フォントのグリフ (0x5C)]

OCR フォントを使用するときに、「0x5C」の文字をバックスラッシュ (\) と円記号 (¥) のどちらで印字するかを設定します。

[ジョブ情報設定]

[蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積プリント文書 (サンプルプリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書) を保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。

[プリント文書一覧の初期表示]

蓄積プリント文書 (サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティプリント、プライベートプリント、認証プリントの文書) の一覧を表示するときの初期表示を設定します。

[プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

[プレビューイメージの作成]

蓄積プリント文書（サンプルプリント、時刻指定プリント、セキュリティープリント、プライベートプリント、認証プリントの文書）の一覧を表示するときに、プレビューイメージを作成するかどうかを設定します。

[プレビューイメージの作成時間]

蓄積プリント文書のプレビューイメージの作成時間を制限するかどうかを設定します。[制限する] に設定すると、制限時間内で作成されたプレビューイメージだけが表示され、制限時間を越えたプレビューイメージは表示されません。

[蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティープリントや認証プリントの文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。



補足

- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。

[全文書選択時のプリント順]

保存文書の全文書を選んだ場合のプリントの順番を設定できます。

[USB 設定]

USB メモリー内のデータ検出に関する設定をします。

[スキャナー画面表示設定]

倍率ボタンの値を設定します。

[読み取りサイズボタン]

読み取りサイズボタンのサイズや値などを設定します。

[出力サイズボタン]

出力サイズボタンの値を設定します。

[固定倍率ボタン]

固定倍率ボタンの値を設定します。

[その他の設定]

USB メモリー内のデータを検出するときの詳細な条件を設定します。

[外部アクセス設定]

外部アクセスの接続先を設定します。

外部アクセスとは、本機と連携した外部サービスを操作パネルに直接表示したり、外部のサーバーに保存されている文書を選んで直接プリントしたりする機能です。コンピューターを経由せずに、ファイルのプリントができます。

[接続先の登録]

外部アクセスの接続先を登録します。



参照

- 接続先の登録については、「接続先を登録する」(P.325) を参照してください。

[その他の設定]

◆ [認証情報送信時の確認画面]

本機でユーザー認証をしたときのユーザー情報（認証したユーザー ID、パスワード、メールアドレス、サービス制限など）を外部アクセスの接続先サーバーに送信するときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

補足

- [表示しない] に設定しても、認証情報に不備があるときには確認画面が表示されます。

[Web ブラウザー設定]

外部アクセス時の Web ブラウザーに関する設定をします。外部アクセスとは、本機と連携した外部サービス进行操作パネルに直接表示したり、外部のサーバーに保存されている文書を選んで直接プリントしたりする機能です。コンピューターを経由せずに、ファイルのプリントができます。

注記

- [外部アクセスバージョンの選択] は、他機との連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

[外部アクセスバージョンの選択]

外部アクセスバージョンを設定します。

補足

- Web ブラウザーバージョンの V3 を使用する場合は、[V4] に設定します。

[終了時の永続 Cookie 削除]

外部アクセス終了時に永続（期限付き）Cookie を削除するかどうかを設定します。

補足

- 認証機能を有効にしている場合は、この機能の設定に関わらず、ユーザーがログアウトするたびに永続 Cookie を削除します。

[終了時のキャッシュ削除]

外部アクセス終了時にキャッシュを削除するかどうかを設定します。

[キャッシュの使用]

キャッシュを使用するかどうかを設定します。

[Cookie の使用]

Cookie を使用するかどうかを設定します。

[SSL 証明書検証失敗時の動作]

SSL サーバー証明書の検証を失敗したときに、サーバーへのアクセスを中止するか、アクセス確認画面を表示するかを設定します。

[ファイルプリント機能の使用]

ファイルプリント機能を使用するかどうかを設定します。ファイルプリント機能とは、外部 Web サーバーから取得した印刷可能なファイルを直接プリントできる機能です。

[機能コード]

他機との連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

[リモートアシスタンス設定]

リモートアシスタンスに関する仕様を設定します。

[サービス起動待ち時間の上限]

サービス起動待ち時間の上限を指定します。

[ネットワーク設定]



[ポート設定]

💡 補足

- LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信は、ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信のポート番号と同じ番号を使用しないでください。
また上記いずれも、次のポート番号を設定した場合、ポートの設定状況によっては正常に動作しなくなることがあります。
25、139、427、445、631、15000

📖 参照

- HTTP-SSL/TLS 通信ポートについては、「[SSL/TLS 設定]」(P.151) を参照してください。

[USB]

◆ [USB- ポート]

USB を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [USB- プリントモード指定]

使用するプリント言語の種類を設定します。[自動] に設定すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切にプリント処理します。

◆ [USB-JCL]

JCL（Job Control Language）コマンドとは、実際のプリントジョブの先頭に付加されたデータです。通常は、[有効] のままで使用します。

◆ [USB- 自動排出時間]

本機にデータが送られなくなってから、用紙を自動的に排出するまでの時間を設定します。

- [PS 印刷待ちタイムアウト]

本機ではデータを一定時間受信しないと、接続を自動的に切断します。[USB-Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定して、データを印刷しているときに、接続を切断するまでの時間を [USB- 自動排出時間] に従う場合は [無効]、PostScript のタイムアウトに従う場合は [有効] に設定します。

◆ [USB-Adobe 通信プロトコル]

- [標準]

プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。

- [バイナリー]
プリンタードライバーの出力プロトコルが BCP 形式のときに設定します。
- [TBCP]
プリンタードライバーの出力プロトコルが TBCP 形式のときに設定します。
- [RAW]
プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式またはバイナリ形式のときに設定します。
Adobe 通信プロトコルの制御を受けないで、データをそのまま出力します。

[LPD]

◆ [LPD- ポート]

LPD を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [LPD- ポート番号]

LPD のポート番号を設定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [LPD- セッション数]

本機に LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

[IPP]

◆ [IPP- ポート]

IPP を使用するときは [起動] に設定します。

IPP を使って、インターネット経由でプリントするときに設定します。

◆ [IPP- 追加ポート番号]

標準のポート番号以外で IPP を受け付けるかどうかを設定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、同じポート番号を共用できます。
- [IPP- ポート] が [停止] に設定されているときは、[IPP- 追加ポート番号] は設定できません。[IPP- ポート] を [起動] に設定し、 (ホーム) ボタンを押して [はい (再起動する)] をタップして本機が再起動したあとに、[IPP- 追加ポート番号] を設定してください。

[Bonjour]

◆ [Bonjour- ポート]

Bonjour を使用するときは [起動] に設定します。



補足

- Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートを起動しておく必要があります。

[Port9100]

◆ [Port9100- ポート]

Port9100 を使用するときは [起動] に設定します。

Windows の標準 TCP/IP ポートモニターで Raw プロトコルを使用する場合に設定します。

◆ [Port9100- ポート番号]

Port9100 のポート番号を設定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[SNMP]

◆ [SNMP- ポート]

本機をネットワーク上で管理する弊社製アプリケーションを使用する場合など、SNMP を使用するときは [起動] に設定します。

[メール受信]

◆ [メール受信 - ポート]

メールを受信するときは [起動] に設定します。

[メール通知サービス]

◆ [メール通知サービス - ポート]

メール通知サービスを使用するときは [起動] に設定します。メール通知サービスとは、本機の状態をメールで通知する機能です。



補足

- 通知される本機の状態は、[消耗品状態]、[定期交換部品状態]、[用紙トレイ状態]、[排出先状態]、[紙づまり状態]、[ドア / カバー状態]、[エラー] です。
- メール通知サービスの設定は CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

[UPnP ディスカバリー]

◆ [UPnP ディスカバリー - ポート]

UPnP を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [UPnP ディスカバリー - ポート番号]

UPnP の通信で使用するポート番号を設定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)、BMLinkS) は、同じポート番号を共用できます。

[WSD]

◆ [WSD プリント - ポート]

WSD (Web Services on Devices) プリントを使用するときは [起動] に設定します。

◆ [WSD- ポート番号]

WSD (Web Services on Devices) の通信で使用するポート番号を設定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)、BMLinkS) は、同じポート番号を共用できます。

[BMLinkS]

◆ [BMLinkS- ポート]

BMLinkS を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [プリントサービス - ポート番号]

プリントサービス用のポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、同じポート番号を共用できます。

◆ [ディスカバリー - ポート番号]

ディスカバリー用のポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、同じポート番号を共用できます。

[インターネットサービス (HTTP)]

◆ [インターネットサービス - ポート]

CentreWare Internet Services を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [インターネットサービス - ポート番号]

インターネットサービスで使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、同じポート番号を共用できます。
- [IPP- ポート] が [停止] に設定されているときは、[インターネットサービス - ポート番号] は設定できません。[IPP- ポート] を [起動] に設定し、 (ホーム) ボタンを押して [はい (再起動する)] をタップしてください。本機が再起動したあとに、[インターネットサービス - ポート番号] を設定してください。

[SOAP]

◆ [SOAP- ポート]

Device Setup（デバイス設定ツール）などのアプリケーションを使用する場合など、SOAP ポートを使用するときは [起動] に設定します。

◆ [SOAP- ポート番号]

SOAP で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices（WSD）、BMLinkS）は、同じポート番号を共用できます。

[ThinPrint]

◆ [ThinPrint- ポート]

ThinPrint を使用するときは [起動] に設定します。

◆ [ThinPrint- ポート番号]

ThinPrint で使用するポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
- 通信プロトコルが IPv4 で動作しているときに利用できます。
- 同時に接続できる最大接続数は、3 です。

[SFTP クライアント]

◆ [SFTP クライアント - ポート]

SFTP クライアントポートを使用するかどうかを設定します。

[無線 LAN 設定]

無線 LAN 通信を行う際の基本設定をします。



- 設定手順については、「無線 LAN で接続する」(P.24) を参照してください。

[プロトコル設定]

通信に必要な条件を設定します。

[Ethernet 設定]

◆ [Ethernet1- ネットワークの名称]、[Ethernet2- ネットワークの名称]

Ethernet インターフェイスを 2 回線利用する場合に、それぞれの名称を設定します。

◆ [Ethernet- 速度設定] / [Ethernet1- 速度設定]、[Ethernet2- 速度設定]

Ethernet インターフェイスの通信速度を設定します。

◆ [Energy Efficient Ethernet]

Ethernet インターフェイスの省電力機能を有効にするかどうかを設定します。

[TCP/IP- 共通設定]

◆ [プライマリーネットワーク]

複数のインターフェイスを使用している場合、プライマリーネットワークとして動作するネットワークの名称が表示されます。



- プライマリーネットワークの設定は、CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

◆ [IP 動作モード]

TCP/IP の動作モードを設定します。

[TCP/IP- ネットワーク設定] / [TCP/IP 設定 (LAN1)]、[TCP/IP 設定 (LAN2)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)]



- [TCP/IP 設定 (LAN1)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] に同じ IP アドレスを設定することはできません。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

◆ [IPv4-IP アドレス取得方法]

TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。

◆ [IPv4-IP アドレス]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、IP アドレスを指定します。

◆ [IPv4- サブネットマスク]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、サブネットマスクを指定します。

◆ [IPv4- ゲートウェイアドレス]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、ゲートウェイアドレスを指定します。

◆ [IPv4-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

◆ [IPv4- 受付 IP アドレス制限]

本機への接続を IPv4 アドレスで制限するかどうかを設定します。



- 接続を受け付ける IPv4 アドレスの登録は、CentreWare Internet Services の [受付 IP アドレス制限] で行います。設定方法は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

◆ [IPv6- アドレスの手動設定]

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。

◆ [IPv6- 手動設定 IP アドレス]

[IPv6- アドレスの手動設定] にチェックマークを付けたときに、本体の IPv6 アドレスを設定します。

◆ [IPv6- 手動 IP アドレスプレフィクス]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、プレフィクス長を設定します。

◆ [IPv6- 手動設定ゲートウェイ]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、ゲートウェイアドレスを設定します。

◆ [IPv6-DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

◆ [IPv6- 自動設定アドレス]

自動的に設定された IP アドレスを表示します。



- 手動で IP アドレスを設定している場合、ステートレス自動設定で割り当て可能なアドレスは 2 つまでです。

◆ [IPv6- 受付 IP アドレス制限]

本機への接続を IPv6 アドレスで制限するかどうかを設定します。



- [IPv6- 受付 IP アドレス制限] は、TCP/IP を使用する全機能が対象となります。たとえば、プリント、CentreWare Internet Services などです。
- 接続を受け付ける IPv6 アドレスの登録は、CentreWare Internet Services の [受付 IP アドレス制限] で行います。設定方法は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

[Ping 接続確認]

設定した条件で本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかどうかを確認できます。

[ネットワークプロトコルレポート出力]

プライマリーインターフェイスのプロトコル設定をレポート出力します。

[本体メールアドレス / ホスト名]

[メールアドレス]

本機のメールアドレスを設定します。128 文字以内で入力します。

[名前]

本機の名前を 32 文字以内で入力します。

[ホスト名]

ホスト名を半角 32 文字以内で入力します。



補足

- SMB で通信する場合、先頭から半角 15 文字までをホスト名として使用します。本機を正しく識別するためには、ホスト名を半角 15 文字以内で設定してください。

[ドメイン名]

ドメイン名を 64 文字以内で入力します。

[プロキシサーバー一覧]

外部アクセスを使用する場合に設定します。



補足

- プロキシ設定が必要なサービスを使う場合だけ、設定を変更してください。

[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定 -LAN1]、[プロキシサーバー設定 -LAN2]、[プロキシサーバー設定 -Wi-Fi]

お使いのネットワーク環境に応じて、インターフェイスごとのプロキシサーバー設定ができます。

◆ [プロキシサーバーの使用]

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

◆ [プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定方法を設定します。

◆ [PAC ファイルの URL]

[プロキシサーバー指定方法] を [PAC ファイルを指定] に設定した場合に、URL を指定します。

◆ [プロキシを使用しないアドレス]

プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。また、「*」（ワイルドカード）を使った指定もできます。

◆ [HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

◆ [HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

◆ [HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

◆ [HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

◆ [HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

◆ [HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

◆ [HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

◆ [HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[EP プロキシサーバー設定]

インターネットを使用して EP システムを利用する場合の、EP 通信用のプロキシサーバーについて設定します。

[プロキシサーバー指定方法]

プロキシサーバーの指定について設定します。[プロトコルごとに設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーおよび HTTP プロキシサーバーをそれぞれ設定できます。

[すべてのプロトコルに同じ設定] に設定すると、HTTPS プロキシサーバーの設定が HTTP プロキシサーバーに反映されます。

[HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTPS プロキシサーバー - 認証]

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTPS プロキシサーバー - パスワード]

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[HTTP プロキシサーバー - サーバー名]

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

[HTTP プロキシサーバー - ポート番号]

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

[HTTP プロキシサーバー - 認証]

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

[HTTP プロキシサーバー - ログイン名]

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

[HTTP プロキシサーバー - パスワード]

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[メール送受信設定]

[POP3 サーバー設定]

◆ [POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス]

POP3 サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

◆ [POP3 サーバー - ポート番号]

POP3 サーバーのポート番号を設定します。

◆ [POP3 サーバー - 受信間隔]

POP3 サーバーへのメールの確認間隔を設定します。

◆ [POP3 サーバー - ログイン名]

POP3 サーバーにログインするための名前を入力します。

◆ [POP3 サーバー - パスワード]

POP 受信用のパスワードを設定します。

◆ [POP 受信パスワードの暗号化]

パスワードを暗号化するかどうかを設定します。

[SMTP サーバー設定]

[接続確認] をタップし、本機から指定したメールアドレスにテストメールを送信することで、本機と SMTP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [SMTP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した SMTP 通信のprotocolsの内容を表すレポートが出力されます。

◆ [SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス]

SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

◆ [SMTP サーバー - ポート番号]

SMTP サーバーのポート番号を設定します。

◆ [送信時の認証方式]

SMTP 送信時の認証方法を設定します。



補足

- 認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTHPLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 に対応しています。

◆ [送信時の認証ユーザー]

送信時の認証ユーザーを設定します。

◆ [SMTP AUTH- ログイン名]

SMTP サーバーのログイン名を設定します。

◆ [SMTP AUTH- パスワード]

SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。

[外部認証サーバー設定]

[認証システムの設定]

◆ [認証システム]

認証するためのシステムを選びます。

補足

- 外部認証サーバーに、ApeosWare Management Suite 2 を使用する場合は、[Authentication Agent] を選んでください。
- Azure Active Directory の設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

◆ [認証応答待ち時間の上限]

認証の応答の待ち時間の上限を設定します。

◆ [ユーザー情報検索時間の上限]

ユーザー情報の検索の待ち時間の上限を設定します。

[Kerberos サーバー設定]

◆ [Kerberos サーバー 1(標準)] ～ [Kerberos サーバー 5]

Kerberos サーバー 1 ～ 5 それぞれに、次の設定をします。

Kerberos サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

- [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]
プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [プライマリーサーバー - ポート番号]
プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]
セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
- [セカンダリーサーバー - ポート番号]
セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- [認証先 (レルム名)]
サーバーとして、Windows Server のアクティブディレクトリーを使用する場合は、アクティブディレクトリーのドメイン名を認証先に指定します。

補足

- 認証先名は、必ず大文字で設定してください。小文字で設定すると認証エラーになります。

◆ [サーバー証明書の検証]

サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

[LDAP サーバー設定]

LDAP 認証を行うための、サーバーや認証方式について設定します。

[接続確認] をタップすることで、本機と LDAP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [LDAP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した LDAP 通信のprotocolsの内容を表すレポートが出力されます。

◆ [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]

プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

◆ [プライマリーサーバー - ポート番号]

プライマリーサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]

セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

◆ [セカンダリーサーバー - ポート番号]

セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。



- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [認証方式]

- [直接認証]

入力した User ID とパスワードで、LDAP サーバーに認証します。

- [ユーザー属性認証]

入力した User ID は、[入力ユーザー名の属性] に設定された属性の値として、LDAP サーバーで検索するために使用されます。見つかったユーザーの、[認証用ユーザー名の属性] に設定された属性の値は、ジョブの User ID として使用されます。

◆ [入力ユーザー名の属性]

LDAP 認証の認証方式が [ユーザー属性認証] の場合に、入力された User ID の User ID の属性を設定します。

操作パネルからユーザー名として入力する値に対応して、LDAP サーバーに登録されている UserAttribute 情報の属性を設定します。たとえば、メールアドレスを入力させる場合は「mail」を設定します。

◆ [認証用ユーザー名の属性]

LDAP サーバーに登録されている UserAttribute 情報の中から実際に認証に使用する属性を入力します。

◆ [ユーザー名追加文字列の使用]

操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名の追加文字列] で入力した情報を自動で付加するかどうかを設定します。

◆ [ユーザー名の追加文字列]

ユーザー名追加文字列を使用する場合の、追加する文字列を設定します。

[ユーザー名追加文字列の使用] で [使用する] を設定した場合にその固定文字列を入力します。

例)

[入力ユーザー名の属性] に「mail」を設定し、その対象ユーザーの登録情報が「mail@myhost.example.com」だった場合、通常は「mail@myhost.example.com」と入力する必要があります。

「ユーザー名追加文字列の使用」を「使用する」に設定し、「ユーザー名の追加文字列」で「@myhost.example.com」と指定すれば、操作パネルから入力するデータは「mail」だけで後ろの「@myhost.example.com」は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

◆ [IC カード認証に使用する属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、カード ID の検索属性を設定します。

◆ [ネットワーク用ユーザー ID 属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、IC カードのカード ID で検索するユーザー名の属性を設定します。取得したユーザー名は、外部サービスに通知する認証情報として使用されます。

◆ [検索用の認証ユーザー]

検索のときに使用するユーザーを設定します。

◆ [検索用ログイン名]

「ユーザー属性認証」方式の LDAP 認証で、ディレクトリーサーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ディレクトリーサービス認証が必要なときだけ設定してください。

◆ [検索用パスワード]

「検索用ログイン名」で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。

◆ [検索起点エントリー (DN)]

検索の起点となる文字列を入力できます。

◆ [起点からの検索範囲]

起点からの検索範囲を設定します。

◆ [検索対象のオブジェクトクラス]

検索のためのオブジェクトクラスを入力できます。

◆ [リフェラルの使用]

接続した LDAP サーバーから、別の LDAP サーバーへの接続を指示された場合に、指示されたサーバーに再接続するかどうかを設定します。

◆ [リフェラルのホップ数上限]

リフェラル機能を使用する場合に、接続するサーバーの切り替えを何回まで許可するかを設定します。

[SMB サーバー設定]

外部認証サーバーとして SMB サーバーを利用するときに設定します。

◆ [SMB サーバー指定方法]

サーバーの指定方法を、「[ドメイン名で指定]」、「[ドメイン名とサーバー名 / アドレス]」から設定できます。

ここで設定した指定方法に合わせて、SMB サーバー 1 ～ 5 それぞれに、次の設定をします。

SMB サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

◆ [SMB サーバー 1(標準)] ～ [SMB サーバー 5]

- [サーバー - ドメイン名]

サーバーのドメイン名を設定できます。

[SMB サーバー指定方法] で設定している SMB サーバーの指定方法にかかわらず、ドメイン名の設定は必須です。

補足

- ドメイン名は NetBIOS ドメイン名、またはアクティブディレクトリーのドメイン名を指定してください。
- [サーバー - サーバー名 / アドレス]
サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。



補足

- サーバー名は NetBIOS コンピューター名、または DNS サフィックス付きのフルコンピューター名を指定してください。

[セキュリティ設定]

[SSL/TLS 設定]

サーバーやクライアントコンピューターと本機との通信を暗号化するときに設定します。

◆ [本体の証明書 - サーバー]

SSL/TLS 通信するための、サーバー証明書を設定します。

◆ [HTTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信だけを使用可能にするかどうかを設定します。



補足

- [HTTPS のみ使用可能] に設定すると、[UPnP ディスカバリー]、[WSD]、および [BMLinkS] の各ポートは停止します。

◆ [HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号]

SSL/TLS 通信のポート番号を指定します。



補足

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

◆ [SMTP-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信について設定します。

◆ [ThinPrint-SSL/TLS 通信]

SSL/TLS 通信を有効にするかどうかを設定します。

◆ [本体の証明書 - クライアント]

SSL/TLS 通信するための、クライアント証明書を設定します。

◆ [相手サーバーの証明書の検証]

本機を SSL クライアントとして動作させるときに、相手サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

[IPsec 設定]

◆ [IPsec 設定]



補足

- 無線キット（オプション）を取り付けている場合、この項目は 1 回線にのみ指定できます。
- [IKE 認証方式]
IKE 認証方式を設定します。
- [事前共有鍵]
事前共有鍵を入力します。
[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合に設定します。
- [本体の証明書]
IPsec 通信で使用する証明書を設定します。
[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合に設定します。
- [IPsec 通信]
IPsec 通信を有効にするかどうかを設定します。

- [IKE SA のライフタイム]
IKE SA の有効期間を設定します。

補足

- [IPsec SA のライフタイム] より長くなるように設定してください。
- [IPsec SA のライフタイム]
IPsec SA の有効期間を設定します。

補足

- [IKE SA のライフタイム] より短くなるように設定してください。
- [DH グループ]
DH グループを設定します。
- [PFS 設定]
PFS を有効にするかどうかを設定します。
- [相手アドレス -IPv4]
通信を許可する相手先の IPv4 アドレスまたは範囲を設定します。
- [相手アドレス -IPv6]
通信を許可する相手先の IPv6 アドレスまたは範囲を設定します。
- [非 IPsec 通信]
相手アドレスで設定した以外のアドレスの、IPsec に対応していない機器に対して、通信をするかどうかを設定します。

[IEEE 802.1x 設定]

◆ [IEEE 802.1x 設定] / [IEEE 802.1x 設定 (Ethernet1)]

- [IEEE 802.1x 認証の使用]
IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
- [認証方式]
IEEE 802.1x の認証方式を設定します。

補足

- [EAP-TLS] は、ストレージ（オプション）とクライアント証明書が必要です。
- [認証ユーザー名]
認証ユーザー名を 128 文字以内で入力します。
- [認証パスワード]
認証パスワードを 1 ～ 128 文字以内で入力します。
- [サーバー証明書の検証]
[認証方式] が [PEAP/MS-CHAPv2] の場合に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

[証明書失効確認の設定]

◆ [証明書検証レベル]

証明書の検証レベルを設定します。

[低] の場合、証明書の失効確認を行いません。

[中] の場合、証明書の失効確認まで行います。ネットワークエラーなどで失効確認できなかったときも有効な証明書として扱います。

[高] の場合、失効していないと確認された証明書だけを有効な証明書として扱います。

◆ [証明書失効確認方式]

証明書失効確認の方式を設定します。

本機が検証局から失効リスト（CRL）を取得して照合する場合は、[失効リスト (CRL) を取得する] に設定します。証明書の有効性を確認できる OCSP（Online CertificateStatus Protocol）を使って認証局や検証局に問い合わせる場合は、[OCSP で問い合わせる] に設定します。

◆ [失効リスト (CRL) の自動取得]

失効リスト (CRL) を自動取得するかどうかを設定します。

◆ [失効リスト (CRL) 取得時間上限]

失効リスト (CRL) を取得する時間の上限を設定します。

◆ [OCSP レスポンダ指定方法]

OCSP レスポンダーの指定方法を指定します。

[証明書に記載の URL を使用]、[本体で設定した URL を使用] から設定できます。

◆ [OCSP レスポンダ]

[OCSP レスポンダ指定方法] で [本体で設定した URL を使用] を選んだ場合は、問い合わせ先の URL を設定します。

◆ [OCSP 通信時間上限]

OCSP レスポンダーとの通信時間の上限を設定します。

[その他の設定]

◆ [FIPS140 認定モード]

米国連邦標準規格の FIPS140-2 に準拠させることでセキュリティを強化します。

補足

- 次の機能は FIPS140 認定されていない暗号アルゴリズムで動作するため使用しないことをお勧めします。
 - SMB 認証
 - SMTP 認証
 - HTTP 認証
 - DocuWorks ダイレクトプリント
 - LDAP 認証
 - Kerberos 認証
 - 802.1x 認証
 - PDF ダイレクトプリント

[その他の設定]

[メール受信プロトコル]

使用環境に合わせて設定します。

[認証ユーザー名へのドメイン付加]

ユーザー名にドメイン名を付加するかどうかを設定します。

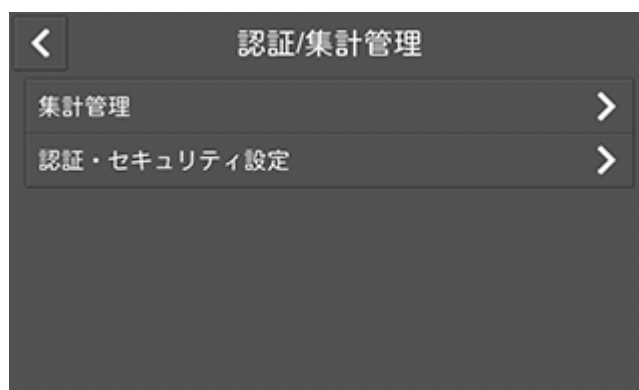
[メールプリントの排出先]

メールプリントを排出するトレイを選択します。[自動] を選択すると、排出先の初期設定値に設定されている排出先が自動的に選択されます。

[USB ポート ID 固定機能]

USB インターフェースで通知する ID としてシリアル番号を使用するか固定値を使用するかを設定します。

[認証 / 集計管理]



[集計管理]

本機を利用するユーザーの登録や集計管理機能の運用設定ができます。



参照

- 機能については、「認証機能と集計管理機能の概要」(P.178)を参照してください。

[ユーザー登録 / 集計確認]

集計管理を有効にする場合、登録したユーザーの認証を行うために、User ID、およびユーザー名を登録します。

本機を利用するユーザーごとに、使用枚数の上限を設定できます。また、登録したユーザーごとの累積ページの確認などができます。

[認証・セキュリティ設定] の [認証の設定] の [ユーザー登録 / 集計確認] と同じ内容です。



補足

- ユーザー登録は、「[集計管理機能の運用]」(P.154)で集計管理の方法を設定してから、行ってください。
- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.154)を[ネット集計管理]に設定しているときは表示されません。



参照

- 詳しくは、「ユーザーを登録する（本体認証）」(P.183)を参照してください。

[登録内容の削除 / 集計リセット]

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

[認証・セキュリティ設定] の [認証の設定] の [登録内容の削除 / 集計リセット] と同じ内容です。



補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.154)を[ネット集計管理]に設定しているときは表示されません。

[集計管理機能の運用]

集計管理機能を使用するかどうかを設定します。

◆ [運用しない]

本機で操作するときに、集計管理は行いません。

◆ [本体集計管理]

集計管理します。

◆ [ネット集計管理]

外部サービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理します。ユーザー情報は、外部サービスから登録します。



参照

- 詳しくは、「集計管理方法の種類」(P.179)を参照してください。

◆ [各機能の集計]

サービスごとに集計管理機能を使用するかどうかを設定します。



補足

- サービスを「集計する」に設定すると、ホーム画面の該当するサービスに  が表示されます。認証すると表示は消えます。
- 「[認証 / プライベート プリントの設定]」(P.159) の設定によっては、ジョブが中止されることがあります。

◆ [入力情報の照合]

入力するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。

◆ [ユーザー入力項目]

認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。

[集計管理情報の設定]

◆ [User ID の代替表記]

タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

◆ [User ID の入力表示]

User ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。

◆ [Account ID の代替表記]

タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「Account ID」と表示されている表記を、「AccountName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。



補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.154) を「[ネット集計管理]」に設定しているときに表示されます。

◆ [Account ID の入力表示]

Account ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。



補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.154) を「[ネット集計管理]」に設定しているときに表示されます。

◆ [認証時の集計情報表示]

認証直後に、ユーザー別の集計情報を表示するかどうかを設定します。チェックマークを付けると、認証中のユーザーの「累積ページ数」、「上限ページ数」、「残りページ数」を確認できます。



補足

- この項目は、「[認証方式の設定]」が「[本体認証]」に設定されていて、さらに「[集計管理機能の運用]」が「[本体集計管理]」に設定されているときに表示されます。
- 利用を制限されている機能は表示されません。
- 機械管理者で認証したときには、表示されません。

[認証・セキュリティ設定]

本機を利用するユーザーの登録や認証およびセキュリティの設定ができます。



参照

- 機能については、「認証機能と集計管理機能の概要」(P.178)を参照してください。

[機械管理者情報の設定]

機械管理者のユーザー ID とパスワードを設定します。

設定変更の抑止やセキュリティ確保のために、本機を設置したあと、すぐに機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をお勧めします。

補足

- パスワードなしに設定する場合は、[機械管理者パスワード] を空欄にします。

[認証の設定]

◆ [認証方式の設定]

- [認証しない]
認証機能を有効にしません。
- [本体認証]
本機に登録されたユーザー情報を、認証に使用します。

注記

- [本体認証] から、[認証しない] または [外部認証] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。
- [外部認証]
外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を、認証に使用します。

補足

- 外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させたくない場合は、[認証情報の設定] の [外部認証情報の本体保存] を [しない] に設定してください。詳しくは、「[認証情報の設定]」(P.157) を参照してください。
- 本機に保存された外部認証のユーザー情報を自動的に削除できます。詳しくは、「[認証情報の設定]」(P.157) を参照してください。
- [カスタム認証]
サーバーレス認証連携キット（別売）を有効にしたときの認証に使用します。

◆ [アクセス制御]

操作パネルの操作、本機の設定変更、および各機能の利用を制限できます。本機を利用するときに、ユーザー認証が必要になります。

補足

- 外部認証時（ApeosWare Management Suite 2 を使用する場合を除く）は、外部認証サーバーから取得した利用可能なサービスへのアクセス許可情報に基づき、操作パネルから利用できます。
- 外部認証時にゲストユーザーを使用する場合、ゲストユーザーにアクセス制御は設定できません。本機を使用できるゲストユーザーを制限する場合は、「[認証情報の設定]」(P.157) を参照してください。
- [仕様設定へのアクセス]
機械管理者以外の本機の設定変更を制限するかどうかを設定します。
- [デバイスへのアクセス]
本機のタッチパネルのボタンの操作を制限するかどうかを設定します。
- [サービスへのアクセス]
本機の名サービスについて、制限するかどうかを設定します。

補足

- サービスを [制限する (表示)] に設定すると、ホーム画面の該当するサービスに  が表示されます。認証すると  の表示は消えます。
- サービスを [制限する (非表示)] に設定すると、ホーム画面に該当するサービスは表示されません。認証すると該当するサービスも表示されます。

◆ [ユーザー登録 / 集計確認]

認証を有効にする場合、登録したユーザーの認証を行うために、User ID、およびユーザー名を登録します。本機を利用するユーザーごとに、使用枚数の上限を設定できます。また、登録したユーザーごとの累積ページの確認などができます。

[集計管理] の [ユーザー登録 / 集計確認] と同じ内容です。



- 詳しくは、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.154) を参照してください。

◆ [登録内容の削除 / 集計リセット]

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

[集計管理] の [登録内容の削除 / 集計リセット] と同じ内容です。



- 詳しくは、「[登録内容の削除 / 集計リセット]」(P.154) を参照してください。

◆ [権限グループ登録]

機械管理者は認証ユーザーに対して、本来利用できない機能を利用できるようにする「権限」を与えることができます。権限グループを登録しておく、ユーザーを権限ごとにグループ化して管理できます。

◆ [認証情報の設定]

認証するときに必要な情報を設定します。

- [User ID の代替表記]
タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。
 - [User ID の入力表示]
User ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。
[そのまま表示する] に設定すると、User ID を入力したときに、入力した文字列で表示します。[隠す] に設定すると、[****] のように表示します。
 - [認証失敗の記録]
不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10 分）以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。
 - [認証解除時の確認画面表示]
認証解除時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
 - [認証時の User ID 文字種]
認証時、User ID の文字種を設定します。
-  **注記**
- プライベートプリントに文書が保存された状態で設定を切り替えしないでください。プリントできないなど、問題が発生することがあります。保存された文書をすべてプリントしたあと、設定を切り替えてください。
 - “ABC” と “abc” のように、[大文字小文字を区別しない] に設定すると同一になる User ID が登録されているときは、設定を切り替えしないでください。設定を切り替えると、一部のユーザーが表示されないなど、問題が発生することがあります。大文字小文字を区別しなくても同一にならない User ID に変更してから設定を切り替えてください。
- [IC カード接続時の認証]
本体認証の場合、本機に IC カード読み取り装置（オプション）が接続されているときに、User ID 認証を有効にするかどうかを設定します。
 - [IC カード認証時のユーザー登録]
本体認証の場合、登録されていないユーザーが IC カード読み取り装置（オプション）に IC カードをかざしたときに、ユーザーを登録するかどうかを設定します。
 - [ゲストの使用]
外部認証の場合、ゲストのユーザーを使用するかどうかを設定します。
 - [IC カードの使用]

本機に IC カード読み取り装置（オプション）が接続されているときに、IC カードを使用するかどうかを設定します。

〔する〕に設定すると、IC カードでジョブを制御するかしないかを、機能ごとに設定できます。

〔する (PKI のみ)〕は、認証やジョブ制御には IC カードを使用せず、セキュリティ機能だけを制御する場合に設定します。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能をご利用されている場合に表示されます。
- [IC カード連携モード]
外部認証の場合、IC カード認証時に、パスワードの入力を要求するかどうかを設定します。
- [IC カードの証明書検証]
IC カードを使用する場合に、IC カードの証明書を検証するかどうかを設定します。
チェックマークを付けると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合だけでなく、IC カード内の証明書の検証と秘密鍵との鍵の一致を検証します。この場合、IC カードの証明書の上位 CA 証明書を本機にインポートしておく必要があります。
チェックマークを外すと、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合で検証します。
- [Kerberos サーバーの証明書検証]
外部認証サーバーに Kerberos サーバーを使用する場合に、Kerberos サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

補足

- この項目は、カスタマイズ拡張機能をご利用されている場合に表示されます。
- [非接触型 IC カード設定]
非接触型 IC カード認証時に、認証の解除方法を設定します。
- [外部認証情報の本体保存]
外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

補足

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。
- [保存済み外部認証情報削除]
本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

補足

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。

◆ [不正使用防止の設定]

なりすましによる不正な操作が行われないようにするための機能です。同一のユーザー ID の認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定します。

補足

- 本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。
- アクセス拒否状態を解除するときは、本機を再起動してください。
- 一般ユーザーの認証回数制限は、本体認証の場合に設定できます。

◆ [パスワードの運用]

- [パスワード使用 - パネル入力時]
ユーザーが本機を使用するときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
- [パスワード使用 - IC カード認証時]
本体認証の場合、機械管理者およびユーザーが IC カード認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
- [パスワードの最小桁数]
パスワードの最小桁数を指定します。
- [パスワードの最大桁数]

パスワードの最大桁数を指定します。

◆ [認証 / プライベート プリントの設定]

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

プリントジョブを直接プリントしたり、保管文書の認証プリントやプライベートプリントに一時的に保存したりできます。

参照

- プライベートプリント、認証プリントについては、「機密文書をプリントする - プライベートプリント -」(P.97)、および「機密文書をプリントする - 認証プリント -」(P.99) を参照してください。
- 認証プリント、プライベートプリントをするには、[受信制御] の設定が必要です。詳しくは、「[認証 / プライベート プリントの設定]」(P.159) を参照してください。
- [受信時の PJI 命令制御]
外部機器からのプリント受信を制御できます。コンピューターからプリント指示された認証プリントまたはプライベートプリントジョブを、指示どおりに [ジョブ情報] 画面に表示される [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存する場合は、[する] に設定します。
- [出力時の PJI 命令制御]
外部機器からのプリントジョブのプリントを制御できます。[ジョブ情報] 画面に表示される [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存された文書をプリントする場合、出力用紙、両面プリントなどのプリントモードをジョブの指示どおりに行うときは、[する] に設定します。
- [受信制御]
受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

- [プリンターの認証に従う]

認証 / 集計機能を利用し、[アクセス制御] の [サービスの利用制限] で、[プリンター] を [制限する] に設定しているときに、[認証成功のジョブ]、[認証が不正のジョブ]、[User ID なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [認証成功のジョブ] で [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティプリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [プライベートプリントに保存]
認証機能を有効にしているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントとして保存します。また、[User ID なしのジョブ]、[PJI 命令なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

補足

- [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティプリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- [認証プリントに保存]
認証機能を有効にしているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントとして保存します。

補足

- [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティプリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

[強制印字一時解除]

強制複製管理、UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除します。

本機能を [する] に設定した状態で実行した、文書プリント、デジカメプリントが一時解除の対象となります (通常のプリント、レポート / リストは対象となりません)。

補足

- TrustMarkingBasic (別売) でユーザーが指定した複製管理に関しては解除対象となりません。

[ジョブ操作の設定]

実行中や実行待ちジョブやログの表示制限ができます。認証していないユーザーやジョブオーナーでないユーザーに対して、プライバシー保護、情報漏えいの抑止になります。

[ダイレクトプリント機能の禁止]

本機能を「する」に設定した場合、デジカメプリント、文書プリント、メール受信プリント、モバイルプリントなどのダイレクトプリント機能が使用できなくなります。

[ストレージの上書き消去設定]

内蔵増設ハードディスク（オプション）の上書き消去をするかどうかを設定します。上書き処理をする設定にした場合、プリントの処理が終了すると、処理で使用した内蔵増設ハードディスク（オプション）の領域からデータを削除したあと、上書き消去を複数回行うことで、記録されていた情報を、より確実に消去できます。内蔵増設ハードディスク（オプション）に記録されていたデータの不正な取り出しや復元を防ぎます。

[稼働時の改ざん防止]

稼働時の改ざん防止機能を有効にするかどうかを設定します。

[ユーザー情報の設定]

[パスワード変更]

認証ユーザーが自分のパスワードを変更できます。



- 「[ユーザーの権限]」が、「[一般ユーザーの権限]」または「[集計管理の権限]」の場合に表示されます。

[監査ログ設定]

監査ログ設定	
監査ログの記録	無効
監査ログのSyslog送信	無効
Syslog-サーバー名/アドレス	(未設定)
Syslog-UDP/TCPポート番号	514
Syslog-TLSポート番号	6514
Syslog-トランスポートプロトコル	UDP

監査ログの設定と Syslog 送信（Syslog プロトコルを使って監査ログをネットワーク上の他のコンピュータに送信）に関する設定をします。

監査ログとは、いつ、誰が、どのような作業を本体で行ったかを記録したものです。監査ログ機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。



- 監査ログを取り出すには、CentreWare Internet Services を使用します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。



- 監査ログの保存項目については、弊社公式サイトで提供している『監査ログリファレンスガイド』を参照してください。

[監査ログの記録]

監査ログを記録するかどうかを設定します。

監査ログ機能が有効になると、本体に監査ログが記録されます。

ログは最大で 15000 件まで保存され、15000 件を超えると日付の古いログから削除されます。

[監査ログの Syslog 送信]

監査ログを Syslog サーバーに送信するかどうかを設定します。

[Syslog- サーバー名 / アドレス]

Syslog サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

[Syslog-UDP/TCP ポート番号]

Syslog サーバーの UDP または TCP のポート番号を入力します。

[Syslog-TLS ポート番号]

Syslog サーバーの TLS ポート番号を入力します。

[Syslog- トランスポートプロトコル]

Syslog に送信する際のトランスポートプロトコルを設定します。

[Syslog- ファシリティ]

Syslog に送信する監査ログのファシリティ番号を入力します。

[Syslog- タイムアウト値]

Syslog 送信時の送信タイムアウト値を入力します。

[送信エラー時の対応方式]

デバイス内の監査ログが Syslog 未送信のまま最大保存件数に達したときの動作を設定します。

[稼動優先] を選ぶと、日付の古いログから上書きされます。上書きされた監査ログは、Syslog 送信できません。

[監査優先] を選ぶと、システムエラーとなり、本機が停止します。本体と Syslog サーバーを接続できる状態にしてから、本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯したら、もう一度電源を入れてください。

[保守]

点検または修理の依頼、その他の調整をします。



[保守レポートの出力]

[機能別カウンターレポート]



- 詳しくは、「[機能別カウンターレポート]」(P.116)を参照してください。

[ユーザー別集計管理]

ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。なお、ユーザー別集計管理レポートは、集計管理機能を有効にしているかどうかで、表示される画面が異なります。

◆ [集計管理機能の運用] が [本体集計管理] 以外に設定されている場合

[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] 以外に設定されている場合は、次の画面が表示され、プリンター集計レポートをプリントできます。



- [プリンター集計]

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。[プリンター集計] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

◆ [集計管理機能の運用] が [本体集計管理] に設定されている場合

[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] に設定されている場合は、[ユーザー別集計管理] 画面が表示されます。集計管理機能を [集計する] に設定している機能の、ユーザー別の集計管理レポートを、機能ごとにプリントできます。



- 各機能の集計管理機能の設定については、「[集計管理]」(P.154)を参照してください。

集計管理レポートをプリントするには、各集計管理レポートを選び、ユーザー番号の範囲を指定します。



- [プリンター集計管理]

登録ユーザー別に、今までプリントした白黒累積ページ数、カラー累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

補足

- [集計管理機能の運用] の [ネット集計管理] で [各機能の集計] の [プリンター] を [集計しない] に設定している場合は、[プリンター集計管理] ではなく、[プリンター集計] が表示されます。プリンター集計レポートについては、「[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] 以外に設定されている場合」(P.162) を参照してください。

【使用済み製品回収情報シート】

使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートをプリントできます。お客様から弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報をご通知いただくことにより、本機の回収経路が決定します。

【GS1-128 バーコードサンプル】

GS1-128 バーコードサンプルを出力できます。

バーコードモードを有効にした場合と無効にした場合のバーコードのプリント状態を確認できます。

【初期設定項目】

本機を使うための初期設定が完了しているかどうかを確認できます。初期設定されていない項目は、ここから設定画面を表示できます。

【ソフトウェアオプションの設定】

この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。

【ソフトウェアオプションの設定－USB】

ソフトウェアオプションを有効化します。

【機械起動時のプログラム診断】

本機の電源を入れたときに、プログラム診断をするかどうかを設定します。

プログラム診断によって、意図的なプログラムの書き換えなどの異常が見つかった場合は、起動を停止し、監査ログに記録します。

【IC カード情報の確認】

[IC カード情報の確認] を選び、ご利用の IC カードを IC カード読み取り装置（オプション）にタッチすると、IC カードの情報がタッチパネルディスプレイに表示されます。

補足

- 認証に使用する情報は、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

【証明書の一括削除 / 初期化】

証明書を一括削除し、初期化します。[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [SSL/TLS 設定] で証明書を使用するように設定しているにもかかわらず、証明書ファイルの異常などが原因で、証明書データが使用できなくなった場合に使用します。

【カスタムトナー / ドラム】

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。

対応したトナー / ドラムでご使用ください。

注記

- 本設定による使用は、本来の本機の機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、本機が故障する原因となることがあります。本機の故障となった場合は、有償修理となります。

- ・ [使用する] に設定したときは、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

[画質調整]

[アライメント調整]

用紙にプリントする出力イメージの位置を調整します。



補足

- ・ 詳しくは、「アライメント調整を行う」(P.213) を参照してください。

[転写出力調整]

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。



補足

- ・ 詳しくは、「[転写出力調整]」(P.164) を参照してください。

[階調補正]

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正します。



参照

- ・ 詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）」(P.219) を参照してください。

[面内ムラ調整]

用紙にプリントする出力イメージの濃度のムラを調整します。



参照

- ・ 詳しくは、「出力イメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）」(P.219) を参照してください。

[パンチユニット設定]

取り付けたパンチユニットの種類を設定します。

[製本折り位置の調整]

製本折り位置を、B4 未満 / 以上の場合でそれぞれ設定します。



参照

- ・ 詳しくは、「製本折り位置の調整」(P.222) を参照してください。

[パンチ位置の調整]

パンチ位置を、B4 未満 / 以上の場合でそれぞれ設定します。

[紙折り位置の調整]

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10 種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。



参照

- ・ 詳しくは、「紙折り位置の調整」(P.224) を参照してください。

[折りを補助する筋]

中とじ製本時、冊子が開く場合に、折りを補助する筋を入れることができます。



補足

- ・ 筋の本数が多いほど、製本速度が遅くなります。

- 用紙サイズや用紙種類によっては、折りを補助する筋を入れても冊子が開いてしまう場合があります。

[カラーレジ補正]

印刷結果に色版のずれが発生した場合は、カラーレジを補正します。



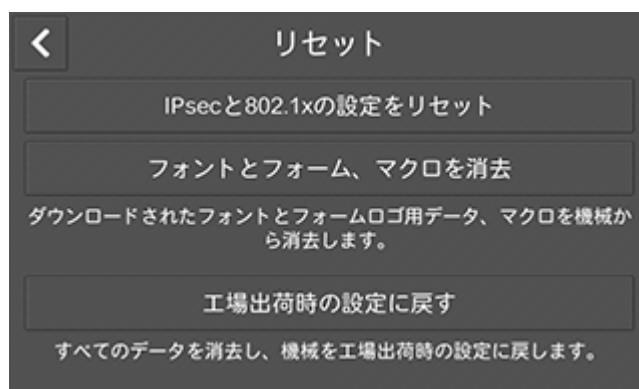
注記

- 本機の性能に影響が出るおそれがありますので、カラーレジ補正を連続して実行しないでください。

[トレイ 5(手差し) ガイド調整]

トレイ 5 (手差し) の用紙ガイド幅の検知精度を補正します。

[リセット]



[IPsec と 802.1x の設定をリセット]

[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [IPsec 設定] および [IEEE 802.1x 設定] を無効にし、設定を初期化します。

[フォントとフォーム、マクロを消去]

本体内にダウンロードされたフォントデータ、フォームデータ、マクロデータをすべて消去します。

[工場出荷時の設定に戻す]

本機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

7 便利な使い方

7.1 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピュータで使用できます。



各タブで設定できる主な機能は次のとおりです。

メニュー名	主な機能
[ホーム]	用紙トレイや消耗品の状態、サポート情報、通知などを確認できます。
[アプリ]	アプリの設定ができます。
[ジョブ]	ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。
[ネットワーク] *1	ネットワーク通信に必要な設定ができます。
[認証 / 集計 / 権限] *1	ユーザーごとに認証、集計管理、権限の設定ができます。
[システム] *1	本機の各種動作に関する設定ができます。

*1 : 機械管理者としてログインすると表示されます。工場出荷時の機械管理者のユーザー ID およびパスワードについては、「ログインの方法」(P.42) を参照してください。

💡 補足

- 操作パネルの操作中は、CentreWare Internet Services で設定を変更できません。

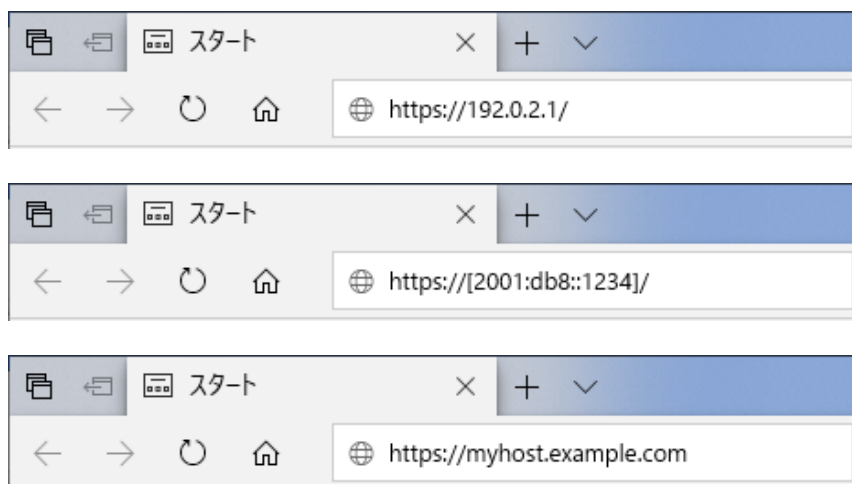
📖 参照

- CentreWare Internet Services から設定できる項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

CentreWare Internet Services を起動する

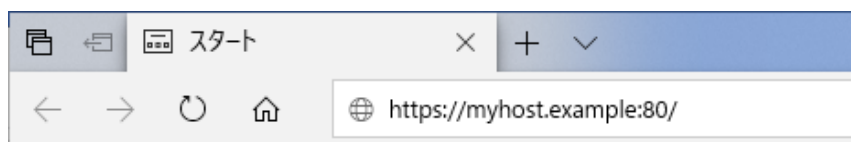
1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。



💡 補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。



ログインの方法

1. CentreWare Internet Services を起動します。
2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。
3. [ユーザー ID] を入力して、[ログイン] をクリックします。

💡 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。
- 認証を解除する場合は、画面右上の認証ユーザー名 > [ログアウト] をクリックします。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。**?**をクリックすると、[ヘルプ ...] ウィンドウが表示されます。



💡 補足

- CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

7.2 本機に付属のソフトウェアを使う

付属の [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

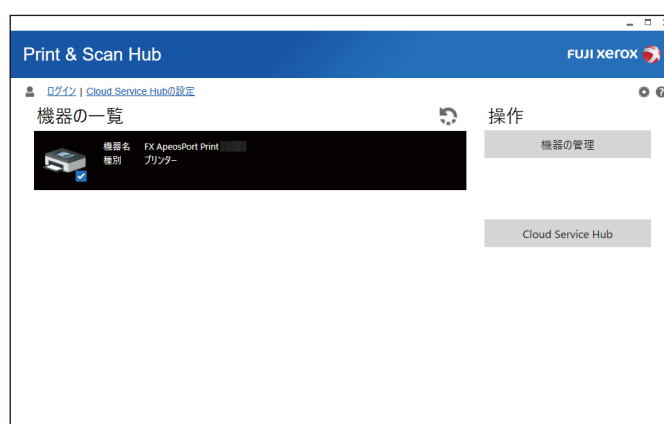
💡 補足

- 最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。
次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

Print & Scan Hub (Windows)

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。

Print & Scan Hub を起動するには、[スタート] > [Fuji Xerox Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows)

PC 上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントできます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

Supply Monitor (Windows)

ネットワーク上のプリンターや、USB 接続されたプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得するソフトウェアです。消耗品の残量が少なくなったときは、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

また、Supply Monitor の画面に表示されるオンラインショップ、イー・クイックスへのリンク、またはメール内に記載されたイー・クイックスへのリンク先の URL をクリックすると、インターネットで消耗品を注文できます。

Supply Monitor を起動するには、[スタート] > [Fuji Xerox] > [Supply Monitor] > [Supply Monitor] をクリックします。

💡 補足

- お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンクが表示されません。

Supply Monitor										
メイン画面 - Supply Monitor × ファイル(F) ヘルプ(H) アイコン イー・イクスと Supply Monitor連携のご利用案内										
接続	状態	プリンター名	接続先	トナー(KOMY)	ドラム(KOMY)	回収ボトル	リンク▼	シリアル番号	設置場所	備考
						●良好	e-0aで注文 e-0aで注文			
	⚠					●良好				
						●良好				
						●良好				
						●良好				
						●良好				

詳細情報の表示
 ☒ 表示しない
 ☐ 表示する

7.3 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書
- 認証局（CA）によって署名された証明書



- 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可 ×：使用不可

暗号化の種類	自己証明書	認証局（CA）によって署名された証明書
コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）	×	○
IPsec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

*1：[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

通信を暗号化するには、自己証明書または認証局（CA）によって署名された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用します。



- HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに通信データを暗号化（SSL 暗号化通信）できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）

外部サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、認証局（CA）によって署名された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書を CentreWare Internet Services を使用して本機にインポートする必要があります。

IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合は、認証局 (CA) によって署名されたデバイス証明書が必要です。

[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書 (上位の CA 証明書) を本機にインポートしておく必要があります。

HTTP の通信を暗号化するための設定

証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する方法と、認証局 (CA) によって署名された証明書をインポートする方法があります。

補足

- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [システム] をクリックします。
3. [セキュリティ設定] をクリックします。
4. [証明書設定] をクリックします。
5. [新規作成] > [自己署名証明書の作成] をクリックします。
6. [デジタル署名の方式] を必要に応じて設定します。
7. [公開鍵のサイズ] を必要に応じて設定します。
8. [発行者] を必要に応じて設定します。
9. [有効期間 (日数)] を必要に応じて設定します。
10. [実行] をクリックします。
11. 生成が終了したら、[閉じる] をクリックします。

認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートする場合

認証局 (CA) によって署名された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するように設定します。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [システム] をクリックします。
3. [セキュリティ設定] をクリックします。
4. [証明書設定] をクリックします。
5. [インポート] をクリックします。
6. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
7. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
8. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
9. [実行] をクリックします。
10. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

補足

- 本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [システム] をクリックします。
3. [セキュリティ設定] をクリックします。
4. [SSL/TLS 設定] をクリックします。
5. [本体の証明書 - サーバー] で証明書を選びます。

補足

- 証明書を選べないときは、[システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

6. [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号] を必要に応じて設定します。

注記

- ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

7. [保存] をクリックします。
8. 本機を再起動する表示に変わったら、[今すぐ再起動] をクリックします。

コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を「デジタル署名」にするときは、本機に証明書を設定します。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、「証明書の準備」は不要です。「IPsec の設定」を行ってください。

補足

- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

証明書の準備

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどちらかとなります。
- IPsec 用には、CentreWare Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。

参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.172) を参照してください。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。

参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [システム] をクリックします。

3. [セキュリティ設定] をクリックします。

4. [証明書設定] をクリックします。

5. [インポート] をクリックします。

6. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。

補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

7. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。

8. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。

9. [実行] をクリックします。

10. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] をタップします。
4. [セキュリティ設定] をタップします。
5. [IPsec 設定] > [IPsec 設定] をタップします。



- オプションの設定によっては、表示が異なることがあります。

6. IKE 認証方式を設定します。

デジタル署名方式の場合

- 1) [本体の証明書] をタップします。
- 2) 認証に使う証明書を選び、[OK] をタップします。
- 3) [IKE 認証方式] をタップします。
- 4) [デジタル署名による認証] を選び、[OK] をタップします。

事前共有鍵方式の場合

- 1) [事前共有鍵] をタップします。
- 2) 事前共有鍵にする文字列を入力し、[OK] をタップします。
- 3) [IKE 認証方式] をタップします。
- 4) [事前共有鍵による認証] を選び、[OK] をタップします。

7. [IPsec 通信] をタップし、[有効] を選びます。

8. その他の必要な設定をします。



- 詳しくは、「[IPsec 設定]」(P.151) を参照してください。

通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て



- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。



- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.172) を参照してください。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 証明書をインポートします。

- 1) [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
- 2) [インポート] をクリックします。
- 3) [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
- 4) [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 5) [パスワードの再入力] に、同じパスワードを入力します。
- 6) [実行] をクリックします。
- 7) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

3. Wi-Fi 接続の設定をします。

- 1) [ネットワーク] をクリックします。
- 2) [インターフェイス設定] の [Wi-Fi] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。
- 3) [SSID] に接続先の SSID を入力します。
- 4) [通信モード] を選びます。

4. セキュリティの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

- 1) [セキュリティ設定] の [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise(AES/TKIP)] を選びます。
- 2) [認証方式] を選びます。
- 3) [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。

認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 7) に進みます。



- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

- 4) 認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAPTTLS/MS-CHAPv2 の場合は、[ユーザー名] および [パスワード] に WPAEnterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを設定します。
- 5) [パスワードの再入力] に、確認のためパスワードをもう一度入力します。
- 6) [ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選びます。

- 7) 認証方式が EAP-TLS の場合は、[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選びます。
- 8) [保存] をクリックします。
- 9) [再起動] をクリックします。

7.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

認証機能と集計管理機能の概要

認証機能を有効にすると、本機を利用できるユーザーを管理したり、ユーザーごとに利用できる機能を制限したりできます。また、サービスの使用状況をユーザーごとに集計して管理することもできます。

ユーザーの種類について

認証機能を有効にしているときは、次のユーザーに分けられます。



補足

- 認証機能を有効にしていないときは、機械管理者と一般ユーザーに分けられます。

機械管理者

本機の管理者として、システムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特別に定義された UserID を使用します。

認証ユーザー

本機や外部のサーバーに登録されているユーザーです。それぞれの UserID を使って認証します。

ゲスト

本機や外部のサーバーに登録されていないユーザーです。

利用が制限されているサービスを利用できません。

管理の権限と権限グループについて

本機でユーザーごとに管理の権限を設定できます。

[機械管理の権限]

機械管理者と同じ権限が与えられます。ただし、機械管理者パスワードの変更はできません。

[集計管理の権限]

次の権限が与えられます。

- ユーザー情報の登録、削除、変更（パスワードのみ変更不可）、参照（設定により操作できないことがあります）
- 集計管理の登録、削除、変更、参照
- Account ID の代替表記 / Account ID の入力表示の変更
- ユーザー別集計管理レポートのプリント

[権限グループ]

利用制限に対する操作を許可する権限をグループ分けして、認証ユーザーを登録できます。権限グループに属したユーザーは、機械管理者と同様に操作を実行できます。



参照

- 詳しくは、「[権限グループ登録]」(P.157) を参照してください。

利用制限について

全体での利用制限

操作パネルの操作、本機の設定変更、および各機能の利用を制限できます。本機を利用するときに、ユーザー認証が必要になります。



参照

- 詳しくは、「[アクセス制御]」(P.156)を参照してください。

ユーザーごとの利用制限

ユーザーごとに、サービスの利用制限、上限ページ数を制限できます。



参照

- 詳しくは、「認証機能を使ったサービスの利用制限」(P.181)を参照してください。

認証の種類について

[本体認証]

本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理します。

[外部認証]

外部の認証サーバー（LDAP、Kerberos、SMB、ApeosWare Management Suite 2、または Azure Active Directory が使用できます）で管理されているユーザー情報を使用して認証します。



注記

- 本体認証から外部認証に変更した場合、本機に登録されたユーザー情報、およびプライベートプリントジョブは削除されます。



補足

- 外部認証時（ApeosWare Management Suite 2 を使用する場合を除く）は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に基づき、本機の操作パネルから利用可能なサービスを利用できます。

認証方法について

User ID 認証

User ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、本機の操作パネルから直接 User ID やパスワードを入力して認証します。

カード認証

カードに登録されているカード番号、または User ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、カードを使って認証します。

カード認証と User ID 認証の併用

本機では、User ID 認証とカード認証を併用することができます。

集計管理機能について

集計管理方法の種類



補足

- 「[認証方式の設定]」が「[外部認証]」で、「[認証システム]」に「[Authentication Agent]」を設定しているときは、ApeosWare Management Suite 2 が自動的に集計 / 認証サーバーになります。

- [認証方式の設定] によっては、認証モードにより選ぶことができない集計管理方法があります。詳しくは、「[認証方式の設定] と集計管理方法の関係」(P.180) を参照してください。

◆ 本体集計管理

本機にあらかじめ登録されている認証ユーザー情報を利用して、ユーザー別に集計管理します。



- 集計できるジョブについては、「本体集計管理で集計できる情報」(P.180) を参照してください。

◆ ネット集計管理

外部サービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

◆ 認証サーバーによる集計管理

認証サーバーを使って集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。



- 認証サーバーは、ユーザー情報を管理し、集計情報を外部のサーバーから取得します。本機が対応している認証サーバーは、ApeosWare Management Suite 2 です。

[認証方式の設定] と集計管理方法の関係

[認証方式の設定] と集計管理方法は別々に設定できます。設定できる組み合わせは、次のとおりです。

○：できる、×：できない

		集計管理の方法			
		[運用しない]	[本体集計管理]	[ネット集計管理]	認証サーバー
[認証方式の設定]	[認証しない]	○	×	○	×
	[本体認証]	×	○	○	×
	[外部認証] *1	○	×	×	○

*1 : [認証方式の設定] が [外部認証] で、[認証システム] が [Authentication Agent] 以外の場合、[集計管理機能の運用] は [運用しない] になります。ApeosWare Management Suite 2 (別売) で集計できます。

本体集計管理で集計できる情報

サービスごとのジョブについて、集計管理できる情報は次のとおりです。

◆ プリント

対象サービス（ジョブ）		集計対象ユーザー	管理項目
通常プリント	本機用プリンタードライバー	認証ユーザー	プリントページ数 / 枚数
	本機用プリンタードライバー以外（BMLinkS など） ^{*1}	認証未登録ユーザー	
セキュリティープリント	文書のプリント	認証ユーザー	
サンプルプリント			
時刻指定プリント			
認証プリント			
プライベートプリント			
メール受信プリント ^{*1}		認証未登録ユーザー	

*1 :CentreWare Internet Services で、[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] にした場合にプリントできます。

認証機能を使ったサービスの利用制限

制限できる機能は、本機の利用形態によって異なります。

利用制限できるサービス

利用制限には、ユーザーごとに設定できるものと、ユーザーにかかわらず機能に設定できるものとがあります。



- ユーザーごとの設定は「ユーザーを登録する（本体認証）」(P.183) を、機能への設定は「[アクセス制御]」（P.156）を参照してください。

[認証方式の設定] と集計管理方法の組み合わせ

[認証方式の設定] と集計管理方法の組み合わせによる、利用制限できるサービスおよび集計管理できるサービスは次のとおりです。



- 本体認証で User ID 認証とカード認証を併用して利用する場合は、User ID 認証を有効にしてください。設定方法は、「[認証情報の設定]」（P.157）を参照してください。



- 認証方法については、「ユーザー認証機能を有効にする」（P.182）を参照してください。

[認証方式の設定] が [本体認証] で、[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] のとき

○：できる、×：できない

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計
	機能別利用制限 *1	上限ページ数 *1	
プリント	○	○	○

*1 :ユーザーごとの設定については、「ユーザーを登録する（本体認証）」(P.183) を参照してください。

[認証方式の設定] が [本体認証] で、[集計管理機能の運用] が [ネット集計管理] のとき

○：できる、×：できない

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計 *2
	機能別利用制限 *1	上限ページ数	
プリント	○	×	○

*1 :ApeosWare Management Suite 2（別売）で利用制限できます。

*2 :ApeosWare Management Suite 2（別売）で集計できます。

[認証方式の設定] が [外部認証] のとき

○：できる、×：できない

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計 *2
	機能別利用制限 *1	上限ページ数 *1	
プリント	○	○	○

*1 :認証システムとして ApeosWare Management Suite 2（別売）を利用している場合は、利用制限できます。

*2 :ApeosWare Management Suite 2（別売）で集計できます。

ユーザー認証機能を有効にする

認証方式とアクセス制御を設定します。そのあとで、本体認証の場合はユーザーを本機に登録します。外部認証の場合は認証サーバーを設定します。

認証方式を設定する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [認証方式の設定] をタップします。
5. [本体認証] または [外部認証] を選び、[OK] をタップします。

アクセス制御を設定する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [アクセス制御] をタップします。
5. [デバイスへのアクセス] で [制限しない] または [制限する] を選びます。



補足

- [制限する] に設定すると、本機の操作パネルですべての操作に認証が必要になります。

6. [サービスへのアクセス] をタップします。
7. 操作に認証が必要かどうかをサービスごとに設定します。



- 1) 変更したいサービスをタップします。
- 2) 設定を選びます。

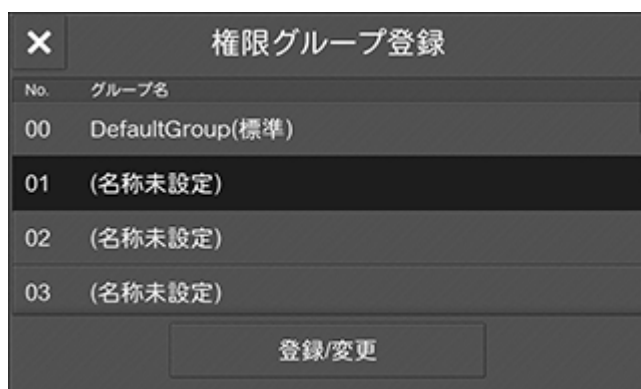
💡 補足

- [制限する (表示)] に設定すると、ホーム画面の該当するアプリに  が表示されます。サービスの利用には認証が必要になります。
- [制限する (非表示)] に設定すると、認証していない状態ではホーム画面に該当するアプリが表示されません。

権限グループを設定する（本体認証）

本体認証のユーザーに割り当てる権限グループを登録します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [権限グループ登録] をタップします。
5. 登録したい権限グループ No. を選び、[登録 / 変更] をタップします。



No.	グループ名
00	DefaultGroup(標準)
01	(名称未設定)
02	(名称未設定)
03	(名称未設定)

登録/変更

💡 補足

- No.00 の [DefaultGroup (標準)] は、ユーザーを新規作成したときのデフォルト権限グループです。認証していないユーザーもデフォルト権限グループに属します。
- デフォルト権限グループも他の権限グループと同様に変更できます。

6. [グループ名] をタップし、名称を入力して [OK] をタップします。
7. 変更したい権限をタップし、設定を選びます。

ユーザーを登録する（本体認証）

[認証方式の設定] を [本体認証] に設定した場合は、認証ユーザーを本機に登録します。ユーザーごとに管理権限、サービスの利用制限や上限ページ数を設定できます。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [集計管理] をタップします。
4. [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。
5. ユーザーを登録する [No.] をタップします。

6. User ID を入力し [完了] > [OK] をタップします。
7. [ユーザー名] をタップします。
8. ユーザーの表示名を入力し、[完了] > [OK] をタップします。
9. パスワードを入力し、[OK] をタップします。
10. 必要に応じて利用制限や権限を設定します。

デフォルト権限グループを設定する（外部認証）

外部認証に設定したときのデフォルト権限グループの権限を設定します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [権限グループ登録] をタップします。
5. [DefaultGroup（標準）] を選び、[登録 / 変更] をタップします。
6. 変更したい権限をタップし、設定を選びます。

認証システムを設定する（外部認証）

[認証方式の設定] を [外部認証] に設定した場合は、外部認証サーバーを本機に登録します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
4. [認証システムの設定] > [認証システム] をタップします。
5. 外部認証サーバーの種類を選び、[OK] をタップします。

補足

- 外部認証サーバーに、ApeosWare Management Suite 2 を使用する場合は、[Authentication Agent] を選びます。

6. [Authentication Agent] 以外を選んだ場合は、[<] をタップしてから認証サーバーの情報を登録します。

参照

- 詳しくは、「[Kerberos サーバー設定]」(P.148)、「[LDAP サーバー設定]」(P.149)、「[SMB サーバー設定]」(P.150) を参照してください。
- Azure Active Directory の設定については、「外部認証の Azure Active Directory を設定する」(P.186) を参照してください。

外部認証の LDAP サーバーを設定する

[認証システム] を [LDAP] に設定したときは、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。

💡 補足

- 本機が対応する LDAP サーバーは、Active Directory および OpenLDAP です。
- 手順で説明している Active Directory での DN 形式や属性値の確認方法、グループにアカウントを追加する方法については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。
- 属性名などで操作パネルから入力できない文字列を使っている場合は、CentreWare Internet Services から設定してください。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
4. [LDAPサーバー設定] > [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス] をタップします。

LDAPサーバー設定	
プライマリーサーバー - 名前 / アドレス	(未設定)
プライマリーサーバー - ポート番号	389
セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス	(未設定)
セカンダリーサーバー - ポート番号	389
認証方式	直接認証
接続確認	

5. LDAP サーバーの IP アドレス（またはホスト名）を入力し、[完了] > [OK] をタップします。
6. [認証方式] をタップし、LDAP サーバーへの認証方式を設定します。

[直接認証]

User ID を使って、LDAP サーバーに認証を行います。

[ユーザー属性認証]

特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証を行います。たとえば、「mail」属性を設定しているときは、メールアドレスを入力してログインします。

[ユーザー属性認証] にするときは、[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。

💡 補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

7. [認証用ユーザー名の属性] をタップし、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力して [OK] をタップします。

💡 補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。
- 認証方式が [直接認証] の場合、操作パネルから認証時に入力する User ID の属性と同じものを設定して下さい。

8. ログインするときの入力文字列に、補完情報を付与するかどうかを設定します。

たとえば、メールアドレス (user@myhost.example.com) を使って認証する場合、「@myhost.example.com」を追加する設定にしておくと、「user」のみの入力でもログインできるようになります。

[ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] にして、[ユーザー名の追加文字列] に追加する文字列を設定します。

9. ディレクトリツリー上の検索範囲を設定します。

補足

- ここで指定したエントリーがユーザー検索の基準になります。ログインするユーザーが含まれる階層のエントリーを指定してください。ただし、エントリー以下の階層に含まれるユーザーやグループの数が多すぎると、本機へのログインに時間がかかることがあります。適切な検索範囲を設定してください。

- 1) [検索起点エントリー (DN)] をタップし、検索の起点とするエントリーを DN 形式で入力して [OK] をタップします。
- 2) [起点からの検索範囲] で検索範囲を選びます。
- 3) 必要に応じて、[検索対象のオブジェクトクラス] をタップし、オブジェクトクラス名を入力します。

10. (ホーム) ボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

外部認証の Azure Active Directory を設定する

[認証システム] を [Azure Active Directory] に設定したときは、Azure Active Directory を利用するための設定をします。

補足

- この機能は、ストレージ (オプション) が取り付けられ、かつ、ストレージ (オプション) に空きがある場合だけ使用できます。
- この機能を利用するためには、EP-BB の契約が必要です。また、EP 通信用のプロキシサーバーを設定する必要があります。設定方法については、「[EP プロキシサーバー設定]」(P.146) を参照してください。

参照

- Azure Active Directory について、詳しくは Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

Azure Active Directory を使うための準備

◆ Azure Active Directory 上での管理者による同意

本機で Azure Active Directory を利用するには、本機が次の各処理を行うことを、お客様に同意していただく必要があります。

- ユーザーの認証
- ユーザー名など基本情報の参照
- ユーザーのメールアドレスの参照
- ディレクトリ内に存在するグループ一覧の参照

同意の手順を説明します。

1. Web ブラウザーのアドレス入力欄に次の URL を入力し、< Enter >キーを押します。
https://login.microsoftonline.com/common/adminconsent?client_id=8d4725eb-672b-4d11-8f26-069a8844097b@redirect_uri=https://account.fujixerox.com/consentResult.html
2. テナント管理者のアカウントでログインします。
3. 権限に対する同意画面が表示されます。内容を確認し、[承諾] をクリックします。
4. 同意成功の画面が表示されたら、Web ブラウザーを閉じます。

◆ DNS サーバーの設定

本機を使用するためには、DNS サーバーを設定する必要があります。

参照

- 設定方法については、「[IPv4-DNS 設定]」(P.144)、または、「[IPv6-DNS 設定]」(P.144) を参照してください。

◆ プロキシサーバー設定

本機能を使用するためには、プロキシサーバーを設定する必要があります。



- 設定方法については、「[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定 -LAN1]、[プロキシサーバー設定 -LAN2]、[プロキシサーバー設定 -Wi-Fi]」(P.145) を参照してください。

Azure Active Directory への接続情報を設定する

本機が Azure Active Directory に接続するために必要な情報の設定方法を説明します。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [認証 / 集計 / 権限] をクリックします。

3. [認証設定] をクリックします。

4. [外部認証] の [設定] をクリックします。

5. [Azure Active Directory] を選び、[保存] をクリックします。

6. [ディレクトリーID] に、お客様が契約されている Azure Active Directory のディレクトリ ID を入力します。

7. [ドメイン設定] の [確認 / 変更] をクリックします。

8. Azure Active Directory のドメイン情報を入力します。

9. [保存] > [保存] をクリックします。

10. 本機を再起動する表示に変わったら、[はい (変更する)] をクリックします。

Azure Active Directory グループアカウントを設定する

ここでは、文書プリント機能へのアクセス権限を割り当てる Azure ActiveDirectory グループアカウントを例に設定方法を説明します。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。



- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [認証 / 集計 / 権限] をクリックします。

3. [認証設定] をクリックします。

4. [外部認証] の [設定] をクリックします。

5. [Azure Active Directory] を選び、[保存] をクリックします。

6. [グループアカウントの権限設定] の [確認 / 変更] をクリックします。

7. [文書プリント] をクリックします。

8. [文書プリント] のグループに操作権限を割り当てたい Azure Active Directory グループのオブジェクト ID (OID) を xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。

 補足

- ログインしたユーザーがここで設定したグループアカウントに所属する場合、そのユーザーに対して操作権限を与えます。

 参照

- Azure Active Directory でのグループアカウントの DN の確認方法については、「Azure Active Directory グループのオブジェクト ID の確認方法」(P.188) を参照してください。

9. [OK] をクリックします。

ほかの機能も制限する場合は手順 7 ～ 9 と同様に設定します。

10. [保存] > [保存] の順にクリックします。

その他の設定事例 (Azure Active Directory)

Azure Active Directory グループのオブジェクト ID の確認方法

Azure Active Directory グループに登録されているオブジェクト ID を確認する方法を説明します。

1. Azure Portal に全体管理者でログインします。
2. [Azure Active Directory] > [グループ] で対象のグループを選びます。
3. [オブジェクト ID] で Azure Active Directory のオブジェクト ID を確認します。

Azure Active Directory でグループにアカウントを追加する方法

Azure Active Directory で既存のグループにアカウントを追加する方法を説明します。

1. Azure Portal に全体管理者でログインします。
2. [Azure Active Directory] > [グループ] で対象のグループを選びます。
3. [管理] 領域の [メンバー] を選び、[メンバーの追加] をクリックします。
4. [メンバーの選択または外部ユーザーの招待] から追加したいユーザーを選びます。
5. [選択] をクリックします。

ログインに時間がかかり、同じユーザーでログインに成功したり失敗したりする場合

Azure Active Directory もしくはネットワークに負荷がかかっている可能性が高いため、基本的には使用環境の調査と見直しが必要です。

本機の Azure Active Directory への通信時の待ち時間を十分長い時間に設定することでログインの失敗を回避できることがあります。ただし、ログインにかかる時間は短縮されないため、あくまでも暫定的な回避方法です。

次の手順で通信時の待ち時間を設定できます。

1. CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者でログインします。

 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.166) を参照してください。

2. 左側のメニューから [認証 / 集計 / 権限] をクリックします。

3. [認証設定] をクリックします。
4. [詳細設定] をクリックします。
5. [認証応答待ち時間の上限] と [ユーザー情報検索時間の上限] に適切な時間を入力します。

[認証応答待ち時間の上限]

Azure Active Directory に認証要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。

ネットワークへの負荷が疑われる場合には、この値を変更してください。

[ユーザー情報検索時間の上限]

Azure Active Directory に検索要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。

Azure Active Directory への負荷が疑われる場合には、この値を変更してください。

6. [保存] をクリックします。

IC カード利用時にパスワードを省略したい

IC カード情報とユーザー情報ならびに当該ユーザーのリフレッシュトークンが本機に保存されている場合、リフレッシュトークンの有効期間内であれば、パスワード入力を省略できます。

次の手順で、IC カード情報とユーザー情報ならびにリフレッシュトークンを本機に保存できます。

1. IC カードを設定します。

補足

- IC カードの設定は、CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

2. [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [外部認証情報の本体保存] を [する] に設定します。
3. IC カードをかざし、ユーザー ID とパスワードを入力します。

以降は、リフレッシュトークンの有効期間内は、IC カードをかざすだけで本機へのログインが可能となります。

リフレッシュトークンの有効期間が切れた、またはリフレッシュトークンが無効となった場合は、再度ユーザー ID とパスワードの入力が必要です。

Azure Active Directory の情報を利用する

本機認証時に、Azure Active Directory からユーザー属性情報を取得します。

補足

- 証明書は取得されません。

取得した情報は、本機使用時に次の用途に利用します。

- 認証用ユーザー名は、ジョブのユーザー ID として使用されます。

IC カード読み取り装置（オプション）で認証するための設定

IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を照合して、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理したりできます。

利用できる IC カード

利用できる IC カードについては、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

IC カードとパスワードの併用の設定

外部認証で、IC カードを使って本機にログインするときに、パスワードの入力を求めるかどうかを設定します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。
5. [IC カード接続時の認証] でパスワード入力が必要かどうかを設定します。
6. 𓄞(ホーム) ボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

IC カード使用時の認証解除の設定

IC カード使用時の認証解除方法を設定します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
4. [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。
5. [非接触型 IC カード設定] をタップします。
6. 認証の解除方法を選び、[OK] をタップします。



詳しくは、「[認証情報の設定]」(P.157) を参照してください。

7. 𓄞(ホーム) ボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

IC カード情報の登録

機械管理者は、CentreWare Internet Services を使用して、IC カード情報と認証に使用する情報を設定します。



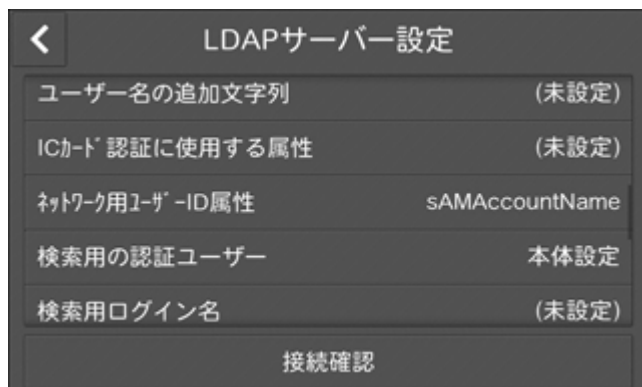
詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

外部認証に LDAP サーバーを使うときの設定

IC カードの ID と対応させる属性と、認証後にユーザーの識別に使われる属性を設定します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。

3. [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
4. [LDAP サーバー設定] > [IC カード認証に使用する属性] をタップします。



項目	値
ユーザー名の追加文字列	(未設定)
ICカード認証に使用する属性	(未設定)
ネットワーク用ユーザーID属性	sAMAccountName
検索用の認証ユーザー	本体設定
検索用ログイン名	(未設定)

接続確認

5. IC カードの ID と対応させる属性名を入力し、[OK] をタップします。

 補足

- 属性にはあらかじめカード ID が登録されている必要があります。
- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。

6. [ネットワーク用ユーザー ID 属性] をタップします。

7. IC カードで認証したときに、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力し、[OK] をタップします。

 補足

- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。

8. 戻る(ホーム) ボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

集計管理するための設定

 参照

- [認証方式の設定] と集計管理方法の関係については、「[認証方式の設定] と集計管理方法の関係」(P.180) を参照してください。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [認証 / 集計管理] > [集計管理] をタップします。
4. [集計管理機能の運用] をタップします。
5. 集計管理の方法を選び、[OK] をタップします。

 参照

- 集計管理機能については、「集計管理方法の種類」(P.179) を参照してください。

8 日常管理

8.1 消耗品を交換する



警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



注意

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の取り扱いについて

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

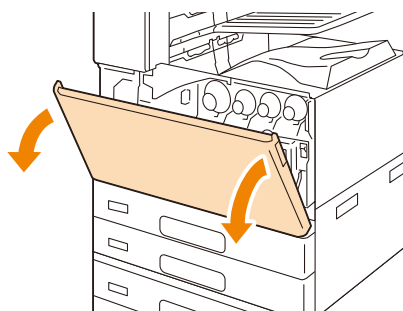
トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

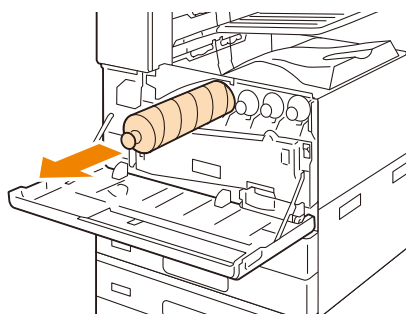
💡 補足

- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、叩いたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

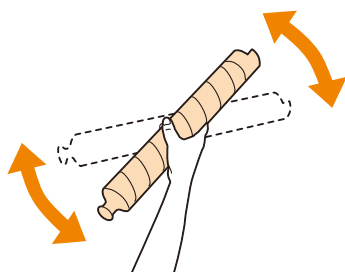
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



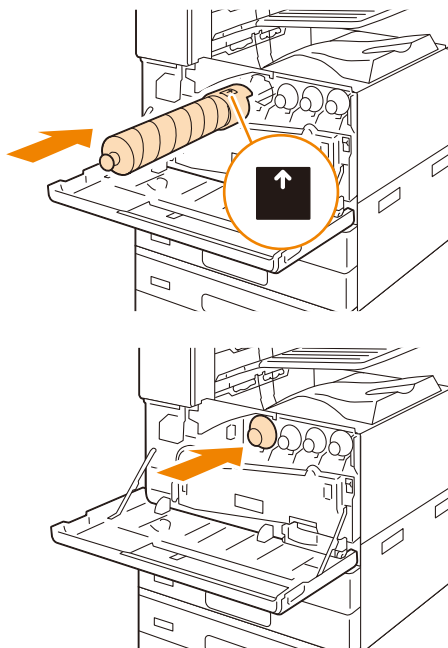
2. メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出します。



3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意し、図のように軽く 10 回上下左右によく振ります。



4. トナーカートリッジの矢印（↑）部を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。



5. 正面カバーを閉じます。

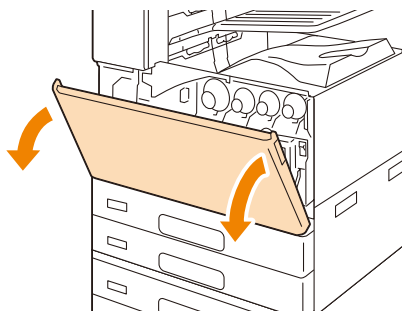
ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

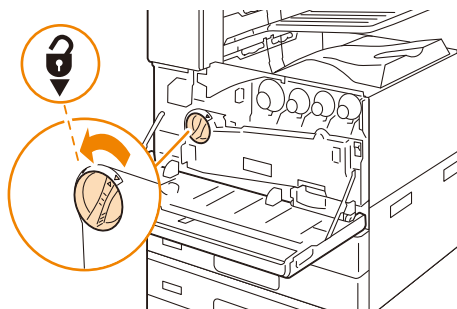
❗ 注記

- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。

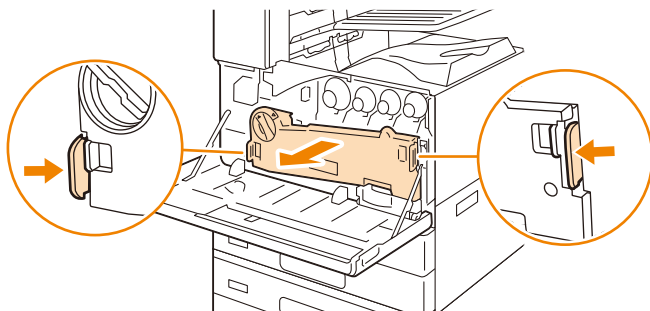
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



2. 正面左側にあるハンドルを左側に回します。

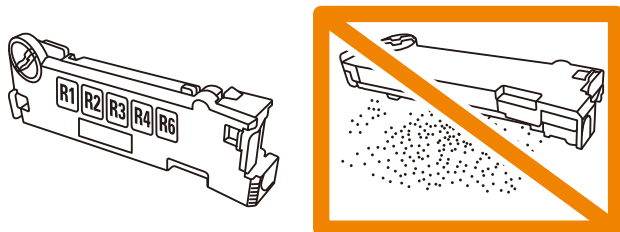


3. 搬送ボックスの両端のつまみをつまんで、ボックスを外します。

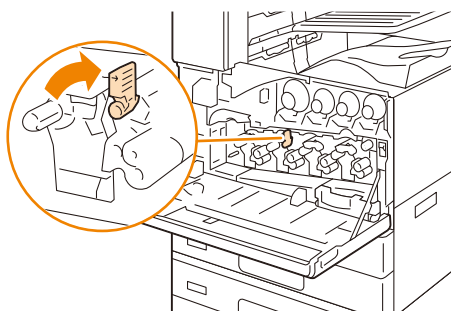


💡 補足

- 外したボックスは立てた状態で平らな場所に置いてください。



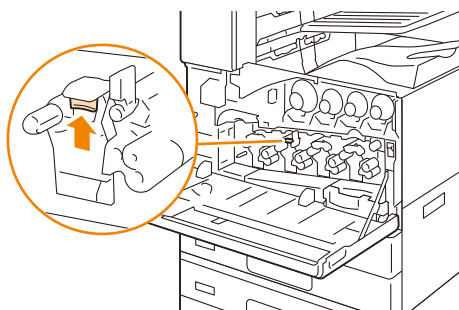
4. メッセージに表示されているドラムカートリッジ（R1、R2、R3、R4）のストッパーを右側に回します。



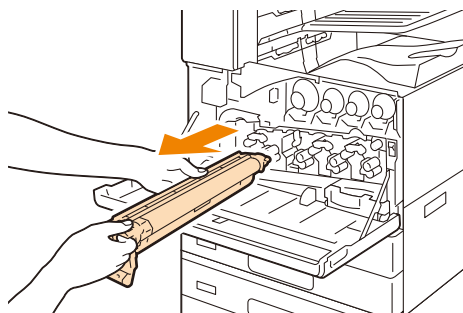
💡 補足

- ここでは、R2 の場合を例に説明します。

5. つまみを押してロックを解除します。



6. ドラムカートリッジの下側を支えて、ドラムカートリッジを静かに引き抜きます。



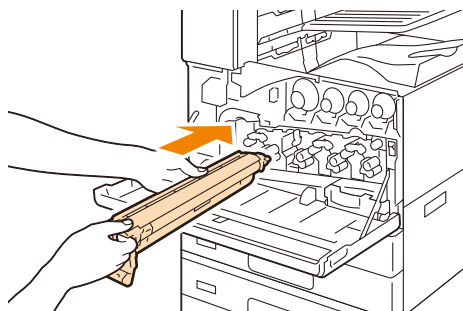
7. 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れてその箱にしまいます。



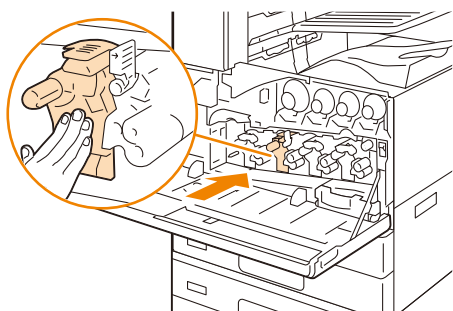
補足

- 新しいドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。

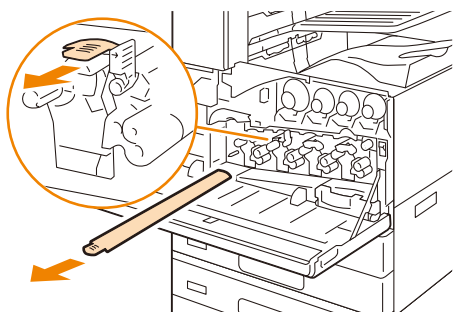
8. 新しいドラムカートリッジ（保護カバー付き）を差し込みます。



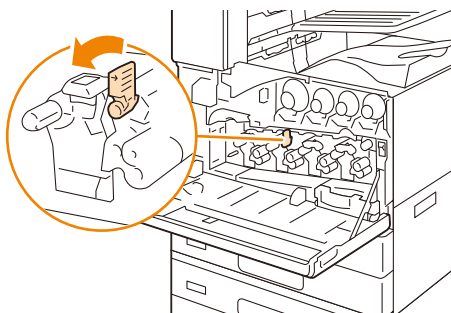
9. ドラムカートリッジが奥に突き当たり、「カチッ」と音がするまで、まっすぐに押し込みます。



10. ドラムカートリッジの上部のつまみを持って、保護カバーをゆっくり引き抜きます。



11. ストッパーを左側に回して、ロックします。



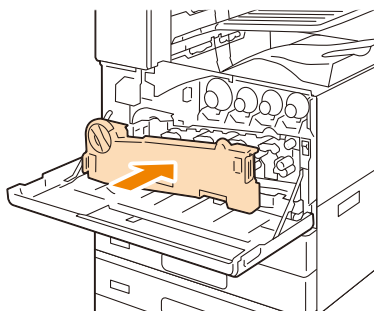
12. LED プリントヘッド部を清掃します。



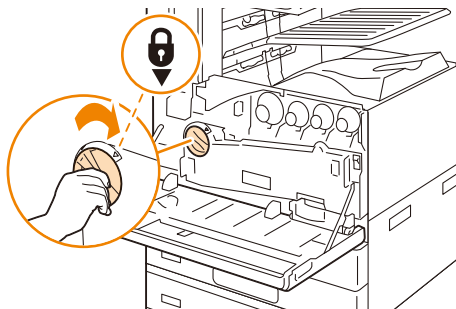
参照

- 清掃方法については、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」(P.235)を参照してください。

13. 搬送ボックスを元に戻します。



14. ハンドルを右側に回して、ロックします。



15. 正面カバーを閉じます。

トナー回収ボトルを交換する

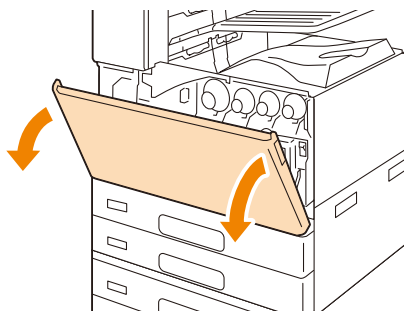
プリント後のドラムに残ったトナーは、集められてトナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルの交換時期が近づくと、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。



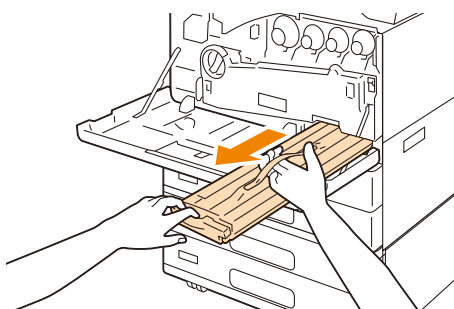
補足

- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業してください。

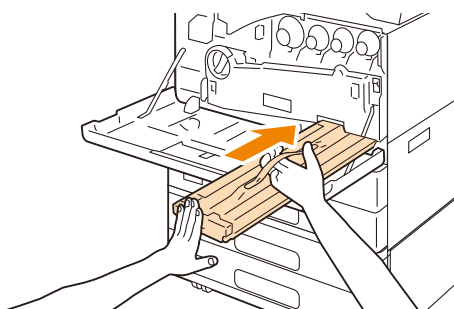
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



2. トナー回収ボトル「R5」の取っ手を持ちながらゆっくりと引き抜きます。



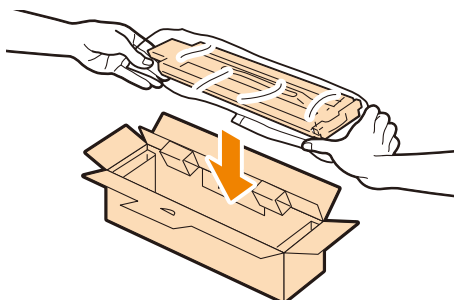
3. 新しいトナー回収ボトルを、取っ手を持ちながら差し込み、「カチッ」と音がするまで奥に押し込みます。



4. 正面カバーを閉じます。

5. 使用済みのトナー回収ボトルをビニール袋に入れ、しっかりファスナーを閉めます。

6. 使用済みのトナー回収ボトルを、両手でしっかり持って空箱に収納します。



7. LED プリントヘッド部を清掃します。



• 清掃方法については、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」(P.235) を参照してください。

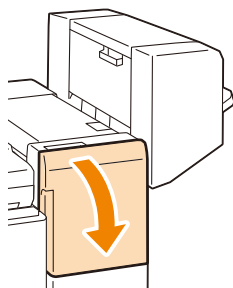
ホチキス針を交換する（フィニッシャー B3 装着時）

ホチキスの針が無くなると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

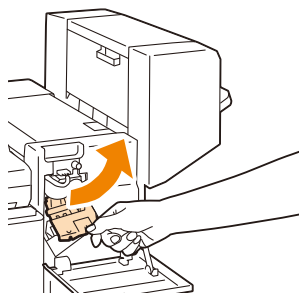
💡 補足

- 本機が節電状態になっている場合は、ホチキスカートリッジを交換する前に、⏻〈電源 / 節電〉ボタンを押して節電状態を解除し、ホーム画面の〔機械確認 (メーター確認)〕を押してください。
- ホチキスカートリッジを交換するときは、タッチパネルディスプレイが点灯している場合でもホーム画面の〔機械確認 (メーター確認)〕を押してホチキスカートリッジの状態を確認してから、交換してください。

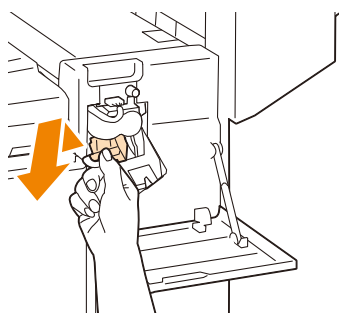
1. 本機が停止していることを確認しフィニッシャーの正面カバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジ「R1」のつまみを持って、ホチキスカートリッジを右端（手前）へ引き寄せます。



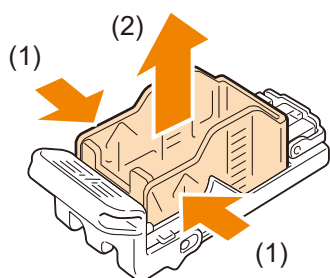
3. 上方向へ引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。



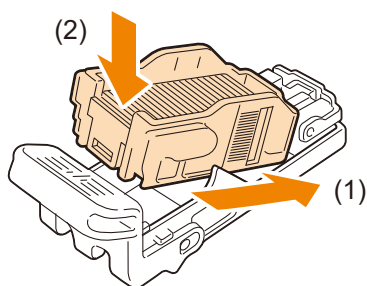
💡 補足

- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

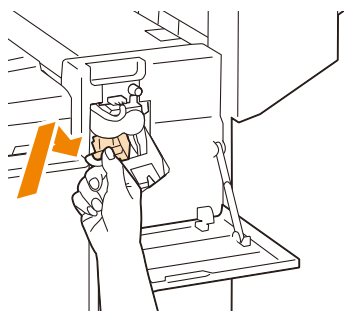
4. 空になったホチキス針ケースの左右をつまみ (1)、ホチキスカートリッジから取り出します (2)。



5. 新しいホチキス針ケースを用意し、ホチキスカートリッジに新しいホチキス針ケースを先端から挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



6. 「カチッ」と音がするまで、ホチキスカートリッジを押し込みます。



7. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

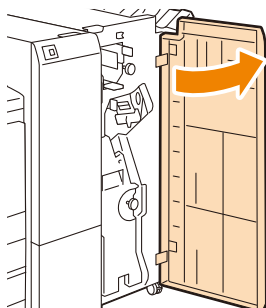
平とじ用ホチキス針を交換する (フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時)

ホチキス針の残量によって、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

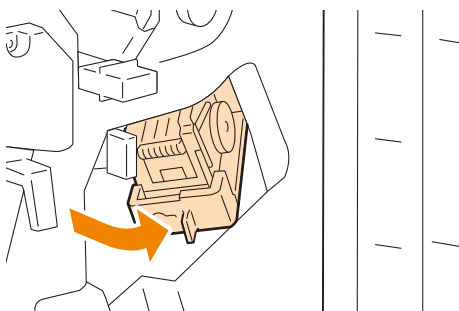
💡 補足

- 本機が節電状態になっている場合は、ホチキスカートリッジを交換する前に、⏻ (電源 / 節電) ボタンを押して節電状態を解除し、ホーム画面の [機械確認 (メーター確認)] を押してください。
- ホチキスカートリッジを交換するときは、タッチパネルディスプレイが点灯している場合もホーム画面の [機械確認 (メーター確認)] を押して正確なホチキスカートリッジの状態を確認してから、交換してください。

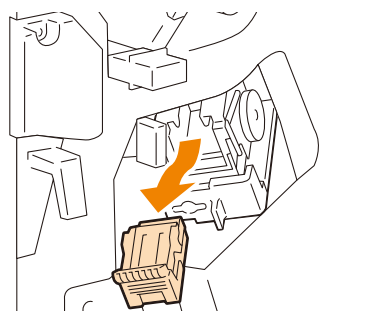
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジホルダー「R1」のレバーを持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。

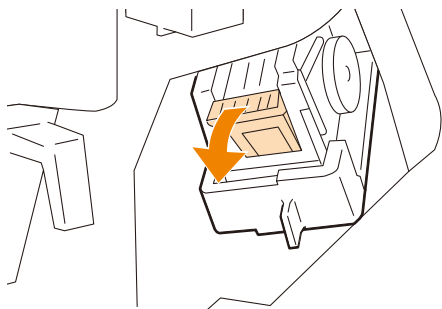


3. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

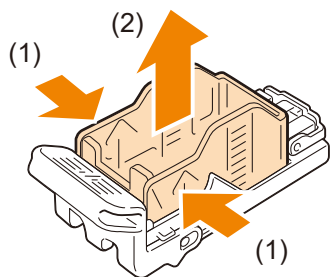


 補足

- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。
- 65 枚用ホチキスカートリッジを装着している場合は、レバーを下方方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。



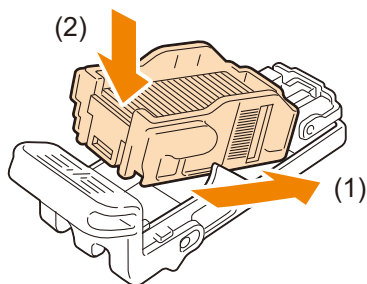
4. 空になった針ケースの左右をつまみ (1)、カートリッジから取り出します (2)。



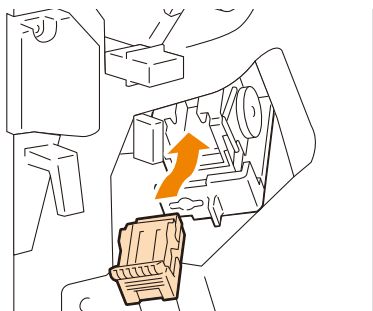
注記

- 針ケースにホチキス針が残っている場合は、針ケースを取り出すことはできません。無理に針ケースを取り出そうとすると故障の原因になります。

5. ホチキスカートリッジに新しい針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



6. ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



7. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

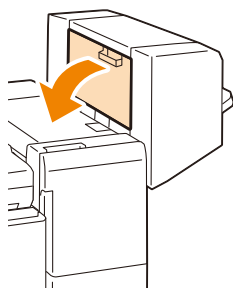
中とじ用ホチキスカートリッジを交換する（フィニッシャー B3 中とじユニット装着時）

ホチキス針の残量によって、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

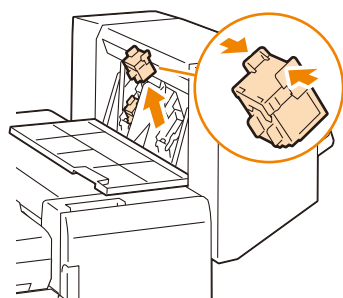
補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジを交換するときは、ホーム画面の〔設定〕 > 〔消耗品確認〕 をタップして中とじ用ホチキスカートリッジの状態を確認してから、交換してください。

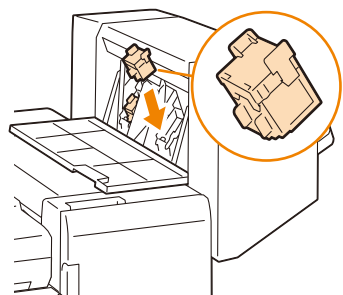
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの側面カバーを開けます。



2. 中とじホチキスカートリッジの左右にあるツメを持ち、そのまま上に引きながら取り出します。



3. 新しい中とじホチキスカートリッジの、左右にあるツメを持ちながら元の位置に戻し、上から軽く押して、「カチッ」と音がすることを確認します。



4. もう一方も同じように交換します。
5. フィニッシャーの側面カバーを閉じます。

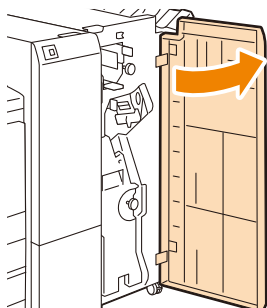
中とじ用ホチキス針を交換する（中とじフィニッシャー C3 装着時）

ホチキス針の残量によって、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

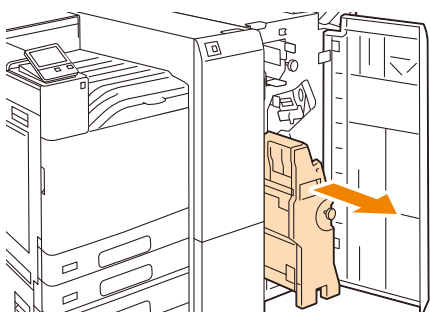
💡 補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジを交換するときは、ホーム画面の〔設定〕 > 〔消耗品確認〕 をタップして中とじ用ホチキスカートリッジの状態を確認してから、交換してください。

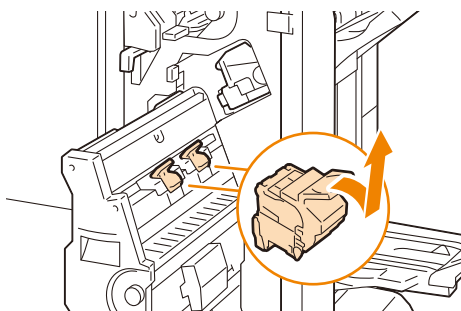
- 1.** 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



- 2.** 中とじユニットを引き出します。



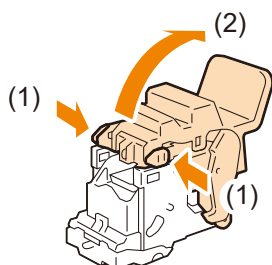
- 3.** 中とじ用ホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



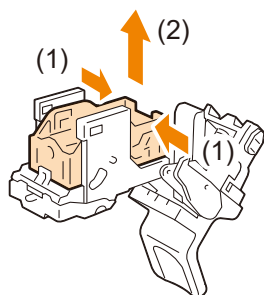
 補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジは2個あります。交換するカートリッジをメッセージで確認してください。

- 4.** 中とじ用ホチキスカートリッジの左右にあるボタンを押して (1)、カバーを開きます (2)。



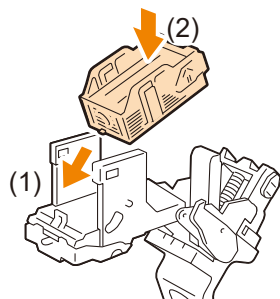
5. 空になったホチキス針ケースの左右をつまみ (1)、中とじ用ホチキスカートリッジから取り出します (2)。



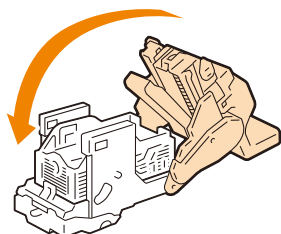
注記

- ホチキス針ケースにホチキス針が残っている場合は、ホチキス針ケースを取り出すことはできません。無理にホチキス針ケースを取り出そうとすると故障の原因となります。

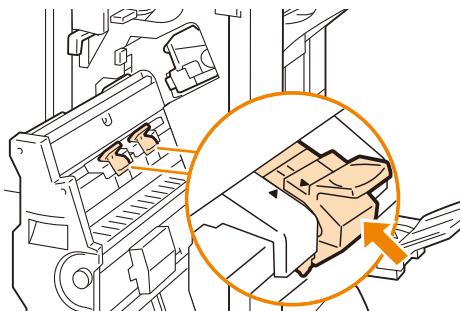
6. 新しいホチキス針ケースを挿入し (1)、後方を押してセットします (2)。



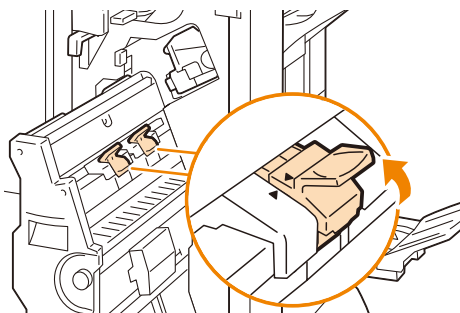
7. カバーを閉じます。



8. 中とじ用ホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



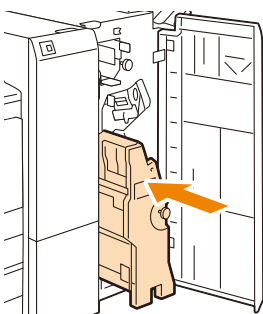
9. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がすることを確認します。



💡 補足

- 中とじ用ホチキスカートリッジの▶と中とじユニットの◀が合うように戻してください。

10. 中とじユニットを元の位置に戻します。



11. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

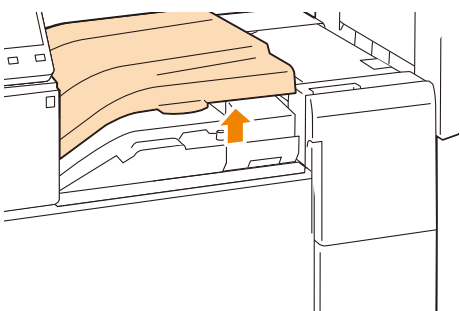
パンチダストボックスのパンチくずを捨てる（フィニッシャー B3 装着時）

パンチダストボックスのパンチくずがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

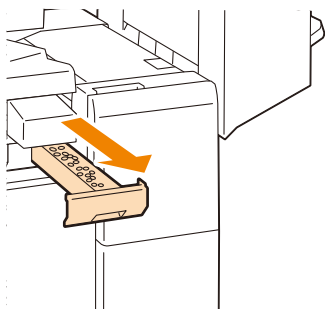
💡 補足

- パンチダストボックスのパンチくずを捨てる時は、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、パンチくずを捨てたことを本機が認識できません。
- パンチダストボックスのパンチくずは、メッセージが表示されてから捨ててください。メッセージが表示される前に捨てると、正確なパンチくずの量を本機が認識できなくなります。
- パンチダストボックスのパンチくずを捨てる時は、ホーム画面の[設定] > [消耗品確認] をタップしてパンチダストボックスの状態を確認してから、パンチくずを捨ててください。

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャー接続部上面カバーを上を持ち上げます。



2. パンチダストボックスを手前へ引き抜きます。



3. パンチくずを、すべて捨てます。

4. 空になったパンチダストボックスを、奥まで差し込みます。

5. フィニッシャー接続部上面カバーを閉じます。

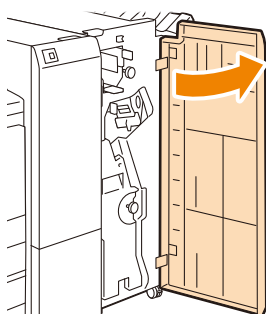
パンチダストボックスのパンチくずを捨てる（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）

パンチダストボックスのパンチくずがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

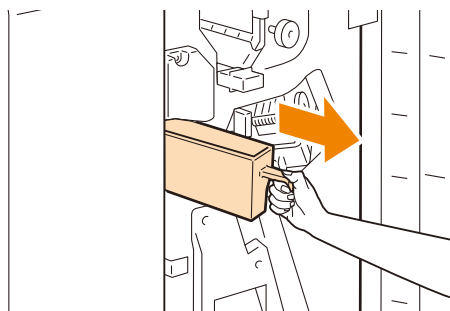
💡 補足

- パンチダストボックスのパンチくずを捨てる時は、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、パンチくずを捨てたことを本機が認識できません。
- パンチダストボックスのパンチくずは、メッセージが表示されてから捨ててください。メッセージが表示される前に捨てると、正確なパンチくずの量を本機が認識できなくなります。
- パンチダストボックスのパンチくずを捨てる時は、ホーム画面の〔設定〕 > 〔消耗品確認〕 をタップしてパンチダストボックスの状態を確認してから、パンチくずを捨ててください。

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



- 2.** パンチダストボックス「R4」の取っ手を持ちながら手前へ引き抜きます。



- 3.** 切りくずを、すべて捨てます。
- 4.** 空になったパンチダストボックスを、奥まで差し込みます。
- 5.** フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

8.2 画質調整

階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートをプリントして、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) 各色の、低濃度 (Low) / 中濃度 (Mid) / 高濃度 (High) を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値 (工場出荷時の値) に戻すときは、すべての値を [0] に設定してください。[0] にするとプリント時に階調補正は働きません。

❗ 注記

- ・ 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- ・ 濃度設定値を工場出荷時の値 (すべて [0]) にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、機械の経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。

解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

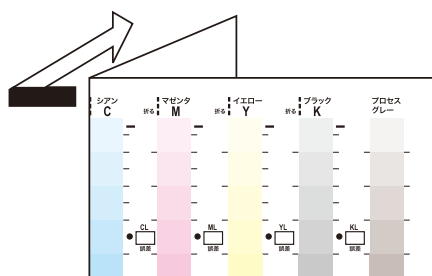
1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [保守] > [画質調整] をタップします。
4. [階調補正] をタップします。
5. [補正種別] をタップし、プリントする階調補正チャートを選びます。
6. [用紙選択] をタップします。
7. プリントする用紙のサイズと種類を選び、[OK] をタップします。
8. トレイ 5 (手差し) に用紙をセットし、[補正用チャート出力] をタップします。

濃度設定値を決める

濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

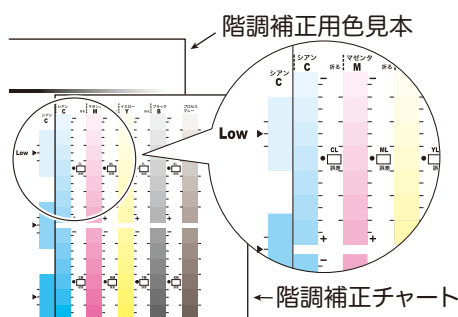
階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの中間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

1. プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。



2. 階調補正チャートの補正する濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

例：低濃度の補正をする場合は、階調補正用色見本の Low と階調補正チャートの Low の・印を合わせます。

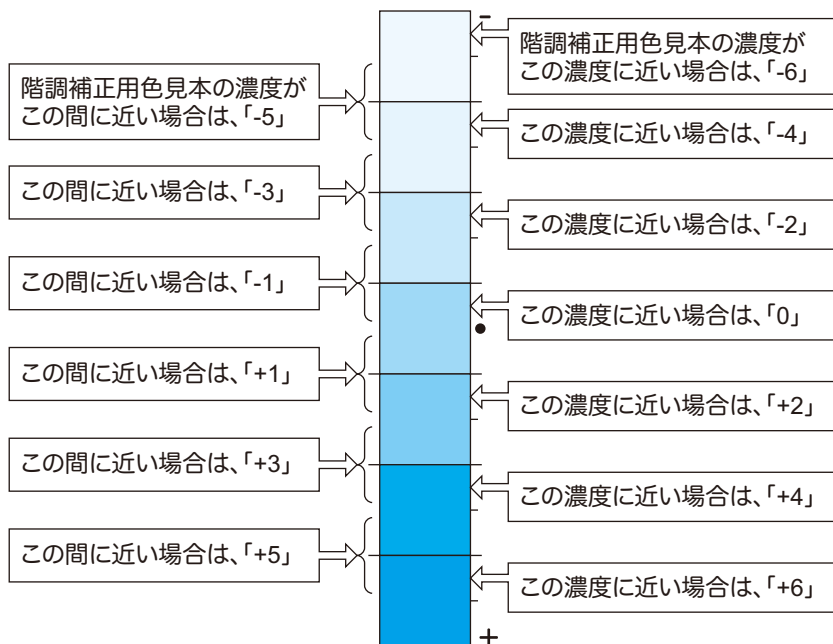


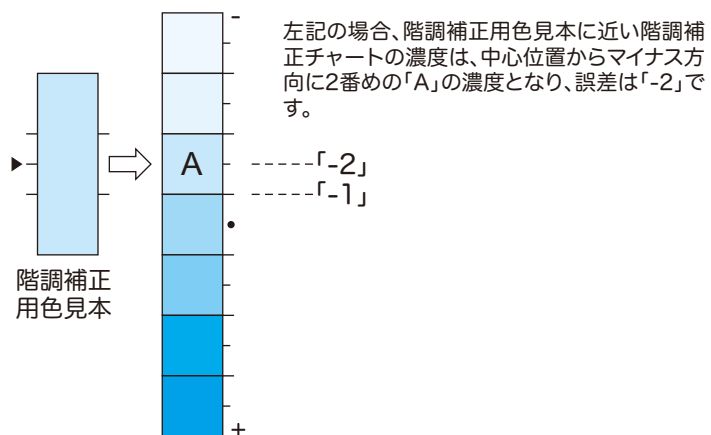
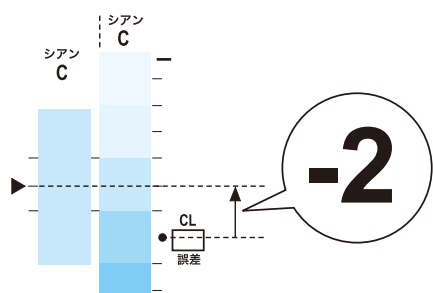
3. 階調補正チャートの・印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

💡 補足

- ・ マイナス (-) とプラス (+) の方向に注意して読み取ってください。

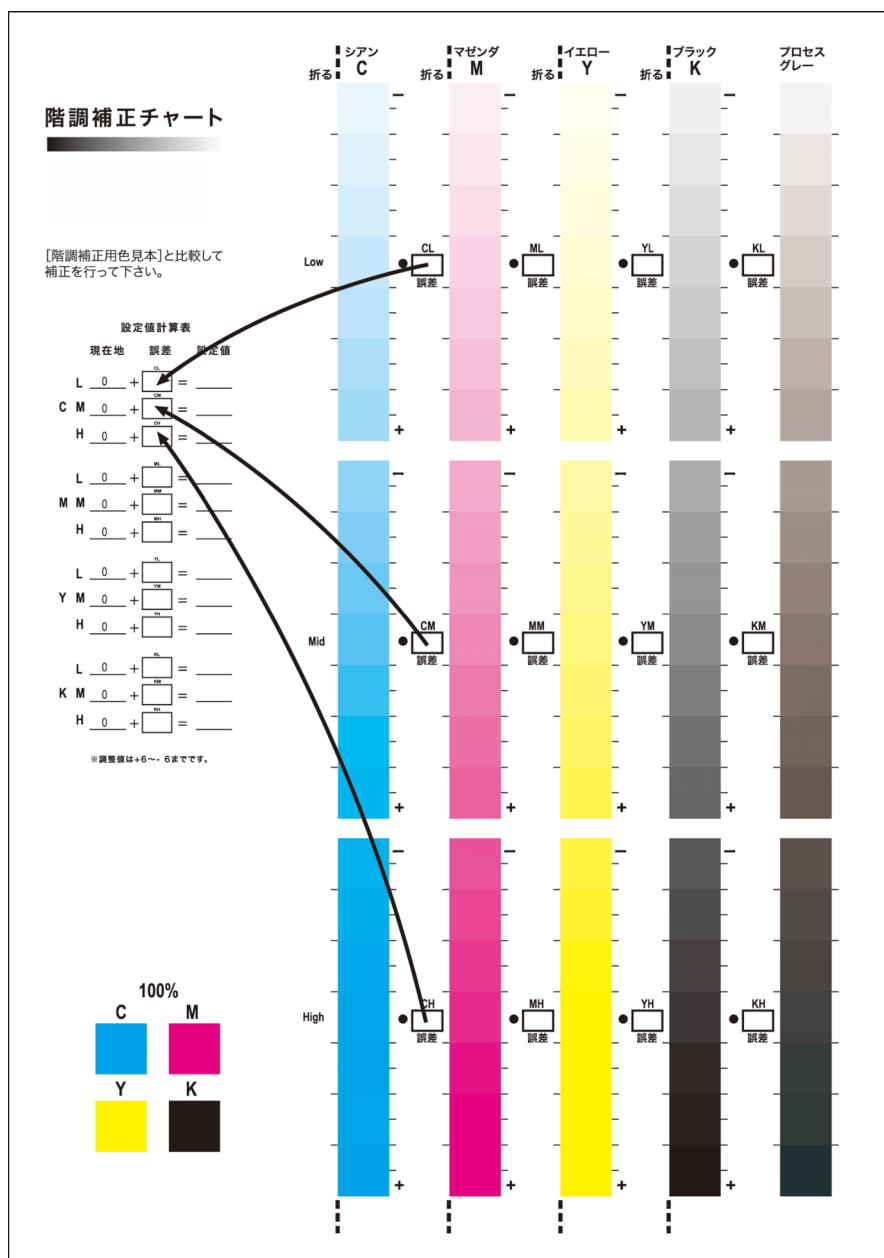
階調補正チャート測定部





4. 階調補正チャートの該当する【誤差】欄に、誤差を記入します。
5. 同じ色の、ほかの2つの濃度（中濃度 / 高濃度）も、同様に誤差を読み取って記入します。
6. 同様に YMCK の残りの色に対して手順 1 ～ 5 を繰り返して、誤差を読み取って記入します。

7. すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。(例：シアン)



8. 「現在値」と「誤差」を足し合わせて「設定値」を記入します。



補足

- 「現在値」には前回の補正値が印字されています。

濃度設定値を入力する

「階調補正チャート」の「設定値計算表」の「設定値」に記入した濃度設定値を本機に設定します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. 「設定」をタップします。
3. 「保守」>「画質調整」をタップします。

4. [階調補正] をタップします。
5. [濃度] をタップし、補正する濃度（低 / 中 / 高）を選びます。
6. 補正したい色（イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック）をタップします。
7. 設定値を調整します。
8. 同じ濃度のほかの色も同様に調整します。

 補足

- [誤差] が [0] の箇所は調整不要です。

9. 同様に残りの濃度に対して手順 4 ～ 7 を繰り返して、調整します。
10. すべての補正値が調整できたら、[調整値設定] をタップします。
11. 階調補正チャートを出力して、補正結果を確認します。

 補足

- [プロセスグレイ] は、CMY を掛け合わせて作られているグレイです。補正が正常に行われると、プロセスグレイがブラックの色味に近づきます。プロセスグレイの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

アライメント調整を行う

手動アライメント調整

出カイメージの位置がずれている場合などに、調整値を入力してずれを調整します。

 補足

- 調整可能範囲以上の調整が必要な場合は、プリンタードライバーの [基本] タブの [とじしろ / プリント位置] でプリント位置の調整機能を使用してください。

調整可能項目

1. 調整したいトレイに、調整したい用紙をセットします。

 補足

- 調整のためのサンプルチャートを出力したいときは、次のどれかの用紙をセットしてください。
 - A4 
 - 8.5x11 

2. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [画質調整] をタップします。
5. [アライメント調整] をタップします。

6. 手順1 で用紙をセットしたトレイを、[用紙選択] で選びます。



7. [調整面] で調整する印刷面を選びます。

8. [プリント設定] でサンプルのプリント枚数を指定します。

 補足

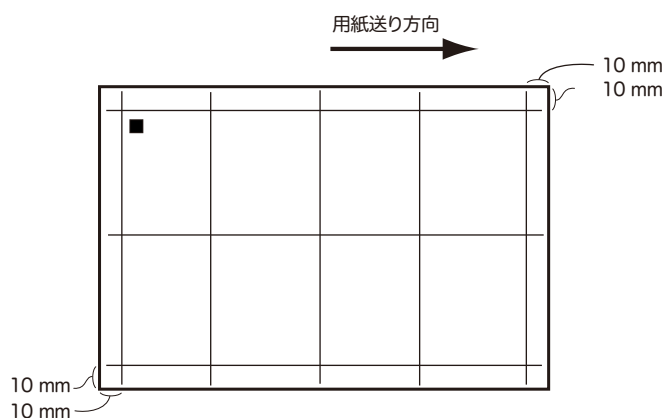
- 出力ばらつきも考慮するため、サンプルは3枚程度プリントすることをお勧めします。

9. [決定] をタップします。

10. [サンプル出力] をタップします。

11. 出力されたサンプルを確認します。

出力イメージの位置が正しい場合には、用紙の端から 10mm の位置に線がプリントされます。線の位置がずれているときには、調整をしてください。



 補足

- 用紙送り方向を示すため、用紙の後端には■(黒い四角マーク) がプリントされます。おもて面には■が1つ、うら面には■が2つプリントされます。
- 複数の種類のずれを調整する場合は、[直角度] → [副走査方向倍率] → [リード / サイドレジ] の順番で調整してください。

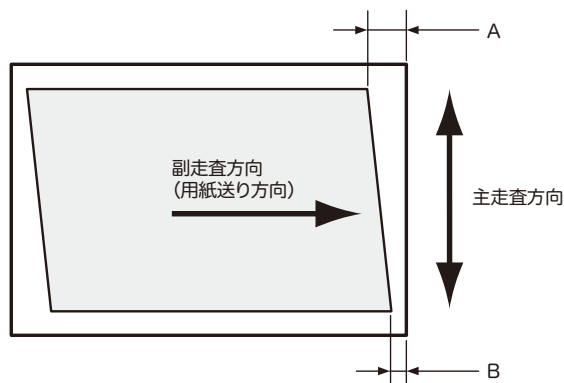
 参照

- それぞれの調整方法については、次を参照してください。
 - 直角度の調整については、「直角度の調整」(P.215) を参照してください。
 - 副走査方向倍率の調整については、「副走査方向倍率の調整」(P.215) を参照してください。
 - リード / サイドレジの調整については、「リード / サイドレジの調整」(P.216) 参照してください。

◆ 直角度の調整

副走査方向（用紙送り方向）の出力イメージの歪み（平行四辺形）を 0.1mm 単位で調整します。

1. サンプルを確認し、イメージの直角度のずれ量（mm）を計測します。



用紙の先端を上にしたときに、左側のリードレジの長さ (mm) を「A」、右側のリードレジの長さ (mm) を「B」として、次の式で直角度のずれ量を求めます。

直角度のずれ量 (mm) = (A - B) × (副走査方向の用紙長さ - 20) ÷ (主走査方向の用紙幅 (mm) - 20)

2. [直角度] をタップします。

3. 手順1で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します。

用紙の先端を上にしたときに、右下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [-]、左下がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は [+] を押して、調整値を入力します。

4. [決定] を押します。

5. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

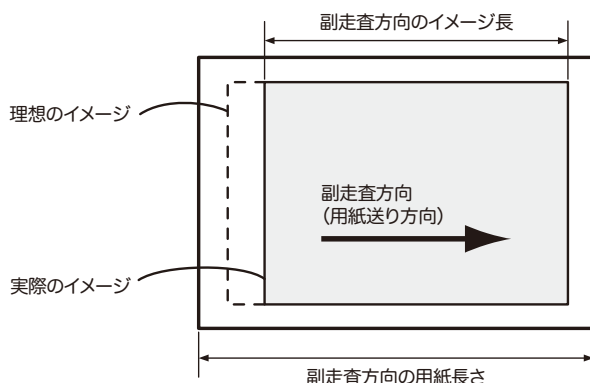
6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

◆ 副走査方向倍率の調整

副走査方向（用紙送り方向）の出力イメージの倍率を 0.025% 単位で調整します。

1. サンプルを確認し、副走査方向のイメージ長のずれ量（mm）を計測します。

副走査方向のイメージ長のずれ量 (mm) = 副走査方向のイメージ長 (mm) - (副走査方向の用紙長さ (mm) - 20)



2. 副走査方向倍率の調整値 (%) を算出します。

副走査方向倍率の調整値 (%) = $-1 \times (\text{ずれ量 (mm)} \div (\text{副走査方向の用紙長さ (mm)} - 20)) \times 100$

3. [副走査方向倍率] をタップします。

4. 手順2で算出した調整値を現在の設定値に加えた値を、入力します。

5. [決定] を押します。

6. [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

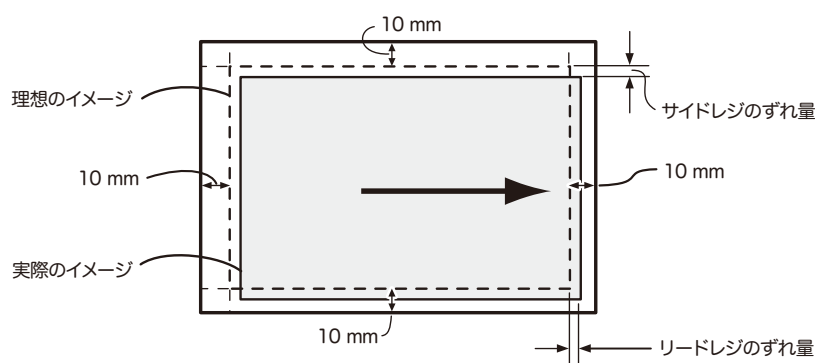
7. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

◆ リード / サイドレジの調整

リードレジ (用紙送り方向)、サイドレジ (用紙送り方向に対して垂直方向) のイメージの位置を 0.5 mm 単位で調整します。

1. サンプルを確認し、イメージの位置のずれ量 (mm) を計測します。

調整量 (mm) = 実際のイメージ位置の用紙端からの距離 (mm) - 10



2. [リード / サイドレジ] をタップします。



3. 手順 1 で計測したずれ量を現在の設定値に加えた値を、入力します（1 ステップ = 0.5 mm）。



❗ 注記

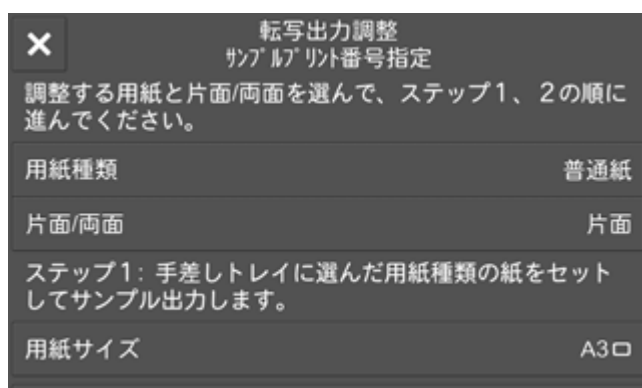
- リードレジについては、トレイ / 調整面で同一の調整値となり、トレイ / 調整面ごとの調整はできません。

4. 設定を変更した場合は、[決定] をタップします。
5. [調整値設定] をタップします。
調整値が反映されます。
6. [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

転写出力調整

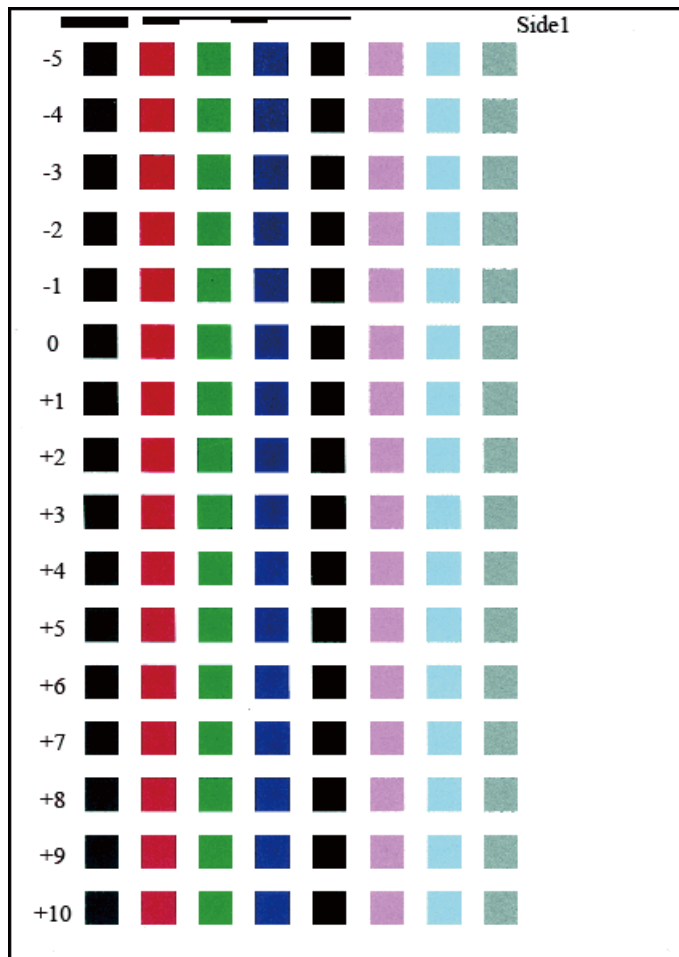
トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [保守] > [画質調整] をタップします。
4. [転写出力調整] をタップします。
5. [サンプルプリント番号指定調整] をタップします。
6. [用紙種類] から調整する用紙を選び、[片面 / 両面] をタップします。



7. [用紙サイズ] からトレイ 5（手差し）にセットする用紙のサイズを選択します。
8. トレイ 5（手差し）に選択した用紙種類、用紙サイズの用紙をセットします。
9. [サンプル出力] をタップします。

次のようなサンプルがプリントされます。



💡 補足

- サンプルの右上に、おもて面は「Side1」、うら面は「Side2」とプリントされます。
- 用紙サイズが A4、B4、8.5×11 インチの場合は、サンプルが 2 枚に分かれてプリントされます。

10. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。
11. サンプルを確認して、最適な画質の番号（-5 ～ +10）を控えておきます。

💡 補足

- 両面でプリントした場合は、おもて面の番号と、うら面の番号の両方を控えてください。

12. [サンプルプリント番号を指定して調整] をタップします。

13. [おもて面 (Side1) (-5→+10)] と [うら面 (Side2) (-5→+10)] に、手順 11 で控えた画質の番号を指定します。

転写出力調整 手動調整		✓ 決定
サンプルプリント内の番号を参照して、最適な画質の番号を入力してください。		
用紙種類	普通紙	
おもて面(Side1) (-5→+10)	6	− +
うら面(Side2) (-5→+10)	5	− +

14. 設定を変更した場合は、[決定] をタップします。
以降のプリントでは、ここで設定した転写出力値が反映されます。

出カイメージの手動濃度調整（手動面内ムラ調整）

用紙にプリントする出カイメージの濃度のムラを調整します。

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [保守] > [画質調整] をタップします。
4. [面内ムラ調整] をタップします。

面内ムラ調整		✓ 決定
カラー	イエロー	
形状	5	
レベル	4	
傾き	0	
プリント設定		サンプル出力

5. [プリント設定] をタップします。
出力するサンプルの設定を変更します。

- [カラーモード]
全ての色の濃度とバランスを確認するときは〔フルカラー〕を選択し、特定の色に限定して濃度を確認するときは〔単色〕を選択します。
〔単色〕を選択した場合は、〔面内ムラ調整〕画面の〔カラー〕で、プリントする色を〔イエロー〕、〔マゼンタ〕、〔シアン〕、〔ブラック〕から選択してください。
- [カバレッジ 1]、[カバレッジ 2]
出力サンプルにプリントする濃度を、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの色ごとに、2種類設定できます。
- [用紙選択]
濃度を調整したい用紙がセットされたトレイを選択します。

6. [決定] をタップします。

7. [サンプル出力] をタップします。

サンプルがプリントされます。

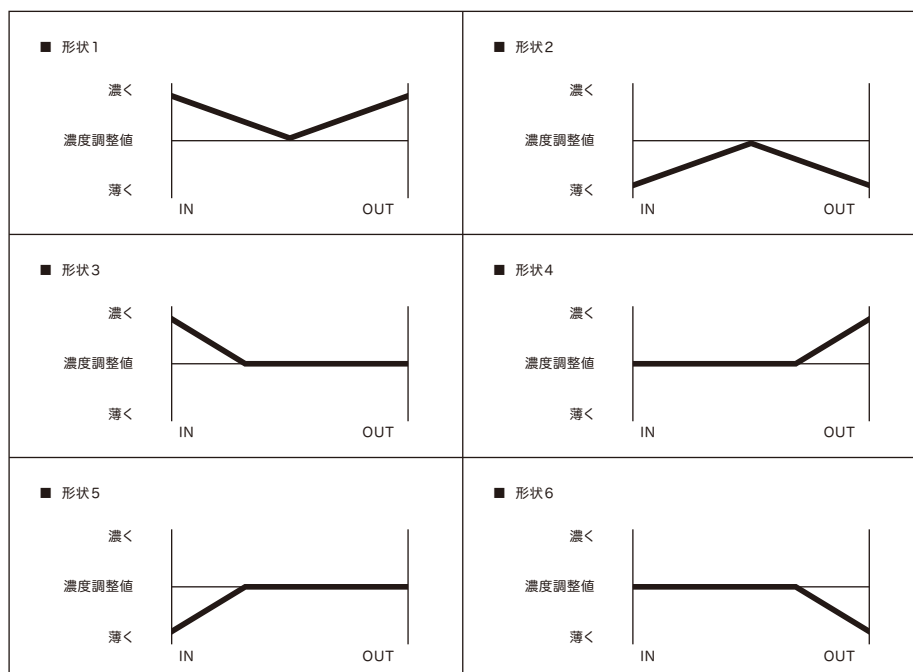
8. プリントが終了したら、[閉じる] をタップします。

9. 出力サンプルを確認し、ムラが発生している場合は、濃度を調整します。

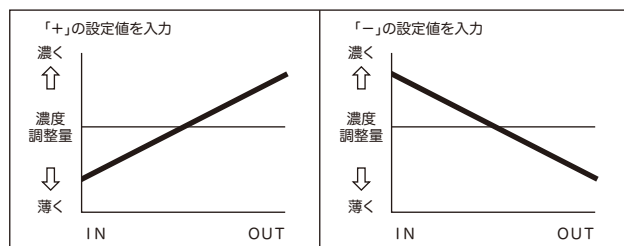
1) [カラー] で、〔イエロー〕、〔マゼンタ〕、〔シアン〕、〔ブラック〕から調整する色を選択します。

2) 出力サンプルの状態に応じて、〔形状〕、〔レベル〕、〔傾き〕を設定します。

- [形状]
出力サンプルへの濃度分布調整量を形状 1 ～ 6 のうちから選択します。



- [レベル]
出力サンプルの濃度差のレベルを 1 ～ 6 のうちから選択します。レベル 1 は調整量が無いことを表し、値が大きいほど調整量が大いことを表します。
- [傾き]
出力サンプルに対して、濃度分布を次のように調整します。調整量を -17 ～ 17 の範囲で設定します。値が大きいほど調整量が大いことを表します。



💡 補足

- 濃度分布がこれらのパターンとは異なるときは、[形状]、[レベル] を使用して調整してください。

10. [決定] をタップします。

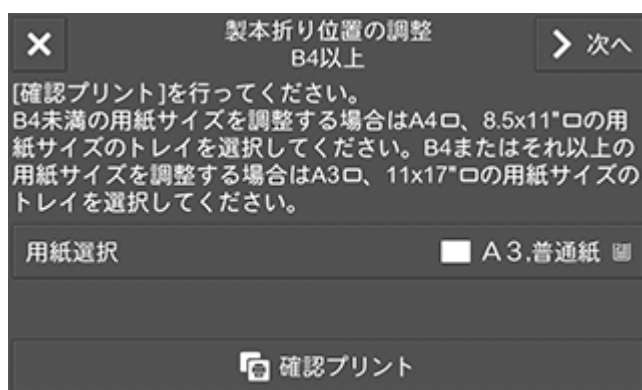
調整値が反映されます。

11. [面内ムラ調整] > [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

8.3 製本折り位置の調整

製本折り位置を、B4 未満 / 以上の場合でそれぞれ設定します。

1. トレイに折り位置を調整する用紙をセットします。
2. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [製本折り位置の調整] をタップします。
5. [用紙選択] をタップして、セットした用紙を選びます。



6. [確認プリント] をタップします。
7. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。
8. [次へ] をタップします。
9. [製本折り位置の調整] で、出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



10. [次へ] をタップします。



11. 手順 7 で計測した値を入力して、[確認プリント] をタップします。



12. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

8.4 紙折り位置の調整

用紙の種類ごとに紙折りの位置を調整し、10 種類のタイプに設定できます。設定したタイプは各トレイに割り当てます。

1. トレイに折り位置を調整する用紙をセットします。
2. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
3. [設定] をタップします。
4. [保守] > [紙折り位置の調整] をタップします。
5. [紙折り位置タイプの設定] をタップします。

紙折り位置の調整	
トレイ1	初期値
トレイ2	初期値
トレイ3	初期値
トレイ4	初期値
トレイ5	初期値
紙折り位置タイプの設定	

6. 設定または調整したい紙折り位置タイプを選びます。

紙折り位置タイ...	
1. (未登録)	
2. (未登録)	
3. (未登録)	
4. (未登録)	
5. (未登録)	
6. (未登録)	

7. [名前] をタップします。

タイプ1	
名前	(名称未設定)
二つ折り	初期値
製本	初期値
内三つ折り - A4	初期値
内三つ折り - 8.5x11"	初期値
外三つ折り - A4	初期値

8. 名前を入力して、[OK] をタップします。

名前	
(名称未設定)	
q ¹ w ² e ³ r ⁴ t ⁵ y ⁶ u ⁷ i ⁸ o ⁹ p ⁰	
a s d f g h j k l	
↑ z x c v b n m ←	
&123 _ 空白 ← → 地球儀 言語 OK	

9. [決定] をタップします。

名前	
紙折り位置調整 (1)	



- それぞれの折り調整については、「二つ折りの位置調整」(P.226)、「製本の位置調整」(P.227)、「内三つ折りの位置調整」(P.230)、「外三つ折りの位置調整」(P.232)、「Z 折りの位置調整」(P.233) を参照してください。

10. [決定] をタップします。

タイプ1	
名前	紙折り位...
二つ折り	A4□
製本	A4□
内三つ折り - A4□	調整済み
内三つ折り - 8.5x11"□	調整済み
外三つ折り - A4□	調整済み

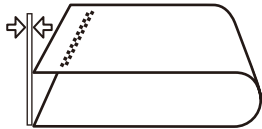
二つ折りの位置調整

1. [二つ折り] をタップします。
2. [用紙選択] をタップして、セットした用紙を選びます。

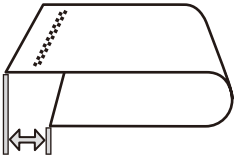
二つ折り	
[確認プリント]して、[次へ]を押してください。	
用紙選択	■ A4,普通紙
1束の枚数(1~5)	1 - +
確認プリント	

3. [1束の枚数 (1 ~ 5)] の枚数を設定します。
4. [確認プリント] をタップします。
5. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

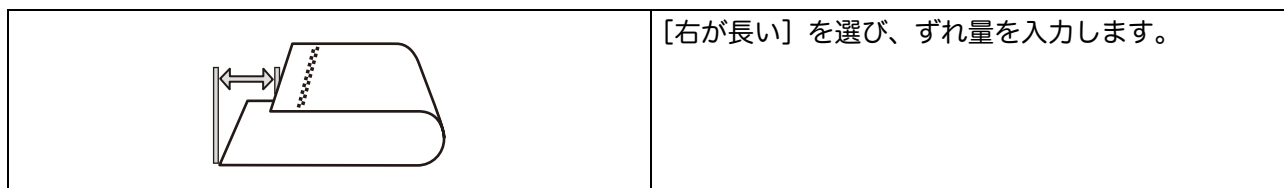
- ずれていないとき

	調整は不要です。
---	----------

- 印字されているページのほうが大きいとき

	[左が長い] を選び、ずれ量を入力します。
---	-----------------------

- 印字されていないページのほうが大きいとき



6. [次へ] をタップします。

7. [二つ折りの設定] で [左が長い] または [右が長い] のどちらかを選びます。



8. 手順 5 で計測した値を入力して、[決定] をタップします。



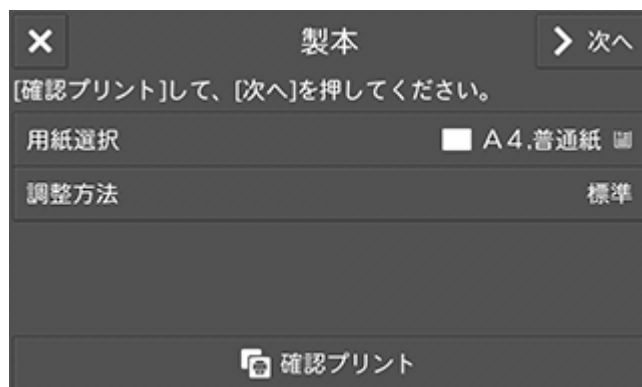
9. [確認プリント] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

10. [保存] をタップします。

製本の位置調整

1. [製本] をタップします。

2. [用紙選択] をタップして、セットした用紙を選びます。



3. [調整方法] で [標準] または [枚数指定] のどちらかを選びます。



補足

- [枚数指定] を選ぶ場合、[3束の枚数 (3 ~ 15)] の枚数を設定します。

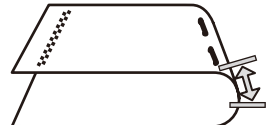
4. [確認プリント] をタップして、[次へ] をタップします。

5. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

- ずれていないとき

	調整は不要です。
---	----------

- 印字されているページ側にホチキスが打たれているとき

	[左が長い ホチキス左] または [右が長い ホチキス左] を選び、ずれ量を入力します。
---	--

- 印字されていないページ側にホチキスが打たれているとき

	[左が長い ホチキス右] または [右が長い ホチキス右] を選び、ずれ量を入力します。
---	--

6. [製本 2枚束の折り設定] で、出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



7. 手順5 で計測した値を入力して、[決定] をタップします。



8. [確認プリント] をタップして、[次へ] をタップします。



9. プリントされた出力サンプルを確認して、ずれ量を計測します。

10. [製本 16 枚束の折り設定] で、出力用紙の折りとホチキスの位置を選びます。



11. 手順 9 で計測した値を入力して、[決定] をタップします。



12. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

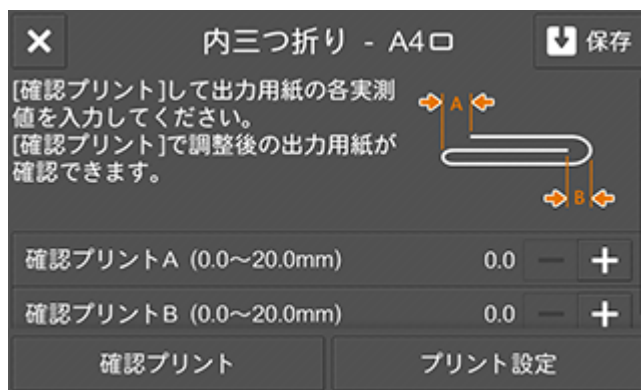
13. [保存] をタップします。



内三つ折りの位置調整

1. [内三つ折り - A4] または [内三つ折り - 8.5x11"] をタップします。

2. [プリント設定] をタップします。



3. [用紙選択] をタップして、セットした用紙を選びます。



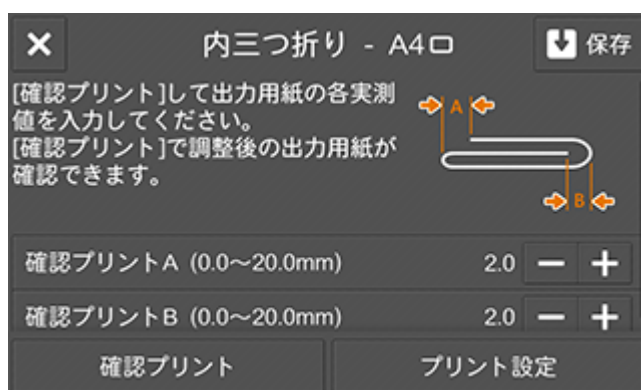
4. 設定を変更した場合は、[決定] をタップします。

5. [確認プリント] をタップします。

6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



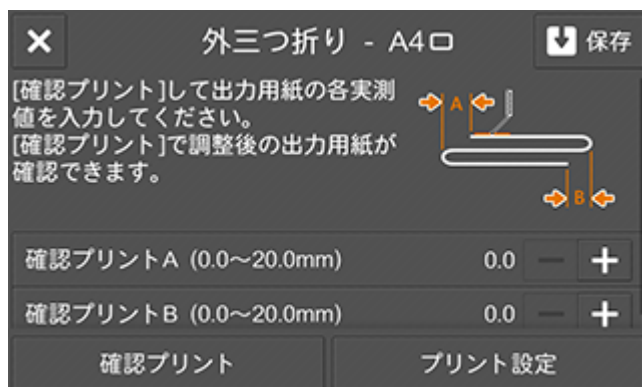
7. 手順 6 で計測した値を入力して、再度 [確認プリント] をタップします。



8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。
9. [保存] をタップします。

外三つ折りの位置調整

1. [外三つ折り - A4] または [外三つ折り - 8.5x11"] をタップします。
2. [プリント設定] をタップします。



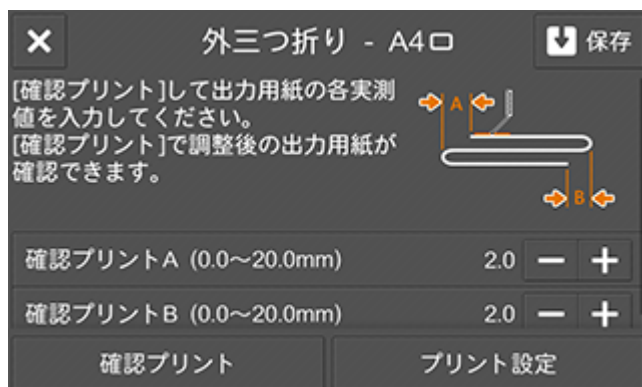
3. [用紙選択] をタップして、セットした用紙を選びます。



4. 設定を変更した場合は、[決定] をタップします。
5. [確認プリント] をタップします。
6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



7. 手順 6 で計測した値を入力して、再度「確認プリント」をタップします。



8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。

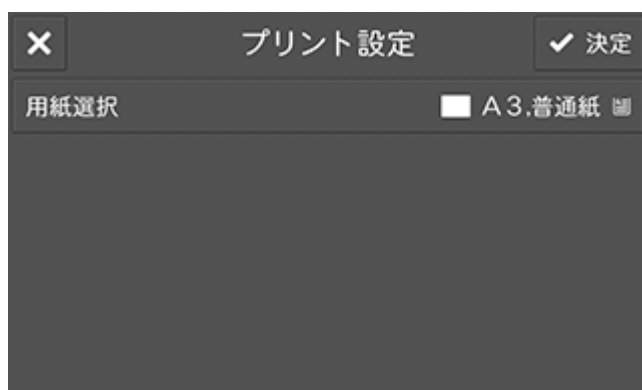
9. 「保存」をタップします。

Z 折りの位置調整

1. 「Z 折り - A3」、 「Z 折り - B4」、 「Z 折り - 11x17"」 または 「Z 折り - 八開」 をタップします。
2. 「プリント設定」 をタップします。

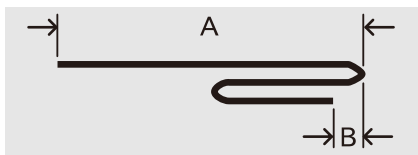


3. 「用紙選択」 をタップして、セットした用紙を選びます。



4. 設定を変更した場合は、「決定」をタップします。

5. [確認プリント] をタップします。
6. プリントされた出力サンプルを確認して、折り位置移動量 A、B を計測します。



7. 手順 6 で計測した値を入力して、再度 [確認プリント] をタップします。

×

Z折り - A3□

保存

[確認プリント]して出力用紙の各実測値を入力してください。
[確認プリント]で調整後の出力用紙が確認できます。

A

B

確認プリントA (200.0~220.0mm)	215.0	−	+
確認プリントB (0.0~20.0mm)	10.0	−	+

確認プリント

プリント設定

8. 出力されたサンプルの調整結果を確認します。必要があれば、もう一度、調整し直します。
9. [保存] をタップします。

8.5 清掃する

⚠ 警告

- 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

- 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

❗ 注記

- 電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内のプリントデータや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する

❗ 注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障したり、プリントするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

❗ 注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

💡 補足

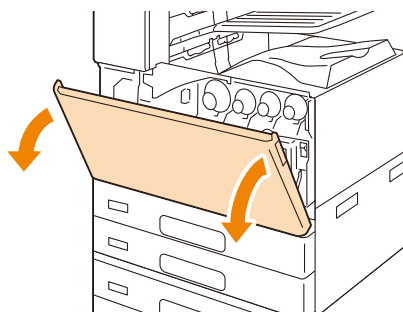
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

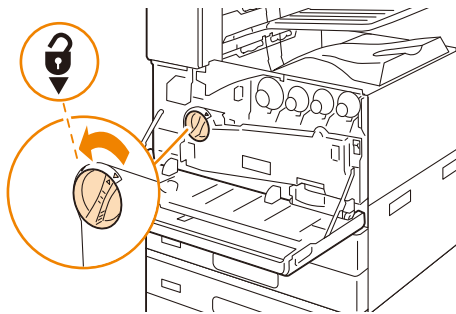
本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃

LED プリントヘッド部の清掃は、通常、ドラムカートリッジの交換時、およびトナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、プリントに白筋や色筋がでるなど画質に影響がある場合は、LED プリントヘッド部を清掃してください。

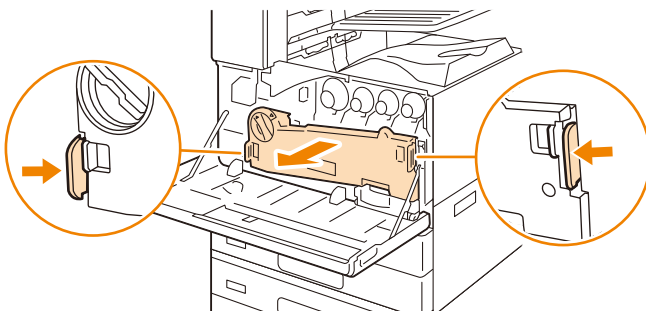
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



2. 正面左側にあるハンドルを左側に回します。

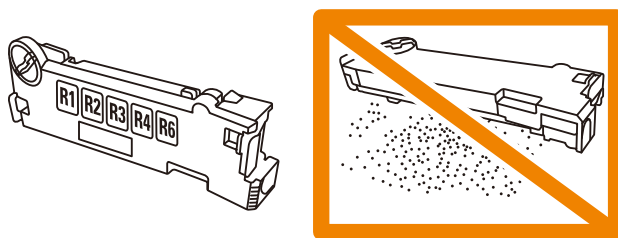


3. 搬送ボックスの両端のつまみをつまんで、ボックスを外します。

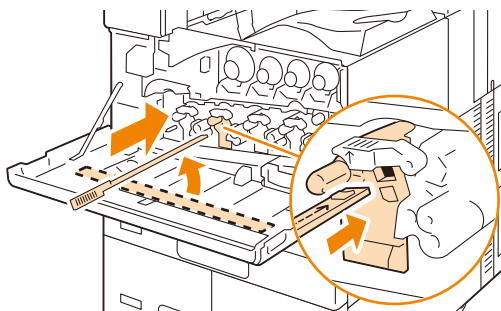


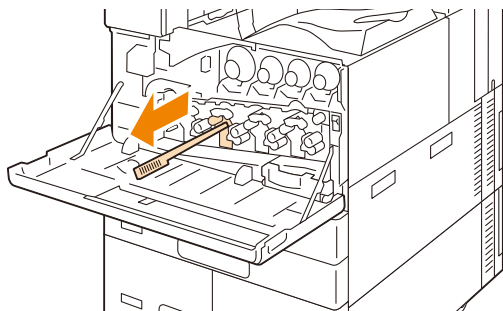
💡 補足

- 外したボックスは立てた状態で平らな場所に置いてください。



4. 正面カバーの裏側に付属している清掃棒を取り出し、LED プリントヘッド部内をそれぞれ清掃します。
清掃棒の矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き抜きます。

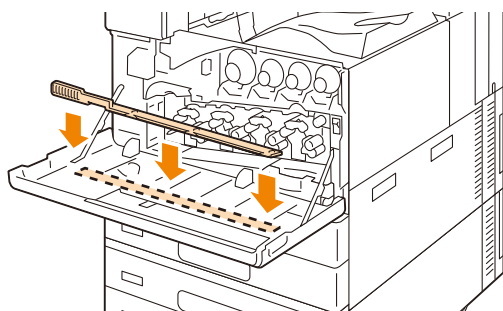




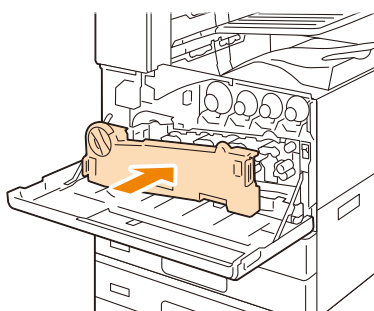
💡 補足

- 4 か所 (R1 ~ R4) を、すべて往復 2 ~ 3 回ずつ清掃してください。

5. 清掃棒を正面カバーの裏側にある元の場所に戻します。



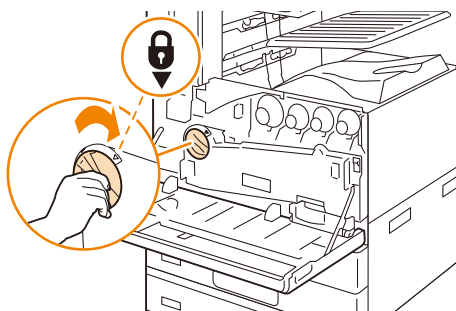
6. 搬送ボックスを元にに戻します。



💡 補足

- ボックス本体を押して、ボックスが確実に閉じるのを確認してください。

7. ハンドルを右側に回して、ロックします。



8. 正面カバーを閉じます。

9 困ったときには

9.1 紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、タッチパネルディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙詰まりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙詰まりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

警告

- トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注意

- 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻きついているときは無理にとらないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源を切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

9.2 ホチキスカートリッジの針が詰まった場合

⚠ 注意

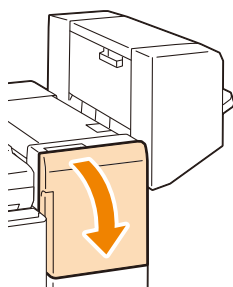
- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

💡 補足

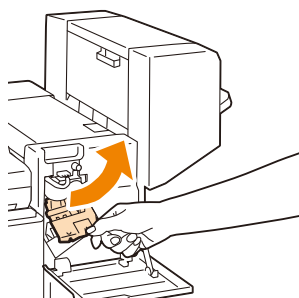
- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引きます。
- 針が取り除けないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

ホチキスカートリッジの針詰まり（フィニッシャー B3 の場合）

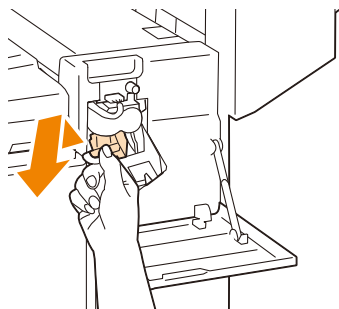
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジ「R1」のつまみを持って、ホチキスカートリッジを右端（手前）に引き寄せます。



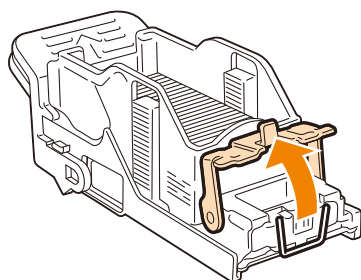
3. 上方向へ引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。



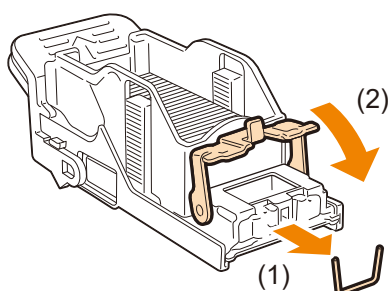
- 4.** ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。



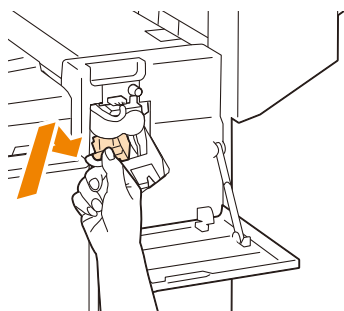
- 5.** ホチキスカートリッジの、図の位置にある金属部分を押し上げます。



- 6.** 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 5 で押し上げた金属部分を元に戻します (2)。



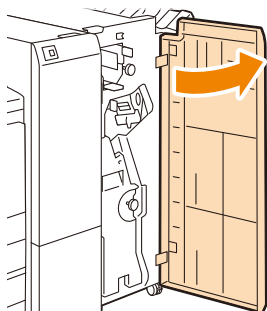
- 7.** 「カチッ」と音がするまで、ホチキスカートリッジを押し込みます。



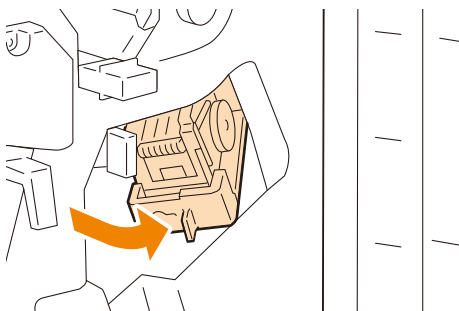
- 8.** フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

平とじホチキスカートリッジの針詰まり（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）

1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジホルダー「R1」のレバーを持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）に引き寄せます。

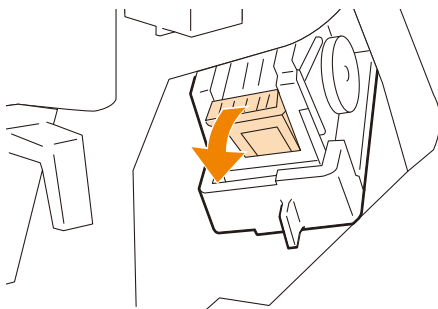


3. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

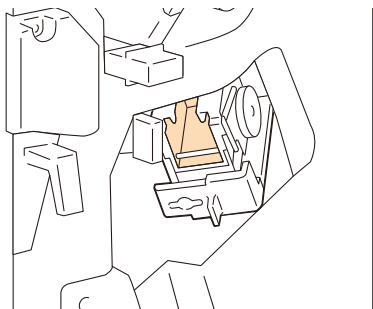


💡 補足

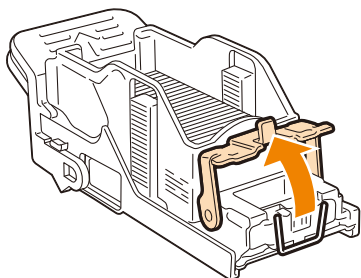
- 65 枚用ホチキスカートリッジを装着している場合は、レバーを下方方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。



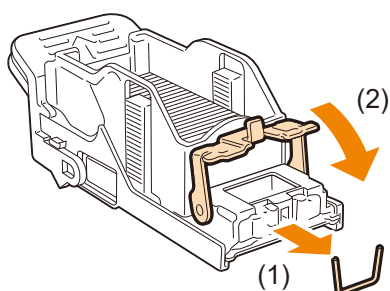
- 4.** ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。



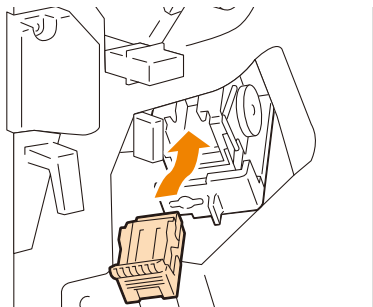
- 5.** ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。



- 6.** 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 5 で押し上げた金属部分を元に戻します (2)。



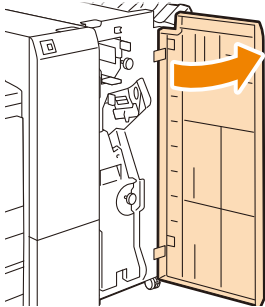
- 7.** ホチキスカートリッジのレバーを持って、元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



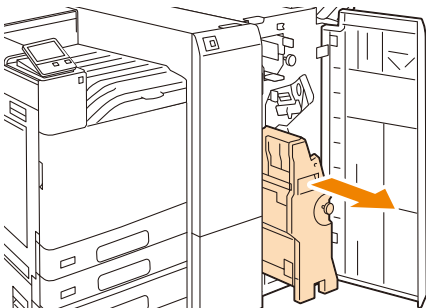
- 8.** フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

中とじホチキスカートリッジの針詰まり（中とじフィニッシャー C3 装着時）

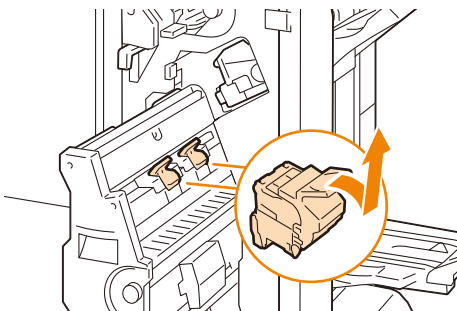
1. 本機が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。



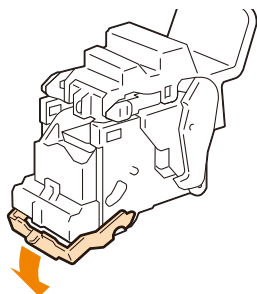
2. 中とじユニットを引き出します。



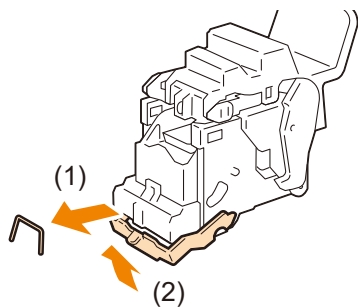
3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



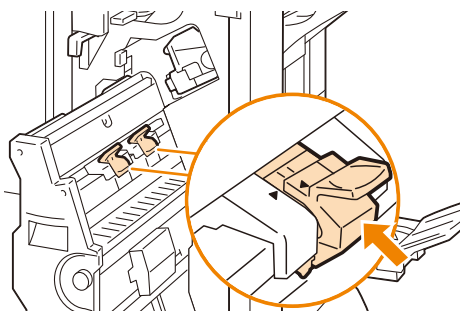
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し下げます。



5. 詰まっているホチキス針を取り除き (1)、手順 4 で押し下げた金属部分を元に戻します (2)。



6. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



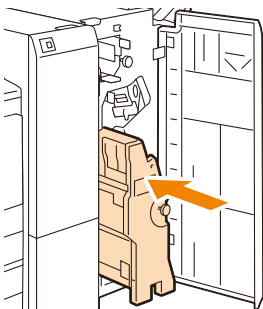
7. 軽く押し上げて、「カチッ」と音がすることを確認します。



💡 補足

- ・ 中とじホチキスカートリッジの▶と中とじユニットの◀が合うように戻します。

8. 中とじユニットを元の位置に戻します。



9. フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

9.3 機器本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。
	本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。
状態表示ランプがオレンジ色で点滅している	本機のシステムや付属機器にトラブルが発生しているおそれがあります。 本機の電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	詰まった用紙を取り除いてください。
	メッセージに表示されている消耗品を交換してください。
	メッセージの内容を確認し、処置してください。 エラーコードについては、「エラーコード」(P.258)を参照してください。
タッチパネルディスプレイが暗い	節電状態になっている可能性があります。⏻(電源 / 節電) ボタンを押して、節電状態を解除してください。
	画面輝度調整画面で、タッチパネルディスプレイの輝度を調整してください。
用紙トレイの出し入れができない	プリント中にカバーを開けたり、電源を切ったりした可能性があります。 無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れをしてください。

症状	原因 / 処置
紙詰まり、紙しわがたびたび発生する	用紙を正しくセットしてください。
	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで正しくセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいる可能性があります。 未開封の用紙と交換してください。
	用紙がカールしている可能性があります。 用紙トレイ内の用紙をうら返すか、未開封の用紙と交換してください。
	セットしている用紙に合わせて、正しく用紙と用紙トレイを設定してください。
	機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っている可能性があります。 機械を開けるか、用紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。
	規格外の用紙がトレイに入っている可能性があります。 使用基準内の用紙と交換してください。
	用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙をセットしてください。
	用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に軽く当てるように合わせてください。
	用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場合があります。よくさばいてから用紙をセットしてください。
用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットするとエラーメッセージが表示される	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
ホチキスがうまく留められない	ホチキスカートリッジに針詰まりが発生している可能性があります。 詰まった針を取り除くなどの処置をしてください。
	プリンタードライバーの〔印刷設定〕で〔ホチキス〕の設定を確認してください。

9.4 プリントのトラブル

症状	原因 / 処置
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。  参照 詳しくは、「IP アドレスを変更する」(P.38) を参照してください。
	メモリー容量が不足している可能性があります。 次のどれかの方法で処置してください。 - プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にするか、[ページ印刷モード] を利用して再プリントする - 使用していないポートを [停止] に設定する
	一度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。お使いのプロトコル (LPD など) の受信バッファサイズを確認してください。 プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。 プリントデータが複数ある場合は、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
	プリンターモードがオフラインになっている可能性があります。 ホーム画面で、[設定] > [機械確認 / レポート] > [プリンターモード] を確認してください。[オフライン] になっていたら、[オンライン] を選んでください。  参照 詳しくは、「オンライン / オフラインの切り替え」(P.41) を参照してください。
	プリンタードライバーがオフラインになっている可能性があります。 プリンターアイコンを開いて、プリンターメニューのオフライン使用のチェックマークを外してください。
	使用するポートが [起動] に設定されていない可能性があります。 使用するポートの状態を確認し、[起動] に設定してください。
	Mac OS の場合に、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするときは、LPD ポートを起動してください。
	AirPrint でプリントできない場合は、本機で認証プリントまたはプライベートプリントの設定をしている可能性があります。 AirPrint では認証プリントやプライベートプリントはできません。本機の設定を変更してください。
プリントに時間がかかる	プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。  参照 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
プリント指示が処理されない 大量に意味不明な文字 (記号文字) が印刷される プリントオプションで指定した内容が無効になる 出力紙に黒線が出る	本機以外のプリンタードライバーが使用されている可能性があります。 本機プリンタードライバーを使用してください。

症状	原因 / 処置
ホチキスが留められない	ホチキスで留める枚数が制限枚数を超えている可能性があります。 プリント枚数をホチキスで留められる枚数以下にしてください。
用紙の端にあるイメージが欠ける	本機の印字可能エリアを超えている可能性があります。 本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
コンピューターで指定したフォントとプリント結果のフォントが異なる	プリンタードライバーのフォント置き換えテーブルを確認してください。または、[詳細設定] > [フォントの設定] で [常に TrueType フォントを使う] を選択してください。
プリントの色が以前と違う	色階調がずれている可能性があります。 階調補正をしてください。

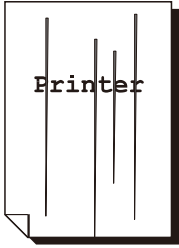
文書プリントのトラブル

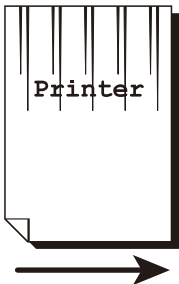
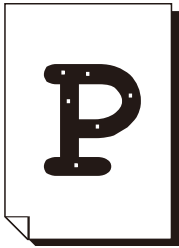
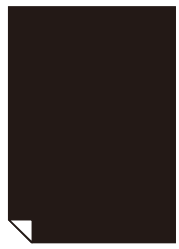
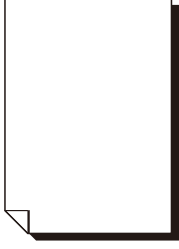
症状	原因 / 処置
ホーム画面に [USB] が表示されない。	USB メモリーキットのソフトウェアオプションが認識されていません。ソフトウェアオプションを正しく設定するか、USB メモリーをいったん抜いてから、もう一度コネクタの奥まで差し込んでください。 CentreWare Internet Services を起動し、[アプリ] > [USB] > [プリント機能の使用] にチェックマークを付けてください。

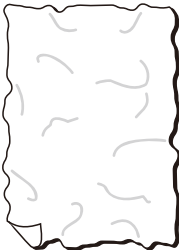
デジカメプリントのトラブル

症状	原因 / 処置
ホーム画面に [デジカメプリント] が表示されない	USB メモリーキットのソフトウェアオプションが認識されていません。ソフトウェアオプションを正しく設定するか、USB メモリーをいったん抜いてから、もう一度コネクタの奥まで差し込んでください。
白紙がプリントされる	プリントを指示したファイルの中に、プリントできないファイル (DCF1.0 形式以外の画像ファイル) が含まれています。プリントできないファイルは、インデックスプリントではプリントされません。インデックスプリントで表示されない画像を除いて再度プリントを指示してください。

9.5 画質のトラブル

症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。  参照 詳しくは、「トナーカートリッジを交換する」(P.192) を参照してください。
黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する   	本体内部（LED プリントヘッド部）が汚れています。本体内部を清掃してください。  参照 詳しくは、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」(P.235) を参照してください。 ドラムカートリッジが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。 数枚プリントしてください。 ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
黒くぬりつぶされた部分に白点が見える 	使用している用紙が適切ではありません。 適切な用紙をセットしてください。 使用している用紙に対して、適切な転写出力調整がされていません。 転写出力調整を参照してください。 ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
用紙全体がぬりつぶされてプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 電源または高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。 電源または高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
白抜けや白筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 本体内部（LED プリントヘッド部）が汚れています。本体内部を清掃してください。  参照 ・詳しくは、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」（P.235）を参照してください。
全体がうっすらとプリントされる 	用紙トレイ 5（手差し）を使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。 用紙トレイ 5（手差し）に、正しい種類とサイズの用紙をセットしてください。 一度に複数枚の用紙が搬送されています。 用紙をよくさばいてからセットし直してください。
用紙にしわが付く 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。

症状	原因 / 処置
たて長に白抜けまたは色抜けする 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。 本体内部（LED プリントヘッド部）が汚れています。本体内部を清掃してください。  参照 詳しくは、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」（P.235）を参照してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 詳しくは、「用紙をセットする」（P.53）を参照してください。

9.6 ネットワーク関連のトラブル

CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機の電源が入っているかを確認してください。
	インターネットサービスが起動しているか、機能設定リストをプリントして確認してください。
	プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わずに接続するには、Web ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、使用するアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
最新の情報が表示されない	Web ブラウザーの表示を更新してください。
[保存] ボタンをクリックしても反映されない	本体の操作パネルで操作中は、CentreWare Internet Services での設定は適用されません。 また、自動リセット機能が設定されている場合、操作後であっても設定時間が経過するまで、CentreWare Internet Services での設定は無効になります。しばらくお待ちください。
[保存] ボタンをクリックすると、Web ブラウザーに「無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される	正しいパスワードを入力してください。
	本機を再起動してください。
ジョブを削除できない	しばらく待ってから Web ブラウザーの表示を更新してください。

メール機能のトラブル

症状	原因 / 処置
メール受信ができない	[メール受信] が [起動] になっているかを確認してください。
	POP3 サーバーのアドレスやホスト名などを正しく設定してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードを正しく設定してください。
	CentreWare Internet Services で、自分のドメインが送受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。

インターネット / イン트라ネット接続のトラブル

症状	原因 / 処置
インターネット / イン트라ネットに接続できない	IP アドレスの設定を確認してください。
	プロキシサーバーに接続する場合、または Web サーバーに接続するために IP ゲートウェイを経由する場合は、IP ゲートウェイアドレスを正しく入力してください。
	DNS サーバーのアドレスを確認してください。
	プロキシを経由しないアドレスの設定が間違っています。プロキシを経由しないアドレスだけが指定されているかどうかを確認してください。 なお、FQDN 形式でプロキシを経由しないアドレスを指定していても、IP アドレスを直接指定してサーバーにアクセスしている場合には、登録したサーバーが除外対象にはなりません。プロキシを経由しないアドレスを IP アドレスでも指定してください。 同様に、IP アドレスを直接指定してプロキシを経由しないアドレスを指定していても、FQDN 形式でサーバーにアクセスする場合には、登録したサーバーが除外対象になりません。プロキシを経由しないアドレスを FQDN 形式でも指定してください。
目的の Web サーバーに接続できない	プロキシを経由する環境では、プロキシサーバーを使用するように設定されていないと、目的の Web サーバーに接続できません。プロキシサーバーを使用するように設定してください。
	イントラネットに接続する場合など、プロキシを経由する必要がない環境では、プロキシサーバーを使用する設定にはしないでください。
	プロキシサーバーを使用する設定になっている場合には、プロキシサーバーのアドレスが正しく設定されていないと、目的の Web サーバーに接続できません。プロキシサーバーのアドレスを正しく設定してください。
	プロキシサーバーに接続を許可されているユーザー名とパスワードを、本機に設定してください。

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN 接続が設定できない	[無線 LAN 設定] が有効になっていることを確認してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
WPS で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC（押しボタン方式）で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。  参照 無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください

症状	原因 / 処置
WPS-PIN (PIN コード方式) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。  参照 PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない	Wi-Fi Direct のポートが起動しているときは設定できません。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の [グループ設定] で [グループオーナー] に設定し、再度確認してください。  参照 詳しくは、「グループ設定について」(P.107) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。 Wi-Fi Direct のパスフレーズを変更するか、モバイル機器側で切断してください。
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。 [IP 動作モード] が [IPv6 モード] 以外に設定されていることを確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows では、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、イーサネットアダプタローカルエリア接続の番号 (例: 8) をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力してください。
IPv6 が利用できる Windows OS と通信できない	IPv6 が利用できる Windows OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。
UPnP で IPv6 機器を検索できない	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリー機能を使用してください。

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する	認証サーバーパラメーターのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない 例：http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。

ヘルプ / リモートアシスタンス接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
[ヘルプ] / [リモートアシスタンス] が表示されない	[ヘルプ] / [リモートアシスタンス] を初めて使用するときは、機械管理者でログインして利用規約への同意が必要です。
利用規約に同意しても、インターネットに接続できない。または通信エラーが発生する	IP アドレスや DNS など、TCP/IP の設定を確認してください。  参照 • 「[プロトコル設定]」(P.143) を参照してください。 プロキシサーバー経由の環境の場合、設定が正しいか確認してください。  参照 • 「[プロキシサーバー一覧]」(P.145) を参照してください。 [Web ブラウザー設定] で、次の設定になっているか確認してください。 • [外部アクセスバージョンの選択]：[V4] または [V5] • [ファイルプリント機能の使用]：チェックマークが付いている • [Cookie の使用]：[する] または [保存を確認する]  参照 • 「[Web ブラウザー設定]」(P.138) を参照してください。 リモートアシスタンスが接続できないときは、次の設定になっているか確認してください。 • [SOAP- ポート]：[起動] • [SOAP- ポート番号]：[80]  参照 • 「[SOAP]」(P.142) を参照してください。
「無効な証明書が通知されました。一時的に有効な証明書として通信を行いますか？」というメッセージが表示される	本機に登録されていた証明書が削除された可能性があります。次のどちらかで処置してください。 • 表示された画面で、[はい] を選択すると、一時的にヘルプに接続できます。 • 本機の電源を切 / 入し、再起動すると、必要な証明書が自動的に再登録されます。

AirPrint のトラブル

症状	原因 / 処置
プリンターの選択画面で、本機が検出されない	ネットワークに接続できませんでした。 本機と iOS/macOS/OS X のネットワーク設定を確認してください。
	Bonjour および IPP ポートが起動していません。 [設定] > [ネットワーク設定] で、ポートの設定を確認してください。
	AirPrint が有効になっていません。 CentreWare Internet Services を起動し、[ネットワーク] > [AirPrint] で、[有効] にチェックマークを付けてください。
	本機とコンピューターで、同一のネットワークを使用してください。ルーターを超えてプリントする場合は、本機とコンピューターで、Wide-Area Bonjour を有効にしてください。  参照 本機で Wide-Area Bonjour を有効にする設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

9.7 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機のタッチパネルに表示される 6 桁の数字です。

エラーコードが表示されたときはエラーコードを公式サイトで確認してください。

1. 弊社公式サイトにアクセスします。

<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索します。

3. ページ内の指示に従って設定し、[エラーコード検索] をクリックします。

1.エラーコードを入力してください。

例：012-345

エラーコード： -

注記： 094の場合、「94」ではなく「094」と必ず「0」を含んだコードを入力してください。
また、コードは半角文字で入力してください。

2.ご使用の商品を入力してください。

商品名：

[> エラーコード検索](#)

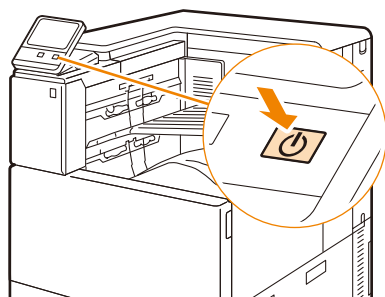
10 オプション製品の取り付け

オプション製品の最新情報については、弊社公式サイトをご覧ください。

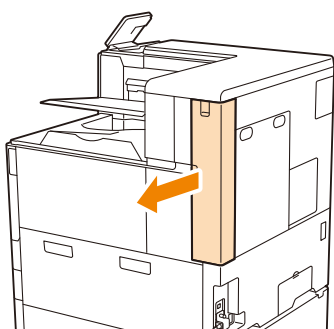
<http://www.fujixerox.co.jp>

10.1 無線キットの取り付け

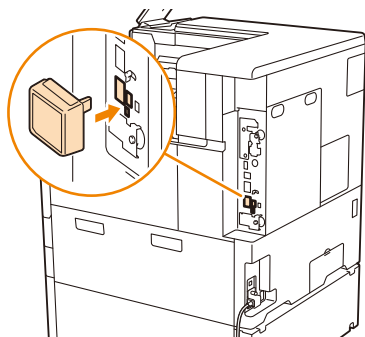
1. ②〈電源 / 節電〉 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。



2. 本機の右奥カバーを外します。

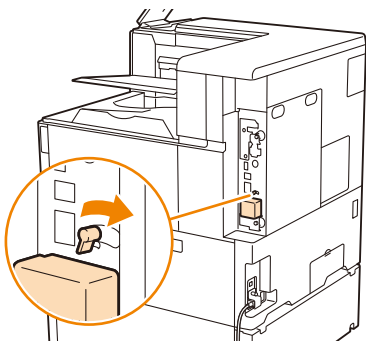


3. 無線キットのコネクターを無線キットソケットに差し込みます。



💡 補足

- 無線キットを取り外す場合は、ロックレバーを矢印の方向に動かしたまま、無線キットを取り外してください。



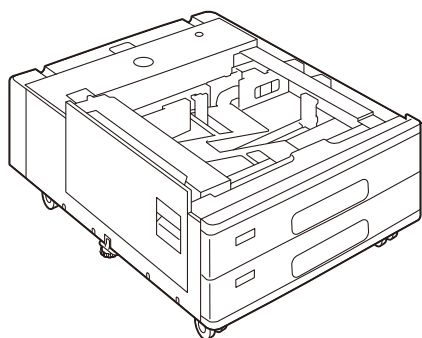
4. 本機の右奥カバーを取り付けます。
5. ㊦〈電源 / 節電〉ボタンを押し、電源を入れます。

10.2 2トレイモジュール、専用スタンド、専用キャスター台の取り付け

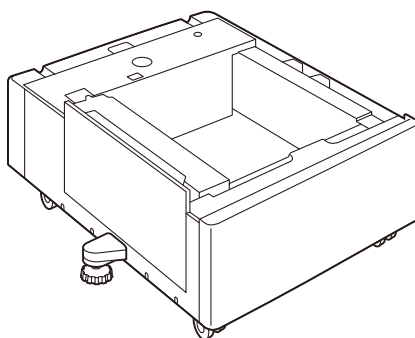
本機下部に次のオプション製品を取り付けることができます。

⚠ 注意

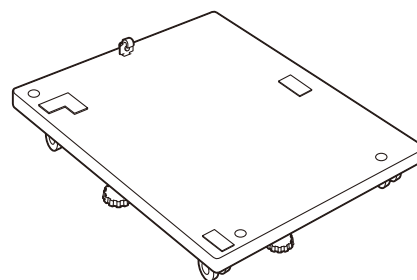
- ・オプション製品を取り付けた場合、本機を運搬するときは、オプション製品を外してください。



2トレイモジュール



専用スタンド



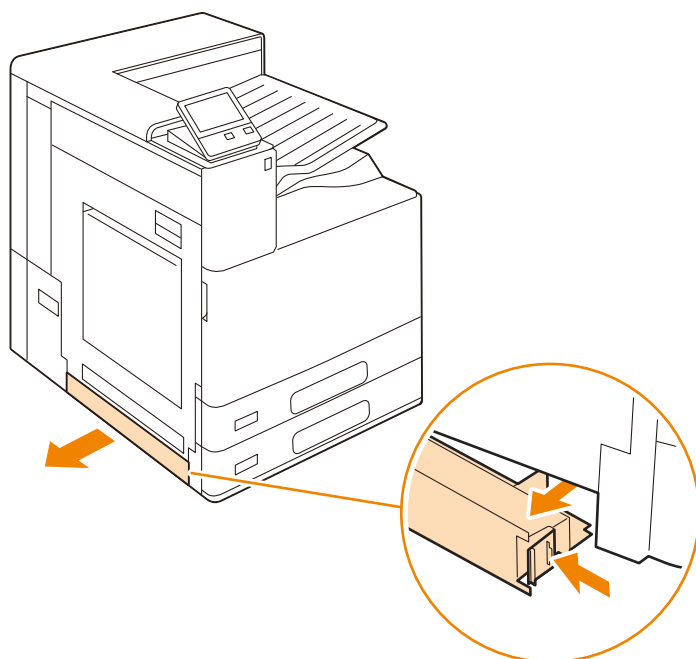
専用キャスター台

オプション製品は、次の人数で持ち上げてください。

- ・2トレイモジュール：3人以上
- ・専用スタンド：2人以上
- ・専用キャスター台：2人以上

ここでは、2トレイモジュール（トレイ3、4）を取り付ける場合を例に説明します。

1. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の左側面のカバーを外します。

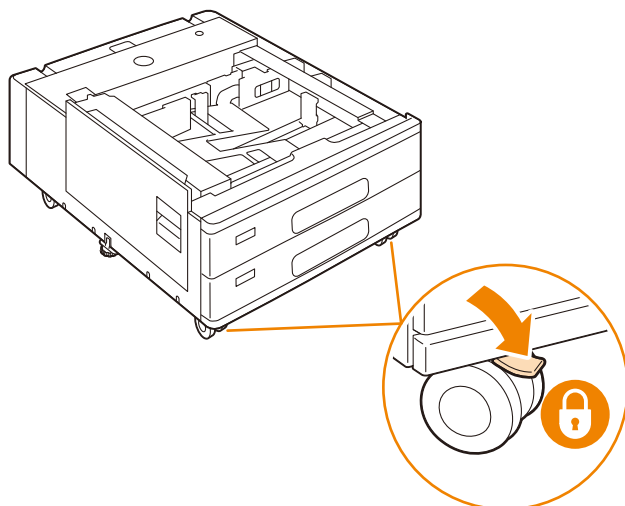


 補足

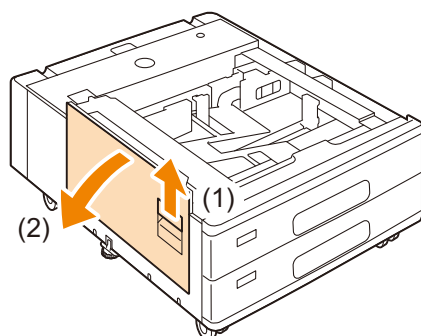
- 外したカバーは保管してください。

4. 2トレイモジュールを設置場所に置きます。

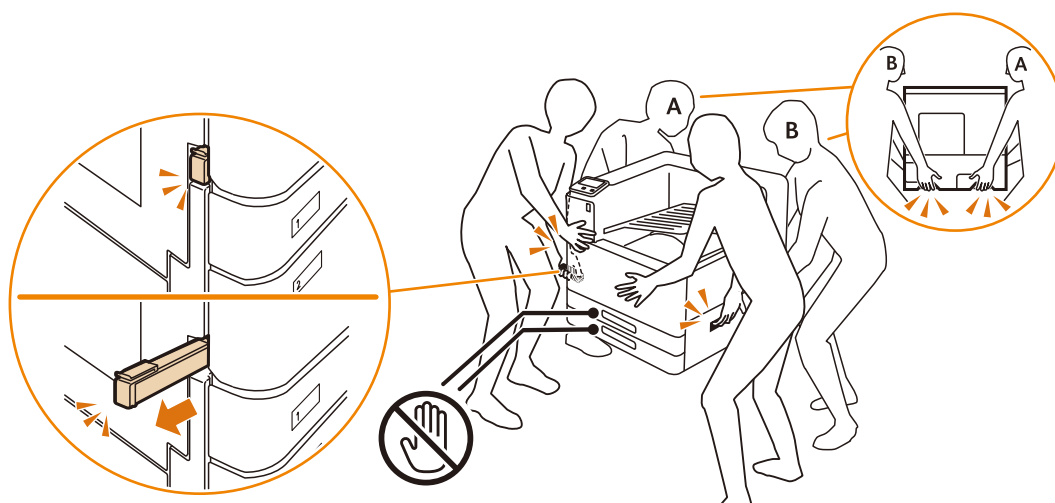
5. 前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。



6. 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを開けます。



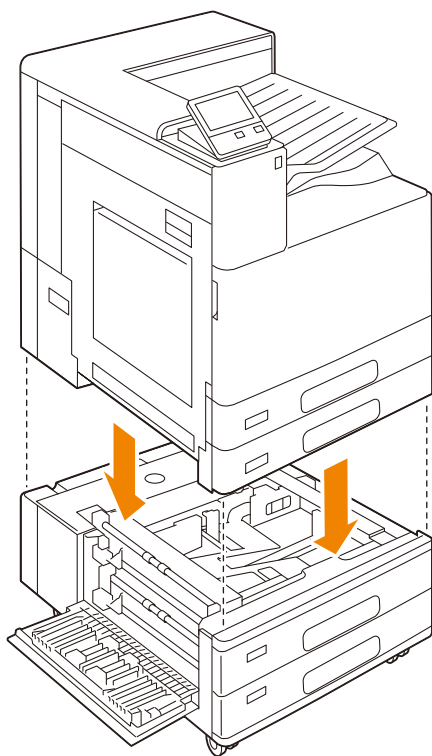
7. 本機を次の図のように持ち上げます。



 注意

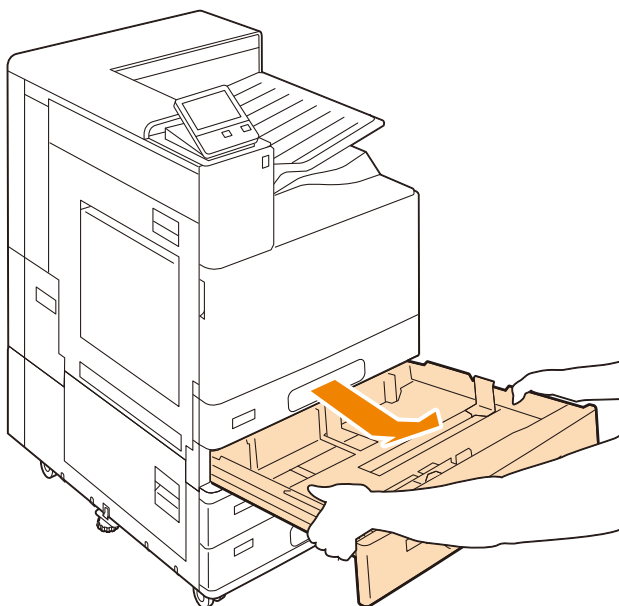
- 本機は、必ず4人以上で持ち上げてください。

- 8.** 本機と2トレイモジュールの角を合わせ、静かに下ろします。

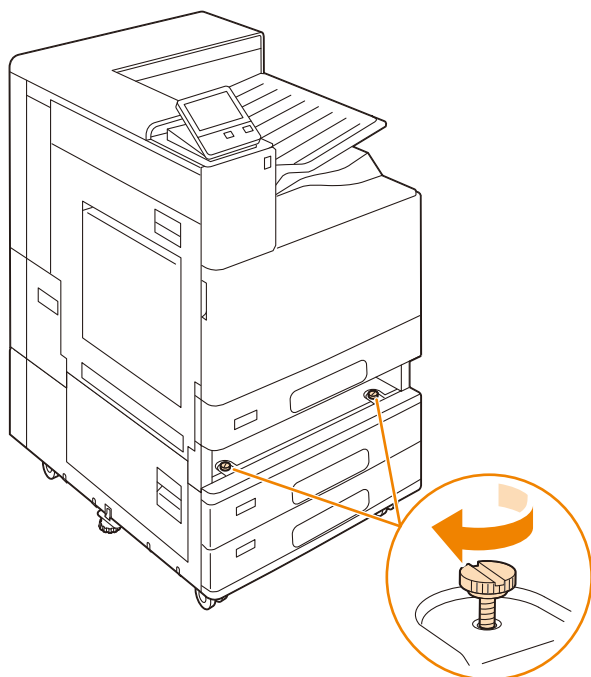


- 9.** 2トレイモジュールの場合は、左側面下部カバーを閉じます。

- 10.** トレイ2の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。

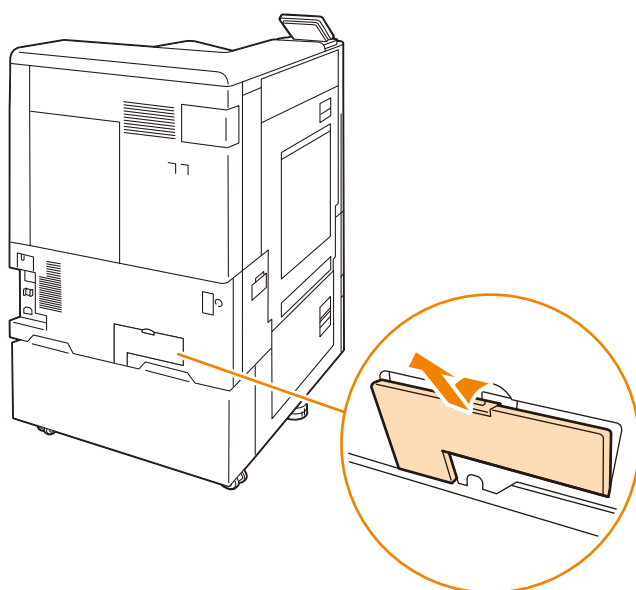


11. 付属のネジをコインなどで締め、本機を 2 トレイモジュールに固定します。

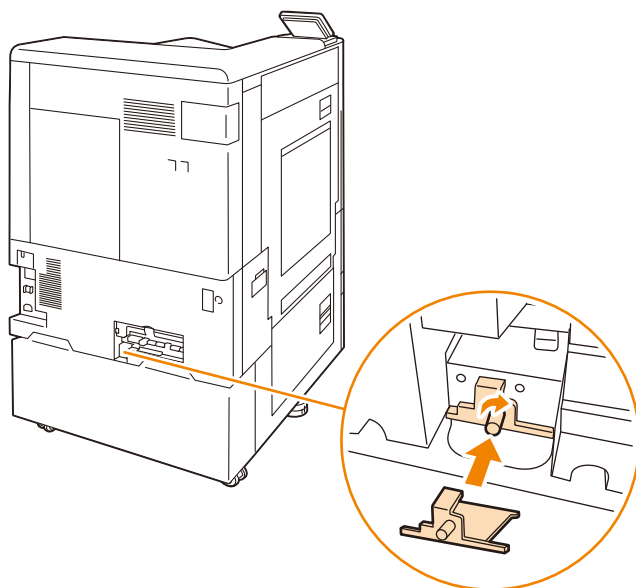


12. 本機にトレイ 2 を差し込み、止まるまで押し込みます。

13. 本機の背面のケーブルカバーをはずします。

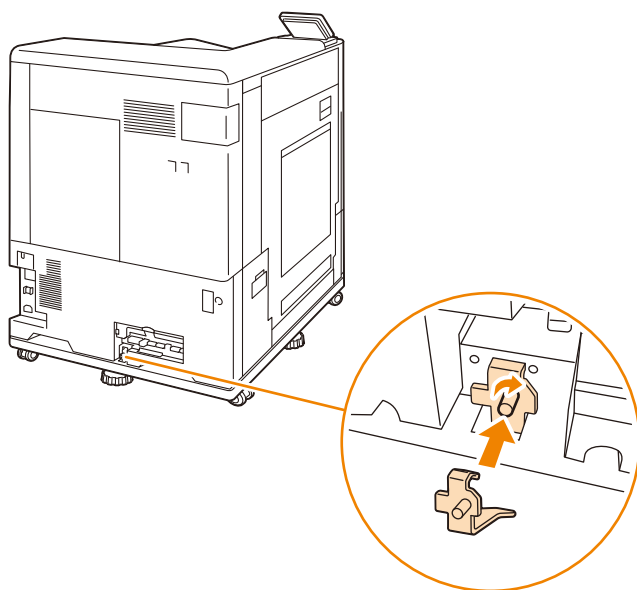


14. 付属のジョイントで本機と2トレイモジュールを固定します。

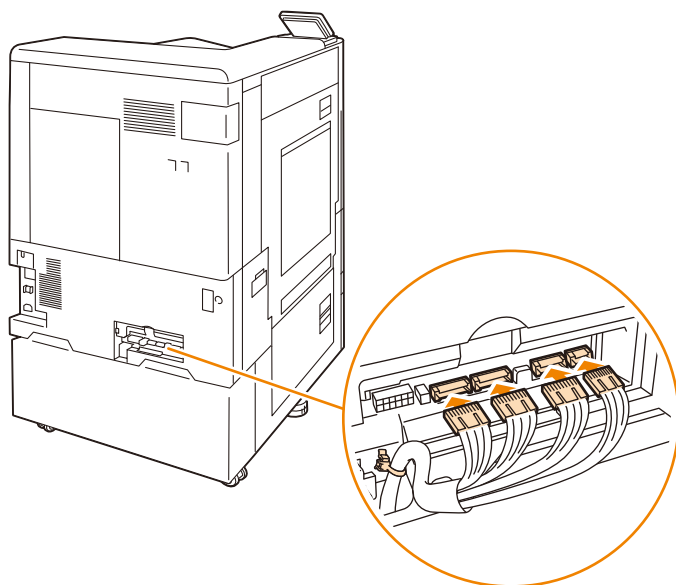


💡 補足

- 専用キャスター台の付属のジョイントは形状が異なります。次のイラストを参考にしてください。



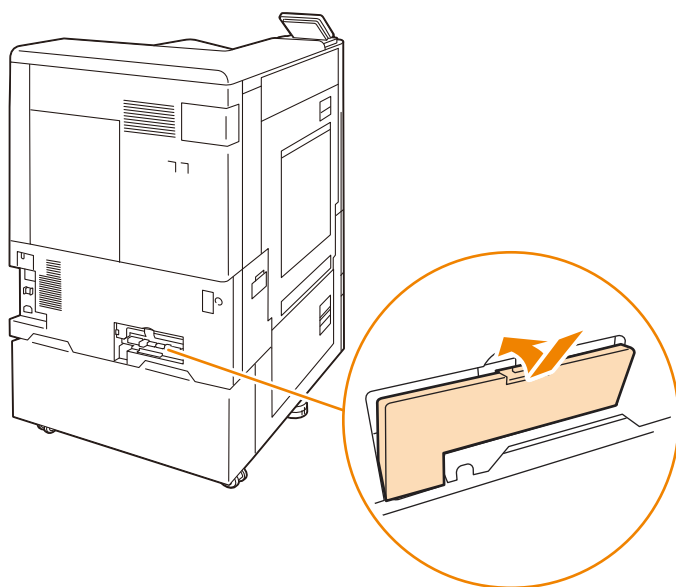
15. コネクターケーブルを接続します。



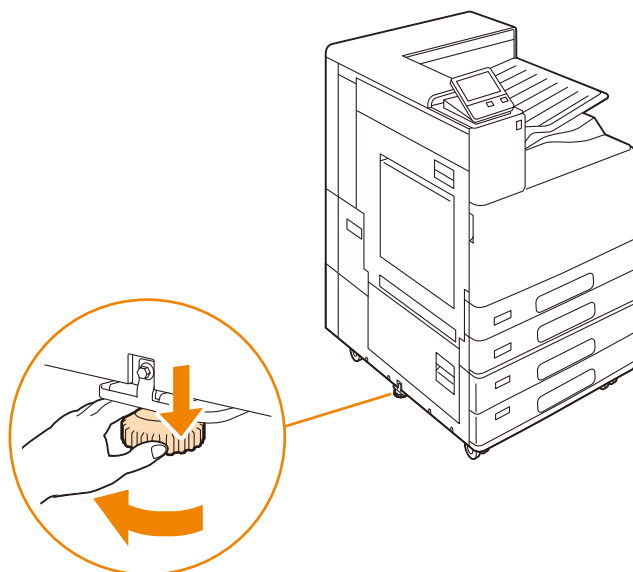
💡 補足

- 専用スタンドと専用キャスター台ではこの手順は不要です。

16. ケーブルカバーを閉じます。



17. 転倒防止ストッパーの高さを調整します。



18. 電源コードを接続し、**電源 / 節電** ボタンを押します。

19. プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更します。

 補足

- 専用スタンドと専用キャスター台はこの手順は不要です。

 参照

- 変更方法については、「プリンタードライバーでオプションの設定をする」(P.35) を参照してください。

10.3 封筒 / はがきトレイの取り付け

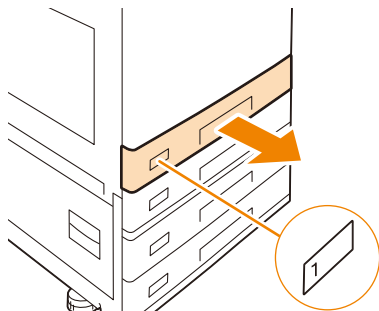
封筒 / はがきトレイを取り付ける

標準のトレイ 1 を本機から取り外して、オプションの封筒 / はがきトレイを本機に取り付けます。

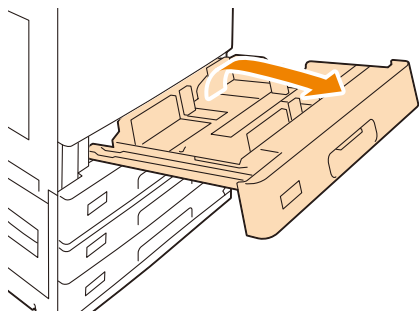
注記

- 封筒 / はがきトレイはトレイ 1 の場所に取り付けてください。他のトレイの場所には取り付けられません。

1. トレイ 1 を、手前に止まるまで引き出します。



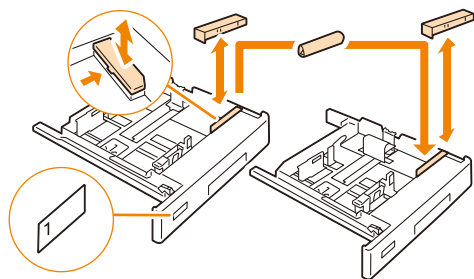
2. トレイ 1 の手前を少し持ち上げながら、トレイ 1 を本機から取り外します。



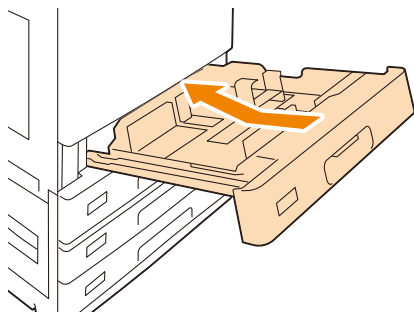
補足

- 用紙トレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、トレイ 1 から封筒 / はがきトレイに移します。



4. 封筒 / はがきトレイをスロットに差し込み、ゆっくりと押し込みます。



参照

- 封筒 / はがきトレイに用紙をセットする方法については、「封筒 / はがきトレイ装着時」(P.56) を参照してください。

5. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。

6. [設定] をタップします。

7. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。

8. [トレイ 1 の種別] をタップします。

9. [封筒トレイ使用可能] をタップします。

10. ホーム画面で、[設定] をタップします。

11. [用紙トレイ] > [トレイ 1] をタップします。

12. [封筒トレイ] をタップしてチェックマークを付けます。

13. [OK] をタップします。

14. 𠂇(ホーム) ボタンを押します。

15. プリンタードライバーの [プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。

- [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
- [オプションの設定] > [封筒 / はがきトレイ] を [あり] にします。



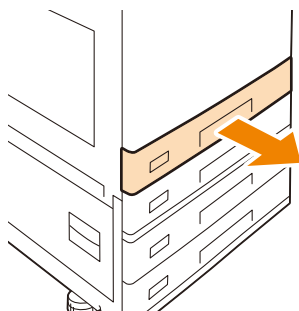
参照

- 変更方法については、「はがき / 封筒にプリントする」(P.70) を参照してください。

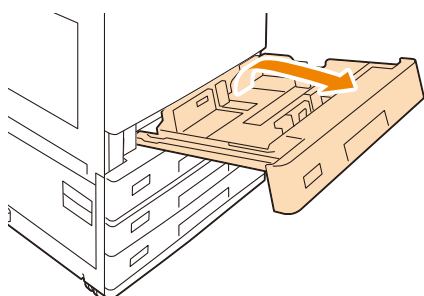
封筒 / はがきトレイを取り外す

オプションの封筒 / はがきトレイを本機から取り外して、標準のトレイ 1 を本機に取り付けます。

1. 封筒 / はがきトレイを、手前に止まるまで引き出します。



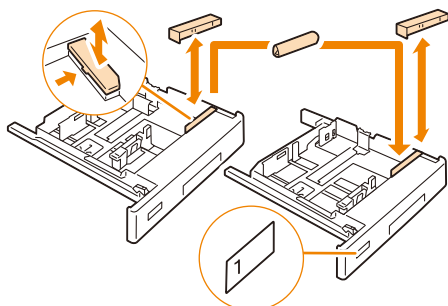
2. 封筒 / はがきトレイの手前を少し持ち上げながら、封筒 / はがきトレイを本機から取り外します。



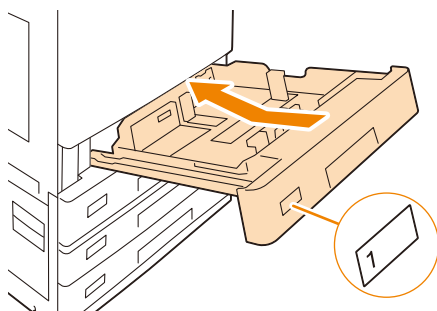
 補足

- 封筒 / はがきトレイを取り外すときは、手前側が少し持ち上がった状態で、後ろ側を高く持ち上げてください。

3. トレイの手前右側にあるカバー内に保管している書類を、封筒 / はがきトレイからトレイ 1 に移します。



4. トレイ 1 をスロットに差し込み、ゆっくりと押し込みます。



 参照

- トレイ 1 に用紙をセットする方法については、「トレイ 1 ～ 4 (3、4 はオプション) に用紙をセットする」(P.54) を参照してください。

5. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。

6. [設定] をタップします。
7. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。
8. [トレイ 1 の種別] をタップします。
9. [標準トレイ] をタップします。
10. 𠂇(ホーム) ボタンを押します。
11. プリンタードライバーの [プリンター構成] タブで、次のどちらかの設定をします。
 - [プリンターとの通信設定] で [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。
 - [オプションの設定] > [封筒 / はがきトレイ] を [なし] にします。

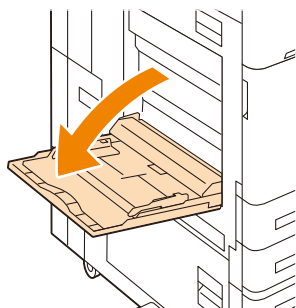


- 変更方法については、「はがき / 封筒にプリントする」(P.70) を参照してください。

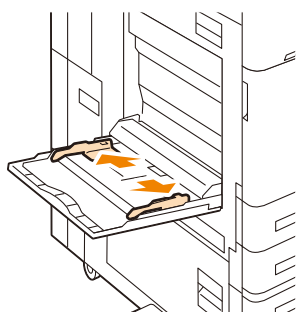
10.4 長尺用紙セットガイド（320mm）の取り付け

長尺用紙セットガイド（320mm）はトレイ 5（手差し）に取り付けることができます。

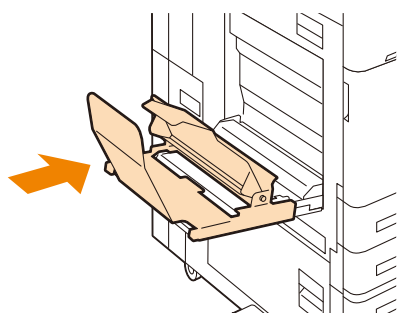
1. トレイ 5（手差し）を開きます。



2. トレイ 5（手差し）の用紙ガイドを、いっぱいまで開きます。



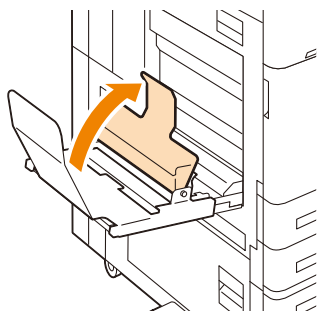
3. 長尺用紙セットガイド（320mm）をトレイ 5（手差し）に差し込みます。



💡 補足

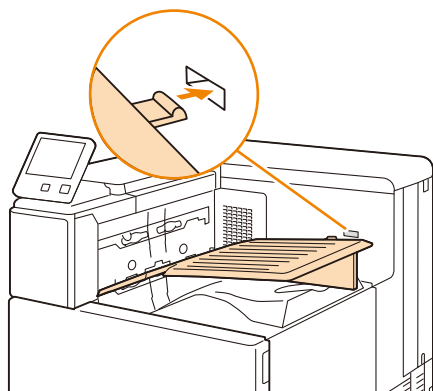
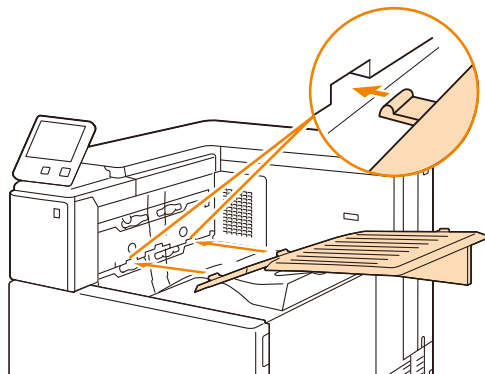
- 本体に突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。

4. 用紙受けを、本体側に向けて立てます。



10.5 インナー排出トレイの取り付け

1. 電源 / 節電 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. インナー排出トレイを本機に差し込みます。



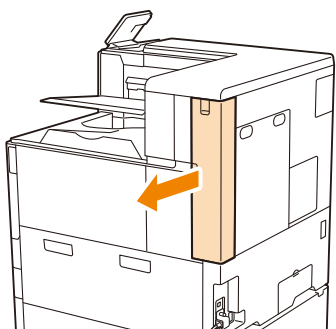
3. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
4. [設定] をタップします。
5. [システム設定] > [その他の設定] をタップします。
6. [インナー排出トレイ] をタップします。
7. [あり] をタップします。
8. [OK] をタップします。

10.6 ストレージの取り付け

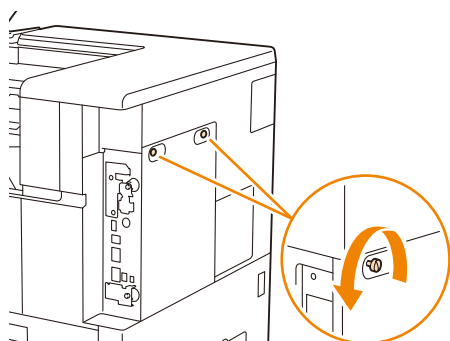
💡 補足

- 一度取り付けしたストレージ（オプション）は、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

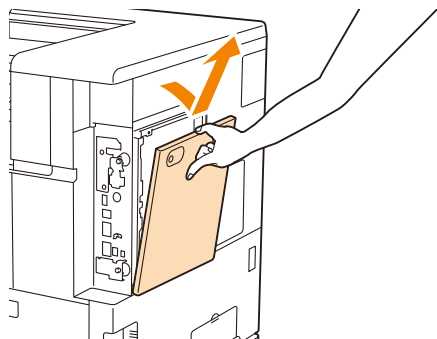
1. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の右奥カバーを外します。



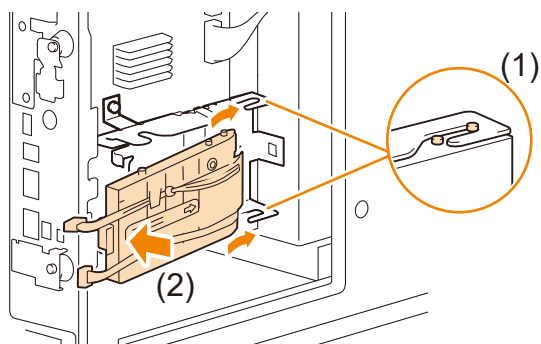
4. 背面カバーの2か所のネジを緩めます。



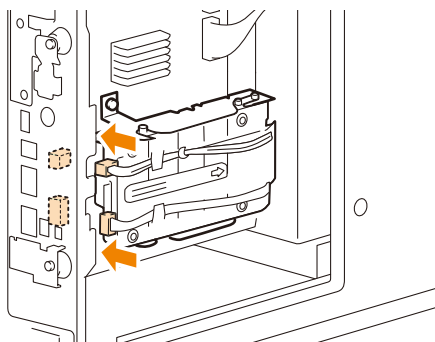
5. 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



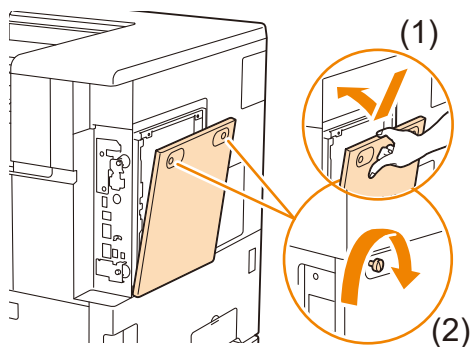
- 6.** ストレージ（オプション）の突起部をフレームのくぼみに正しくはめ（1）、コネクタケーブルを外側に
して、コントローラーボード上のフレームに差し込みます（2）。



- 7.** ストレージ（オプション）のコネクタケーブル（2本）を、コントローラーボード上のコネクタに接続
します。



- 8.** 背面カバーを戻し、ネジで2 か所を固定します。

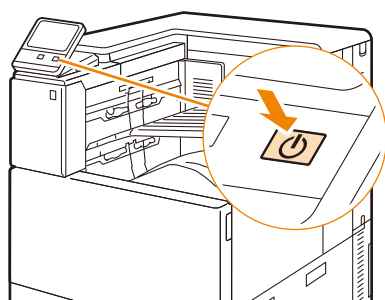


💡 補足

- 背面カバーは、図の（1）のとおり下に押し付けながら閉めてください。

- 9.** 電源コードを接続します。

10. 電源 / 節電 ボタンを押して、電源を入れます。

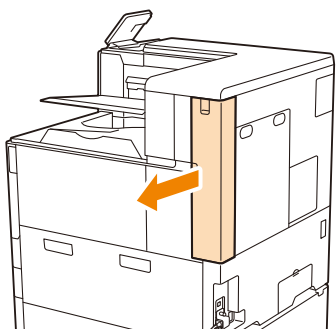


💡 補足

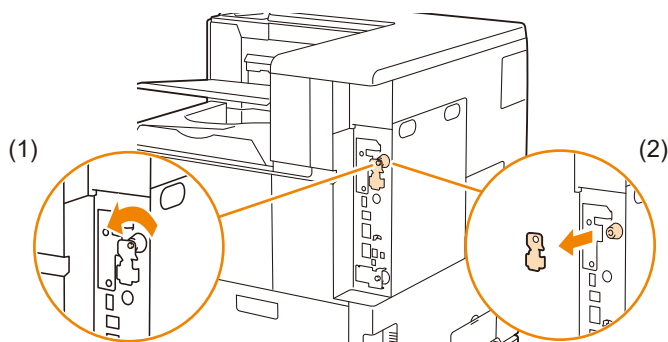
- ストレージ（オプション）の取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプションの設定をする」(P.35) を参照してください。

10.7 セカンダリーイーサネットキットの取り付け

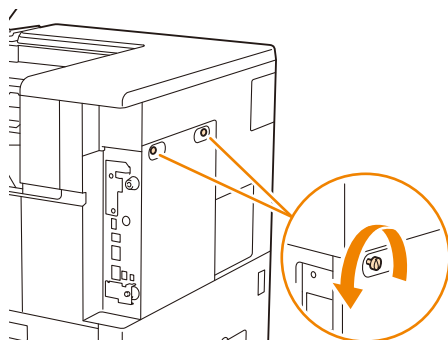
1. ④〈電源 / 節電〉 ボタンを押し、[電源を切る] を選んで、電源を切ります。
2. 電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機の右奥カバーを外します。



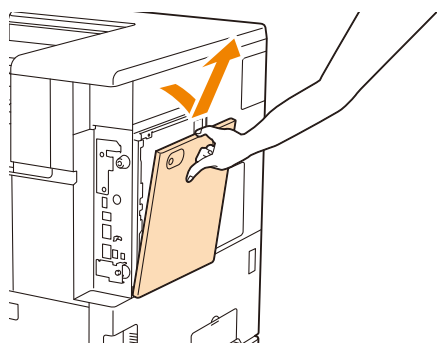
4. ネジを外し、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



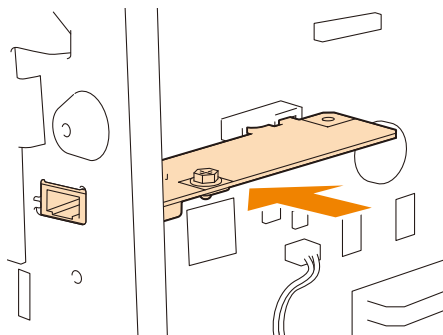
5. 背面カバーの 2 か所のネジを緩めます。



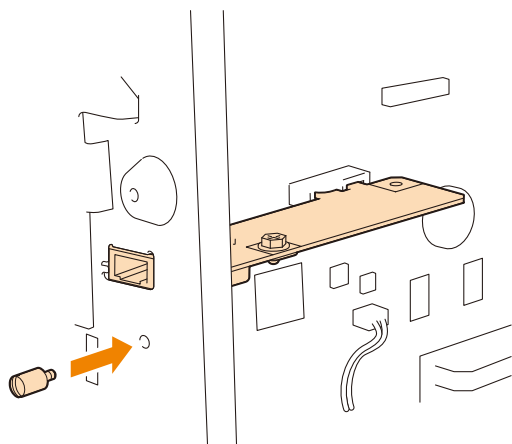
- 6.** 背面カバーを、手前に引いて取り外します。



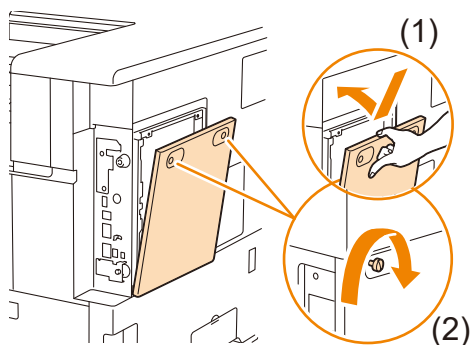
- 7.** セカンダリーイーサネットキットをコントローラーボードのコネクタに差し込みます。



- 8.** 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットキットを固定します。



- 9.** 背面カバーを戻し、ネジで2 か所を固定します。





補足

- 背面カバーは、図の（1）のとおり下に押し付けながら閉めてください。

10. 本機の右奥カバーを取り付けます。

11. ㊦〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

10.8 ソフトウェアオプションの取り付け

本機には次のソフトウェアオプション製品を取り付けることができます。

- セキュリティ拡張キット
- Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体)
- Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体)
- USB メモリーキット
- 外部認証キット
- 外部アクセスキット

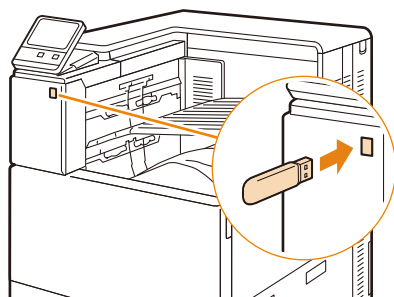
💡 補足

- セキュリティ拡張キット、外部アクセスキットは、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。

ここでは、セキュリティ拡張キットを取り付ける場合を説明します。

Adobe® PostScript® 3™ キット (平成 2 書体)、Adobe® PostScript® 3™ キット (モリサワ 2 書体)、USB メモリーキット、外部認証キット、または外部アクセスキットを取り付ける場合も、手順は同じです。取り付け手順の「セキュリティ拡張キット」をお手持ちのソフトウェアオプションの名称に読み替えてください。

1. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押し、[電源を切る]を選んで、電源を切ります。
2. セキュリティ拡張キットを用意します。
3. キャップを外し、本機前面の USB コネクターに挿入します。

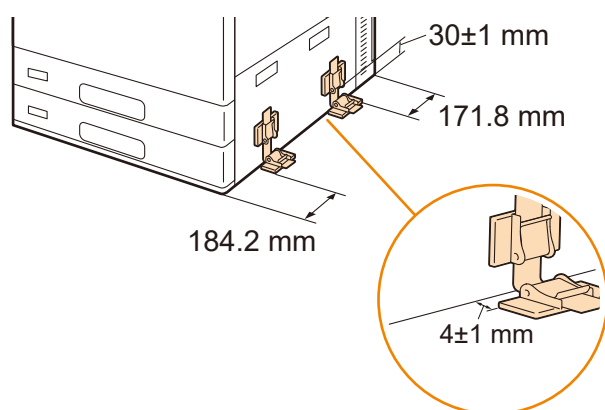


4. 本機の電源を入れます。
5. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
6. [設定] をタップします。
7. [保守] をタップします。
8. [ソフトウェアオプションの設定ー USB] をタップします。
9. [機能を有効化する] をタップします。
有効化処理が完了すると、自動的に本機が再起動します。
10. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、セキュリティ拡張キットを取り外します。

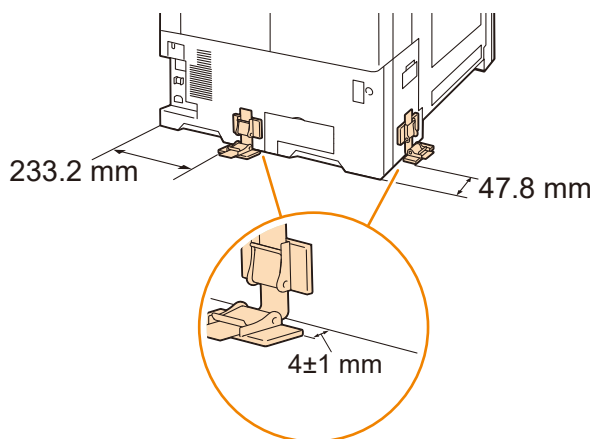
10.9 地震対策キット（バンドタイプ）の取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。
2. ④〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。
3. 本機と接地面の、留め具を取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。
4. 留め具の粘着パッドの剥離紙をはがします。
5. 接地面側に留め具を貼り付けます。

• 右側面



• 左側面部、および背面



6. ベルトがたるまないようにして、本機側にもう一方の留め具を貼り付けます。

💡 補足

- ベルトがたるんだ場合は、本機側の留め具のロックレバーを解除してベルトを引っ張り、再度留め具を固定します。

7. 手順4～6を繰り返し、本機の左側面と右側面の合計4箇所ですべて固定します。

8. 留め具を強く押してしっかり接着し、24時間放置します。

💡 補足

- 留め具の使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

11 付録

11.1 主な仕様

商品コード

- ApeosPort Print C5570 : NC100591
- ApeosPort Print C4570 : NC100590

形式

デスクトップ

プリント方式

LED ゼログラフィー

❗ 注記

- LED + 乾式電子写真方式。

ウォームアップ時間

組み込みプラグイン機能 / カスタムサービス有効時

- 27 秒以下（電源投入時、室温 23℃）（スリープモード時は 6 秒以下）

組み込みプラグイン機能 / カスタムサービス無効時

- 21 秒以下（電源投入時、室温 23℃）（スリープモード時は 6 秒以下）

❗ 注記

- 当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。
- スリープモード時の値は、1 時間以内に再起動をかけた場合、1 時間以内でもご使用の条件によっては、記載値を超える場合があります。
- 工場出荷時に組み込みプラグイン機能 / カスタムサービスが有効で設定されています。お客様のご使用に合わせ変更が可能です。

連続プリント速度

- ApeosPort Print C5570

片面印刷時

- A4□: カラー 55 枚 / 分、モノクロ 55 枚 / 分
- A3 : カラー 27 枚 / 分、モノクロ 27 枚 / 分

両面印刷時

- A4□: カラー 55 ページ / 分、モノクロ 55 ページ / 分
- A3 : カラー 19 ページ / 分、モノクロ 19 ページ / 分

- ApeosPort Print C4570

片面印刷時

- A4□: カラー 45 枚 / 分、モノクロ 45 枚 / 分
- A3 : カラー 22 枚 / 分 モノクロ 22 枚 / 分

両面印刷時

- A4□: カラー 45 ページ / 分、モノクロ 45 ページ / 分
- A3 : カラー 15 ページ / 分、モノクロ 15 ページ / 分

❗ 注記

- 同一原稿連続プリント時。郵便はがき（日本郵便製）、厚紙などの用紙種類、サイズやプリント条件によっては速度が低下します。また、画質調整のため、プリント速度が低下する場合があります。

ファーストプリント時間

- ApeosPort Print C5570
5.0 秒（A4□ カラー）、3.5 秒（A4□ モノクロ）
- ApeosPort Print C4570
5.5 秒（A4□ カラー）、4.2 秒（A4□ モノクロ）

❗ 注記

- 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。

解像度

- 標準：1200×2400 dpi、高画質：1200×2400 dpi、高精細：1200×1200 dpi

階調

- 各色 256 階調（1670 万色）

用紙サイズ

トレイ 1

- A3、11×17"、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 100～297x 長さ 148～431.8 mm）^{*1}

トレイ 2

- SRA3（320x450 mm）、A3、11×17"、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 100～320x 長さ 148～457.2 mm）^{*1}

手差しトレイ

- SRA3（320x450 mm）、A3、11×17"、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 89～320x 長さ 98～1200 mm）^{*1}、長尺紙 A（297x900 mm）^{*1}、長尺紙 B（297x1200 mm）^{*1}

2トレイモジュール（オプション）

- SRA3（320x450 mm）、A3、11×17"、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 100～320x 長さ 148～457.2 mm）^{*1}

大容量給紙トレイ（1 段）（オプション）

- A4□、レター□、B5□

封筒 / はがきトレイ（オプション）

- 封筒（長形 3 号、洋長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 6 号、角形 20 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号）^{*1}、郵便はがき（日本郵便製）^{*1}、ユーザー定義用紙（幅 90～241x 長さ 98～372 mm）^{*1}

両面印刷

- SRA3（320x450 mm）、A3、11×17"、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、ユーザー定義用紙（幅 128～320x 長さ 139.7～482.6 mm）^{*1}

像欠け幅

- 先端 4.0 mm、後端 2.0 mm、左右端 2.0 mm

^{*1}：標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。Adobe® PostScript® 3™ キット（オプション）が必要です。

❗ 注記

- 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズなど）によっては、正しくプリントできないことがあります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できないことがあります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の

場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生することがあります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じることがありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。

- 推奨用紙や事前の用紙走行確認については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

用紙坪量

標準トレイ

- 52 ～ 300 g/m²

手差しトレイ

- 52 ～ 300 g/m²

オプション

- 2トレイモジュール：52 ～ 300 g/m²
- 大容量給紙トレイ（1段）：55 ～ 216 g/m²
- 封筒 / はがきトレイ（オプション）：封筒 75 ～ 90 g/m²、はがき 106 ～ 220 g/m²

両面印刷

- 52 ～ 300 g/m²

！ 注記

- 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズなど）によっては、正しくプリントできないことがあります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できないことがあります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生することがあります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じることがありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。
- 推奨用紙や事前の用紙走行確認については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

給紙容量

標準

- 標準トレイ：560 枚 × 2 段
- 手差しトレイ：100 枚

オプション

- ApeosPort Print C5570
 - 2トレイモジュール：560 枚 × 2 段
 - 大容量給紙トレイ（1段）：2300 枚
 - 封筒 / はがきトレイ：50 枚
- ApeosPort Print C4570
 - 2トレイモジュール：560 枚 × 2 段
 - 封筒 / はがきトレイ：50 枚

最大

- ApeosPort Print C5570
 - 4640 枚 [標準 + 2トレイモジュール + 大容量給紙トレイ（1段）]
- ApeosPort Print C4570
 - 2340 枚 [標準 + 2トレイモジュール]

！ 注記

- 当社 P 紙（64 g/m²）

出力トレイ容量

400 枚（A4□）、200 枚（A3）

！ 注記

- 当社 P 紙（64 g/m²）

- インナー排出トレイ（オプション）装着時のトレイ容量は、センタートレイが 250 枚（A4 $\square$ ）、インナー排出トレイが 250 枚（A4 $\square$ ）になります。

両面機能

標準

メモリー容量

4 GB（最大 4 GB）

！ 注記

- 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。

ストレージ容量

- 3.6 GB
- オプション：81 GB

！ 注記

- 実際のストレージ容量と異なる場合があります。いったん装着したストレージを別の本体に取り付けることはできません。

搭載フォント

標準

- アウトラインフォント（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 19 書体）
ストロークフォント（日本語書体、欧文書体：HP-GL 用）、欧文 82 書体、シンボル 37 セット

オプション*1

- 平成 2 書体：日本語 2 書体（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5）、欧文 136 書体
モリサワ 2 書体：日本語 2 書体（リュウミン L-KL™、中ゴシック BBB™）、欧文 136 書体

*1 :Adobe® PostScript® 3™キット（オプション）が必要です。

ページ記述言語

標準

- ART-EX

オプション*1

- Adobe® PostScript® 3™

*1 :Adobe® PostScript® 3™キット（オプション）が必要です。

エミュレーション

ART IV、ESC/P（VP-1000）、PCL5/PCL6、PC-PR201H、HP-GL（HP7586B）、HP-GL2/RTL（HP DesignJet 750C Plus）、TIFF、JPEG、PDF、XPS（XML Paper Specification）、DocuWorks、BMLinkS®

対応 OS

標準

- ART EX ドライバー：
 - Windows 10（32 ビット）
 - Windows 10（64 ビット）
 - Windows 8.1（32 ビット）
 - Windows 8.1（64 ビット）
 - Windows Server 2019（64 ビット）
 - Windows Server 2016（64 ビット）
 - Windows Server 2012 R2（64 ビット）

Windows Server 2012 (64 ビット)

- Mac OS X ドライバー :
macOS 10.15/10.14/10.13/10.12、OS X 10.11

オプション

- Adobe® PostScript® 3™ ドライバー :
Windows 10 (32 ビット)
Windows 10 (64 ビット)
Windows 8.1 (32 ビット)
Windows 8.1 (64 ビット)
Windows Server 2019 (64 ビット)
Windows Server 2016 (64 ビット)
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)
Windows Server 2012 (64 ビット)
macOS 10.15/10.14/10.13/10.12、OS X 10.11

❗ 注記

- 最新の対応 OS については弊社公式サイトをご覧ください。

インターフェイス

標準

- Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB3.0、USB2.0

オプション

- 無線 LAN (IEEE 802.11 a/b/n/g/ac)

対応プロトコル

TCP/IP (IPv4/IPv6 : lpd、IPP、Port9100、WSD (Web Services on Devices)、ThinPrint、BMLinkS®)

電源

AC 100 V±10%、15 A、50/60 Hz 共用

❗ 注記

- 推奨コンセント容量。機械側最大電流は、13.2 A。

騒音

稼働時 (本体のみ)

- ApeosPort Print C5570
6.81 B、50.7 dB (A)
- ApeosPort Print C4570
6.62 B、49.1 dB (A)

レディー時 (本体のみ)

- ApeosPort Print C5570
3.37 B、15.6 dB (A)
- ApeosPort Print C4570
3.42 B、15.3 dB (A)

❗ 注記

- ISO7779 に基づいた測定
- 単位 B : 音響パワーレベル (LWAd)
- 単位 dB (A) : 放射音圧レベル (バイスタンダ位置)

最大消費電力

- ApeosPort Print C5570
最大：1320 W、スリープモード時 0.5 W
平均：レディー時 64 W、稼働時 787 W
- ApeosPort Print C4570
最大：1320 W、スリープモード時 0.5 W
平均：レディー時 64 W、稼働時 736 W

❗ 注記

- 本体起動時の瞬間的ピークを除いた時の数値です。最大消費電力はフル構成時。

エネルギー消費効率

- ApeosPort Print C5570
123 kWh/ 年、区分：プリンター B
- ApeosPort Print C4570
98 kWh/ 年、区分：プリンター B

❗ 注記

- 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。

外形寸法

- 幅 620.0× 奥行 723.0× 高さ 809.3 mm

❗ 注記

- 手差しトレイを折りたたんだ本体のみ。

質量

- 約 83.0 kg（消耗品を含む）、約 78.1 kg（消耗品を含まず）

フィニッシャー B3（オプション）

❗ 注記

- 2トレイモジュール（オプション）装着時のみ取り付けことができます。

トレイ形式

フィニッシャートレイ：ソート（オフセット可） / スタック（オフセット可）

❗ 注記

- 工場出荷時の初期値は、「オフセット排出しない」に設定されています。お客様のご使用に合わせ変更が可能です。
- 用紙坪量 257 g/m² 以上、および用紙幅 210 mm 未満は、オフセットせずに排出されます。

用紙サイズ

最大：A3、11×17"

最小：A5

❗ 注記

- A3、11×17" より大きいサイズ、または A5 より小さいサイズはセンター部に排出されます。

用紙坪量

52 ～ 300 g/m²

❗ 注記

- 52 ～ 55 g/m²、257 g/m² 以上 は、出力紙により正しく収容できない場合があります。

トレイ容量

ステープルなしの場合

A4 : 2000 枚

B4 以上 : 1000 枚

ミックススタック^{*1} : 300 枚

ステープルありの場合

A4 : 100 部または 1000 枚 (1 か所の場合)、75 部または 750 枚 (2 か所の場合)

B4 以上 : 75 部または 750 枚

中とじ / 折り目をつけた場合^{*2} : 50 部または 600 枚

折り目をつけた場合^{*2} : 500 枚

^{*1} : 小さいサイズの上に大きいサイズの下紙を積載することをいいます。

^{*2} : 中とじ / 折り目機能はオプションのフィニッシャー B3 中とじユニットが必要です。折りたたみやすいように折り目をつけます。中とじ / 二つ折りを指定した出力の後には、トレイから用紙を取り除かないと、次のジョブは出力されない場合があります。また、小さいサイズの上に中とじ / 折り目を指定した出力の場合も、トレイから用紙を取り除かないと排出されない場合があります。

❗ 注記

- 当社 P 紙 (64 g/m²)

ステープル

最大ステープル枚数 : 50 枚 (90 g/m² 以下)

ステープル用紙サイズ :

最大 : A3、11×17"

最小 : A5□

ステープル用紙坪量 : 52 ~ 256g/m²

ステープル箇所 : 1 か所、2 か所

パンチ

パンチ数 : 2 穴 / 4 穴または 2 穴 / 3 穴 (US 規格)

パンチ用紙サイズ : A3、11×17"、B4^{*2}、A4^{*1}、A4□、レター^{*1}、レター□、B5^{*1}、B5□^{*2}、A5^{*1}、A5□^{*1}

^{*1} : 3 穴、4 穴は使用できません。

^{*2} : 4 穴は使用できません。

用紙坪量 : 52 ~ 220 g/m²

❗ 注記

- パンチ機能はオプションのフィニッシャー B3 パンチユニット 2/4 穴、またはフィニッシャー B3 パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) が必要です。

中とじ / 二つ折り

最大枚数 :

中とじ 15 枚、二つ折り 5 枚

用紙サイズ :

最大 : A3、11×17"

最小 : A4、レター

用紙坪量 :

中とじ : 64 ~ 80 g/m²、二つ折り : 64 ~ 105 g/m²

❗ 注記

- 中とじ / 折り目機能を利用するには、オプションのフィニッシャー B3 中とじユニットが必要です。折りたたみやすいように折り目をつけます。中とじ / 二つ折りを指定した出力の後には、トレイから用紙を取り除かないと、次

のジョブは出力されません。また、小さなサイズの上に中とじ / 折り目を指定した出力の場合も、トレイから用紙を取り除かないと排出されません。

- 中とじの表紙は最大 220 g/m² (厚紙 2) まで選択可能です。

大きさ / 質量

幅 592× 奥行 653× 高さ 1041 mm、25 kg

幅 592× 奥行 673× 高さ 1079 mm、35 kg (中とじユニット装着時)

❗ 注記

- 本体内に収まる接続部は除いた値です。

本体接続時の占有寸法

幅 1645× 奥行 723 mm

中とじユニット装着時：幅 1645× 奥行 723 mm

❗ 注記

- 本体+フィニッシャー B3、延長トレイ引き出し時、手差しトレイ最大伸長時。

フィニッシャー C3 (オプション)

❗ 注記

- 2トレイモジュール (オプション) 装着時のみ取り付けことができます。

トレイ形式

排出トレイ：ソート / スタック

フィニッシャートレイ：ソート (オフセット可) / スタック (オフセット可)

用紙サイズ

排出トレイ

最大：12×19" (305×483 mm)

最小：郵便はがき (日本郵便製)

フィニッシャートレイ

最大：12×19" (305×483 mm)

最小：B5□

用紙坪量

排出トレイ：52 ~ 300 g/m²

フィニッシャートレイ：52 ~ 300 g/m²

❗ 注記

- 52 ~ 55 g/m² は、出力紙により正しく収容できない場合があります。

トレイ容量

排出トレイ：500 枚 (A4)

フィニッシャートレイ

ステープルなしの場合

A4：3000 枚

B4 以上：1500 枚

ミックススタック：300 枚

ステープルありの場合

A4 : 200 部または 3000 枚
B4 以上 : 100 部または 1500 枚
ミックススタック : 70 部または 200 枚

 注記

- 当社 P 紙 (64 g/m²)
- ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズの下紙が積載された場合です。

ステープル

最大ステープル枚数 : 50 枚 (90 g/m² 以下)

 注記

- オプションのフィニッシャー C3 ステープルユニット 65 枚を装着すると最大 65 枚まで可能です。ただし、用紙の種類によっては、用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。

ステープル用紙サイズ :

最大 : A3、11×17"

最小 : B5

ステープル用紙坪量 : 52 ~ 300 g/m²

ステープル箇所 : 1 か所、2 か所

パンチ

パンチ数 : 2 穴 / 4 穴、または 2 穴 / 3 穴 (US 規格)

パンチ用紙サイズ :

A3、11×17"、B4、A4^{*1}、A4、レター^{*1}、レター、B5、7.25×10.5" (184×267 mm)、8×10" (203×254 mm)、8×10" (203×254 mm)、十六開 (194×267 mm)、表紙 A4 (223×297 mm)、9×11" (229×279 mm)、215×315 mm、8.5×13" (216×330 mm)、リーガル、11×15" (279×381 mm)、八開 (267×388 mm)

^{*1} : 3 穴は使用できません。

用紙坪量 : 52 ~ 220 g/m²

 注記

- オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴またはフィニッシャー C3 パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) が必要です。
- フィニッシャー C3 (2/4 穴) および中とじフィニッシャー C3 (2/4 穴) には、「フィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴」が取り付けられています。

大きさ

幅 730× 奥行 589× 高さ 1056 mm (フィニッシャー C3)

幅 965× 奥行 726× 高さ 1056 mm (フィニッシャー C3 + 紙折りユニット CD1)

 注記

- トランスポートユニット H3 を含み、延長トレイを最大に伸ばしたときの数値です。

質量

49 kg (フィニッシャー C3)

101 kg (フィニッシャー C3+ 紙折りユニット CD1)

 注記

- トランスポートユニット H3 の質量を含みます。

本体接続時の占有寸法

幅 1772× 奥行 723 mm (本体+フィニッシャー C3)

幅 2009× 奥行 728 mm (本体+フィニッシャー C3 + 紙折りユニット CD1)

 注記

- 本体+2トレイモジュール+フィニッシャー C3、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばしたとき。

中とじフィニッシャー C3（オプション）

 注記

- 2トレイモジュール（オプション）装着時のみ取り付けことができます。

トレイ形式

排出トレイ：ソート / スタック

フィニッシャートレイ：ソート（オフセット可） / スタック（オフセット可）

製本トレイ：ソート / スタック

用紙サイズ

排出トレイ

最大：12×19"（305×483 mm）

最小：郵便はがき（日本郵便製）

フィニッシャートレイ

最大：12×19"（305×483 mm）

最小：B5□

用紙坪量

排出トレイ：52～300 g/m²

フィニッシャートレイ：52～300 g/m²

 注記

- 52～55 g/m² は、出力紙により正しく収容できない場合があります。

トレイ容量

排出トレイ：500 枚（A4）

フィニッシャートレイ

ステープルなしの場合

A4：1500 枚

B4 以上：1500 枚

ミックススタック：300 枚

ステープルありの場合

A4：200 部または 1500 枚

B4 以上：100 部または 1500 枚

ミックススタック：70 部または 200 枚

製本トレイ：20 部

 注記

- 当社 P 紙（64 g/m²）
- ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズの下紙が積載された場合です。
- 製本トレイの容量は、同サイズの下紙での出力時です。

ステープル

最大ステープル枚数：50 枚（90 g/m² 以下）

❗ 注記

- オプションのフィニッシャー C3 ステープルユニット 65 枚を装着すると最大 65 枚まで可能です。ただし、用紙の種類によっては、用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。

ステープル用紙サイズ：

最大：A3、11×17"

最小：B5

ステープル用紙坪量：52 ～ 300 g/m²

ステープル箇所：1 か所、2 か所

パンチ

パンチ数：2/4 穴、または 2/3 穴（US 規格）

パンチ用紙サイズ：

A3、11×17"、B4、A4^{*1}、A4、レター^{*1}、レター、B5、7.25×10.5" (184×267 mm)、8×10" (203×254 mm)、8×10" (203×254 mm)、十六開 (194×267 mm)、表紙 A4 (223×297 mm)、9×11" (229×279 mm)、215×315 mm、8.5×13" (216×330 mm)、リーガル、11×15" (279×381 mm)、八開 (267×388 mm)

^{*1} : 3 穴は使用できません。

用紙坪量：52 ～ 220 g/m²

❗ 注記

- オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴 または フィニッシャー C3 パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) が必要です。
- フィニッシャー C3 (2/4 穴) および中とじフィニッシャー C3 (2/4 穴) には、「フィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴」が取り付けられています。

中とじ / 二つ折り

最大枚数：

中とじ：16 枚 (90 g/m² 以下)、二つ折り：5 枚 (90 g/m² 以下)

❗ 注記

- 利用する用紙坪量により枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。

用紙サイズ：

最大：SRA3 (320×450 mm)、12×18" (305×457 mm)

最小：B5

用紙坪量：

中とじ：60 ～ 300 g/m²、二つ折り：60 ～ 300 g/m²

大きさ

幅 790× 奥行 589× 高さ 1056 mm (中とじフィニッシャー C3)

幅 1025× 奥行 726× 高さ 1056 mm (中とじフィニッシャー C3 + 紙折りユニット CD1)

❗ 注記

- トランスポートユニット H3 を含み、延長トレイを最大に伸ばしたときの数値です。

質量

66 kg (中とじフィニッシャー C3)

118 kg (中とじフィニッシャー C3+ 紙折りユニット CD1)

❗ 注記

- トランスポートユニット H3 の質量を含みます。

本体接続時の占有寸法

幅 1831×奥行 723 mm（本体+中とじフィニッシャー C3）

幅 2068×奥行 728 mm（本体+中とじフィニッシャー C3 +紙折りユニット CD1）

❗ 注記

- 本体+2トレイモジュール+中とじフィニッシャー C3、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばしたとき。

紙折りユニット CD1（オプション）

❗ 注記

- フィニッシャー C3 および中とじフィニッシャー C3 用のオプションです。

Z 折り

用紙サイズ：A3、11×17”、B4

用紙坪量：60～90 g/m²

三つ折り

用紙サイズ：A4、レター

用紙坪量：60～90 g/m²

トレイ容量：40 枚

❗ 注記

- 当社 P 紙（64 g/m²）

電源 / 最大消費電力

AC 100 V±10 %、1.0 A、50/60 Hz 共用、100 W

❗ 注記

- 紙折りユニット CD1 装着時は、本体とは別に電源が必要になります。

大きさ / 質量

幅 232×奥行 726×高さ 991 mm、53 kg

大容量給紙トレイ（1 段）（オプション）

❗ 注記

- 2トレイモジュール（オプション）装着時のみ取り付けことができます。

用紙サイズ

A4□、レター□、B5□

用紙坪量

55～216 g/m²

給紙容量 / 給紙段数

2300 枚 x1 段

❗ 注記

- 当社 P 紙（64 g/m²）

大きさ / 質量

幅 389x 奥行 610x 高さ 380 mm、29 kg

本体接続時の占有寸法

幅 1056x 奥行 723 mm



注記

- 本体+ 2 トレイモジュール+大容量給紙トレイ (1 段)、手差しトレイの最大伸長時。

サイドトレイ (オプション)

用紙サイズ

基本機能に準じる

用紙坪量

52 ~ 300 g/m²

トレイ容量

100 枚



注記

- 当社 P 紙 (64 g/m²)

大きさ

幅 324x 奥行 567x 高さ 228 mm

本体接続時の占有寸法

幅 1056x 奥行 723 mm



注記

- 本体+サイドトレイ、手差しトレイの最大伸長時。

11.2 プリント可能領域

標準印字領域

用紙の上下左右の端から余白（4.1 mm）を除いた領域です。

拡張印字領域

印字領域を広げてプリントします。

ただし、本機の制限によって用紙の端までプリントできない部分があります。

注記

- 本機は、用紙の端から 4.0 mm 未満の領域にはプリントできません。また、プリント時の本機の最大印字可能領域は、幅 305.0 mm×長さ 476.6 mm（長尺サイズ時は、幅 305.0 mm×長さ 1194.0 mm）です。これを越えてプリントすることはできません。

参照

- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。操作パネルでの設定方法については、「[プリント可能領域]」(P.134) を参照してください。

11.3 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

消耗品	商品コード	プリント可能ページ数
大容量トナーカートリッジ ブラック (K)	CT203418	約 26000 ページ
大容量トナーカートリッジ シアン (C)	CT203419	約 18000 ページ
大容量トナーカートリッジ マゼンタ (M)	CT203420	約 18000 ページ
大容量トナーカートリッジ イエロー (Y)	CT203421	約 18000 ページ
トナーカートリッジ ブラック (K)	CT203410	約 10000 ページ
トナーカートリッジ シアン (C)	CT203411	約 8000 ページ
トナーカートリッジ マゼンタ (M)	CT203412	約 8000 ページ
トナーカートリッジ イエロー (Y)	CT203413	約 8000 ページ
ドラムカートリッジ	CT351237	約 80000 ページ
トナー回収ボトル	CWAA0966	約 55000 ページ

❗ 注記

- トナーカートリッジについて
JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、白黒カラー自動選択、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。
プリンターで [カラー (自動判別)] を選択した場合は、モノクロページであっても、データによってはカラーのドラムが消耗する場合があります。
- トナー回収ボトルについて
プリント可能ページ数は、A4□サイズ、片面プリント、画像密度各色 5%、カラー・モノクロ比率 5:5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。
- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、適切な処理が必要です。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/cru/printer/>

定期交換部品の寿命について

品名	部品名	交換寿命
48 万枚定期交換キット	定着ユニット (R8)	約 480000 ページ
	転写ベルト	
24 万枚定期交換キット	転写ベルトクリーナー (R6)	約 240000 ページ
	第 2 バイアス転写ロール (R7)	
用紙搬送ロールキット (標準トレイ用)	用紙搬送ロール (標準トレイ用)	約 300000 ページ
用紙搬送ロールキット (手差しトレイ用)	用紙搬送ロール (手差しトレイ用)	約 100000 ページ
用紙搬送ロールキット for HCF	用紙搬送ロール for HCF	約 300000 ページ

❗ 注記

- プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。

交換の周期は、A4の普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なることがあります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づきプリントページ数に置き換えて表示しているためです。

定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。

保守サービスの種類によっては、定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。

無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

その他の消耗品について

フィニッシャー（オプション）用には、次の消耗品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品の使用をお勧めします。

消耗品の種類	形態
ホチキス針 タイプ XH (3PCS) *1	5000 針 ×3 セット /1 箱
ホチキス針 タイプ XE (2PCS) *2	5000 針 ×2 セット /1 箱
ホチキス針 中とじ用タイプ XG (4PCS) *3	2000 針 ×4 セット /1 箱

*1 : フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 用。(65 枚ステープル)

*2 : フィニッシャー B3、フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 用。(50 枚ステープル)

*3 : フィニッシャー B3 中とじユニット用。

11.4 本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピューターから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次の URL からダウンロードできます。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。

11.5 エミュレーションについて

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P	VP-1000
PC-PR201H	PC-PR201H
PCL	HP-CLJ5500
HP-GL	7586B、または DJ750C Plus
HP-GL/2	DJ750C Plus

補足

- それぞれのモードの詳細な内容については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。

プロトコル従属

CentreWare Internet Services を使用して、プロトコル（LPD、IPP、Port9100、WSD（Web Services on Devices））ごとにプリント言語を固定化できます。

モードメニュー画面

ホーム画面の［プリンターモード］で、エミュレーションモードを選択すると、表示されます。

補足

- ［メモリー呼び出し］、［メモリー登録 / 削除］、［立ち上げメモリー］は、ESC/P、HP-GL/2、PC-PR201H に表示されます。
- CentreWare Internet Services でも同様に設定できます。

メモリー呼び出し

メモリーに登録した設定を呼び出します。

詳細確認 / 変更

［項目番号］に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、［変更値］に変更する値を入力し、［決定］をタップします。



参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.310)を参照してください。

メモリー登録 / 削除

現在の設定項目の内容を [ユーザー登録メモリー] に登録したり、登録済みのメモリーを削除したりします。

立ち上げメモリー

起動したときの初期値を設定します。

使用できるフォント

[設定] > [機械確認 / レポート] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] で、[フォントリスト]、または [PCL フォントリスト] をタップすると、確認できます。

ESC/P、PC-PR201H では、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録され、電源を切っても保持されます。各プリント言語の間で共有はできません。

プリント機能

エミュレーションモード	N アップ	フォーム	バーコード
ART IV	—	64	あり
ESC/P	あり	64	あり
PC-PR201H	あり	64	あり
PCL	—	—	あり
HP-GL、HP-GL/2	—	—	—



補足

- ART IV でストレージありの場合、フォームは 2048 個です。

N アップ

2 アップを利用できます。

フォーム

定形のフォームを登録し、登録されているフォームをプリントデータに合成してプリントできます。



補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、新しいフォームは登録されません。
- フォームの登録については、[設定] > [機械確認 / レポート] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] > [ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

バーコード

利用できるバーコード規格は次のとおりです。

- JAN コード
- CODE39
- CODABAR
- Industrial 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Interleaved 2 of 5

- CODE128
- カスタマーバーコード
- QR コード
- OCR-B

コマンドの指定方法は、[設定] > [機械確認 / レポート] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] > [PCL フォントリスト] で確認できます。

設定メニュー

機械管理者モードにログインして行います。

エミュレーションモード	ポート設定	メモリー設定	フォーム削除
ART IV	あり	あり	あり
ESC/P	あり	あり	あり
PC-PR201H	あり	あり	あり
PCL	あり	—	—
HP-GL、HP-GL/2	あり	あり	—

ポート設定

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] をタップすると、ポートが起動 / 停止します。

- ポートの起動 (USB/LPD/IPP/Port9100/WSD (Web Services on Devices))
エミュレーションモードで使用するポートにタップします。
- USB- プリントモード指定
ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここでエミュレーションモードを選択すると、「プリント言語の切り替え」(P.300) で説明している自動切り替えは行われません。

補足

- CentreWare Internet Services を使用して、プロトコルごとにプリントモードを指定することもできます。

メモリー設定

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] をタップします。

補足

- ストレージが取り付けられている場合、設定は変更できません。
- ART IV ユーザー定義用メモリー
ART IV のユーザー定義で使用するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

参照

- 詳しくは、「[メモリー設定]」(P.133) を参照してください。

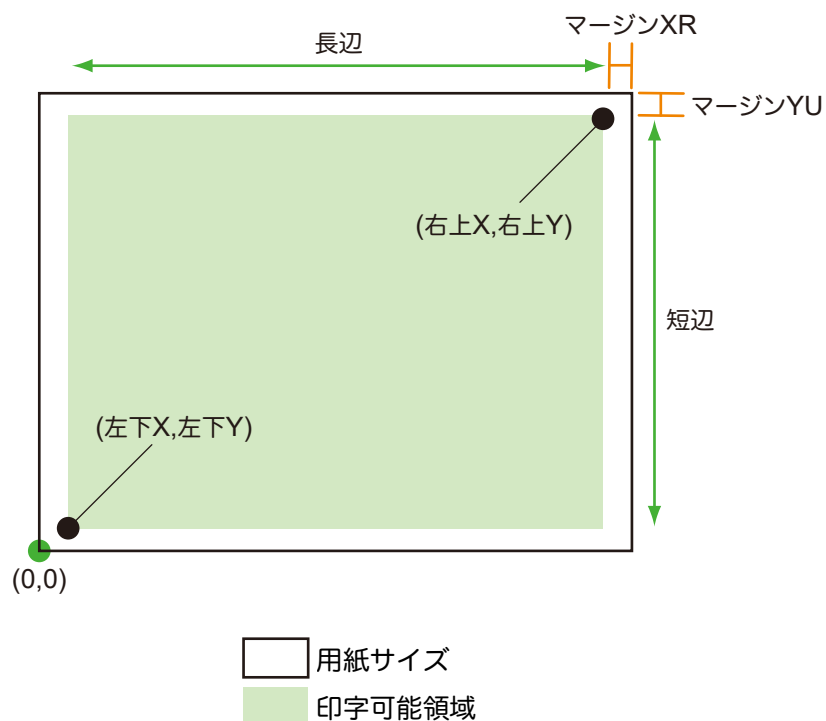
フォーム削除

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [フォーム削除] をタップし、フォームを削除するモードを選択します。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション固有の事項

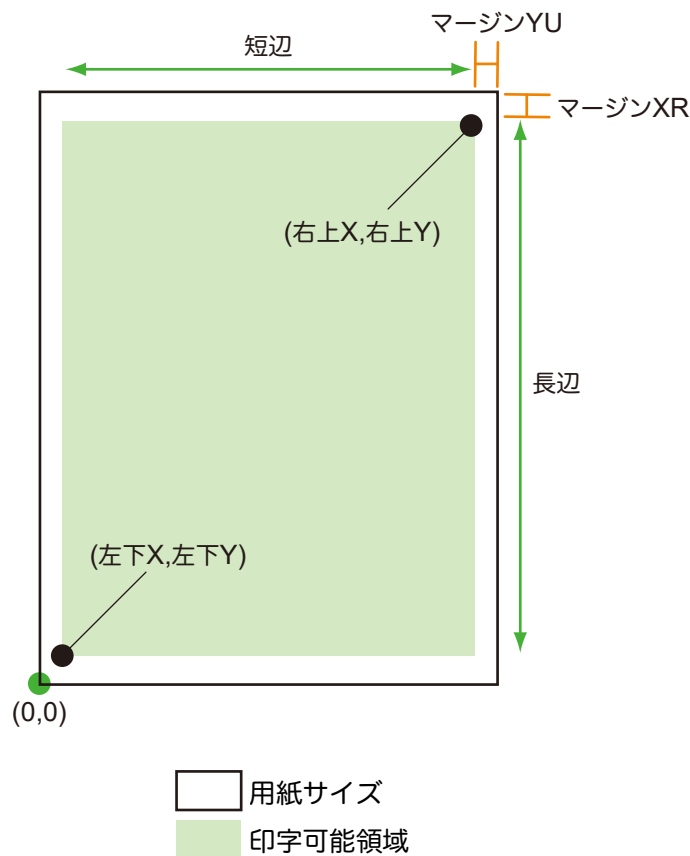
印字可能領域

◆ よこ置き



用紙サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印字可能領域		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A3	119052	84168	1260	1260	116532	81648	117792	82908	1260	1260
A4	84168	59508	1260	1260	81648	56988	82908	58248	1260	1260
A5	59508	41940	1260	1260	56988	39420	58248	40680	1260	1260
JIS B4	103176	72828	1260	1260	100656	70308	101916	71568	1260	1260
JIS B5	72828	51588	1260	1260	70308	49068	71568	50328	1260	1260

◆ たて置き

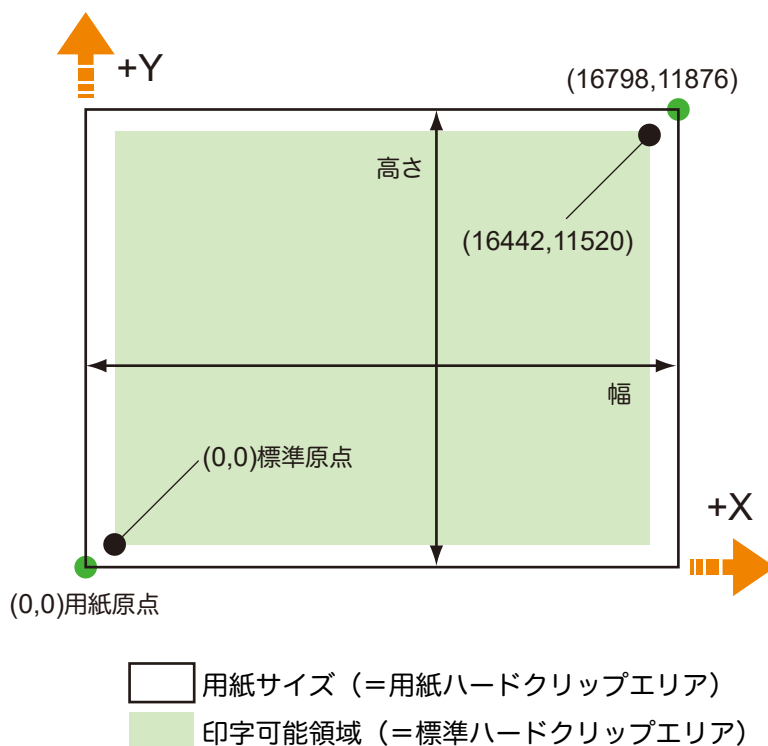


用紙サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印字可能領域		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A3	84168	119052	1260	1260	81648	116532	82908	117792	1260	1260
A4	59508	84168	1260	1260	56988	81648	58248	82908	1260	1260
A5	41940	59508	1260	1260	39420	56988	40680	58248	1260	1260
JIS B4	72828	103176	1260	1260	70308	100656	71568	101916	1260	1260
JIS B5	51588	72828	1260	1260	49068	70308	50328	71568	1260	1260

ハードクリップ

座標値から決定される領域をハードクリップエリアと呼びます。
ハードクリップエリアは、印字可能領域、または用紙サイズから決定されます。

◆ A3、原点位置が左下るとき



標準

本機の印字可能領域がハードクリップエリアになります。

用紙

用紙と同じサイズがハードクリップエリアになります。

オートレイアウト

原稿サイズ、用紙サイズなど、設定した項目から、自動で印字領域が決定されます。

原稿サイズ

「オート」(初期値)にすると「オートレイアウト」の設定が有効になります。

オートレイアウト

「ON」(初期値)にすると、「スケール」、「スケールモード」、「エリア判定モード」、「ペーパーマージン」が有効になります。

スケール

描画されるオブジェクト領域が用紙サイズに合うように、印字領域を拡大 / 縮小します。

スケールモード

◆ 用紙サイズ

描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。決定されるサイズは、A 系列のサイズ (A0 ~ A5 の 6 種類) です。

◆ オブジェクト領域

描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

エリア判定モード

補足

- コマンドがない場合、Adapted でオブジェクト領域が決定されます。

◆ 自動

優先順位が PS > IW > IP > Adapted で、自動的に選択されます。

◆ PS

最初に PS コマンドで指定された領域を含む領域がオブジェクト領域になります。

◆ IW

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

◆ IP

すべての IP コマンドで指定された領域がオブジェクト領域になります。

◆ Adapted

自動でオブジェクト領域が決定されます。

ペーパーマージン

余白の設定をします。

ペン属性

ハードクリップエリアの境界線を描画するペンの設定をします。

ペンは 16 種類 (No.00 ~ No.15)、設定できます。

◆ 幅

「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も縮小します。

線の幅は線の中心から太くなります。

太さが 0.0 mm の場合は、何も描画されません。

補足

- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

◆ ペン終端形状

ペンの終端形状を設定します。

補足

- 「書体」が「ストローク」以外の文字には無効です。

◆ ペン接続形状

ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

補足

- 「なし」は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。
- シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HPGL コマンドです。
- 文字には無効です。

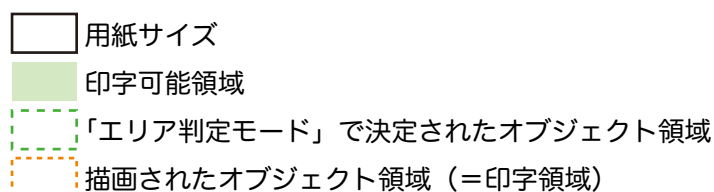
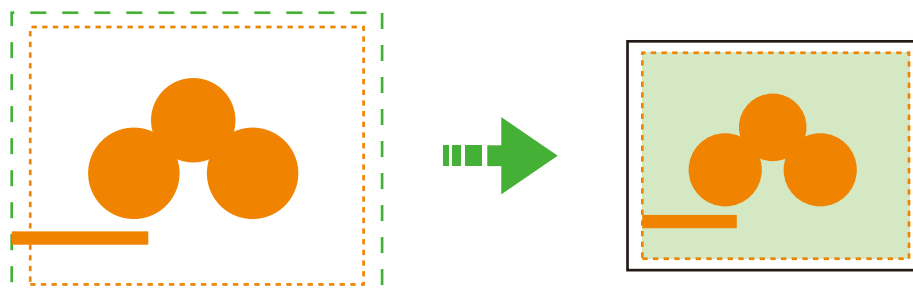
◆ ペンカラー

ペンの色は RGB で指示します。

オートレイアウト時の設定項目組み合わせ例

◆ スケールモード：用紙サイズ、スケール：ON

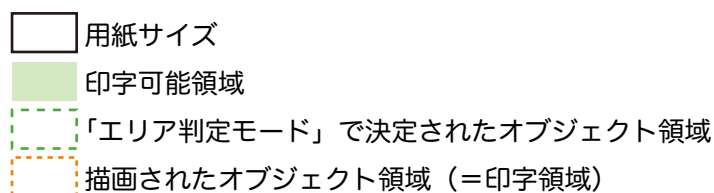
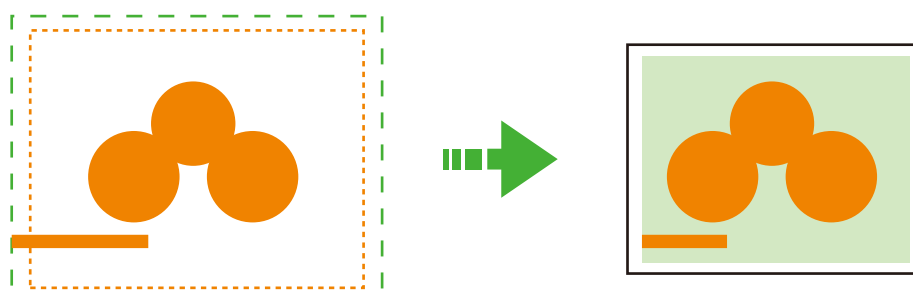
印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。



◆ スケールモード：用紙サイズ、スケール：OFF

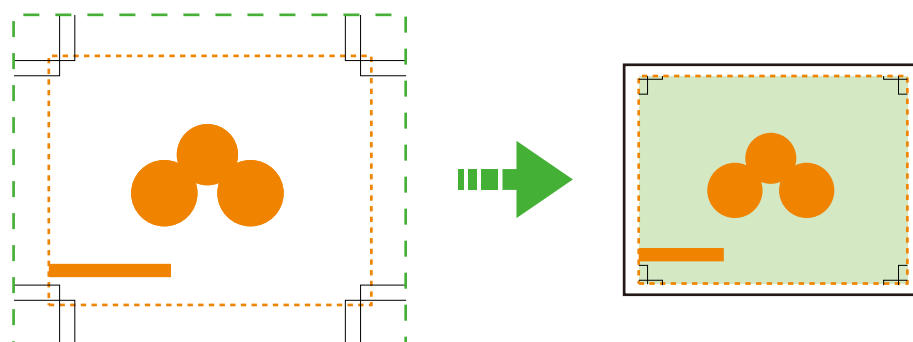
等倍でプリントされます。

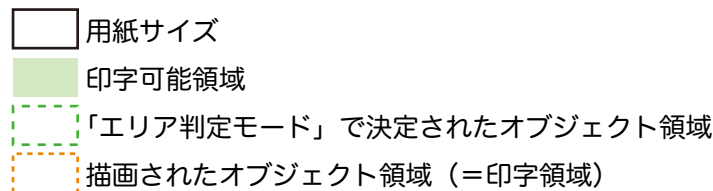
そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



◆ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：ON

印字領域内で縮小 / 拡大されて、プリントされます。

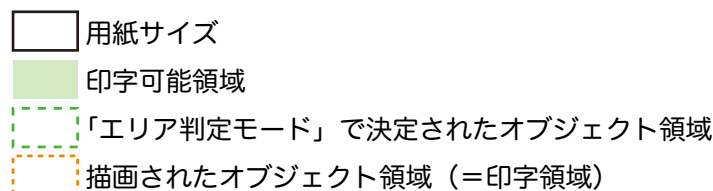
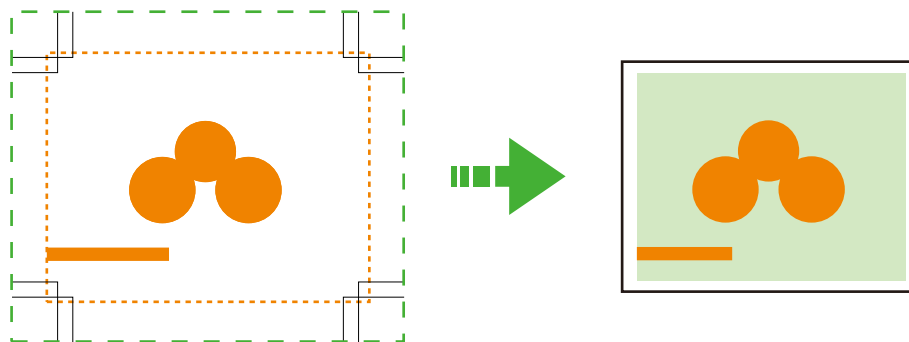




◆ スケールモード：オブジェクト領域、スケール：OFF

等倍でプリントされます。

そのため、用紙サイズより大きい部分は印字されません。



原稿サイズの決定方法

1. 「エリア判定モード」で決定されたオブジェクト領域に対し、次のどれかで値の大きいものをマージンとして加えます。
 - ページ内で指定された文字の大きさ
 - デフォルトの文字の大きさ
 - 指定されたペン幅の 1/2
2. 「エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域」 + 「加わったマージン」 - 「設定したペーパーマージン」が描画されるオブジェクト領域になります。
3. 「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合、描画されるオブジェクト領域から原稿サイズが決定されます。
 「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合、描画されるオブジェクト領域の原点位置を基準に原稿サイズが決定されます。

◆ 判定方法の例

オートレイアウト = ON、原稿サイズ = オート、スケールモード = 用紙サイズ、エリア判定モード = IP、ペーパーマージン = 10 mm で、ペン幅 = 0.1 mm の場合

IN;

IP-8399,-5938,8399,5938;

IW-8399,-5938,8399,5938;

PU;

SP1;

:

:

SP0;

💡 補足

- 文字サイズ指定コマンドは存在せず、IP、IW で指定しているエリアは A3 です。

◆ 例：の判定方法

1. IP コマンドで指定されたエリア「-8399,-5938,8399,5938」がオブジェクト領域になります。
2. 文字サイズ指定コマンドなし、ペン幅は 0.1 mm のため A3 サイズのデフォルト文字サイズの高さ /2(75 プロッタユニット) のサイズがオブジェクト領域に加わります。
この時点でのオブジェクト領域：-8474,-6013,8474,6013
3. ペーパーマージン (10 mm) がオブジェクト領域から削除されます。
この時点でのオブジェクト領域：-8074,-5613,8074,5613
4. 描画されたオブジェクト領域 (=印字領域) が A4 超～ A3 以下のため、原稿サイズは A3 になります。

用紙サイズの決定方法

◆ 「原稿サイズ」が「オート」、「給紙トレイ」が「自動」の場合

- 「スケールモード」が「用紙サイズ」で、原稿サイズと同じ用紙サイズがトレイにセットされているときは、原稿サイズと同じサイズの用紙サイズ
- 「スケールモード」が「オブジェクト領域」のときは、エリア判定モードで決定されたオブジェクト領域が用紙サイズ

💡 補足

- 同じ用紙サイズがない場合、次のサイズが選ばれます。
 - 最大サイズを上回る：最大サイズ
 - 最小サイズを下回る：最小サイズ
 - 最小～最大サイズの間：収まるサイズ

縮小率の決定方法

◆ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「用紙サイズ」の場合

描画されるオブジェクト領域と「用紙サイズ」から縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「用紙」になります。

- オートレイアウトが「ON」のとき、原稿を用紙の中央に配置します。
- 原点位置が左下、または中央のとき、原稿と用紙の原点を合わせます。
- 縮小率が 22.5 % 未満のとき (A0→A5 など)、等倍になります。

◆ 「原稿サイズ」が「オート」、「スケールモード」が「オブジェクト領域」の場合

描画されるオブジェクト領域の原点位置と用紙サイズから縮小率が決定されます。また、ハードクリップエリアは「標準」になります。

倍率の最大値は 210.0 %、倍率の最小値は 22.5 % となります。

用紙サイズ	0°				90°			
	最小値		最大値		最小値		最大値	
	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y
A3	7829	5485	73075	51200	5485	7829	51200	73075
A4	5485	3828	51200	35733	3828	5485	35733	51200
A5	3828	2648	35733	24720	2648	3828	24720	35733

用紙サイズ	0°				90°			
	最小値		最大値		最小値		最大値	
	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y	P2x - P1x	P2y - P1y
JIS B4	6762	4723	63120	44088	4723	6762	44088	63120
JIS B5	4723	3297	44088	30773	3297	4723	30773	44088

単位：プロッターユニット

設定項目

項目番号の表記は、ESC = ESC/P、PC = PC-PR201H、PCL = PCL、HP = HP-GL と HP-GL/2 です。

💡 補足

- CentreWare Internet Services でも同様に設定できます。

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
原稿サイズ	1	301	—	—	【0】：はがき 【3】：A3 【4】：A4 【5】：A5 【14】：JIS B4 【15】：JIS B5 【21】：8.5×14 【22】：8.5×13 【23】：8.5×11 【24】：11×17 【99】（初期値）：用紙サイズ 【100】：連続紙（10×12） 【101】：連続紙（10×11） 【102】：連続紙（15×12） 【103】：連続紙（15×11） 💡 補足 • 連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。 • PC-PR201H では、プリント保証桁は、連続紙（10×12）は 80 桁 /72 行、連続紙（10×11）は 80 桁 /66 行、連続紙（15×12）は 136 桁 /72 行、連続紙（15×11）は 136 桁 /66 行です。
原稿サイズ	—	—	—	101	【0】：A0 【1】：A1 【2】：A2 【3】：A3 【4】：A4 【5】：A5 【10】：JIS B0 【11】：JIS B1 【12】：JIS B2 【13】：JIS B3 【14】：JIS B4 【15】：JIS B5 【99】（初期値）：オート 【100】：用紙サイズ

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」、または 「トレイ 5（手差し）」の場合	2	302	—	—	[0] : はがき [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17
用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」、または 「トレイ 5（手差し）」の場合	—	—	—	102	[3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [99] : オート [101] (初期値) : A サイズ
用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「自動」の場合	—	—	202	—	[3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙 [30] : 8K
用紙サイズ 「給紙トレイ」が 「手差しトレイ」の 場合	—	—	203	—	[3] : A3 [4] (初期値) : A4 [5] : A5 [14] : JIS B4 [15] : JIS B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [25] : ユーザー定義用紙
給紙トレイ	3	303	201	103	[0] : (初期値 : PCL、HP-GL/2) 自動 [1] : (初期値 : ESC/P、PC-PR201H) トレイ 1 [2] : トレイ 2 [3] : トレイ 3 [4] : トレイ 4 [5] : トレイ 5（手差し） [6] : トレイ 6  補足 • 「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1→トレイ 2→トレイ 3→トレイ 4→トレイ 6 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
座標回転	—	—	—	104	【0】（初期値）：0° 【1】：90°
カラーモード	5	304	—	—	【0】（初期値：ESC/P）：カラー 【1】（初期値：PC-PR201H）：モノクロ
	—	—	216	—	【0】（初期値）：自動 【1】：カラー 【2】：モノクロ
	—	—	—	105	【0】（初期値）：カラー 【1】：グレースケール 【2】：黒ペン
オートレイアウト	—	—	—	106	【0】（初期値）：ON 【1】：OFF
パレット優先指定	—	—	—	107	【0】（初期値）：コマンド 【1】：パネル
出力部数	8	305	—	108	【1】～【250】（初期値：1）：1～250 部  補足 ・クライアントPCからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値になります。ただし、lpd ポートから指定された部数は、変わりません。
	—	—	212	—	【1】～【999】（初期値：1）：1～999 部
排出先	9	306	204	109	【0】（初期値）：センタートレイ（下段） 【1】：サイドトレイ（オプション） 【2】：センタートレイ（上段）（オプション） 【80】：フィニッシャートレイ（オプション） 【81】：フィニッシャー排出トレイ（オプション）
両面	12	307	—	110	【0】（初期値）：なし 【1】：左右開き 【2】：上下開き
	—	—	206	—	【0】（初期値）：オフ 【1】：オン
両面時のとじ方	—	—	217	—	【0】（初期値）：長辺とじ 【1】：短辺とじ
用紙方向	19	314	205	—	【0】（初期値）：縦 【1】：横
用紙位置  補足 ・原稿サイズで「連続紙」に設定した場合は設定できません。	20	338	—	—	【0】（初期値）：カットシートフィーダーなし（左） 【1】：カットシートフィーダーあり（中央）  補足 ・カットシートフィーダーなしの場合は、FF（改ページコマンド）を受信すると、VFU で設定された値だけ行送りをします。カットシートフィーダーありの場合は、改ページします。
	—	315	—	—	【0】（初期値）：左置き 【1】：中央置き

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
倍率モード	54	321	—	—	【0】（初期値）：固定倍率 【1】：任意倍率 【2】：カット紙全面  補足 「固定倍率」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字可能領域が用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば 100 %（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字可能領域に収まるように印字されます。 「任意倍率」とは、「倍率」>「任意倍率」で設定される倍率のことです。倍率の基準値は印字可能領域の左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。 - カット紙全面領域が印字可能領域に印字されます。 「カット紙全面」とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字可能領域に収まるよう印字されます。 「原稿サイズ」で連続紙が設定されている場合、「固定倍率」と「カット紙全面」は同じ印字結果となります。
任意倍率 / 縦倍率	17	312	—	—	【45】～【210】（初期値：100）：45～210 %
任意倍率 / 横倍率	18	313	—	—	
罫線	22	317	—	—	【0】（初期値）：イメージ 【1】：フォント  補足 2 バイトの罫線フォントの印字方法を設定します。
フォント  補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	13	—	—	—	【3】（初期値）：書宋 【4】：俣宋 【5】：黒体 【6】：楷書  補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。 - お使いの機種によっては、設定できない場合があります。
漢字書体  補足 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	13	308	—	—	【0】（初期値）：明朝 【1】：ゴシック  補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。
	—	—	—	111	【0】（初期値）：ストローク 【1】：明朝 【2】：ゴシック  補足 2 バイトの半角文字もこの書体が適用されます。

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
英数字書体	14	309	－	－	【0】（初期値）：ローマン 【1】：サンセリフ
	－	－	－	112	【0】（初期値）：ストローク 【1】：ローマン 【2】：サンセリフ

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
デフォルトフォント	—	—	207	—	[0] : CG Times [1] : CG Times Italic [2] : CG Times Bold [3] : CG Times Italic Bold [4] : Univers Medium [5] : Univers Medium Italic [6] : Univers Bold [7] : Univers Bold Italic [8] : Univers Medium Condensed [9] : Univers Medium Condensed Italic [10] : Univers Bold Condensed [11] : Univers Bold Condensed Italic [12] : Antique Olive [13] : Antique Olive Italic [14] : Antique Olive Bold [15] : CG Omega [16] : CG Omega Italic [17] : CG Omega Bold [18] : CG Omega Bold Italic [19] : Garamond Antiqua [20] : Garamond Kursiv [21] : Garamond Halbfett [22] : Garamond Kursiv Halbfett [23] (初期値) : Courier [24] : Courier Italic [25] : Courier Bold [26] : Courier Bold Italic [27] : Letter Gothic [28] : Letter Gothic Italic [29] : Letter Gothic Bold [30] : Albertus Medium [31] : Albertus Extra Bold [32] : Clarendon Condensed [33] : Coronet [34] : Marigold [35] : Arial [36] : Arial Italic [37] : Arial Bold [38] : Arial Bold Italic [39] : Times New [40] : Times New Italic [41] : Times New Bold [42] : Times New Bold Italic [43] : Symbol [44] : Wingdings [45] : Line Printer [46] : Times Roman [47] : Times Italic [48] : Times Bold [49] : Times Bold Italic [50] : Helvetica [51] : Helvetica Oblique [52] : Helvetica Bold [53] : Helvetica Bold Oblique [54] : CourierPS [55] : CourierPS Oblique

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
	—	—	207	—	【56】 : CourierPS Bold 【57】 : CourierPS Bold Oblique 【58】 : SymbolPS 【59】 : Palatino Roman 【60】 : Palatino Italic 【61】 : Palatino Bold 【62】 : Palatino Bold Italic 【63】 : ITC Bookman Light 【64】 : ITC Bookman Light Italic 【65】 : ITC Bookman Demi 【66】 : ITC Bookman Demi Italic 【67】 : Helvetica Narrow 【68】 : Helvetica Narrow Oblique 【69】 : Helvetica Narrow Bold 【70】 : Helvetica Narrow Bold Oblique 【71】 : New Century Schoolbook Roman 【72】 : New Century Schoolbook Italic 【73】 : New Century Schoolbook Bold 【74】 : New Century Schoolbook Bold Italic 【75】 : ITC Avant Garde Book 【76】 : ITC Avant Garde Book Oblique 【77】 : ITC Avant Garde Demi 【78】 : ITC Avant Garde Demi Oblique 【79】 : ITC Zapf Chancery Medium Italic 【80】 : ITC Zapf Dingbats

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
デフォルトシンボル	—	—	208	—	【0】（初期値）：Roman 8 【1】：ISO 8859-1 Latin 1 【2】：ISO 8859-2 Latin 2 【3】：ISO 8859-9 Latin 5 【4】：ISO 8859-10 Latin 6 【5】：PC-8 【6】：PC-8 DN 【7】：PC-775 【8】：PC-850 【9】：PC-852 【10】：PC-1004(OS/2) 【11】：PC Turkish 【12】：Windows 3.1 Latin 1 【13】：Windows 3.1 Latin 2 【14】：Windows 3.1 Latin 5 【15】：DeskTop 【16】：PS Text 【17】：MC Text 【18】：Microsoft Publishing 【19】：Math 8 【20】：PS Math 【21】：Pi Font 【22】：Legal 【23】：ISO 4 United Kingdom 【24】：ISO 6 ASCII 【25】：ISO 11 Swedish:names 【26】：ISO 15 Italian 【27】：ISO 17 Spanish 【28】：ISO 21 German 【29】：ISO 60 Norwegian v1 【30】：ISO 69 French 【31】：Windows 3.0 Latin 1 【32】：Windows Baltic 【33】：Symbol 【34】：Wingdings 【35】：UCS-2
フォントサイズ	—	—	209	—	【400】～【5000】（初期値：1200）：4.00～50.00 ポイント
フォントピッチサイズ	—	—	210	—	【600】～【2400】（初期値：1000）：6.00～24.00 ポイント
フォント行数	—	—	211	—	【5】～【128】（初期値：64）：5～128 行
縦位置補正	15	310	—	113	【0】（初期値）：しない 【1】～【500】：-250～+250 mm  補足 ・プリント位置（またはハードクリップエリア）を設定します。
横位置補正	16	311	—	114	
2 アップモード	21	316	—	—	【0】（初期値）：なし 【1】：順方向 【2】：逆方向  補足 ・「原稿サイズ」でよこ向きを指定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
漢字コード  補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	50	—	—	—	【0】（初期値）：エプソン 【1】：東芝
白紙排出  補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	51	318	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】：する  補足 • 空白ページの白紙の排出を設定します。 • 「しない」に設定した場合、2 アッププリント、または両面プリントでは、空白ページは作成されません。 • 「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや白いオブジェクトが存在するときは、白紙が排出されます。
印字桁範囲	52	319	—	—	【0】（初期値）：標準 【1】：拡張  補足 • 右マージンの位置を拡張できます。 • コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端になります。
イメージエンハンス	53	320	213	163	【0】：OFF 【1】（初期値）：ON
文字品位	55	—	—	—	【0】（初期値）：高品位 【1】：ドラフト
縮小文字	56	—	—	—	【0】（初期値）：しない 【1】：する  補足 • 半角英数字を印字する場合、文字を縮小できます。
文字コード表	57	—	—	—	【0】（初期値）：カタカナ 【1】：拡張グラフィックス  補足 • 半角英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。 • 日本国内のアプリケーションを使用している場合はカタカナを、日本以外の国のアプリケーションを使用している場合は、拡張グラフィックスに設定してください。
ページ長	58	329	—	—	【0】（初期値）：11 インチ 【1】：12 インチ

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
1 インチミシン目 スキップ	59	—	—	—	【0】 (初期値) : しない 【1】 : する  補足 • ページとページの間を 1 インチ空けることができます。 • 「用紙位置」で「カットシートフィーダーなし」に設定されている場合だけ設定が有効になります。
給紙位置	60	—	—	—	【0】 (初期値) : 8.5 mm 【1】 : 22 mm
国別文字	—	322	—	—	【0】 (初期値) : 日本 【1】 : アメリカ 【2】 : イギリス 【3】 : ドイツ 【4】 : スウェーデン
自動改行	—	323	—	—	【0】 : CR 【1】 (初期値) : CR/LF  補足 • 右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。 • 「CR」は印字復帰だけします。「CR/LF」は印字復帰したあとと改行します。
印字指令	—	324	—	—	【0】 (初期値) : CR 【1】 : すべて  補足 • 「CR」は印字指令のコマンドを CR だけ、「すべて」は印字指令のコマンドを、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b にします。
CR の機能	61	325	—	—	【0】 (初期値) : 復帰 【1】 : 復帰改行  補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 • 8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。
グラフィックドット数	—	327	—	—	【0】 (初期値) : ネイティブ 【1】 : コピー
データサイズ	—	328	—	—	【0】 : 7 ビット 【1】 (初期値) : 8 ビット
HP-GL モード	—	—	—	150	【0】 (初期値) : HP-GL 【1】 : HP-GL/2  補足 • IW、OW、UC コマンドに影響します。 • BP コマンドを含まない HP-GL/2 コマンドを印字する場合は「HP-GL/2」に設定してください。
ハードクリップ	—	—	—	151	【0】 : 標準 【2】 (初期値) : 用紙

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
排出コマンド	—	—	—	152 (SP)	【0】 ：OFF 【1】 ：ON 💡 補足 • 描画の終了を示すコマンドを設定します。 • ここで指定したコマンドを受信すると描画を終了し、用紙が排出されます。 • 初期値は、SP0 は「ON」、SP0 以外のコマンドは「OFF」に設定されています。 • 複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
	—	—	—	153 (SP0)	
	—	—	—	154 (NR)	
	—	—	—	155 (FR)	
	—	—	—	156 (PG)	
	—	—	—	157 (AF)	
	—	—	—	158 (AH)	
スケール	—	—	—	159	【0】 ：OFF 【1】 （初期値）：ON
スケールモード	—	—	—	160	【0】 （初期値）：用紙サイズ 【1】 ：オブジェクト領域
エリア判定モード	—	—	—	161	【0】 （初期値）：自動 【1】 ：PS 【2】 ：IW 【3】 ：IP 【4】 ：Adapted
ペーパーマージン	—	—	—	162	【0】 ～ 【99】 （初期値：0）：0 ～ 99 mm
拡張子指定	62	330	—	—	【0】 （初期値）：無効 【1】 ：有効 💡 補足 • 通常の拡張コマンドは、コマンドを識別するための拡張子として、先頭に 16 進法で 1 BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3 BH）を指定しています。 ホストコンピュータで ESC コードやセミコロンを使用できない場合は、それに代わる特定の文字列を拡張子として使用できます。
拡張子	63	331	—	—	【&%】 （初期値）：0×21 ～ 0×7e 💡 補足 • テキストコードで制御できるようにしたい場合は、拡張コマンドの拡張子（先頭 2 バイト）を指定します。画面に表示されるキーボードから 2 文字を入力します。
フォーム合成 💡 補足 • 拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。	64	332	—	—	【0】 （初期値）：しない 【1】 ～ 【64】 ：No.1 ～ No.64 💡 補足 • フォームを指定したあと、フォームが削除された場合でも、そのフォーム名が表示されています。この場合はフォームが合成されません。

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
ホチキスとめ	66	333	—	164	【0】（初期値）：しない 【1】：左上 1 か所 【2】：上辺 2 か所 【3】：右上 1 か所 【4】：左辺 2 か所 【5】：右辺 2 か所 【6】：左下 1 か所 【7】：下辺 2 か所 【8】：右下 1 か所
手差し給紙の一時停止	67	335	—	165	【0】：（初期値）しない 【1】：する
フォーム種類	68	—	—	—	【0】（初期値）：ESC/P 【1】：ART IV
	—	336	—	—	【0】（初期値）：PC-PR201H 【1】：ART IV
パンチ	69	334	—	166	【0】（初期値）：しない 【1】：上辺 【2】：下辺 【3】：左辺 【4】：右辺
パンチ穴数	70	337	—	167	【0】（初期値）：2 穴 【1】：3 穴 【2】：4 穴
文字コード	71	—	—	—	【0】（初期値）：JIS 【1】：ShiftJIS
バイナリーデータ （16 進表記でコマンドを入力する） の指定文字列	72	—	—	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：&\$%\$ 【2】：\$?!#
0 の字体	73	326	—	—	【0】（初期値）：0 【1】：∅
HexDump	—	—	214	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：ON
薄墨印刷	—	—	215	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：ON
行末処理	—	—	218	—	【0】（初期値）：OFF 【1】：LF を後につける 【2】：CR を前につける 【3】：CR-xx  補足 ・「CR-xx」は、CR のとき LF を後につけ、LF と FF のとき CR を前につけます。
ユーザー定義用紙 サイズの初期値	—	—	219 (短辺)	—	【0】～【9999】（初期値：2100）：0～999.9 mm
	—	—	220 (長辺)	—	【0】～【9999】（初期値：2970）：0～999.9 mm

設定項目	項目番号				設定値
	ESC	PC	PCL	HP	
有効出力部数	74	339	221	115	【0】（初期値：HP-GL/2）：プロトコル指定 【1】：パネル 【2】（初期値：ESC/P、PC-PR201H、PCL）：コマンド
バーコードモード	75	—	—	—	【0】（初期値）：通常モード 【1】：バーコードモード  補足 • バーコードモードに設定すると、バーコードの輪郭がはっきりとプリントされます。
対象機	—	—	—	169	【0】（初期値）：HP750C 【1】：FX4036
ペン幅	—	—	—	800 ～ 815	No.00 の項目番号が 800 です。 【0】～【255】（初期値：3）：0～25.5 mm
ペン終端形状	—	—	—	850 ～ 865	No.00 の項目番号が 850 です。 【0】（初期値）：切断  【1】：丸め  【2】：矩形 
ペン接続形状	—	—	—	900 ～ 915	No.00 の項目番号が 900 です。 【0】（初期値）：なし  【1】：交差  【2】：丸め  【3】：切断 
ペンカラー	—	—	—	950 ～ 965	No.00 の項目番号が 950 です。 【0】～【255】：0～255（カラー）

11.6 ダイレクトプリント

ファイルをプリンタードライバーではなく、直接 lpr コマンドなどを使用してプリントする機能です。
PDF ダイレクトプリントでは、Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントと弊社製の PDF ダイレクトプリント (PDF Bridge) の 2 種類があります。

💡 補足

- Adobe 純正の PDF ダイレクトプリントを使用するには、Adobe® PostScript® 3™ キットが必要です。
- lpr コマンドを使用するときは、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [LPD] で、[LPD-ポート] を [起動] にしてください。

モードメニュー画面

ホーム画面の [プリンターモード] で、ダイレクトプリントモードを選択すると、表示されます。

詳細確認 / 変更

[項目番号] に機能の項目番号を入力すると、現在の設定値が表示されます。

設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

弊社のソフトウェア、ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

💡 補足

- ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルをプリントする場合は、「ソフトウェア / 製品マニュアル」の [ソフトウェア] > [ContentsBridge Utility] からインストールしてください。
- ContentsBridge Utility を使用する場合、「プリント処理モード」のみ有効になります。

🔧 参照

- 項目番号については、「設定項目」(P.323) を参照してください。

パスワード

パスワードを設定しておく、パスワードによるセキュリティが設定された PDF ファイルをプリントできません。

💡 補足

- パスワードは、半角英数字、または記号で 32 文字以内に設定してください。
- PDF ファイルのセキュリティの設定によっては、プリントできないことがあります。

設定項目

設定項目	項目番号		設定値
	PDF	DocuWorks	
出力部数	401	501	[1] ~ [999] (初期値 : 1) : 1 ~ 999 枚 💡 補足 • lpr コマンドを使用してプリントする場合、出力部数の指定は lpr コマンドで行うため、ここでの設定は無効になります。
両面	402	502	[0] (初期値) : しない [1] : 長辺とじ [2] : 短辺とじ
印刷モード	403	503	[0] (初期値) : 標準 [1] : 高速 [2] : 高画質

設定項目	項目番号		設定値
	PDF	DocuWorks	
ソート	404	504	複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）します。 【0】（初期値）：しない 【1】：する
レイアウト  補足 この項目は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」に設定した場合だけ、設定が有効になります。	405	505	【0】（初期値）：自動倍率 【1】：カタログ（製本） 【2】：2 アップ 【3】：4 アップ 【4】：100%（等倍）  補足 「カタログ（製本）」は、PDF ダイレクトプリントの場合に設定できます。 - ページ構成によっては、カタログ（製本）プリントができない場合があります。この場合「自動倍率」でプリントされます。
用紙サイズ	406	506	【0】（初期値）：自動 【1】：A4
カラーモード	407	507	【0】（初期値）：自動 【1】：白黒
プリント処理モード  補足 Adobe® PostScript® 3™ キットを取り付けている場合に表示されます。	408	—	【0】（初期値）：PDF Bridge 【1】：PS  補足 「PS」に設定した場合は、「レイアウト」の設定は無効になります。

11.7 外部アクセスについて

本機に組み込まれたブラウザからネットワークを介して Web サーバーにアクセスし、データを格納したり、表示したりできる機能です。

- 外部サービスにアクセスして、Web アプリケーション画面を表示する
- 外部のサーバーに格納してあるファイルをプリントする

補足

- 表示できる Web アプリケーションは、連携済みのものだけです。インターネットのホームページなどにはアクセスできません。

接続先を登録する

1. ホーム画面で左上の認証情報の表示エリアをタップして、機械管理者でログインします。
2. [設定] をタップします。
3. [アプリ設定] > [外部アクセス設定] をタップします。
4. [接続先の登録] をタップし、登録するサーバー番号を選びます。
5. サーバーの URL を入力し、[OK] をタップします。

補足

- 外部アクセス用 Web ブラウザーのバージョンを特定した接続にしたい場合は、プロトコルの種類 (http や https) とコロン間にバージョンを指定します。たとえば、V4 で接続したいときは「http-v4://www.example.com」と入力します。
- Web ブラウザーのバージョンを URL に指定して接続したときは、[外部アクセスバージョンの選択] の設定は無効になります。

6. 必要に応じて、ほかの項目を設定します。

[接続先名]

接続先の表示名を設定します。

[URL]

サーバーの URL が表示されます。

[説明]

接続先の説明を設定します。

[接続用ユーザー ID の使用]

外部サービスにアクセスするためのユーザー ID を使用するかどうかを設定します。

補足

- [使用しない] に設定しても、アクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になることがあります。
- [認証方式の設定] が [外部認証] の場合、本項目を [使用しない] に設定すると、本機で認証されているユーザー情報を使用して、外部サービスにアクセスします。
- 外部サービスへアクセスしたときに、認証の確認画面を表示するかどうかを設定できます。「[認証情報送信時の確認画面]」(P.138) を参照してください。

[接続用ユーザー ID]

外部サービスに認証するためのユーザー ID を設定します。

補足

- 外部サービスの種類によっては、[接続用ユーザー ID] を設定しても、設定が無効になることがあります。使用する外部サービスの設定を確認してください。

[接続用ユーザー ID のパスワード]

認証に使用するパスワードを設定します。

[本体 / 認証情報の通知]

本体を特定するための情報や、利用するユーザーの認証情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

補足

- 通常は設定しません。

[ユーザー権限情報の通知]

利用するユーザーの権限情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

[機能コード]

連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

サーバー証明書の検証を行う場合の設定

外部サーバー（ASP）との接続時、Windows の Web ブラウザーと同様に、サーバー証明書を検証する設定にしてフィッシングを抑止できます。

サーバー証明書の検証には、サーバー証明書を発行しているルート証明機関のルート証明書（CA 証明書）を使います。

補足

- CA 証明書ファイルの対応形式は次のとおりです。
 - DER encoded binary X.509 形式（.CER）
 - Base64 encoded X.509 形式（.CER）
 - Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書形式（.P7B）

外部サービスに接続する

1. ホーム画面で、[外部アクセス] をタップします。

2. 接続先をタップします。



11.8 本機のヘルプを使う

タッチパネルディスプレイの［ヘルプ］をタップすると、本機の操作方法やエラーコードの詳細を確認できます。画面に表示された QR コードをモバイル端末で読み取ると、ヘルプの情報を閲覧することもできます。



補足

- この機能を使用するときは、機械管理者でログインして利用規約への同意が必要になります。
- この機能を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL: 0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30
(土、日、祝日および弊社指定休業日をのぞく)

A-24017F

FUJI xerox

表面

●保守・操作の問い合わせ (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.
FAX.

●用紙・消耗品のご用命 (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.

●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機械No.

 887E 14583

FUJI xerox

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。
(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フジゼロックス
フリーダイヤル **0120-66-2209** FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、富士ゼロックスお客様相談センターにお問い合わせください。

TEL:0120-27-4100

受付時間:9時から12時、13時から17時

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

- 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル **0120-27-4100**

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp>

ApeosPort Print C5570/ApeosPort Print C4570

リファレンスガイド

著作者 — 富士フイルムビジネスソリューション株式会社

発行者 — 富士フイルムビジネスソリューション株式会社

2021年6月 第1版
(ME8983J1-3)